

**令和5年度
笠岡市子ども・子育て支援ニーズ調査
集計結果報告書**

令和6年3月

笠岡市

《目次》

調査方法	1
就学前児童保護者調査結果	2
ご家族の状況等について	2
お子さんの育ちをめぐる環境について	12
母親の就労状況について	16
父親の就労状況について	24
平日の幼稚園や保育所などの教育・保育事業の 現在の利用状況について	28
平日の幼稚園や保育所などの教育・保育事業の 今後の利用希望について	34
子育て支援事業の利用状況について	42
土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について	46
お子さんが病気の際の対応について	50
不定期の保育サービスの利用について	56
小学校就学後の放課後の過ごし方について	65
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	72
子育て全般について	83
小学生保護者調査結果	101
ご家族の状況等について	101
お子さんの育ちをめぐる環境について	110
母親の就労状況について	114
父親の就労状況について	122
子どもの放課後の過ごし方について	126
この調査票を持ち帰ったお子さんが病気の際の対応について	148
この調査票を持ち帰ったお子さんの不定期の保育サービスの利用について	155
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	162
子育て全般について	173

調査方法

1. 調査の目的

本調査は、令和2年度に策定した『第2期笠岡市子ども・子育て支援事業計画』の期間満了に伴い、令和7年度からの第3期計画策定の資料とするため、子育て家庭を取り巻く状況やご要望・ご意見などを把握することを目的に実施しました。

2. 実施概要

- 調査対象者：令和5年12月1日現在、笠岡市に住んでいる就学前・小学生の児童を持つ保護者
- 対象数：就学前児童1,032人 小学生児童1,068人
- 調査期間：令和6年1月10日～令和6年1月26日まで
- 調査方法：学校を通じた配布回収及び郵送による配布回収

3. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者調査	1,032件	756件	73.3%
小学生保護者調査	1,068件	690件	64.6%
合計	2,100件	1,446件	68.9%

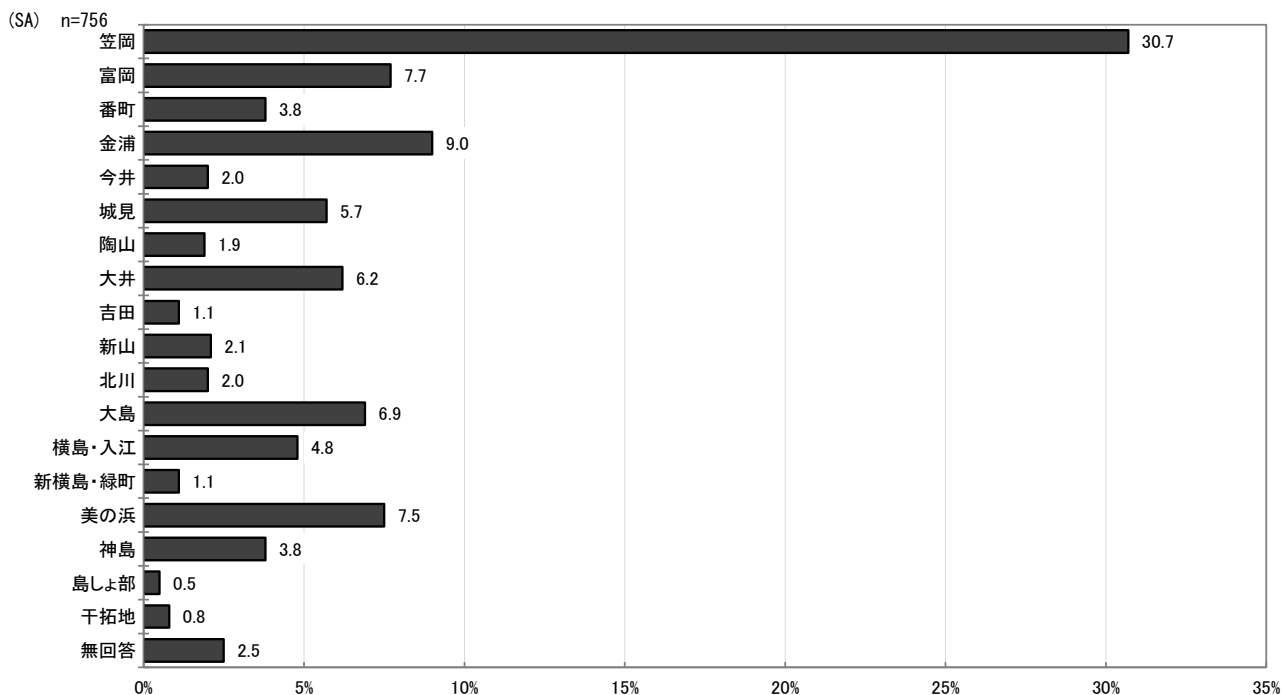
4. 調査集計にあたっての留意事項

- 回答結果は小数点以下第2位を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢から一つだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。
- 本報告書における「n」「SA」「MA」「FA」「数量」は、それぞれ
 - 「n」＝サンプル数のこと
 - 「SA」＝単回答のこと（Single Answer の略）
 - 「MA」＝複数回答のこと（Multiple Answer の略）
 - 「FA」＝自由回答のこと（Free Answer の略）
 - 「数量」＝数量回答のことを示します。
- 図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」を表しています。
- 本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。
- 本報告書においてクロス集計は、無回答がある為、合計人数は全体の人数と合致しません。
- クロス集計で、母数が少ない項目に関しては、分析文を省略しています。
- 回答結果を忠実に集計しており、回答の仕方によって、実際の状況とは異なる場合があります。

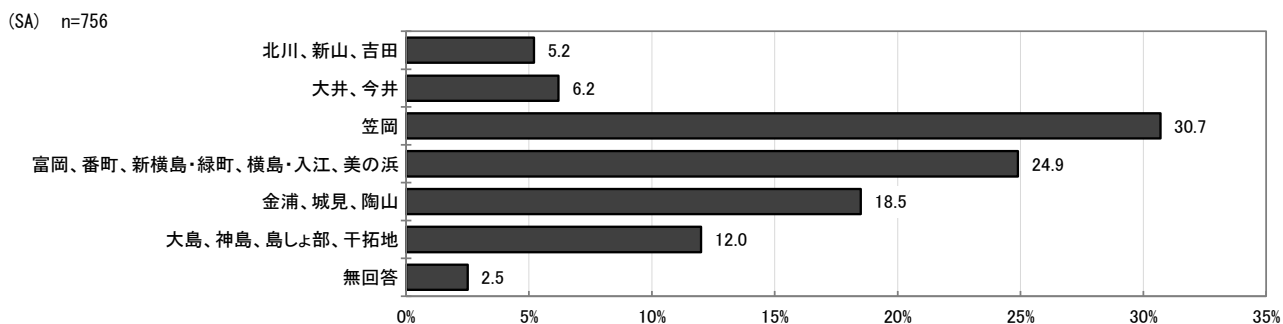
就学前児童保護者調査結果

ご家族の状況等について

問1 あて名のお子さんのお住まいの地域(SA)

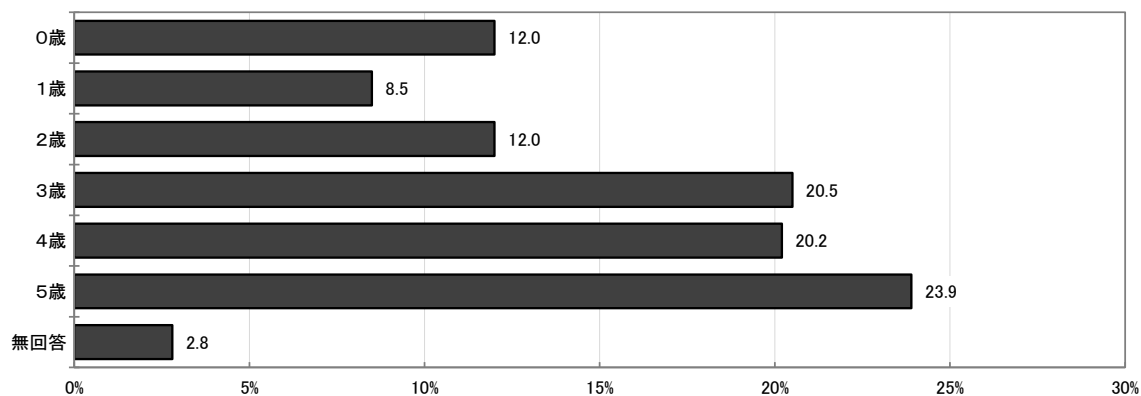


地区区分(SA)



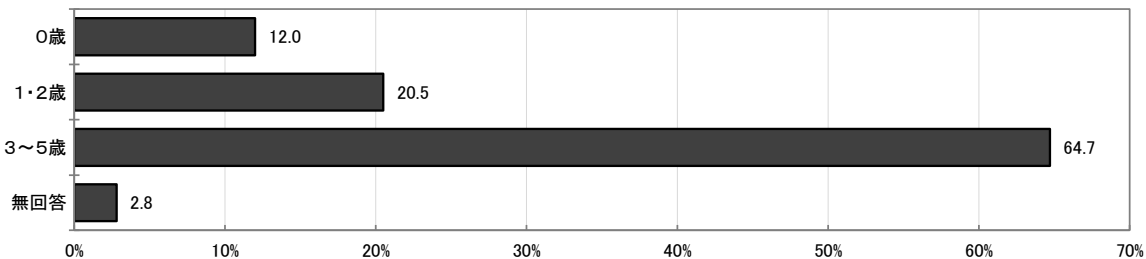
問2 宛名のお子さんの年齢(学年齢)

(SA) n=756



年齢区分(SA)

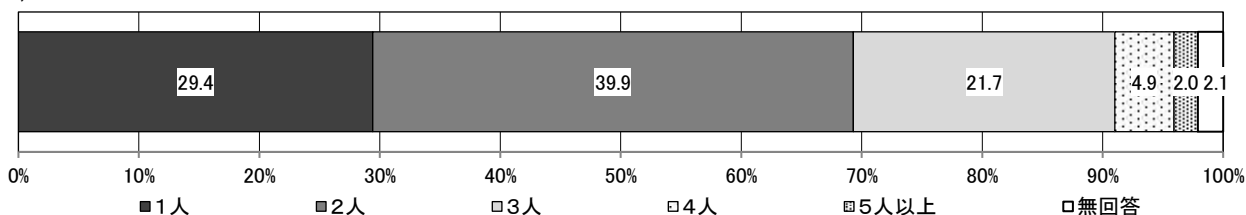
(SA) n=756



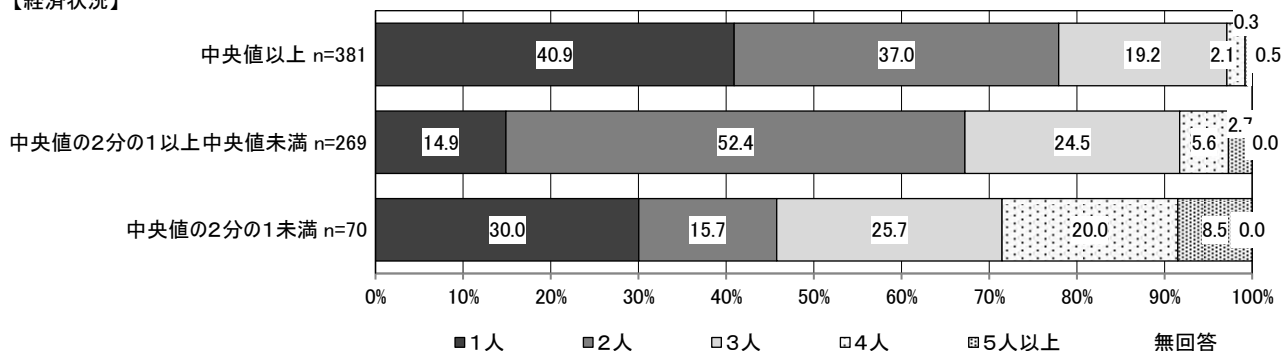
問3A あて名のお子さんは何人きょうだいですか(あて名のお子さんを含む)。(SA)

「2人」が39.9%で最も高くなっています。次いで「1人」が29.4%、「3人」が21.7%が続いています。経済状況別にみると、経済状況が厳しいほどきょうだいの数が多くなる傾向がみられます。

(SA) n=756

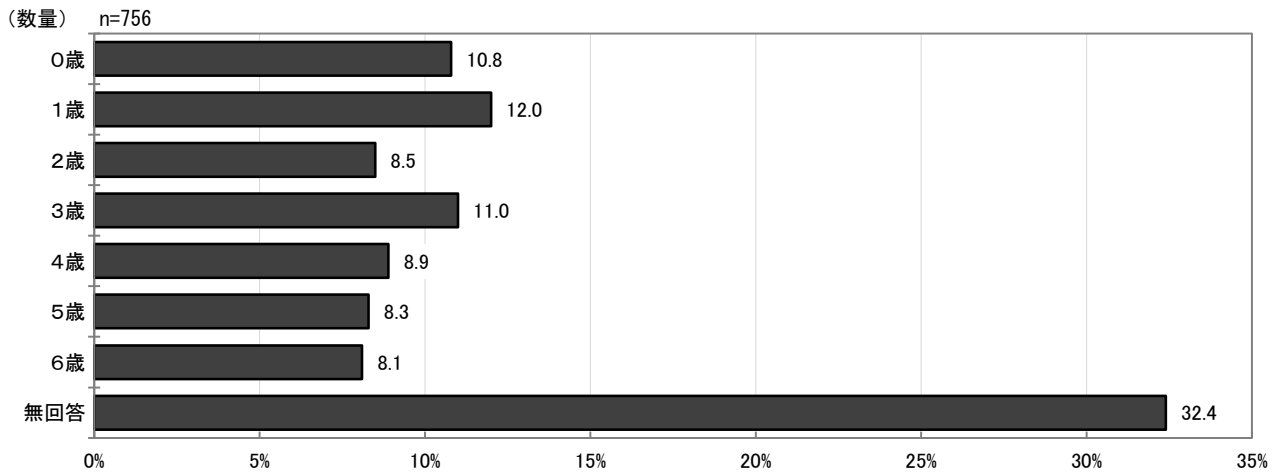


【経済状況】



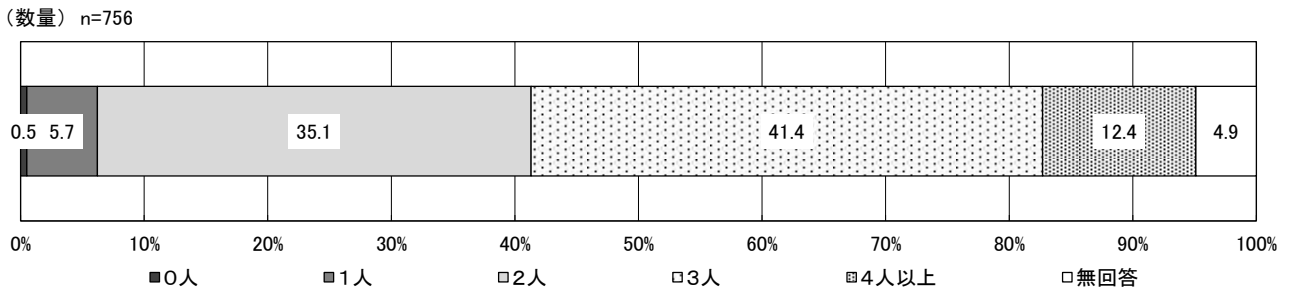
一番下のお子さんの年齢(実年齢)

「1歳」が12.0%で最も高くなっています。次いで「3歳」が11.0%、「0歳」が10.8%が続いています。

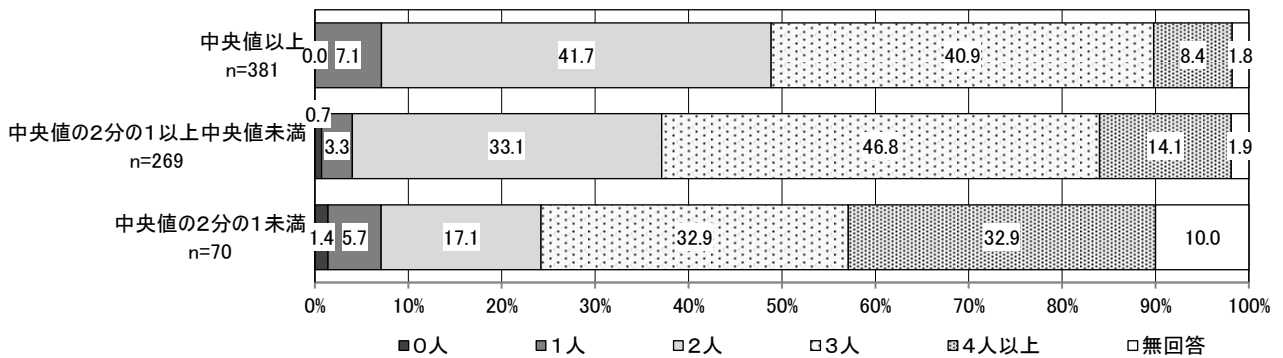


問4① あなたの家庭にとって、欲しい子どもの人数は何人ですか。(数量)

「3人」が41.4%で最も高くなっています。次いで「2人」が35.1%、「4人以上」が12.4%が続いています。経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど、欲しい子どもの人数が多くなる傾向がみられます。



【経済状況】

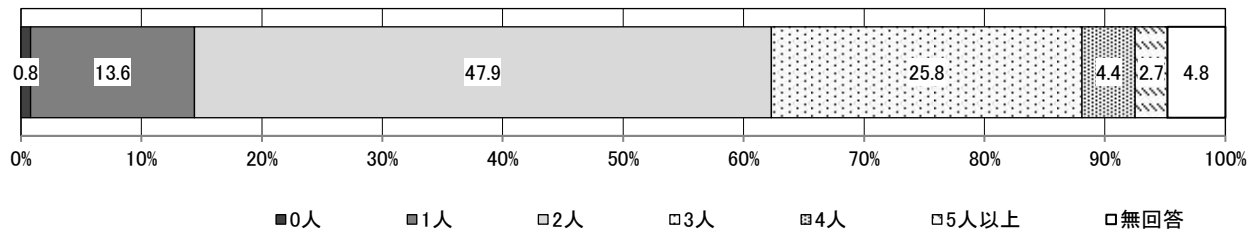


問4② あなたの家庭にとって、実際に子育てが可能な子どもの人数は何人ですか。(数量)

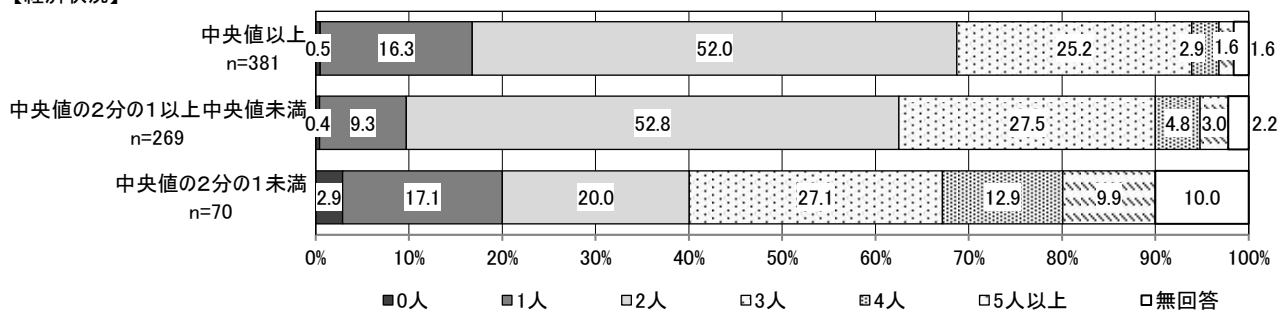
「2人」が47.9%で突出しています。「3人」が25.8%、「1人」が13.6%が続いています。

経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど、実際に子育てが可能な子どもの人数が多くなる傾向がみられます。

(数量) n=756



【経済状況】

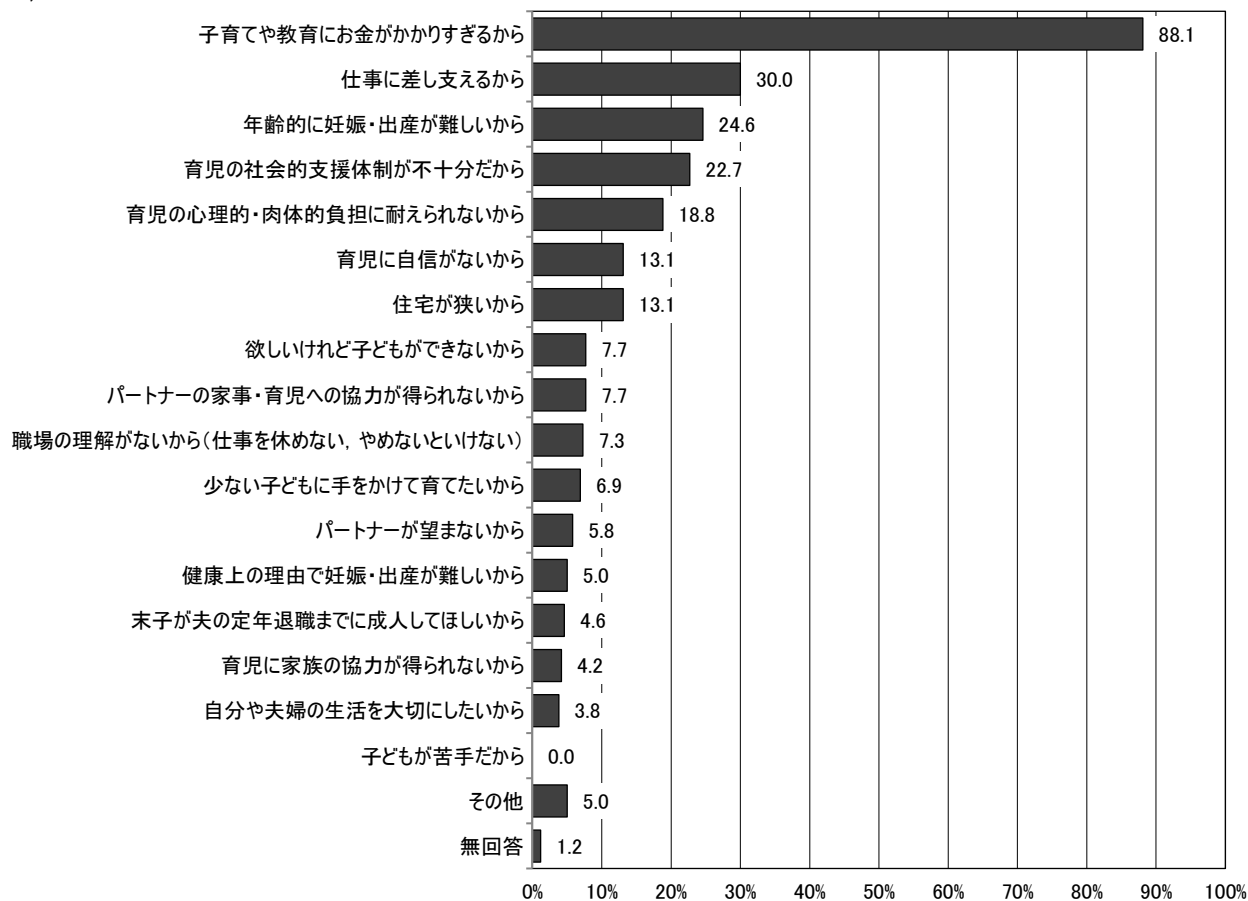


問4-1 「①欲しい子どもの人数」より、「②子育て可能な子どもの人数」が、少ないのはどのような理由からですか。(MA)

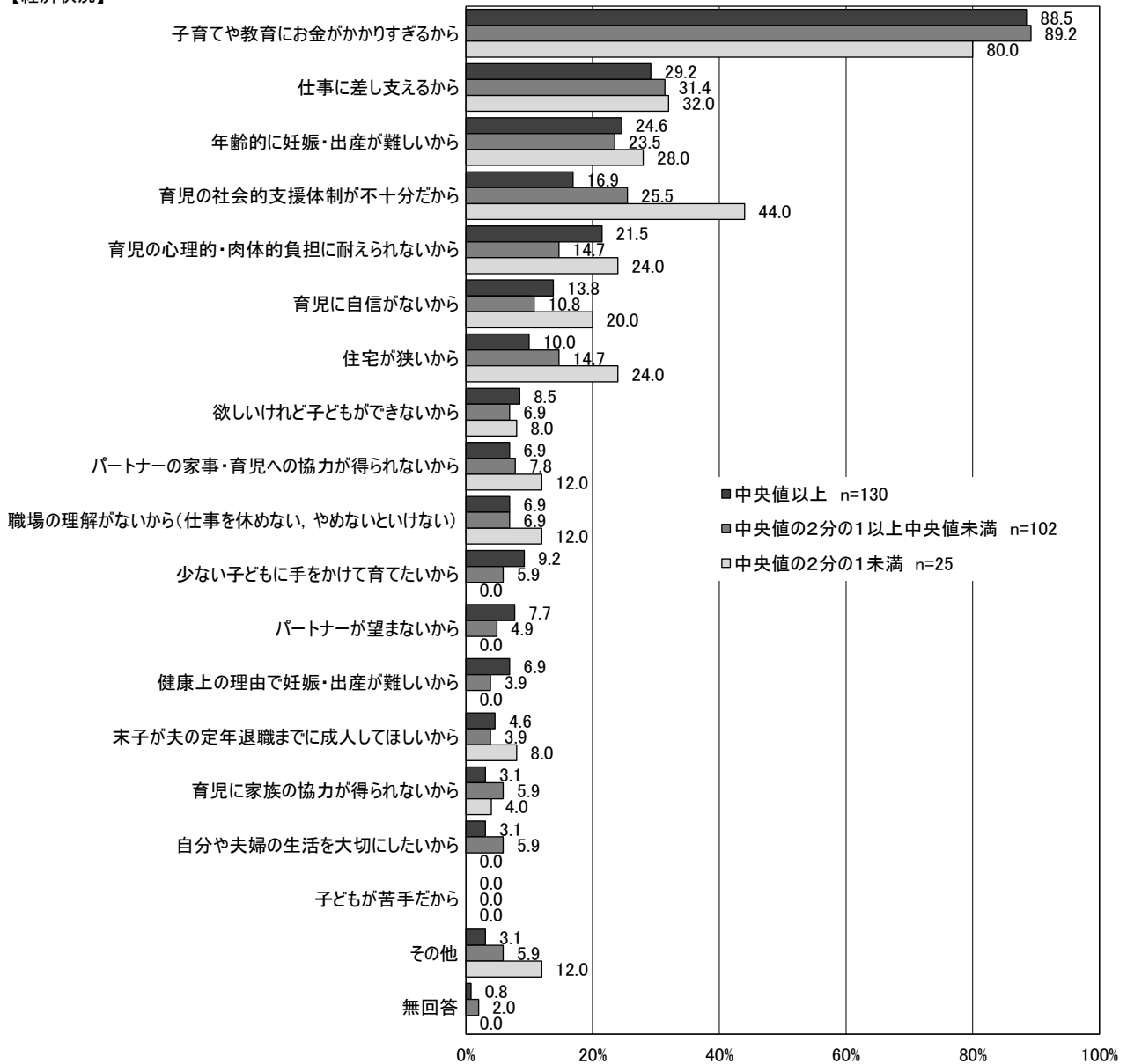
「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が88.1%で突出しています。「仕事に差し支えるから」が30.0%、「年齢的に妊娠・出産が難しいから」が24.6%が続いています。

経済状況別にみると、中央値の2分の1未満では、「育児の社会的支援体制が不十分だから」が比較的高くなっています。

(MA) n=260



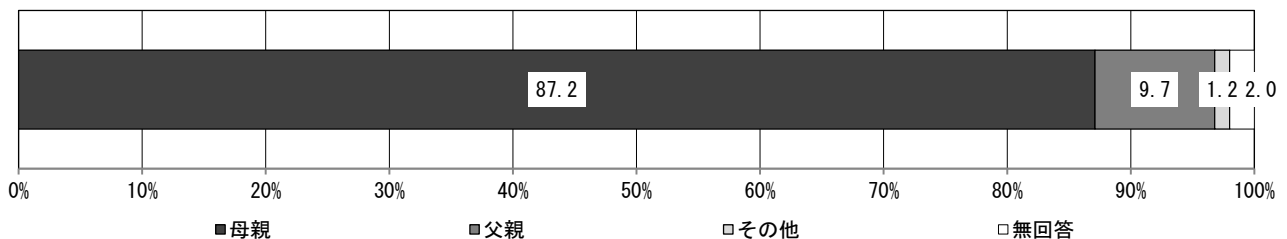
【経済状況】



問5 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で回答してください。(SA)

「母親」が 87.2%を占めています。

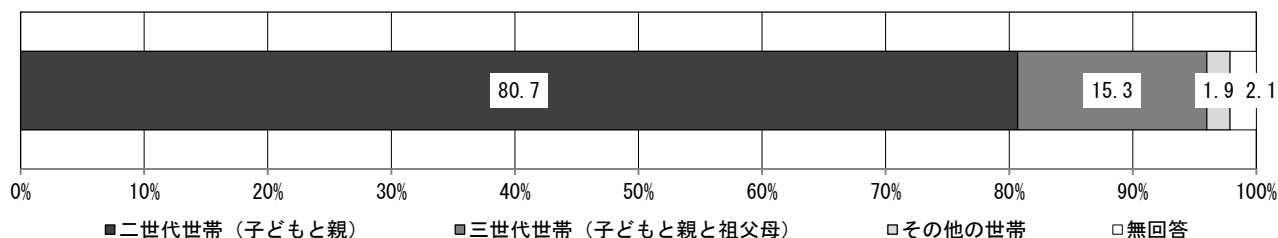
(SA) n=756



問6 家族構成をお答えください。(SA)

「二世世代世帯(子どもと親)」が 80.7%を占めています。

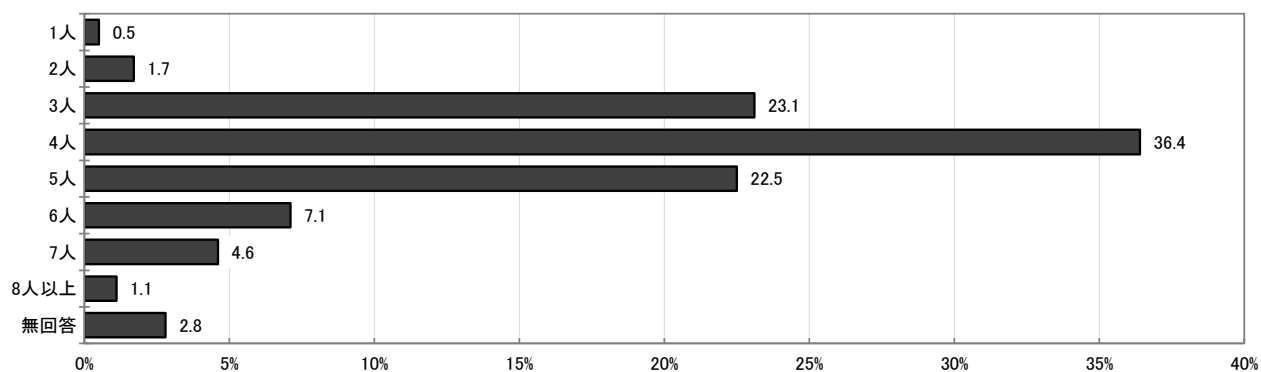
(SA) n=756



問7 世帯の人数(単身赴任などの一時的な別居人数を含む)をお答えください。(何)人(数量)

「4人」が 36.4%で最も高くなっています。次いで「3人」が 23.1%、「5人」が 22.5%が続いています。

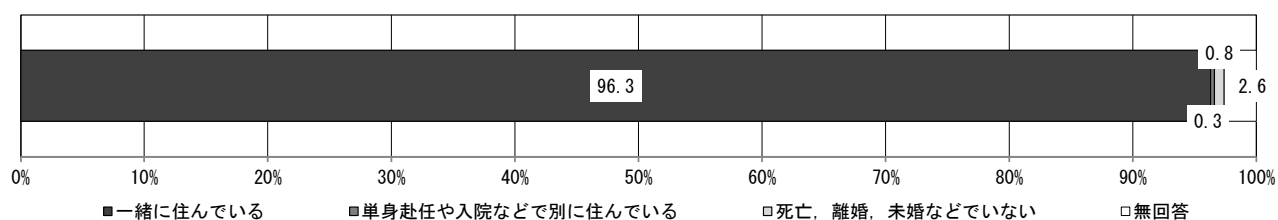
(数量) n=756



問8A お子さんの母親の状況について、お答えください。(SA)

「一緒に住んでいる」が 96.3%を占めています。

(SA) n=756



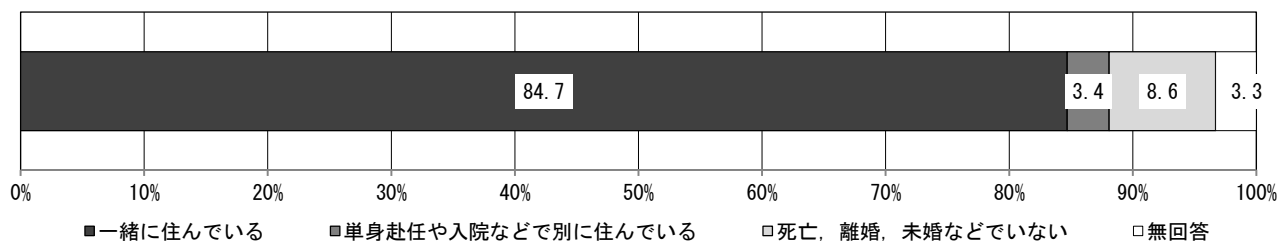
問8B お子さんの父親の状況について、お答えください。(SA)

「一緒に住んでいる」が84.7%を占めています。

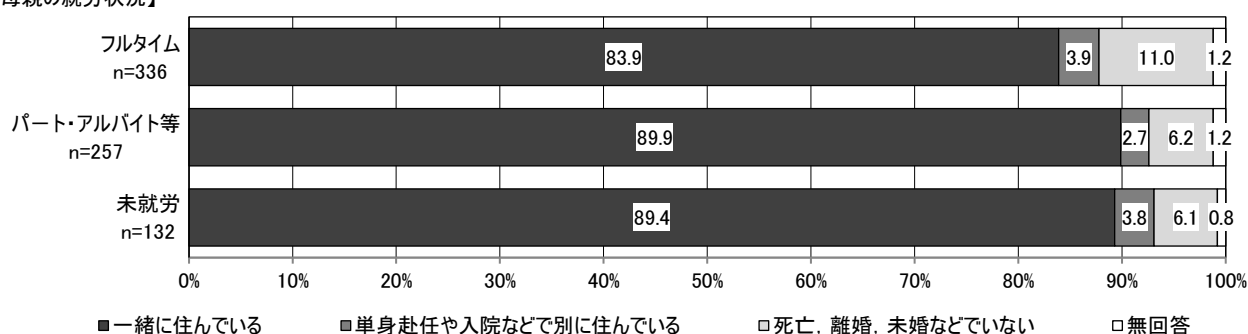
母親の就労状況別にみると、フルタイムで「死亡、離婚、未婚などでいない」が比較的高くなっています。

経済状況別にみると、中央値の2分の1未満で「死亡、離婚、未婚などでいない」が比較的高くなっています。

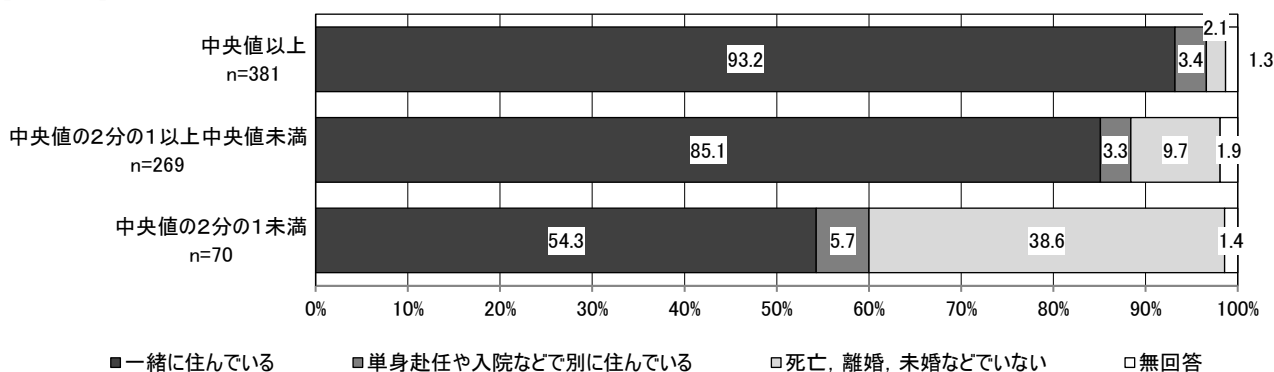
(SA) n=756



【母親の就労状況】



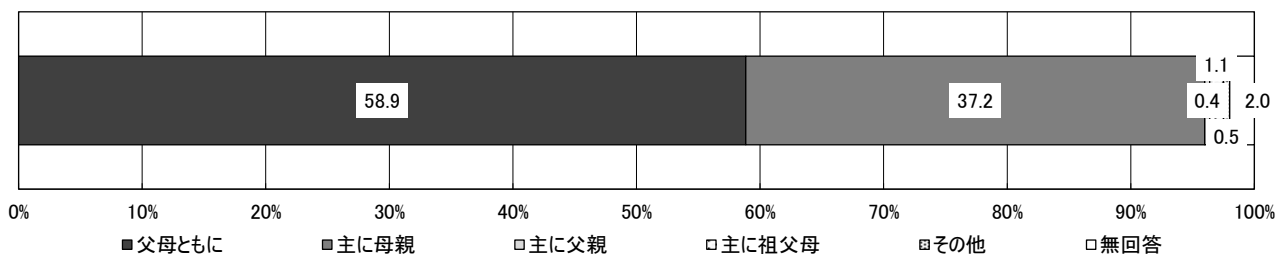
【経済状況】



問9 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(SA)

「父母ともに」が 58.9%で最も高くなっています。次いで「主に母親」が 37.2%、「主に祖父母」が 1.1%が続いています。

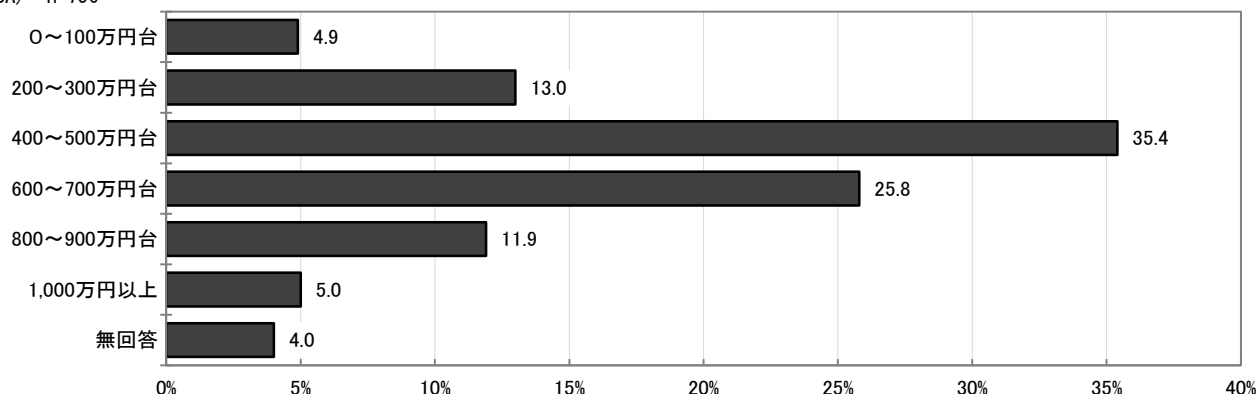
(SA) n=756



問10 あなたの世帯全員の合計年収はいくらですか。(SA)

「400～500 万円台」が 35.4%で最も高くなっています。次いで「600～700 万円台」が 25.8%、「200～300 万円台」が 13.0%が続いています。

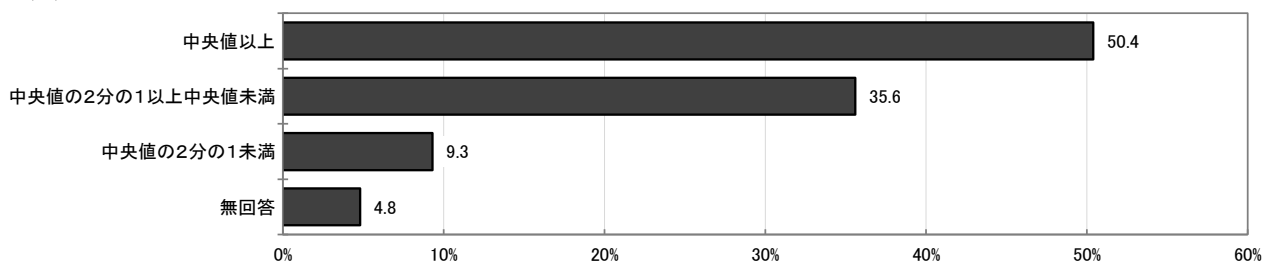
(SA) n=756



経済状況 (SA)

「中央値以上」が 50.4%で最も高くなっています。次いで「中央値の2分の1以上中央値未満」が 35.6%が続いています。

(SA) n=756



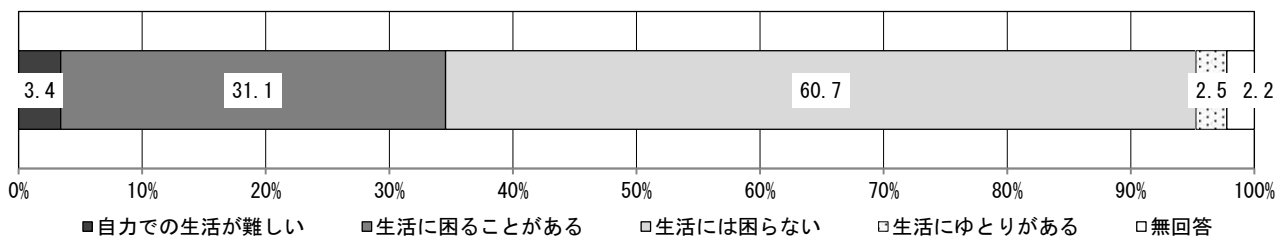
問11 あなたの世帯は現在、経済的にどんな状況ですか。(SA)

「生活には困らない」が60.7%を占めています。

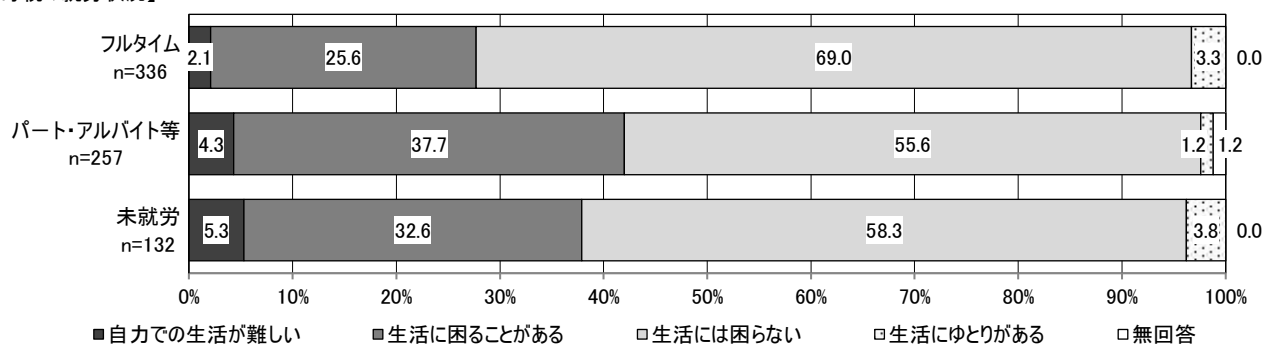
母親の就労状況別にみると、未就労で「自力での生活が難しい」が比較的高くなっています。

経済状況別にみると、実際の経済状況が厳しいほど、感覚的な経済状況も厳しいと感じています。

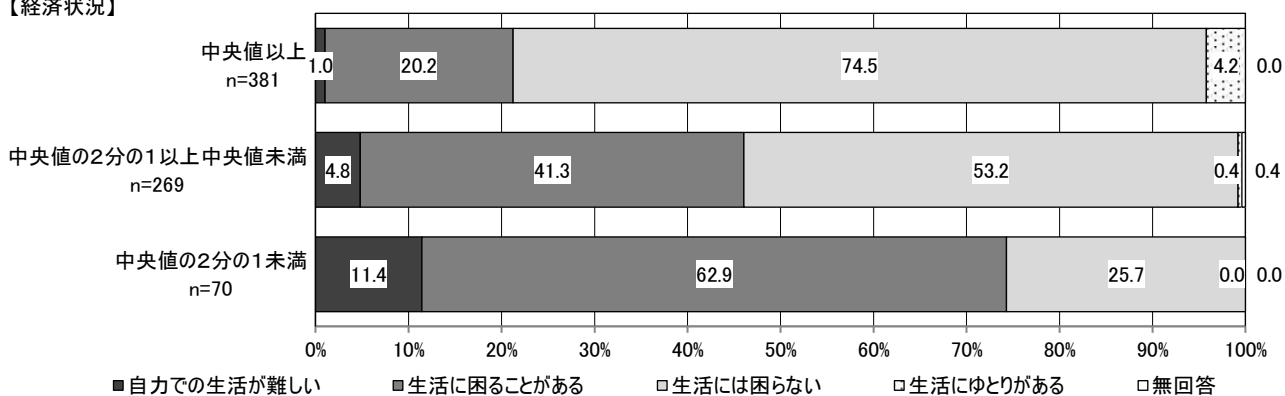
(SA) n=756



【母親の就労状況】



【経済状況】



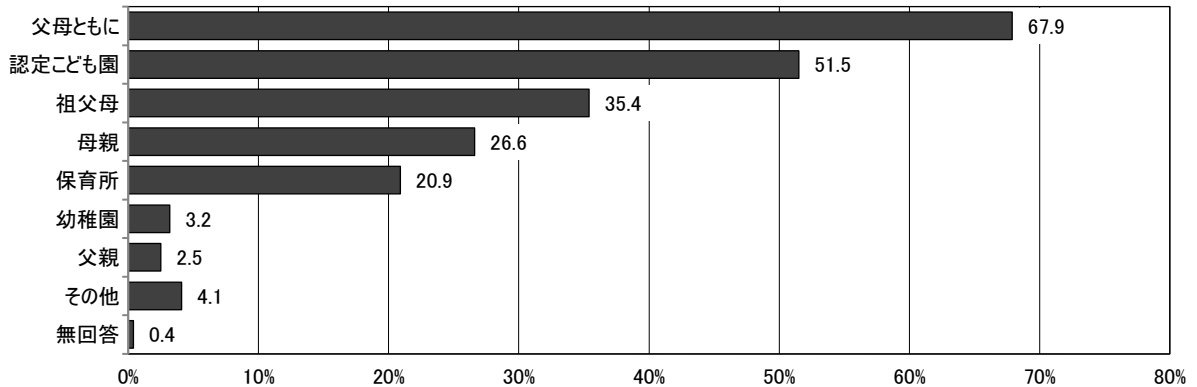
お子さんの育ちをめぐる環境について

問12 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(MA)

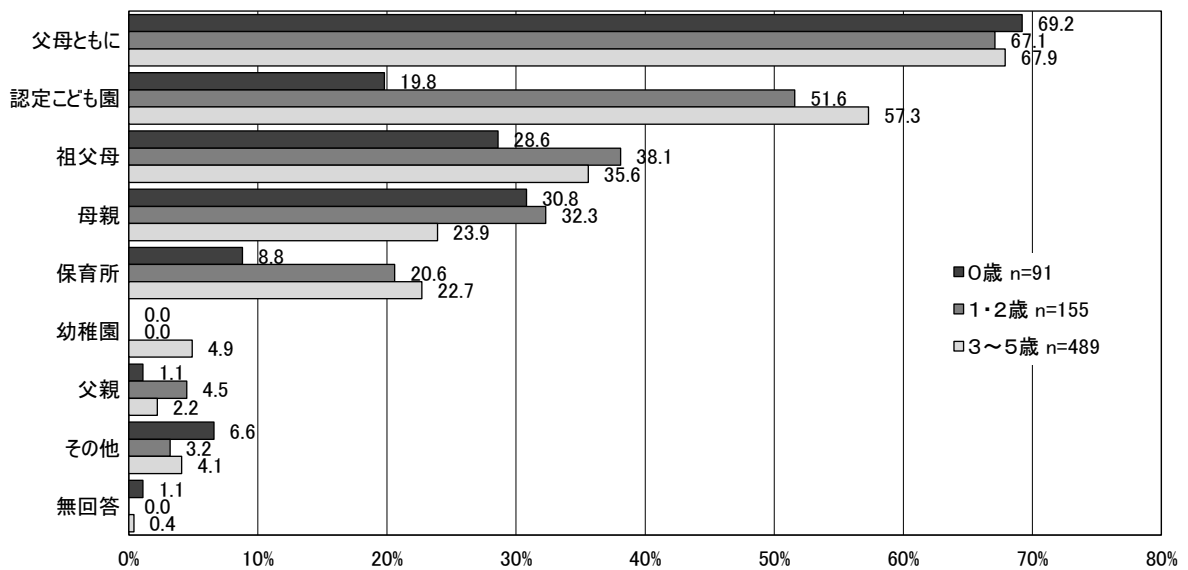
「父母ともに」が 67.9%で最も高くなっています。次いで「認定こども園」が 51.5%,「祖父母」が 35.4%が続いています。

年齢別にみると、1歳以上で「認定こども園」「保育所」が比較的高くなっています。

(MA) n=756



【年齢】

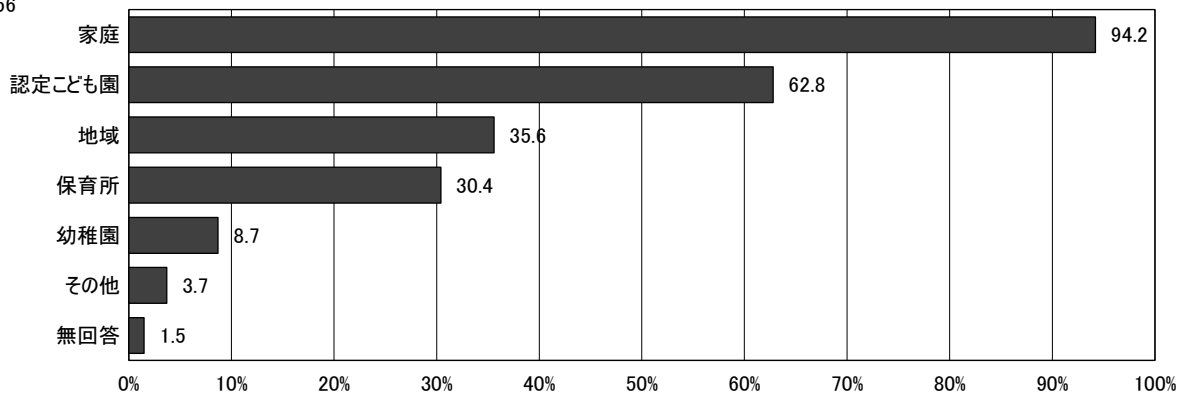


問13 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。
(MA)

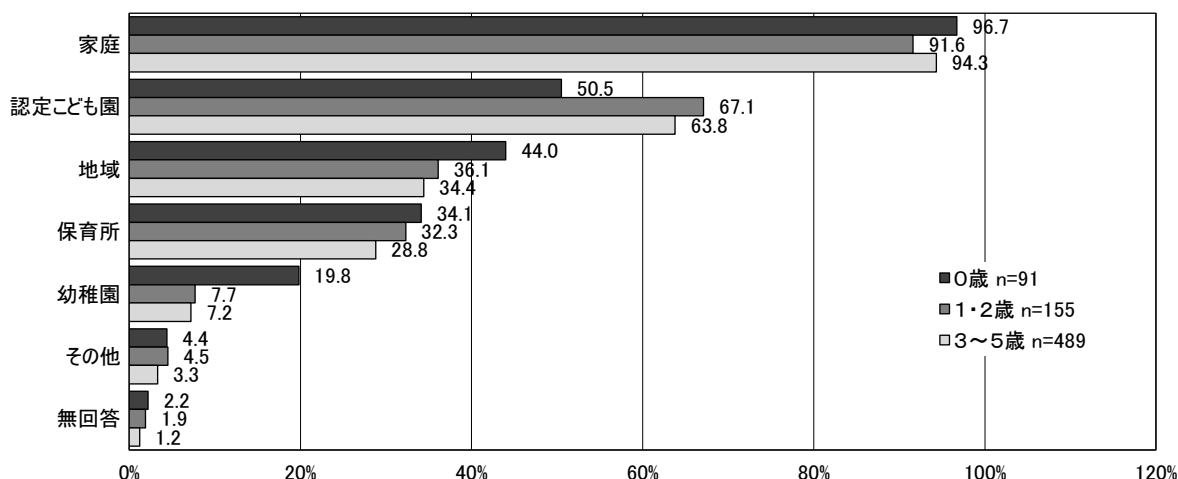
「家庭」が 94.2%で最も高くなっています。次いで「認定こども園」が 62.8%、「地域」が 35.6%が続いています。

年齢別にみると、0歳では「幼稚園」「地域」が比較的高くなっています。

(MA) n=756



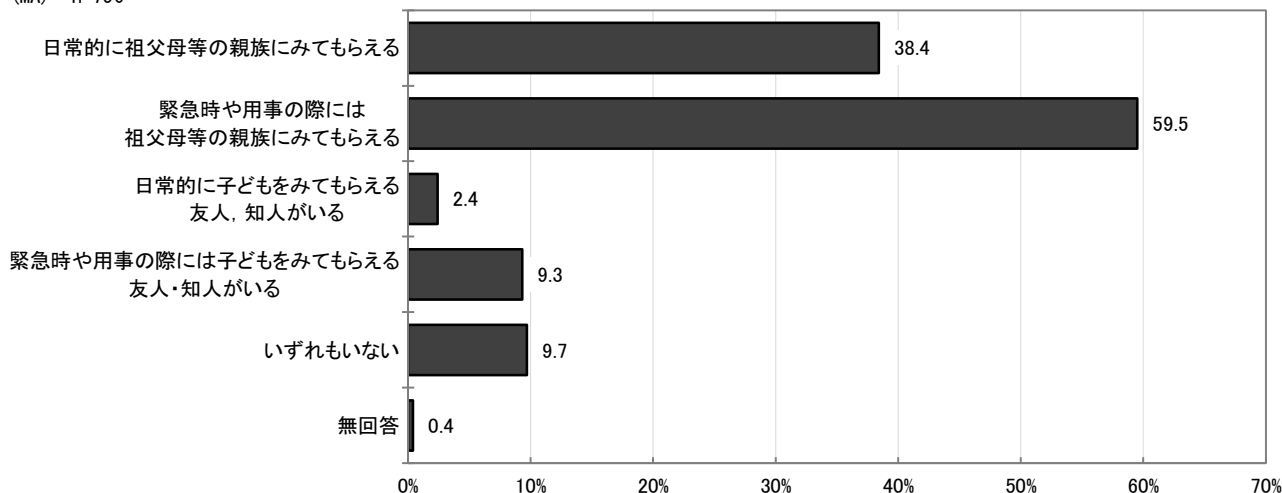
【年齢】



問14 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(MA)

「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.5%で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が38.4%、「いずれもない」が9.7%が続いています。

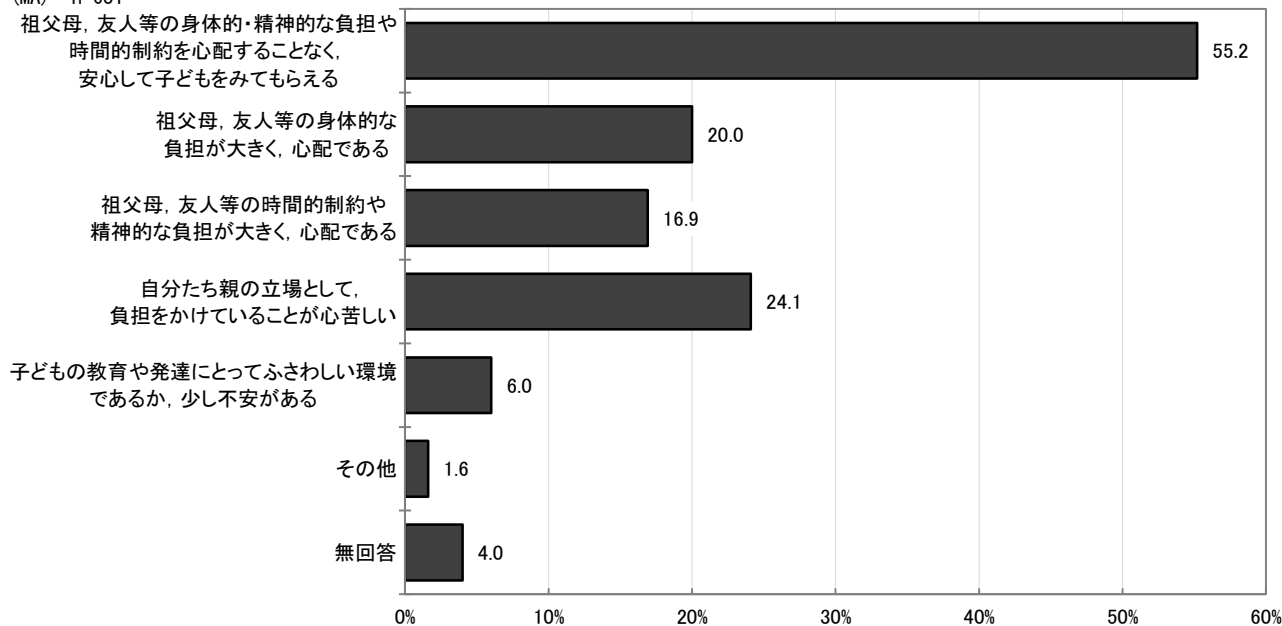
(MA) n=756



問14-1 祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

「祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.2%で突出しています。「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.1%、「祖父母、友人等の身体的な負担が大きく、心配である」が20.0%が続いています。

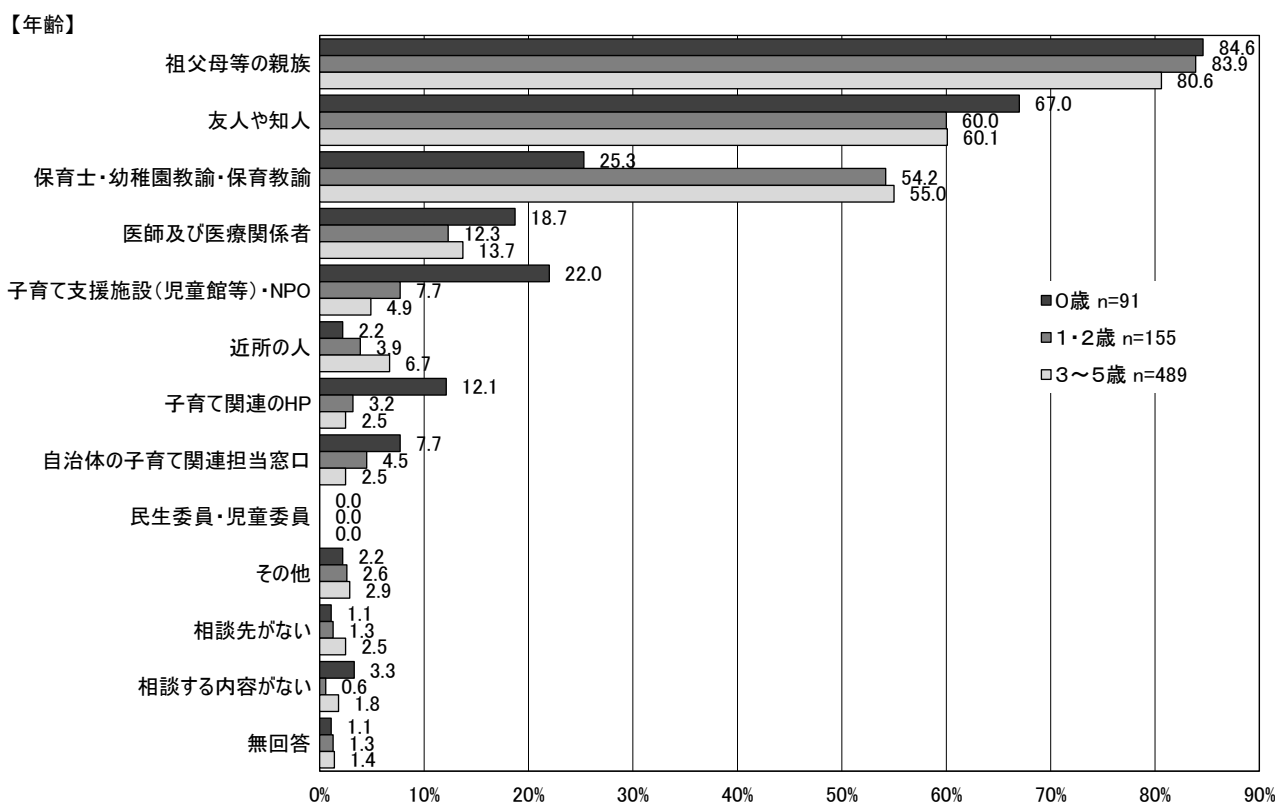
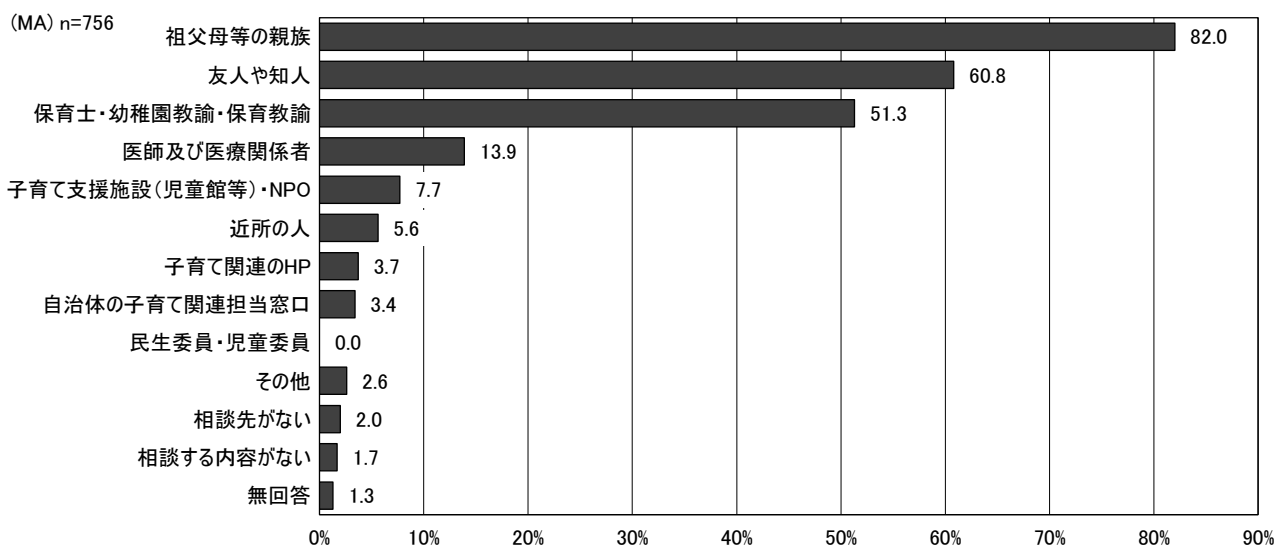
(MA) n=681



問15 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(MA)

「祖父母等の親族」が82.0%で最も高くなっています。次いで「友人や知人」が60.8%、「保育士・幼稚園教諭・保育教諭」が51.3%で続いています。

年齢別にみると、0歳では「子育て支援施設(児童館等)・NPO」「子育て関連のHP」が比較的高くなっています。



母親の就労状況について

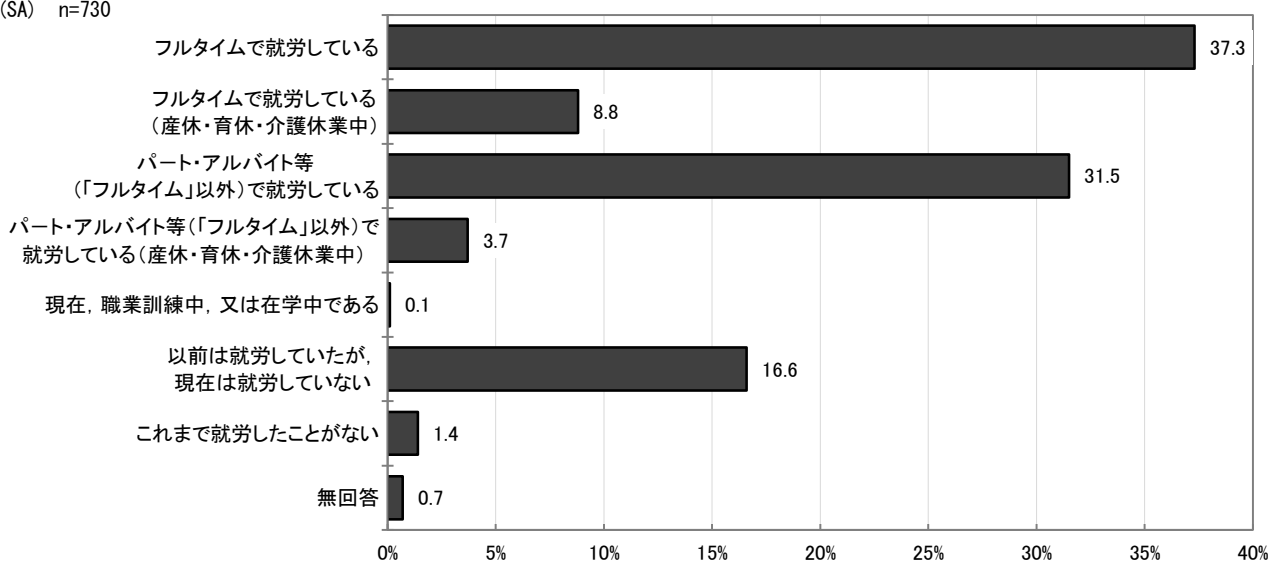
問16 母親の就労状況を回答してください。(SA)

「フルタイムで就労している」が 37.3%で最も高くなっています。次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している」が 31.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 16.6%が続いています。

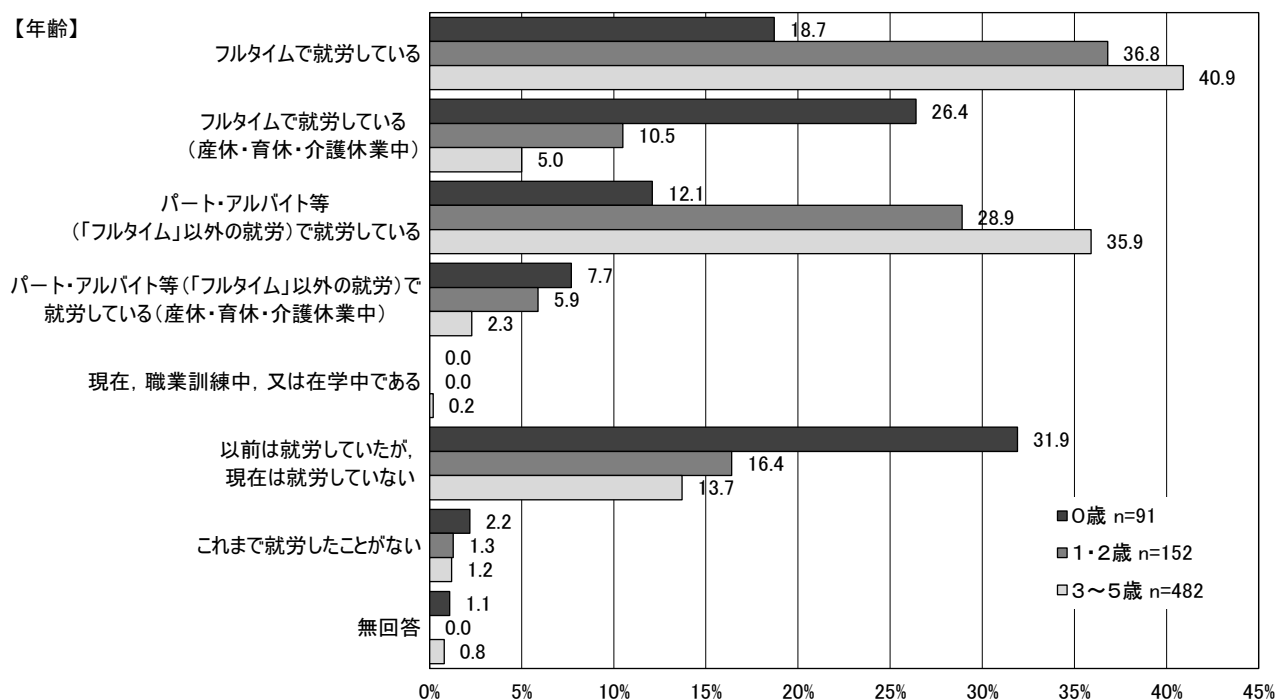
年齢別にみると、0歳では「フルタイムで就労している(産休・育休・介護休業中)」「以前は就労していたが、現在は就労していない」が比較的高くなっています。

経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど「フルタイムで就労している」が低く、「パート・アルバイト等で就労している」「以前は就労していたが、現在は就労していない」が高くなる傾向がみられます。

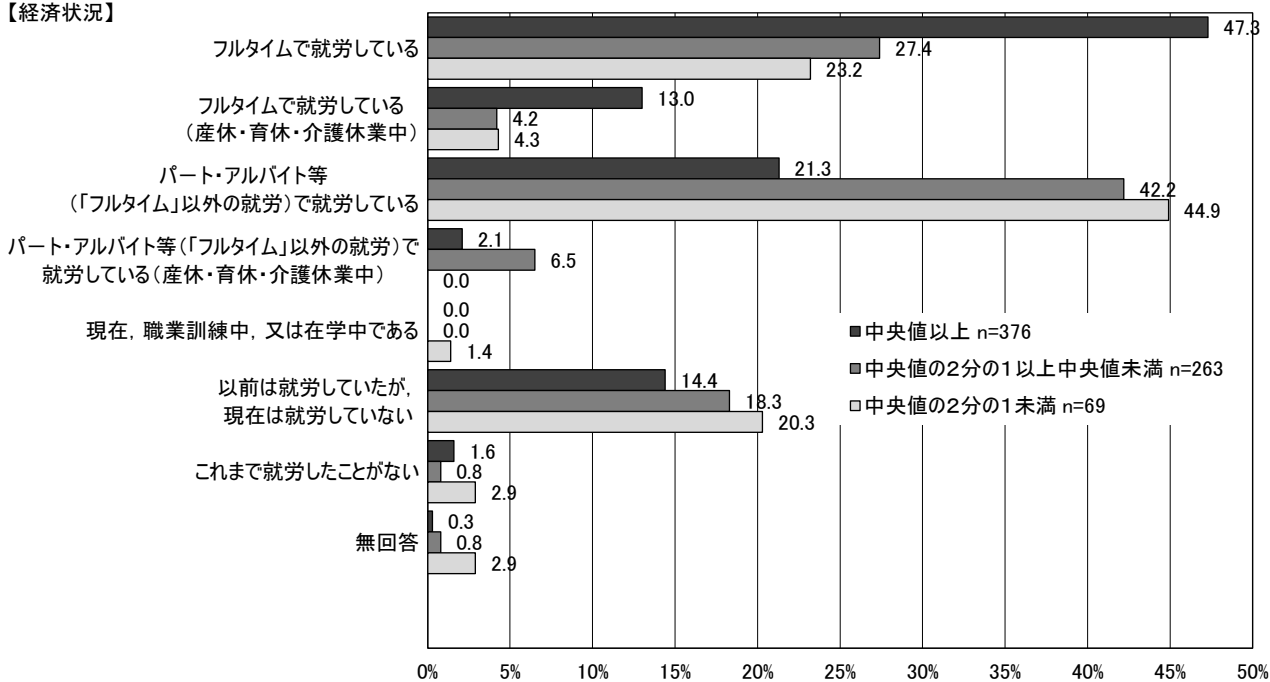
(SA) n=730



【年齢】



【経済状況】

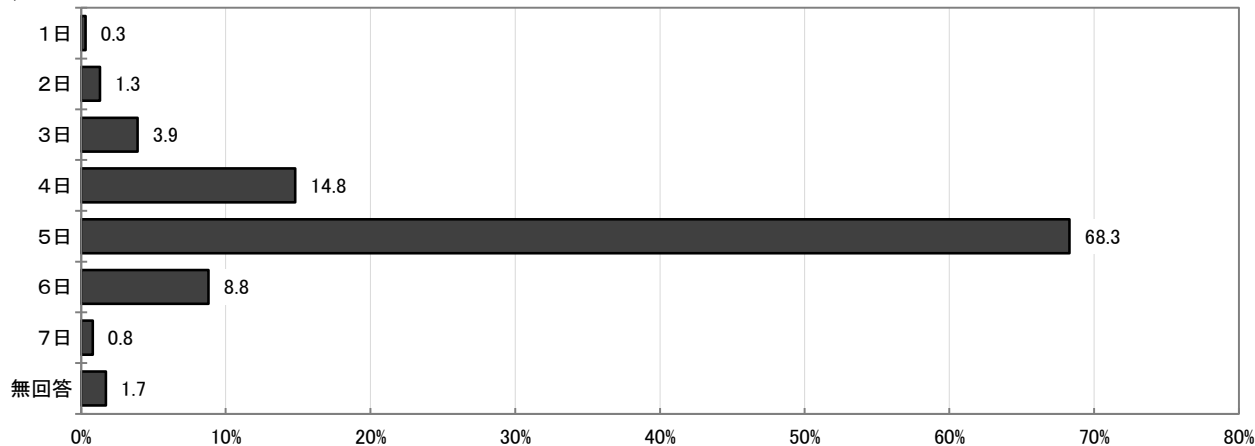


問16-1A① 母親の1週当たりの「就労日数」をお答えください。1週当たり(何)日(SA)

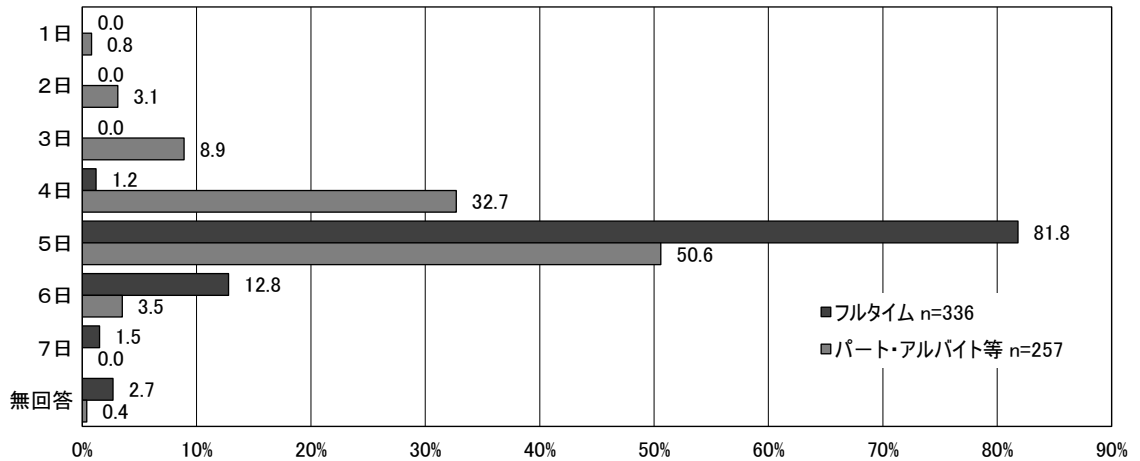
「5日」が68.3%で突出しています。「4日」が14.8%、「6日」が8.8%が続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「5日」に次いで「6日」が高く、パート・アルバイト等では「5日」に次いで「4日」が高くなっています。

(SA) n=593



【母親の就労状況】

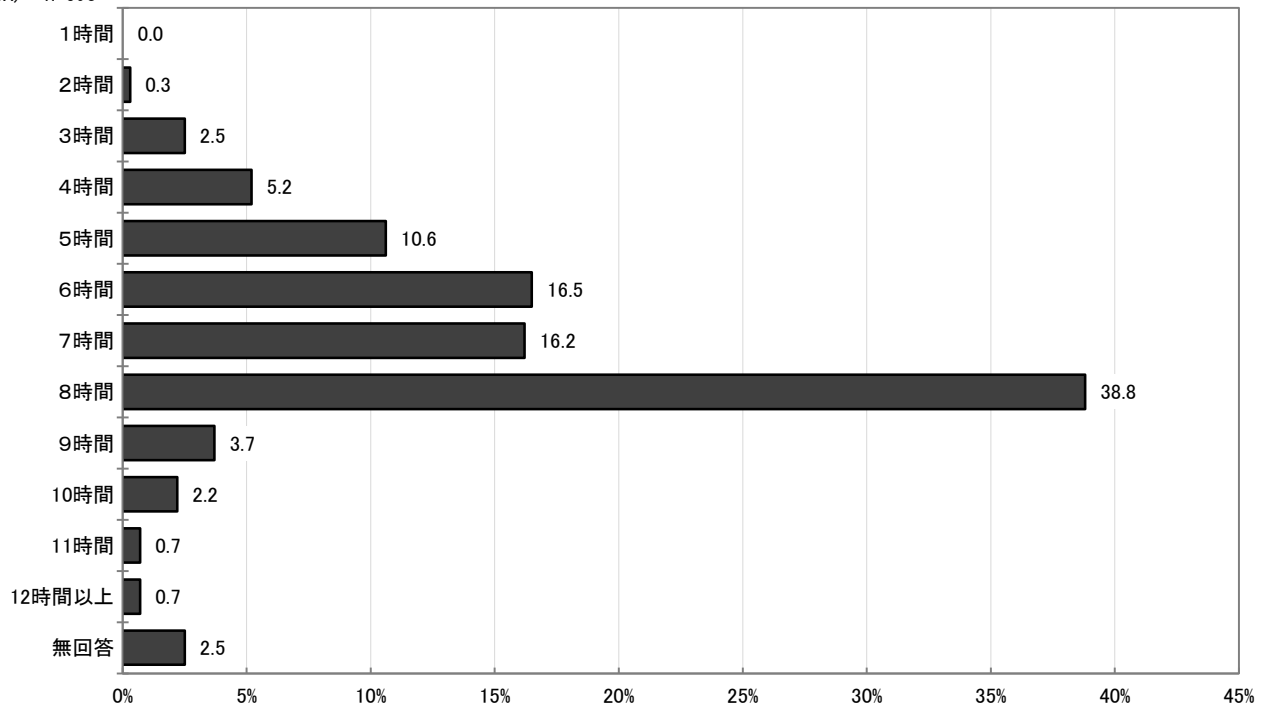


問16-1A② 母親の1日当たりの「就労時間」をお答えください。(数量)

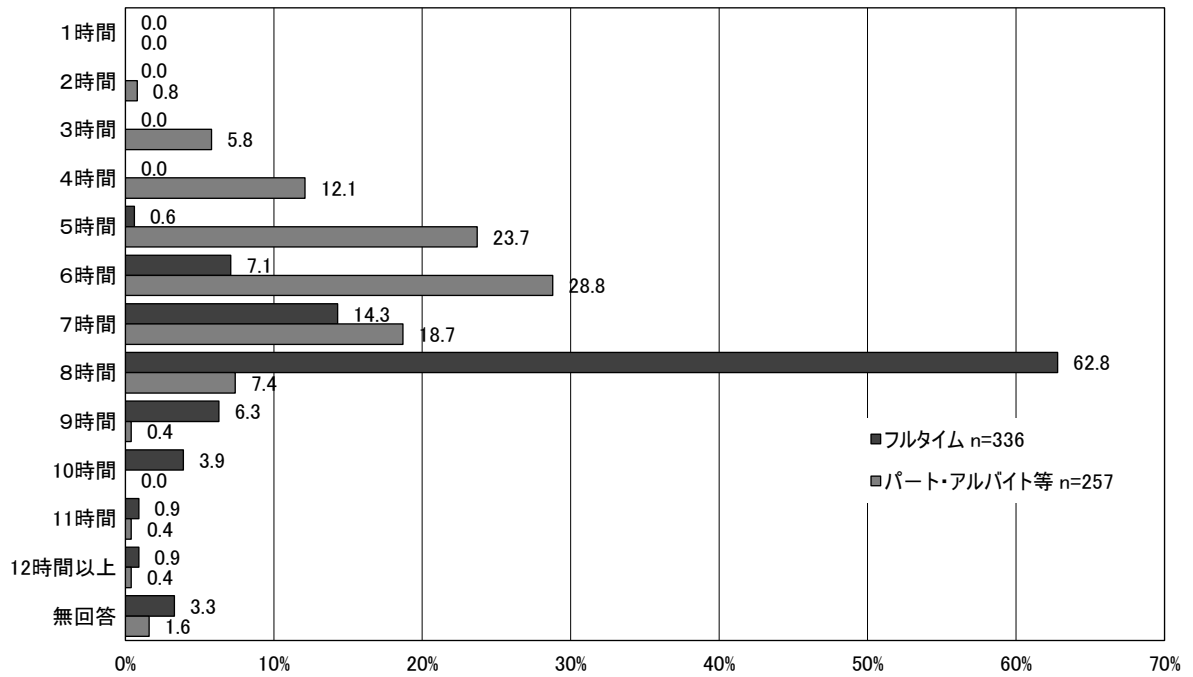
「8時間」が38.8%で突出しています。「6時間」が16.5%、「7時間」が16.2%が続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「8時間」が突出しています。パート・アルバイト等では「6時間」が最も高くなっています。

(SA) n=593



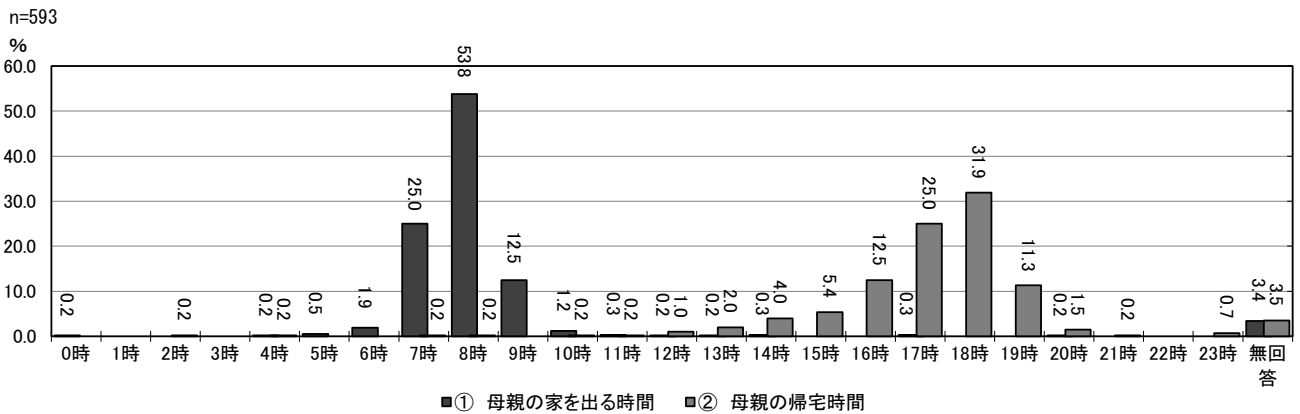
【母親の就労状況】



問16-1B① 母親の家を出る時間をお答えください。(数量)

問16-1B② 母親の帰宅時間をお答えください。(数量)

家を出る時間は、「8時」が53.8%で突出しています。「7時」が25.0%、「9時」が12.5%が続いています。帰宅時間は、「18時」が31.9%で最も高くなっています。次いで「17時」が25.0%、「16時」が12.5%が続いています。

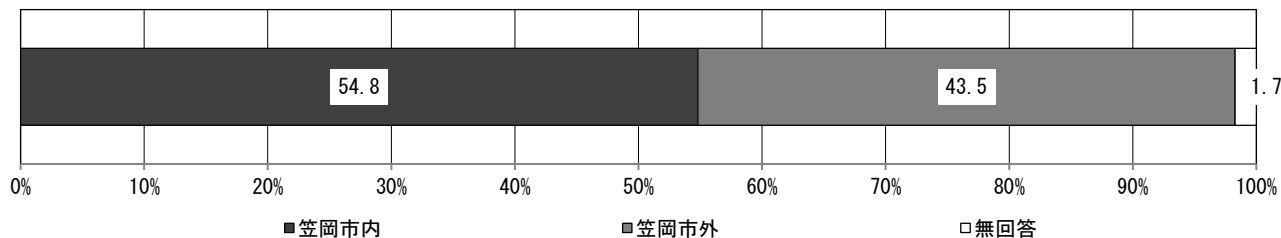


問16-1C 母親の就労場所をお答えください。(SA)

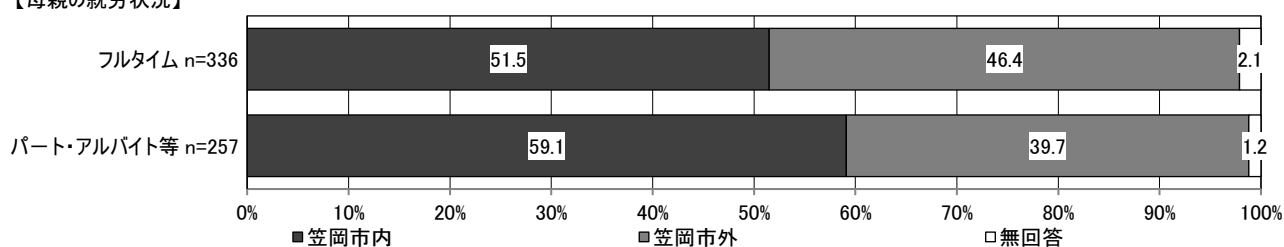
「笠岡市内」が 54.8% を占めています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「笠岡市外」が比較的高くなっています。

(SA) n=593



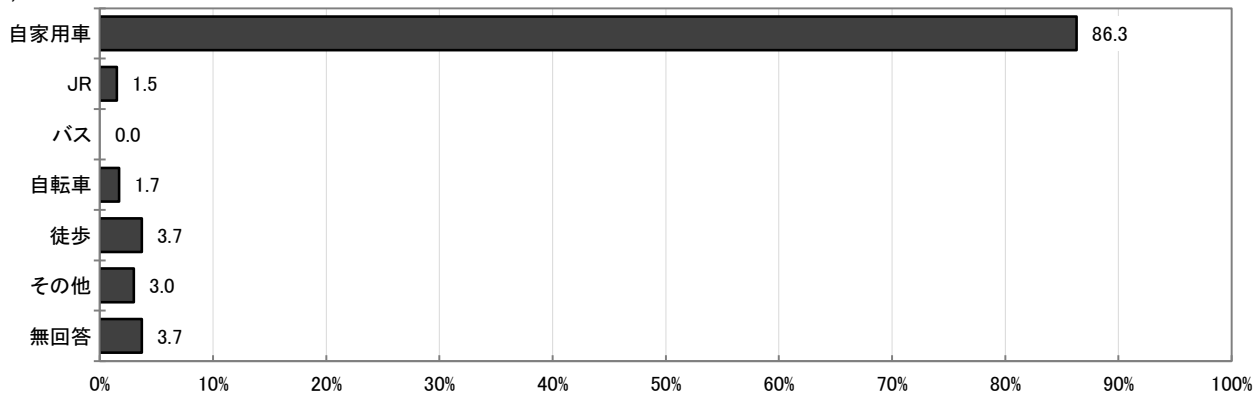
【母親の就労状況】



問16-1D 母親の通勤手段をお答えください。(SA)

「自家用車」が 86.3% で突出しています。「徒歩」が 3.7%、「その他」が 3.0% で続いています。

(SA) n=593

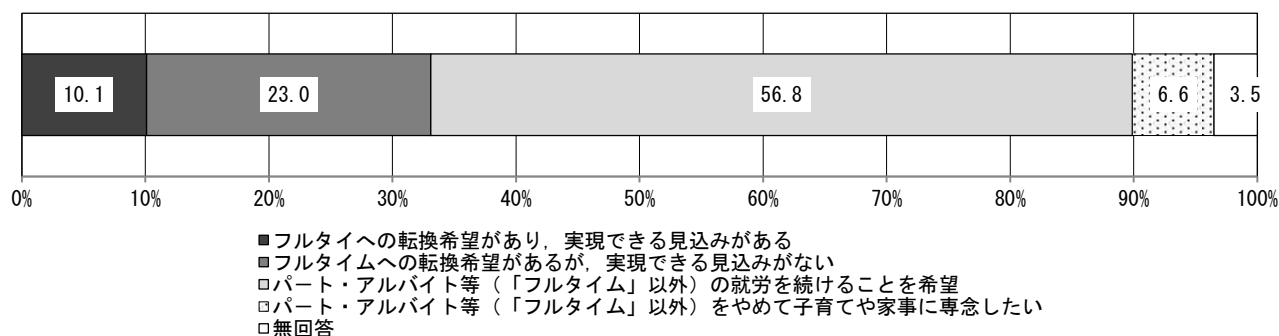


問16-2 母親はフルタイムへの転換希望はありますか。(SA)

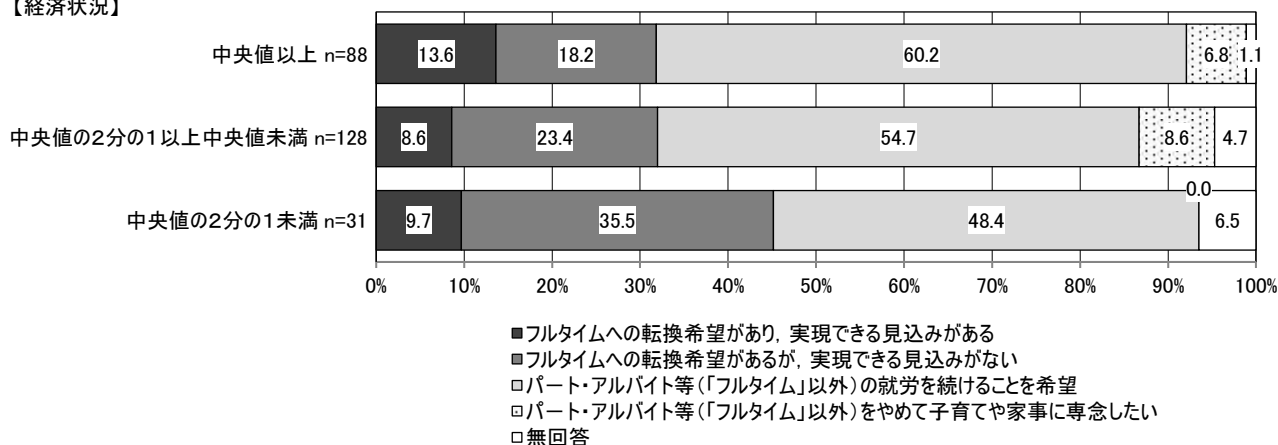
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 56.8%を占めています。

経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど、「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」が高くなる傾向がみられます。

(SA) n=257



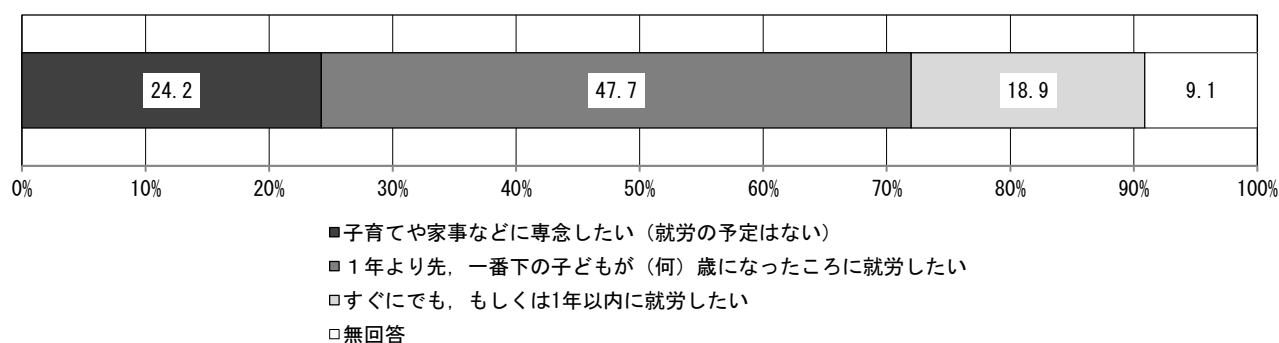
【経済状況】



問16-3 母親は就労したいという希望はありますか。(SA)

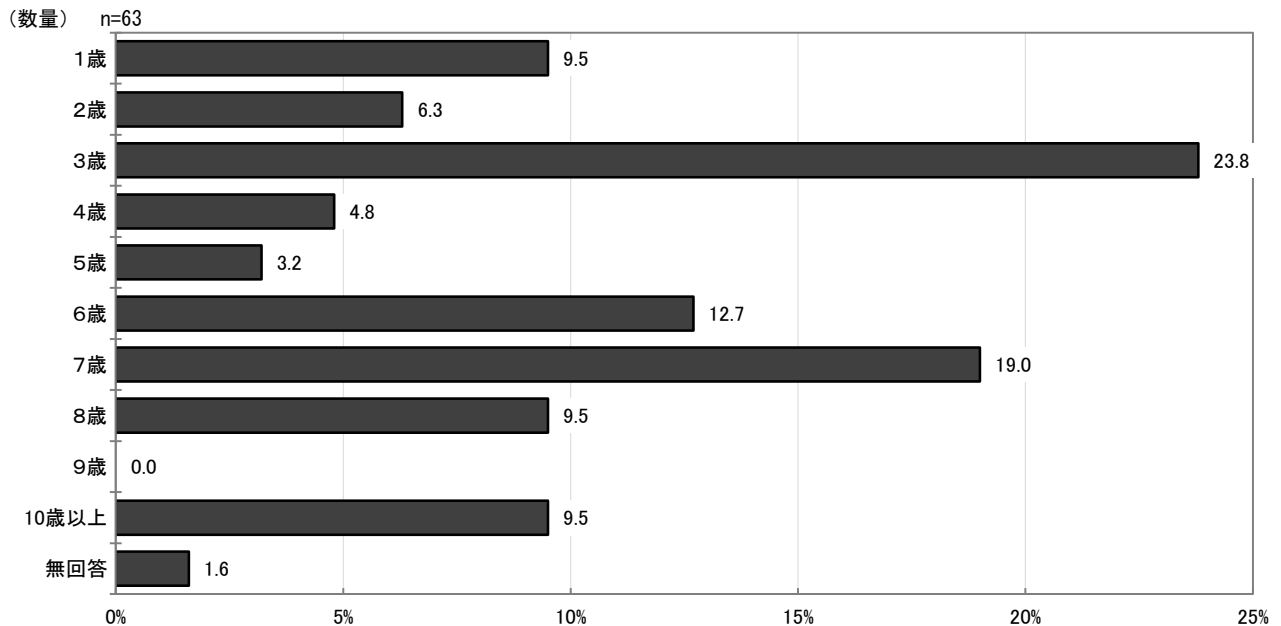
「1年より先、一番下の子どもが(何)歳になったところに就労したい」が 47.7%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 24.2%となっています。

(SA) n=132



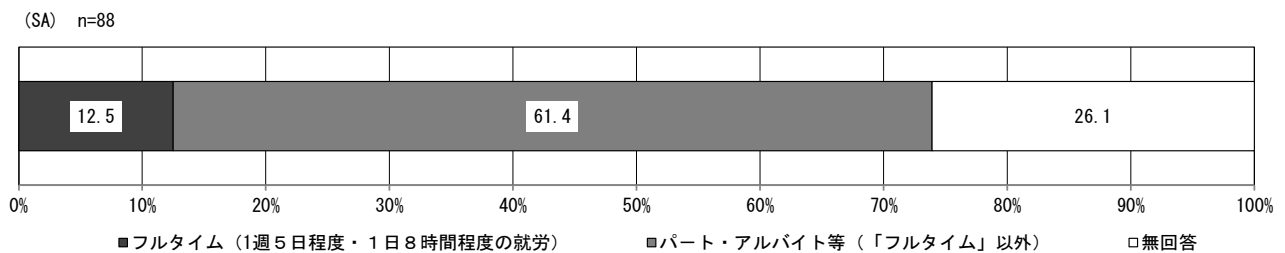
問16-3 2 「1年より先、一番下の子どもが(何)歳になったところに就労したい」は何歳ですか。
(数量)

「3歳」が23.8%で最も高くなっています。次いで「7歳」が19.0%、「6歳」が12.7%が続いています。



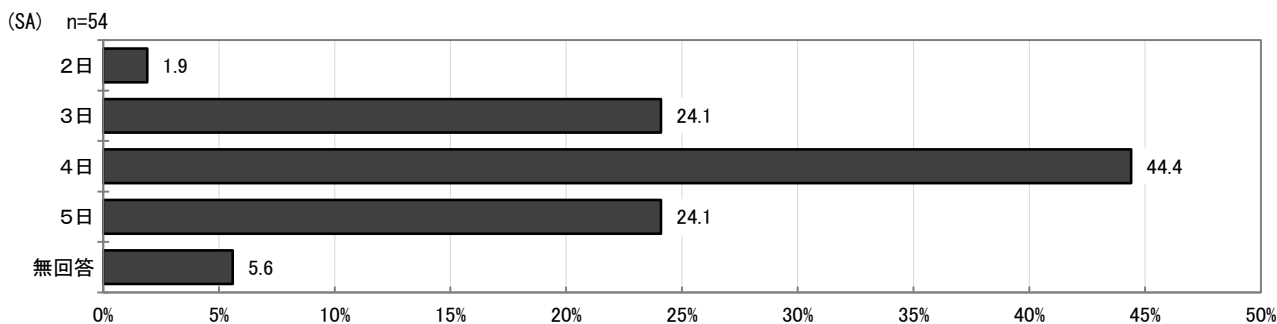
問16-4 希望する就労形態を回答してください。(SA)

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)」が61.4%を占めています。



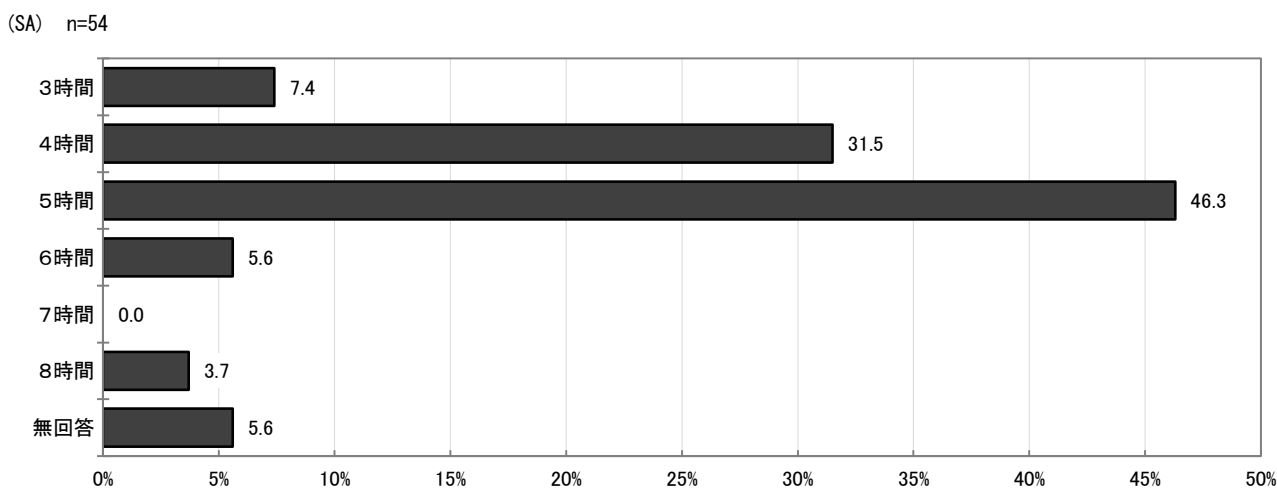
問16-4 2A パート・アルバイト等の就業希望は1週当たり(何)日ですか。(SA)

「4日」が44.4%で突出しています。「3日」が24.1%、「5日」が24.1%が続いています。



問16-4 2B 1 パート・アルバイト等の就業希望は1日当たり(何)時間ですか。(SA)

「5時間」が46.3%で最も高くなっています。次いで「4時間」が31.5%、「3時間」が7.4%が続いています。

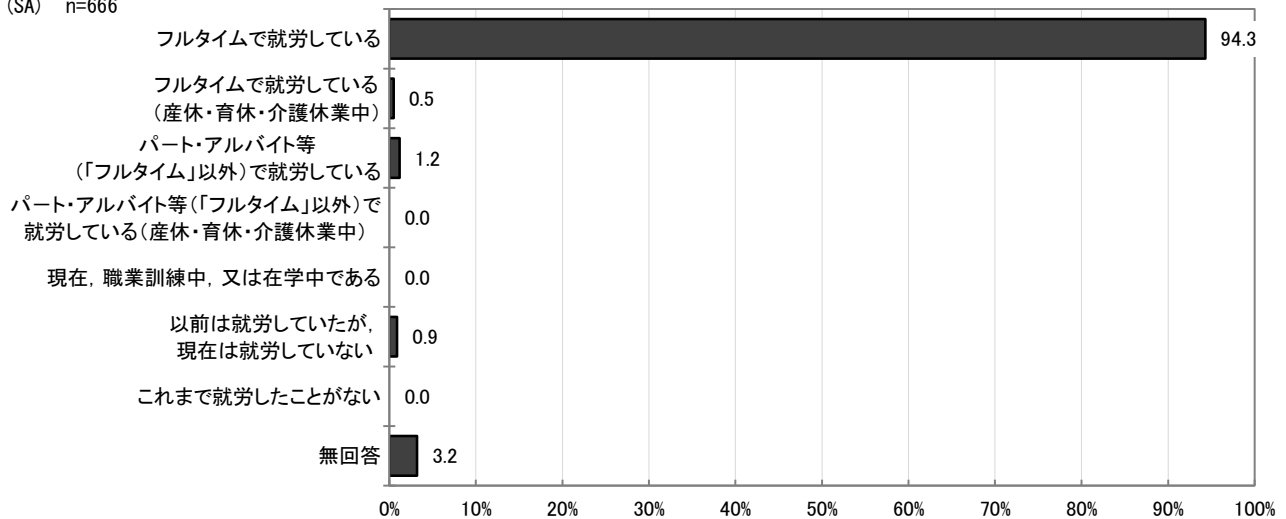


父親の就労状況について

問17 父親の就労状況を回答してください。(SA)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している」が 94.3%で突出しています。「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している」が 1.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 0.9%で続いています。

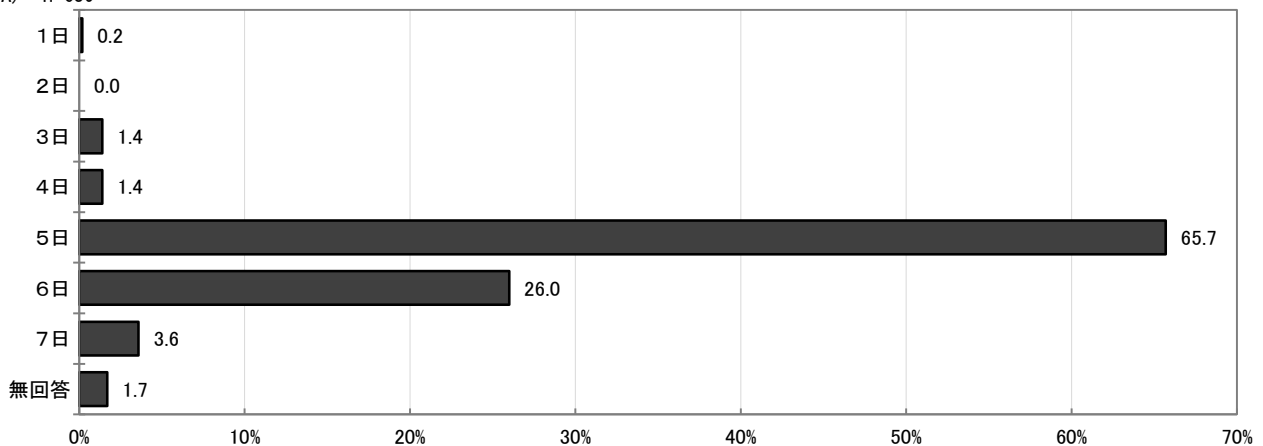
(SA) n=666



問17-1A① 父親の1週当たりの「就労日数」をお答えください。1週当たり(何)日(SA)

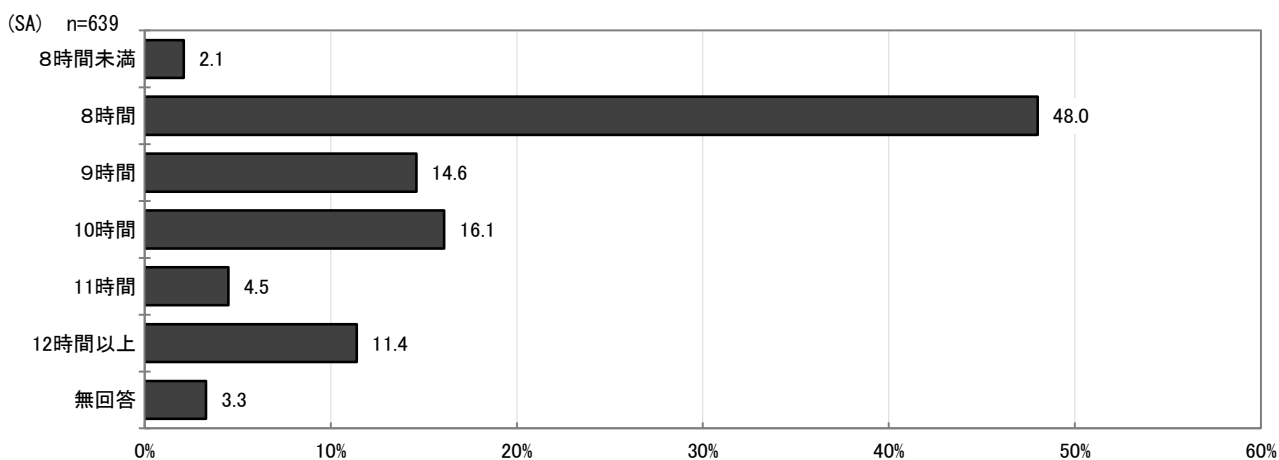
「5日」が 65.7%で突出しています。「6日」が 26.0%、「7日」が 3.6%で続いています。

(SA) n=639



問17-1A② 父親の1日当たりの「就労時間」をお答えください。(SA)

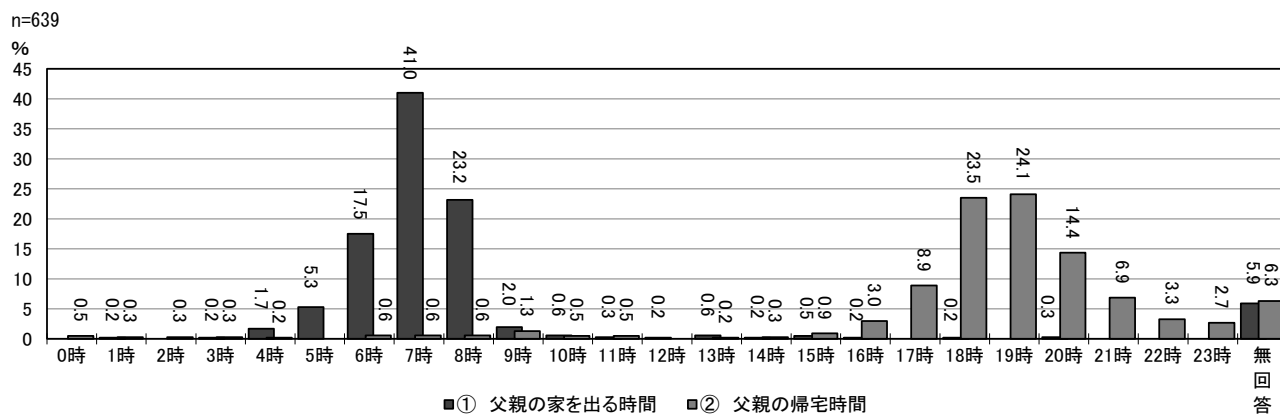
「8時間」が48.0%で突出しています。「10時間」が16.1%、「9時間」が14.6%が続いています。



問17-1B① 父親の家を出る時間をお答えください。(数量)

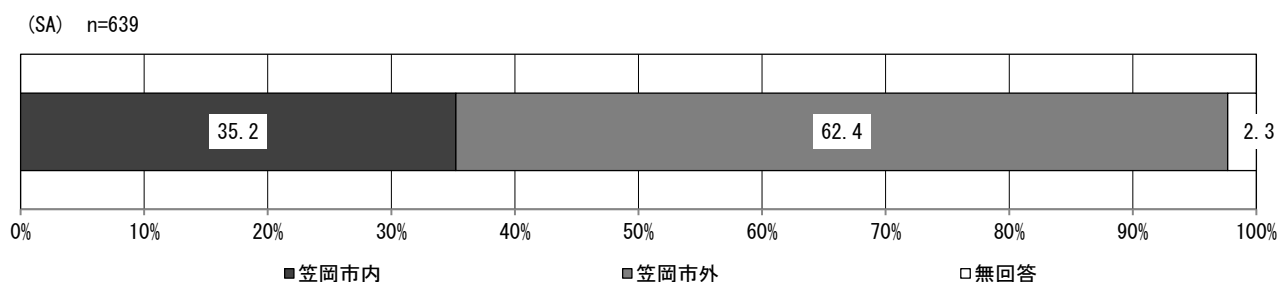
問17-1B② 父親の帰宅時間をお答えください。(数量)

家を出る時間は、「7時」が41.0%で突出しています。「8時」が23.2%、「6時」が17.5%が続いています。
 帰宅時間は、「19時」が24.1%で最も高くなっています。次いで「18時」が23.5%、「20時」が14.4%が続いています。



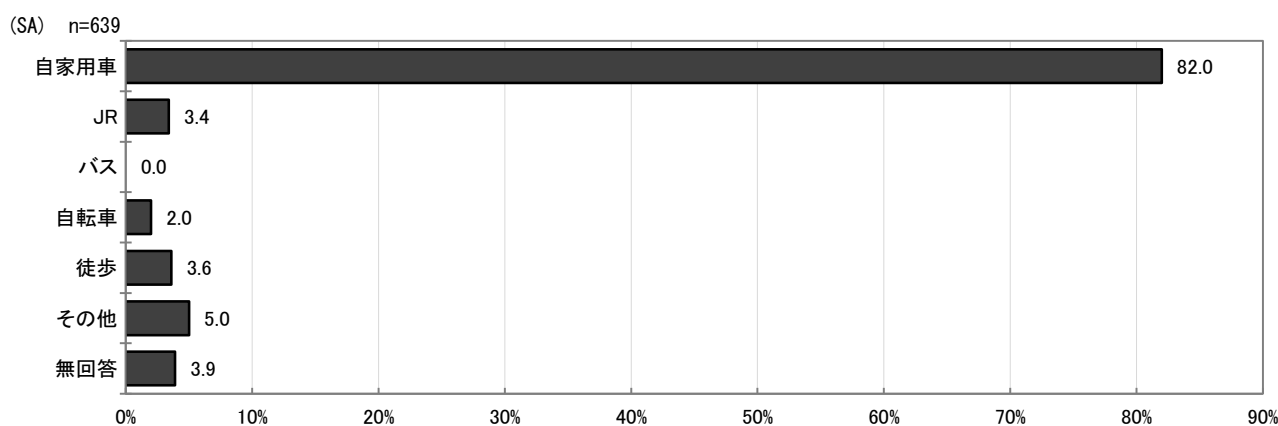
問17-1C 父親の就労場所をお答えください。(SA)

「笠岡市外」が62.4%を占めています。



問17-1D 父親の通勤手段をお答えください。(SA)

「自家用車」が82.0%で突出しています。「その他」が5.0%、「徒歩」が3.6%が続いています。



問17-2 父親はフルタイムへの転換希望はありますか。(SA)

対象8件中、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が3件、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が3件、「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」が1件となっています。

カテゴリ(n=8)	件数
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	3
フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない	1
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0
無回答	1

問17-3 父親は就労したいという希望はありますか。(SA)

対象6件中、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が5件となっています。

カテゴリ(n=6)	件数
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1
1年より先、一番下の子どもが(何)歳になったころに就労したい	0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	5

問17-4 希望する就労形態を回答してください。(SA)

対象5件中、「フルタイム」が2件、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)」が1件となっています。

カテゴリ(n=5)	件数
フルタイム	2
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)	1
無回答	2

問17-4 2A 1週当たり(何)日ですか。(SA)

問17-4 2B 1日当たり(何)時間ですか。(SA)

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)」を希望した方の就労希望日数は、1週当たり「5日」、1日あたり「8時間」です。

平日の幼稚園や保育所などの教育・保育事業の 現在の利用状況について

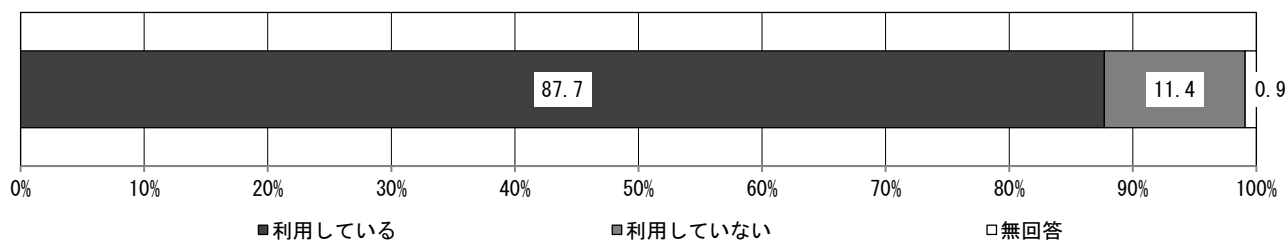
問18 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用していますか。
(SA)

「利用している」が 87.7%を占めています。

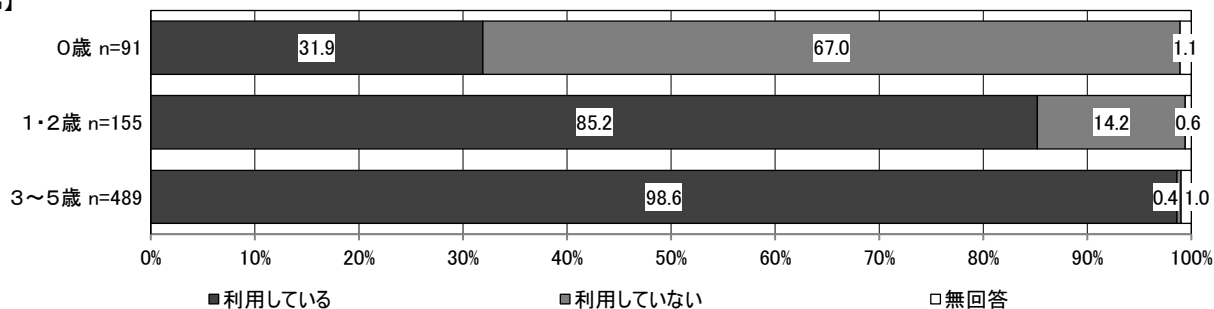
年齢別にみると、0歳で「利用していない」が特に高くなっています。

母親の就労状況別にみると、未就労で「利用していない」が特に高くなっています。

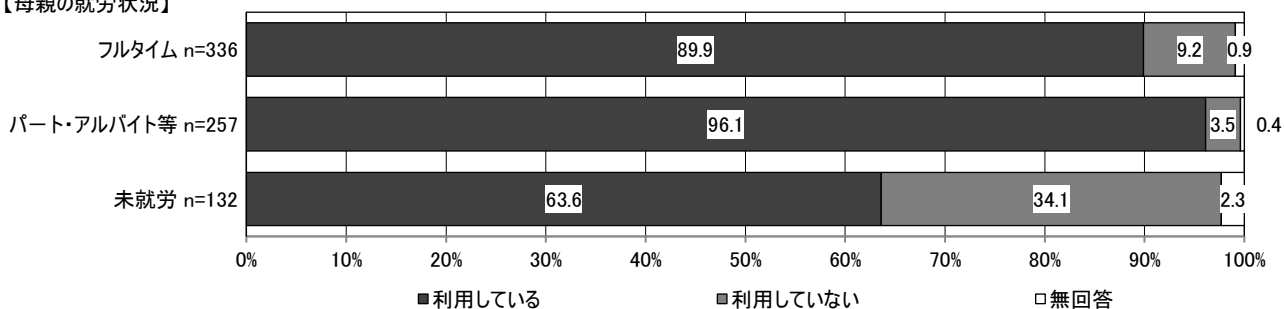
(SA) n=756



【年齢】

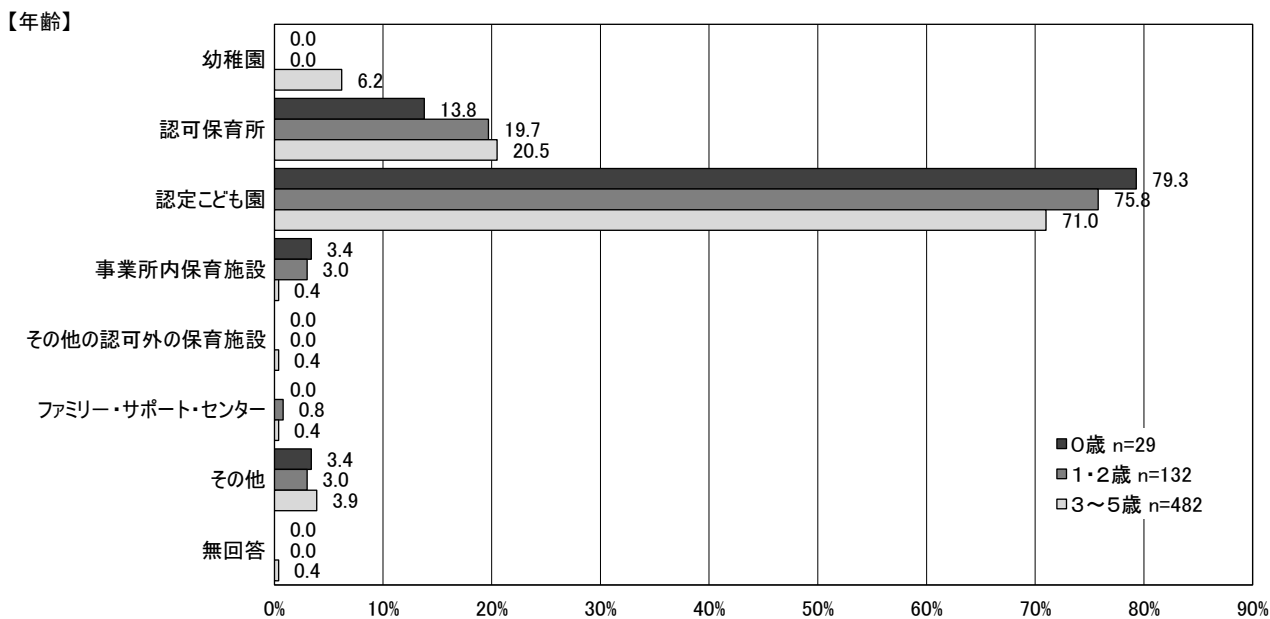
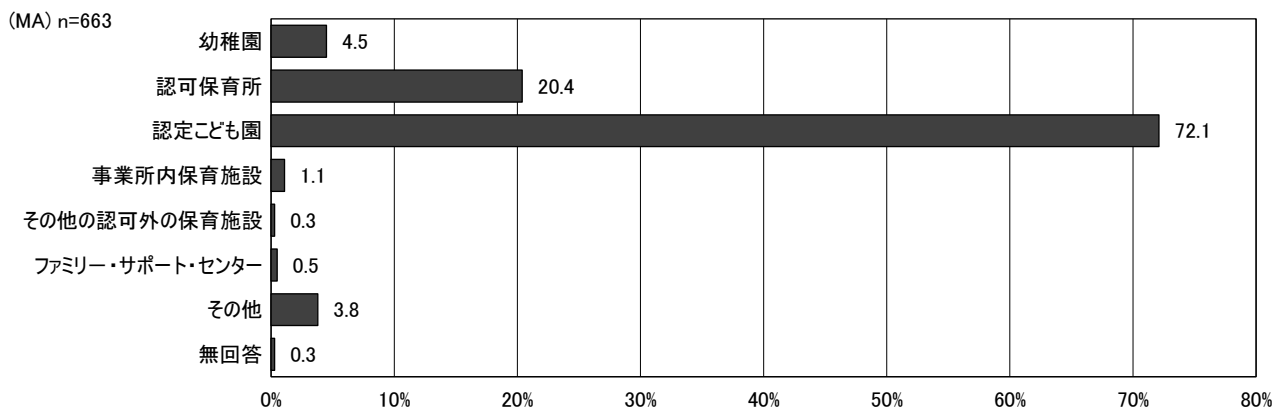


【母親の就労状況】

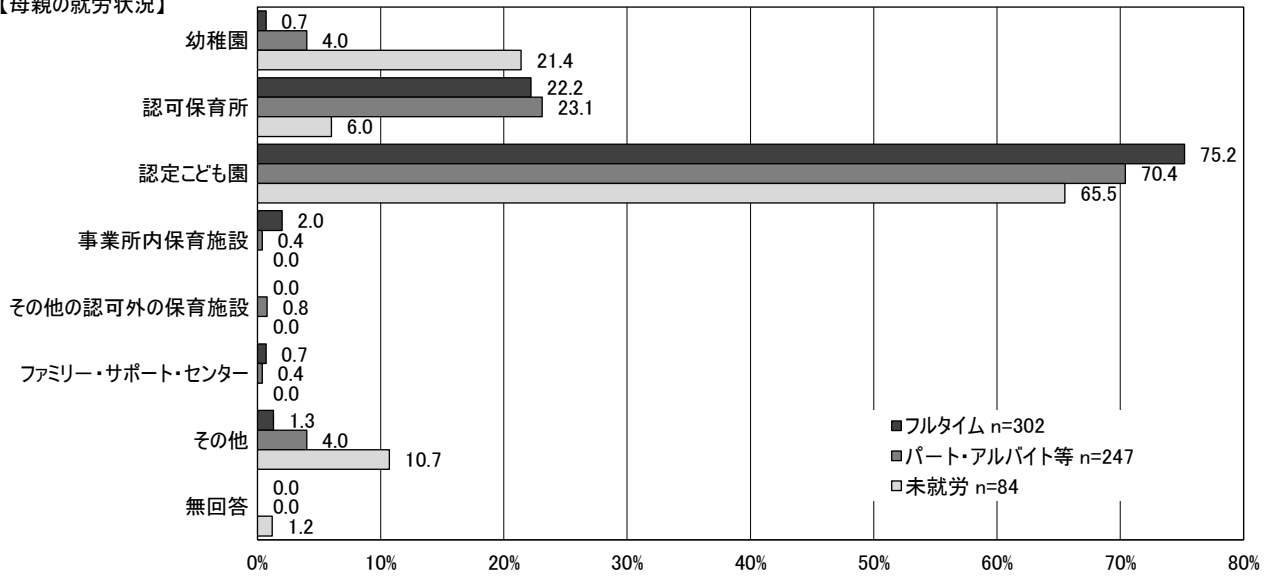


問18-1 あて名のお子さんは、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(MA)

「認定こども園」が72.1%で突出しています。「認可保育所」が20.4%、「幼稚園」が4.5%が続いています。年齢別にみると、年齢が高いほど、「認可保育所」が高く、「認定こども園」が低くなる傾向がみられます。母親の就労状況別にみると、未就労では「幼稚園」が高くなっています。



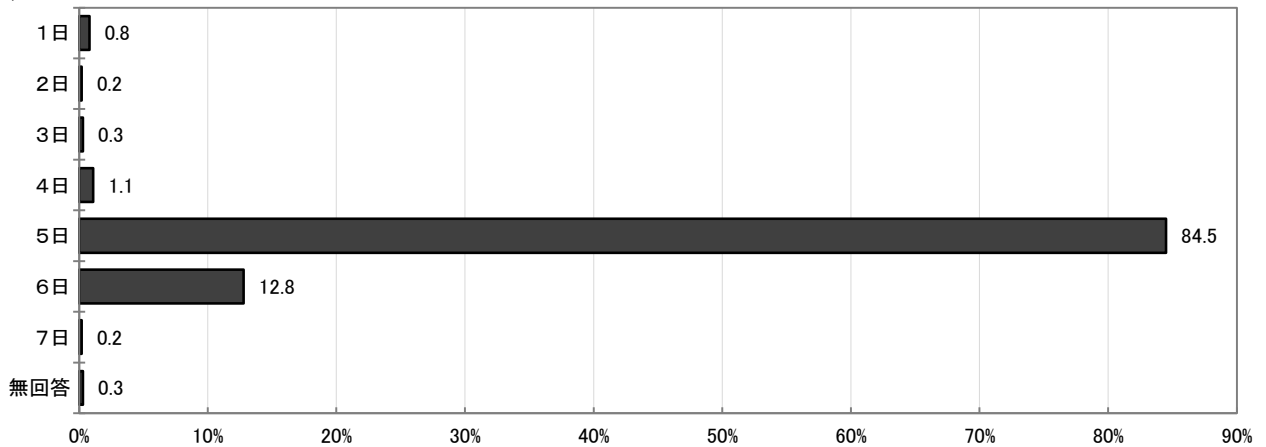
【母親の就労状況】



問18-2A 平日、定期的にご利用している幼稚園や保育所などの事業をどのくらい利用していますか。1週当たり(何)日(SA)

「5日」が84.5%で突出しています。「6日」が12.8%、「4日」が1.1%が続いています。

(SA) n=663

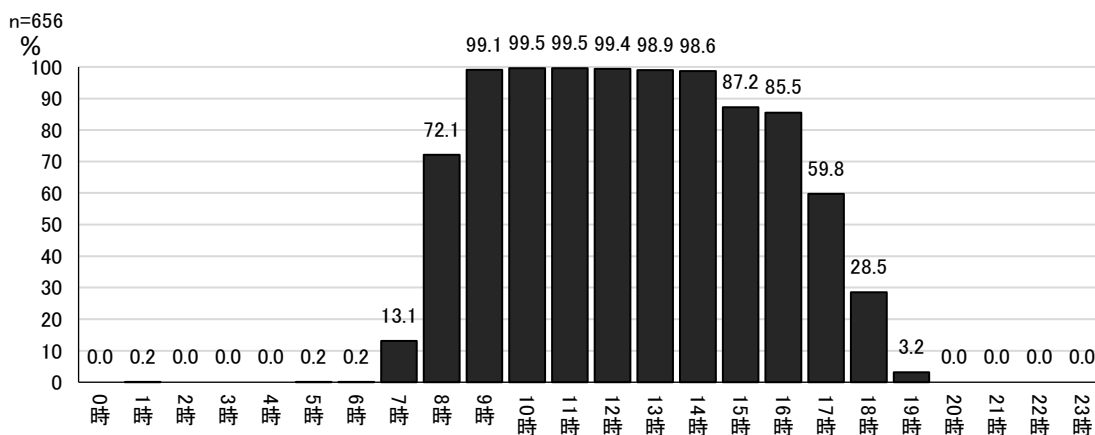


問18-2B 平日、定期的に利用している幼稚園や保育所などの事業をどのくらい利用していますか。(何)時からですか。(開始時刻)(数量)

問18-2C 平日、定期的に利用している幼稚園や保育所などの事業をどのくらい利用していますか。(何)時までですか。(終了時刻)(数量)

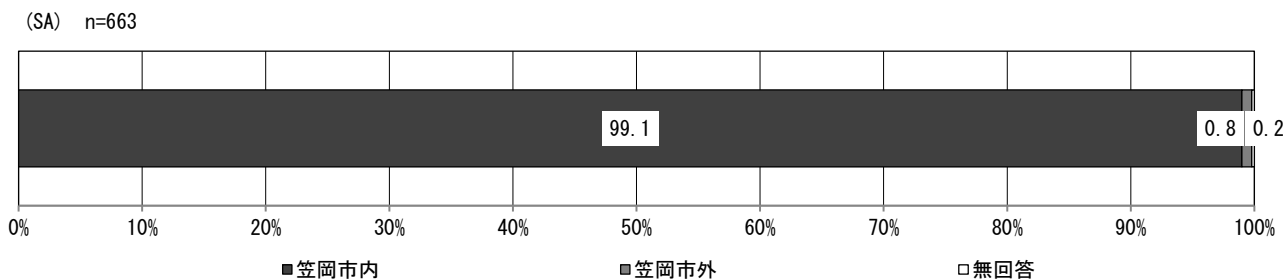
回答者の98%以上が9時～14時で利用しています。

19時以降の利用は3.2%，7時以前の利用は13.1%となっています。



問18-3 現在、利用している幼稚園や保育所などの教育・保育事業の実施場所はどこですか。(SA)

「笠岡市内」が99.1%を占めています。

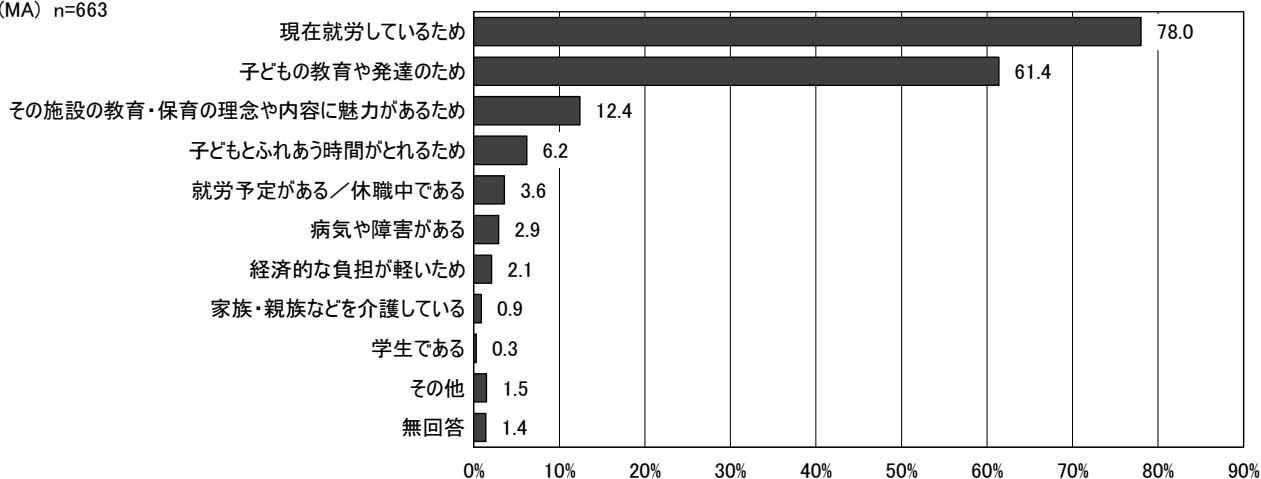


問18-4 その事業を利用している理由をお答えください。(MA)

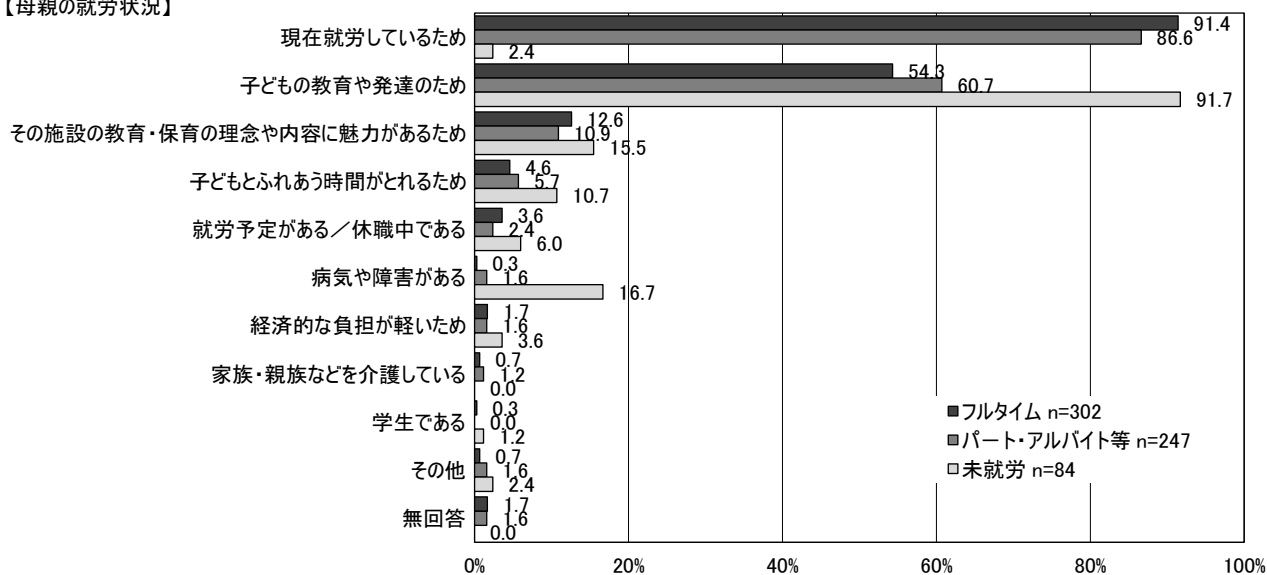
「現在就労しているため」が78.0%で最も高くなっています。次いで「子どもの教育や発達のため」が61.4%、「その施設の教育・保育の理念や内容に魅力があるため」が12.4%で続いています。

母親の就労状況別にみると、未就労では「子どもの教育や発達のため」「病気や障害がある」が比較的高くなっています。

(MA) n=663

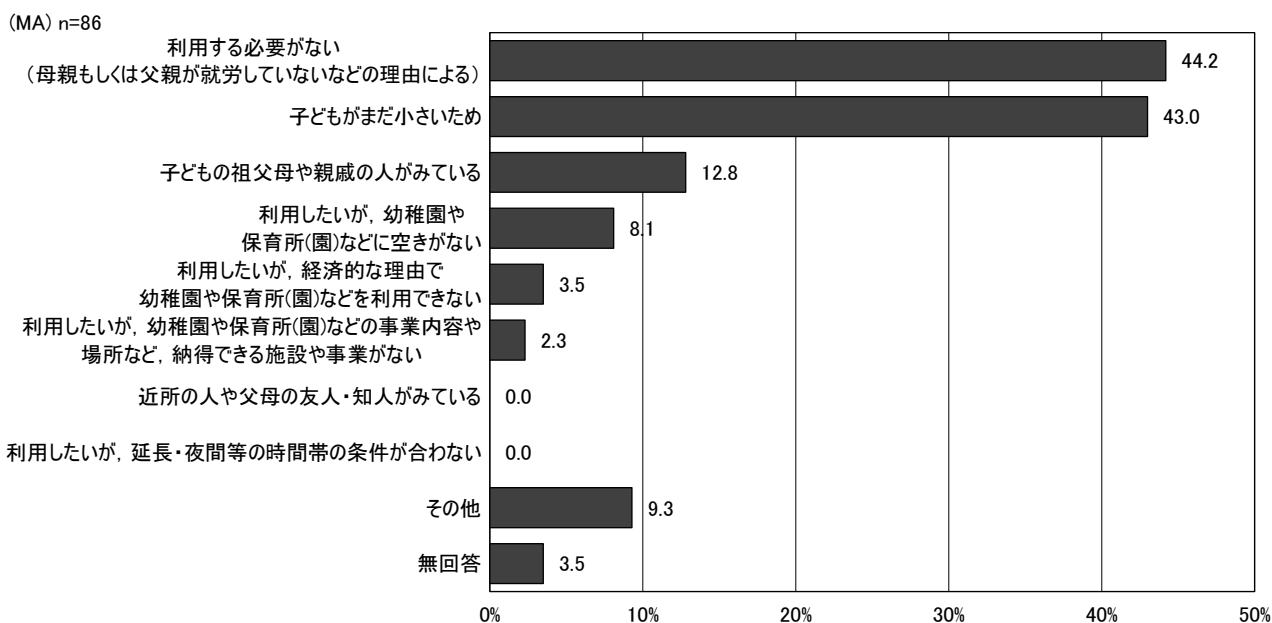


【母親の就労状況】



問18-5 現在、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用していない理由をお答えください。
(MA)

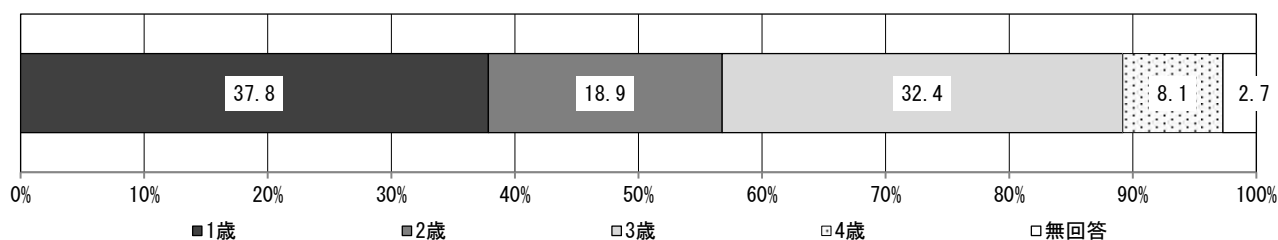
「利用する必要がない(母親もしくは父親が就労していないなどの理由による)」が44.2%、「子どもがまだ小さいため」が43.0%で群を抜いて高くなっています。「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が12.8%で続いています。



問18-5 8 「子どもがまだ小さいため」は子どもが(何)歳くらいになったら利用しようと考えていますか。(数量)

「1歳」が37.8%で最も高く、次いで「3歳」が32.4%、「2歳」が18.9%で続いています。

(数量) n=37



平日の幼稚園や保育所などの教育・保育事業の 今後の利用希望について

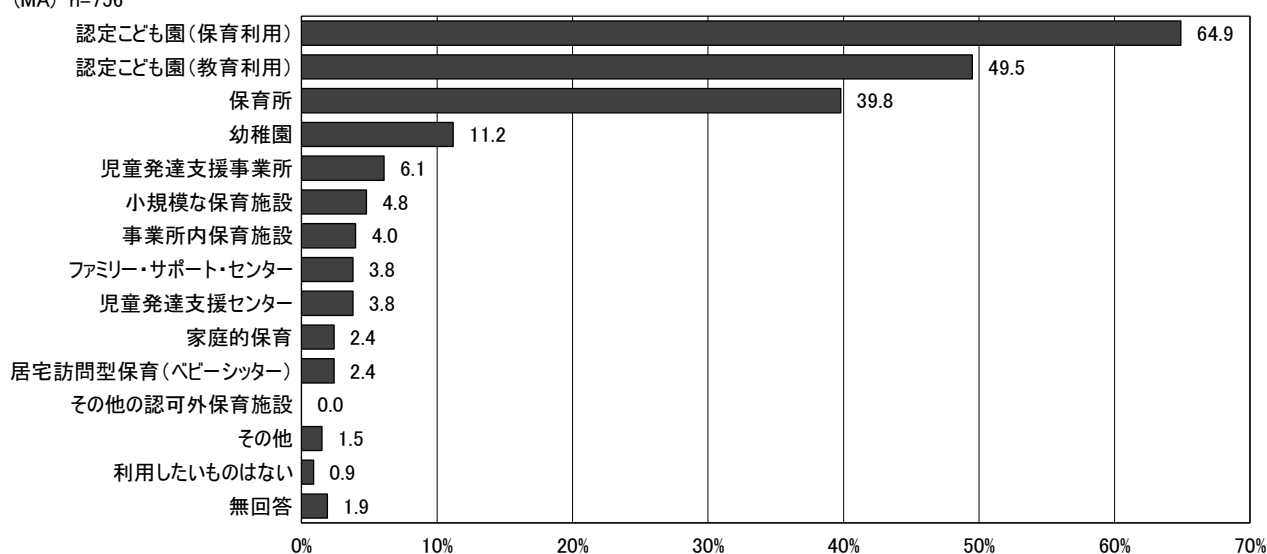
問19 あて名のお子さんは、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。現在、利用している、利用していないにかかわらず回答してください。(MA)

「認定こども園(保育利用)」が64.9%で最も高くなっています。次いで「認定こども園(教育利用)」が49.5%、「保育所」が39.8%が続いています。

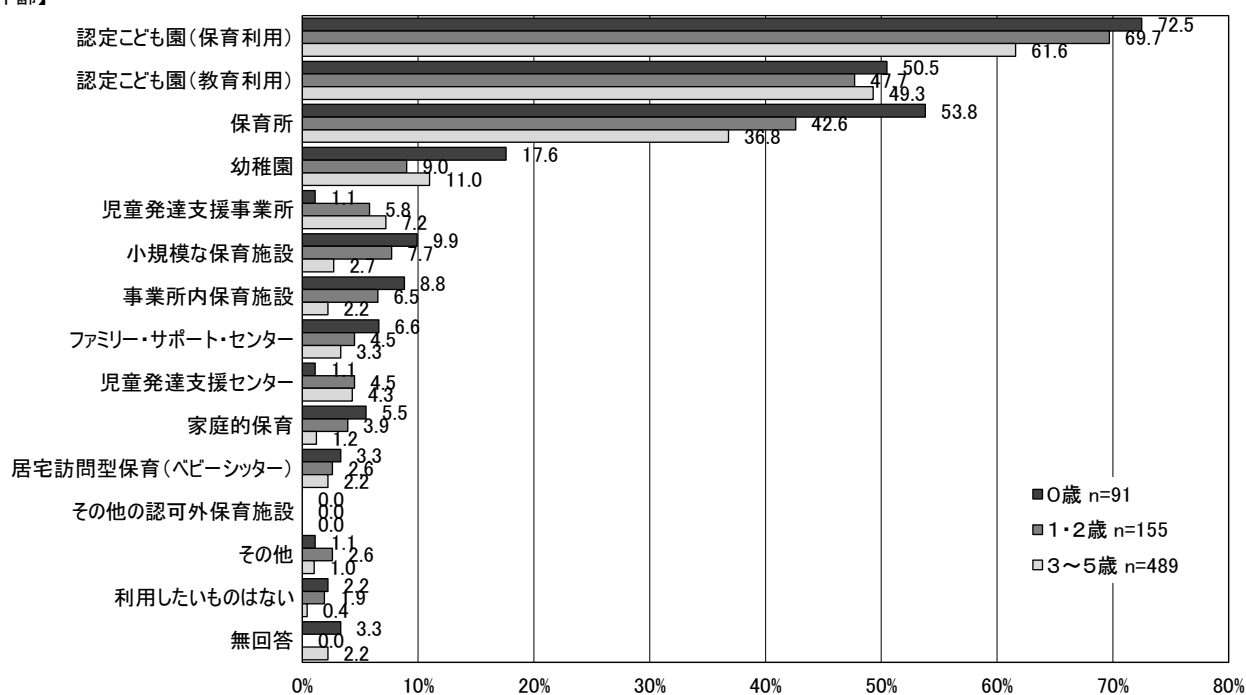
年齢別にみると、年齢が低いほど、「認定こども園(保育利用)」「保育所」が高くなる傾向がみられます。

母親の就労状況別にみると、未就労においても「認定こども園(教育利用)」に次いで「認定こども園(保育利用)」が高くなっています。

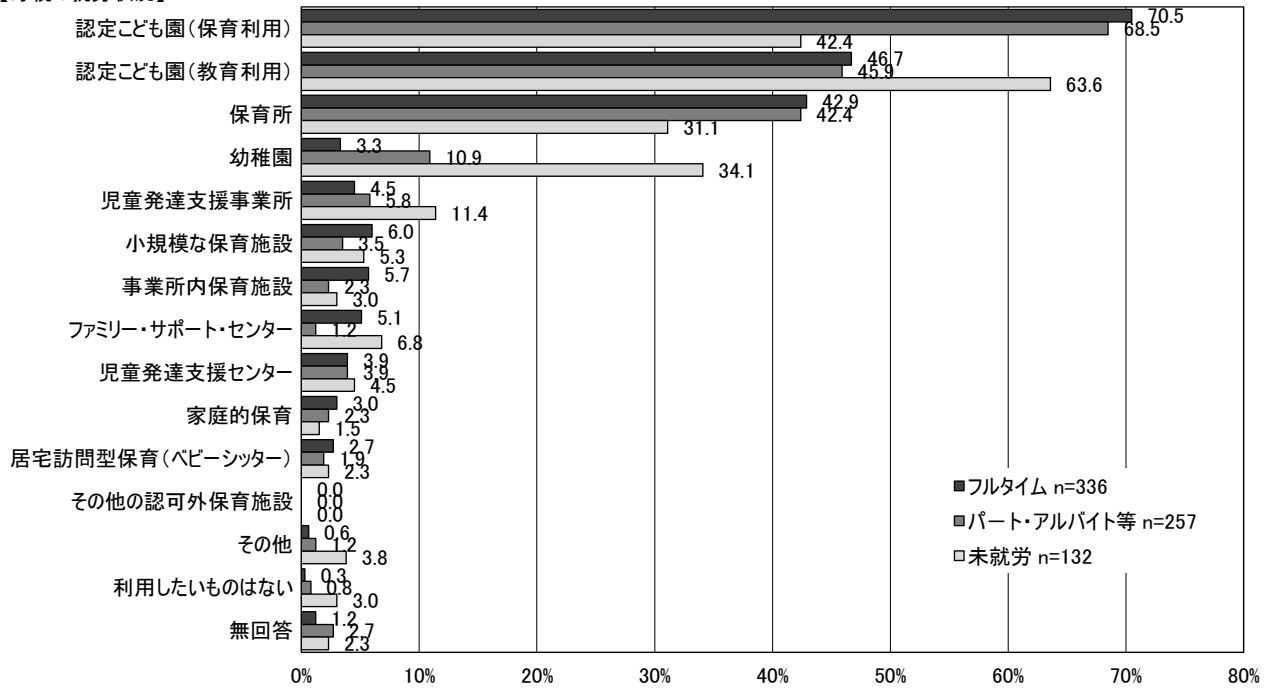
(MA) n=756



【年齢】



【母親の就労状況】



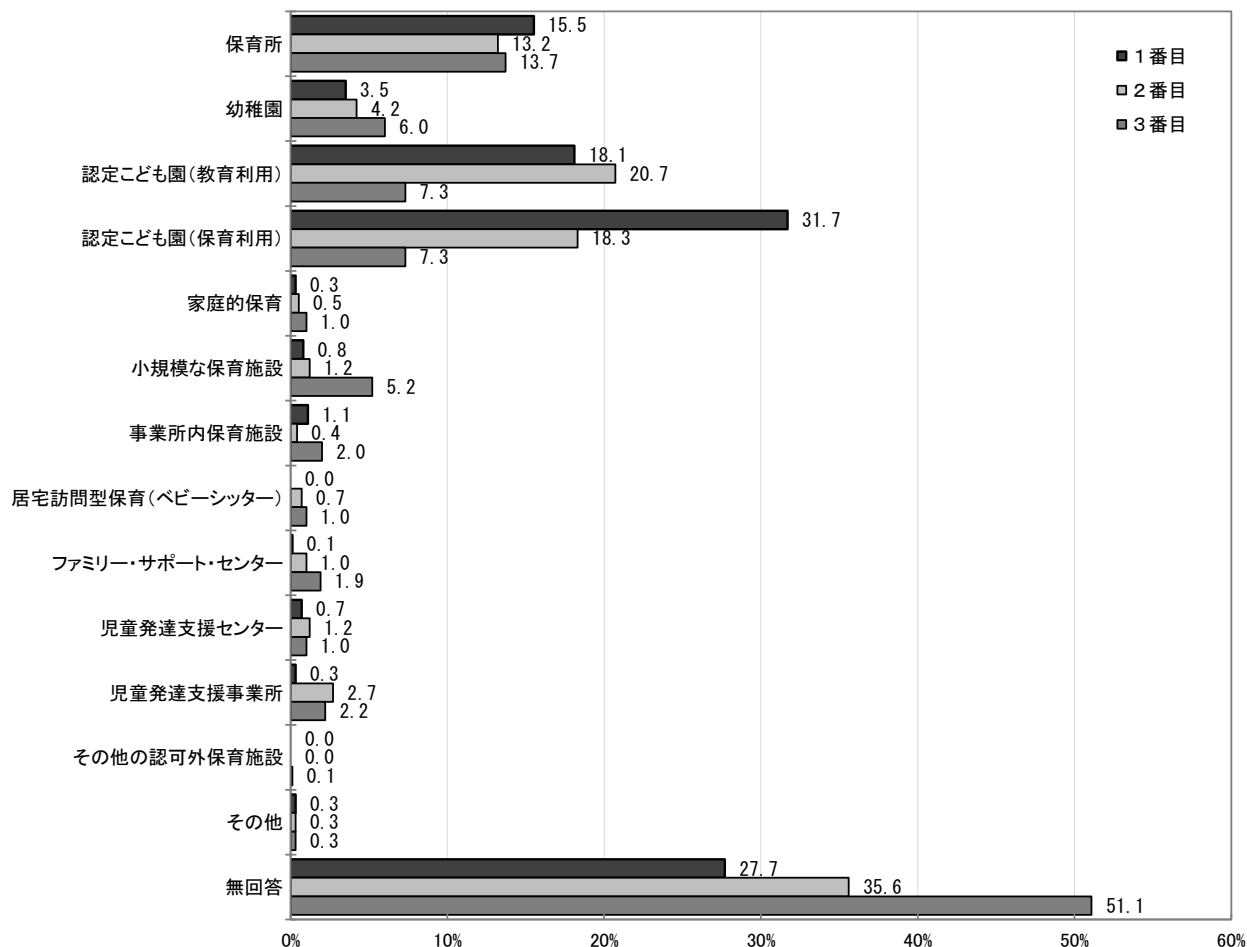
問19-1 利用を希望する事業のうち、順に上位3つをお答えください。(SA)

1番目は、「認定こども園(保育利用)」が 31.7%で突出しています。「認定こども園(教育利用)」が 18.1%、「保育所」が 15.5%で続いています。

2番目は、「認定こども園(教育利用)」が 20.7%で最も高くなっています。次いで「認定こども園(保育利用)」が 18.3%、「保育所」が 13.2%で続いています。

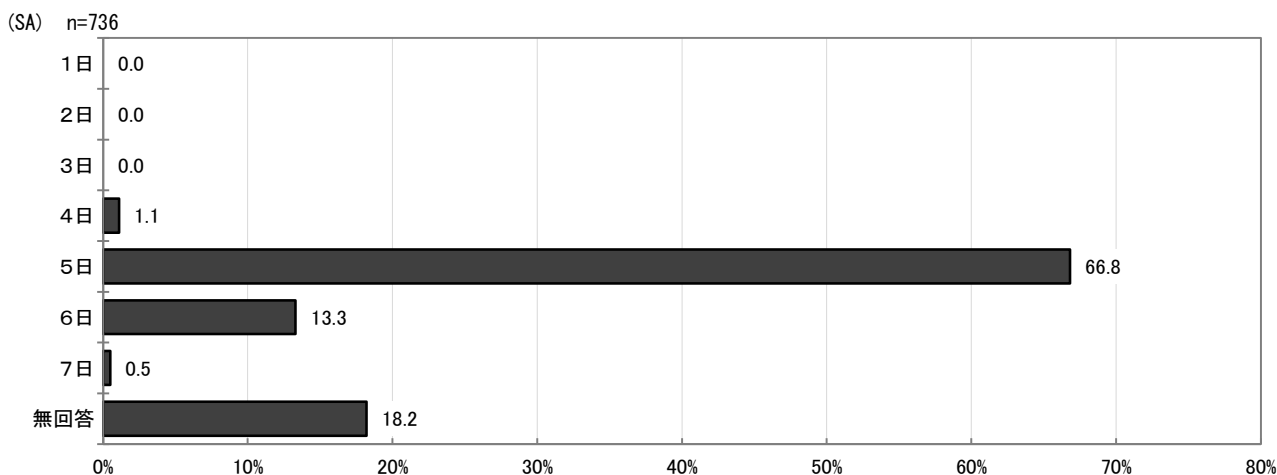
3番目は、「保育所」が 13.7%で最も高くなっています。「認定こども園(教育利用)」が 7.3%、「認定こども園(保育利用)」が 7.3%で続いています。

n=736



問19-2A 平日、定期的に利用している幼稚園や保育所などの事業を、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり(何)日ですか。(SA)

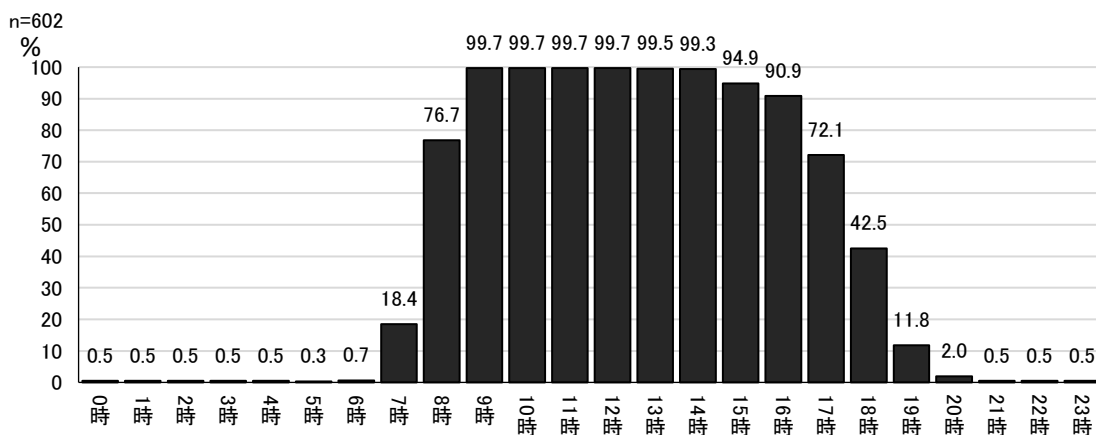
「5日」が66.8%で突出しています。「6日」が13.3%、「4日」が1.1%が続いています。



問19-2B 平日、定期的に利用している幼稚園や保育所などの事業を、希望としてはどのくらい利用したいですか。(開始時刻, 終了時刻)(数量)

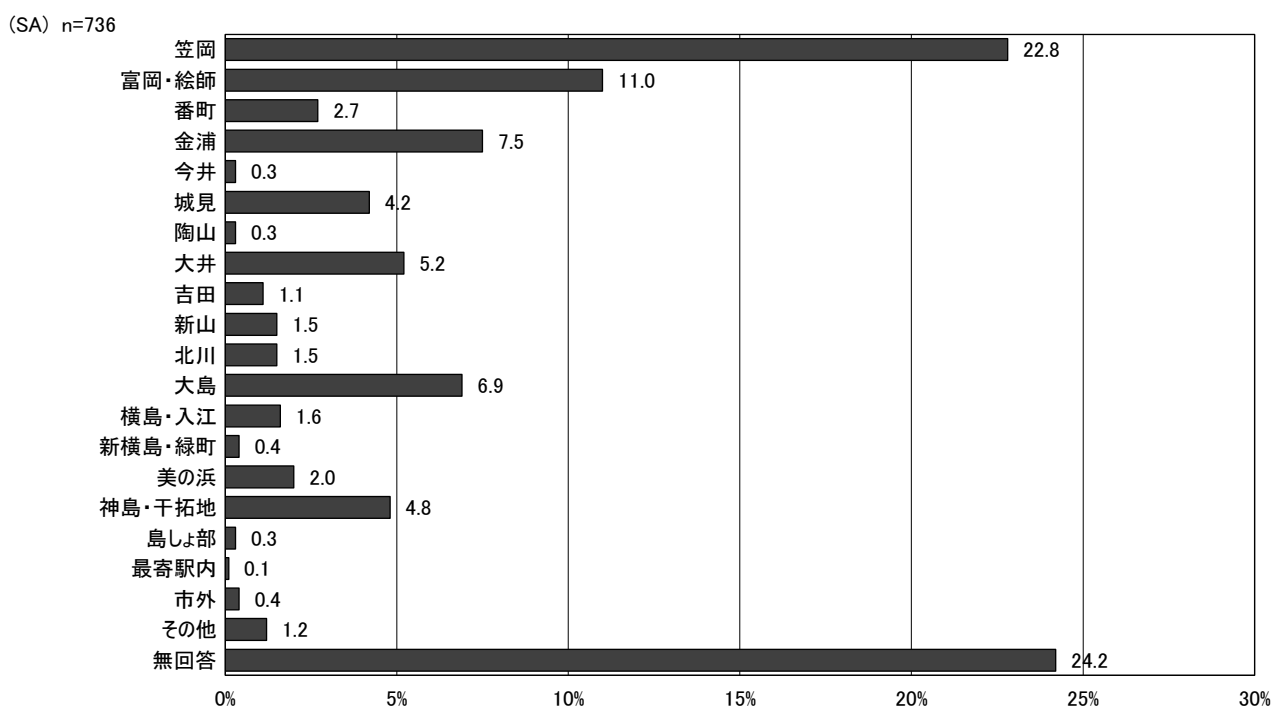
回答者の90%以上が、9時～16時の利用を希望しています。

19時以降の希望者は11.8%、7時以前の希望者は18.4%となっています。



問19-3 利用したいと思う幼稚園や保育所などの教育・保育施設(事業)はどの地域ですか。(SA)

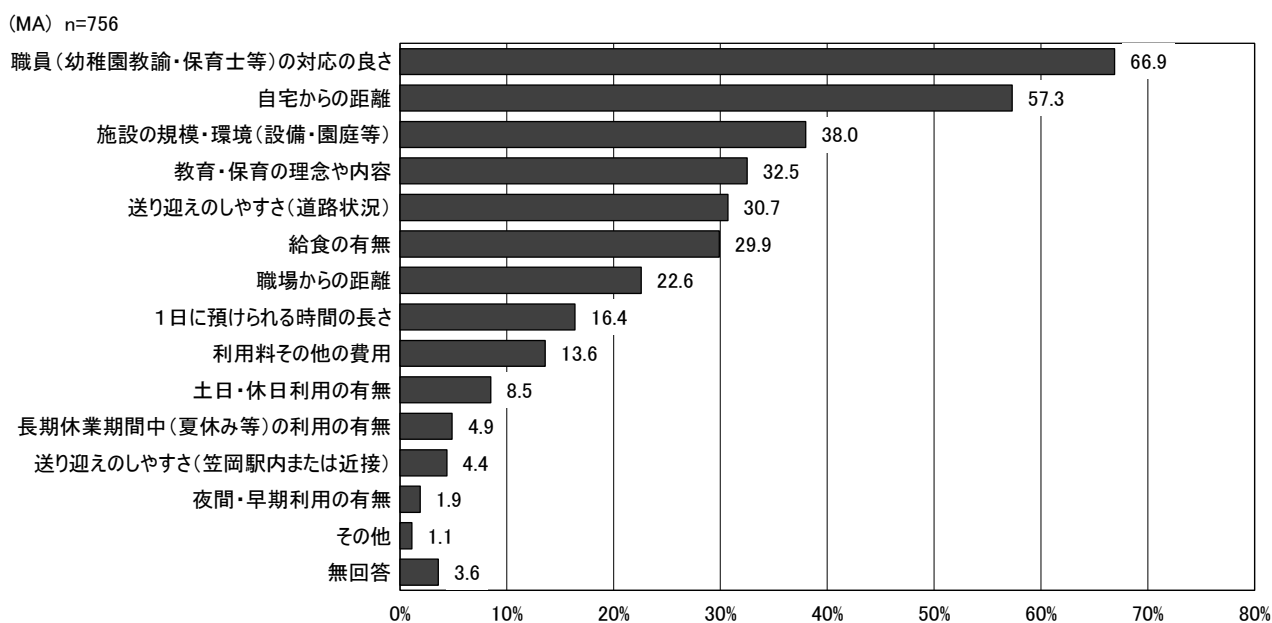
「笠岡」が22.8%で突出しています。「富岡・絵師」が11.0%、「金浦」が7.5%が続いています。



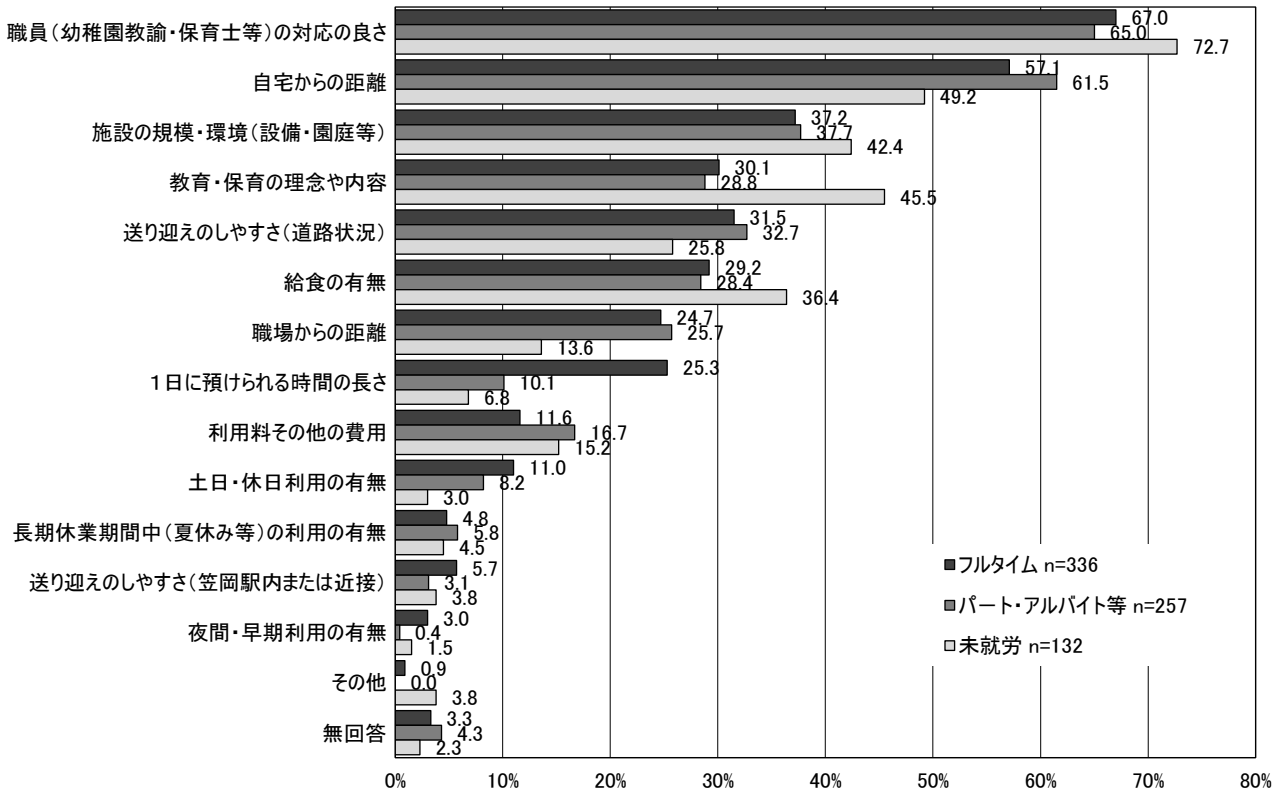
問19-4 教育・保育施設(事業)を選ぶ際に、重視することは何ですか。(MA)

「職員(幼稚園教諭・保育士等)の対応の良さ」が66.9%で最も高くなっています。次いで「自宅からの距離」が57.3%、「施設の規模・環境(設備・園庭等)」が38.0%が続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「1日に預けられる時間の長さ」が比較的高く、未就労では「教育・保育の理念や内容」「給食の有無」が比較的高くなっています。



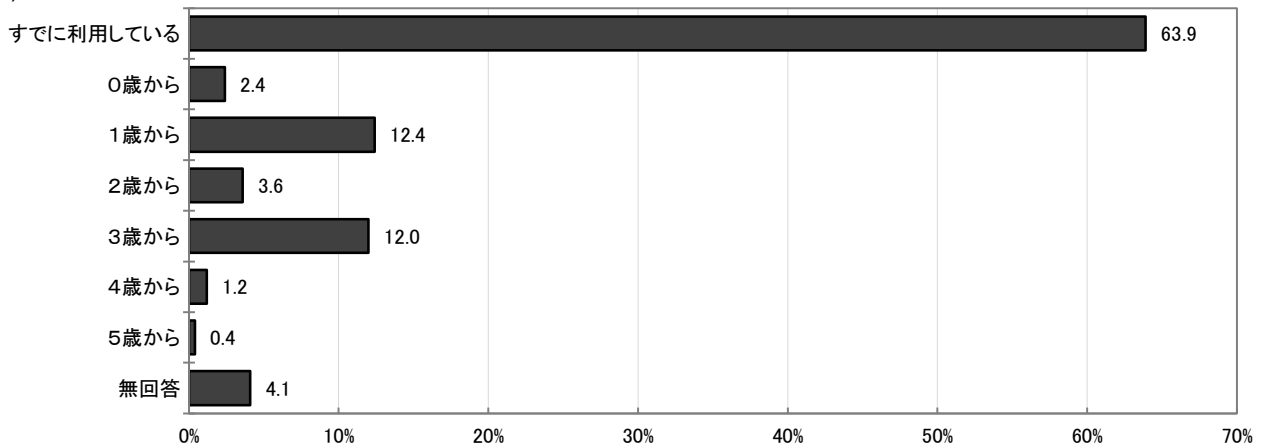
【母親の就労状況】



問19-5 お子さんが何歳のときから利用したいと思いますか。(SA)

「すでに利用している」を除くと、「1歳から」が12.4%で最も高く、「3歳から」が12.0%が続いています。

(SA) n=756



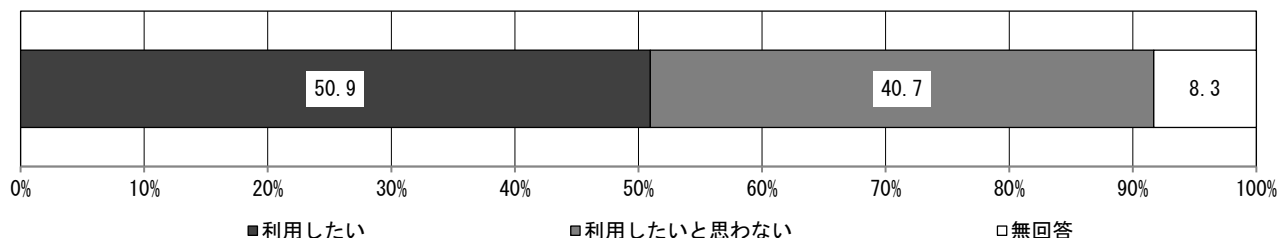
問20 『こども誰でも通園制度』について、利用したいと思いますか。利用を希望する場合は、希望する日数と時間を、利用を希望しない場合はその理由をお答えください。(SA)

「利用したい」が50.9%を占めています。

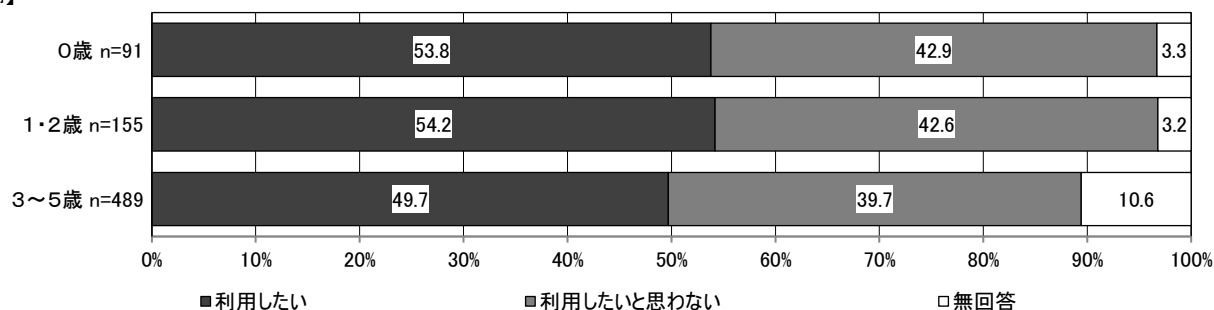
年齢別にみると、3～5歳で「利用したい」がやや低くなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「利用したい」がやや高くなっています。

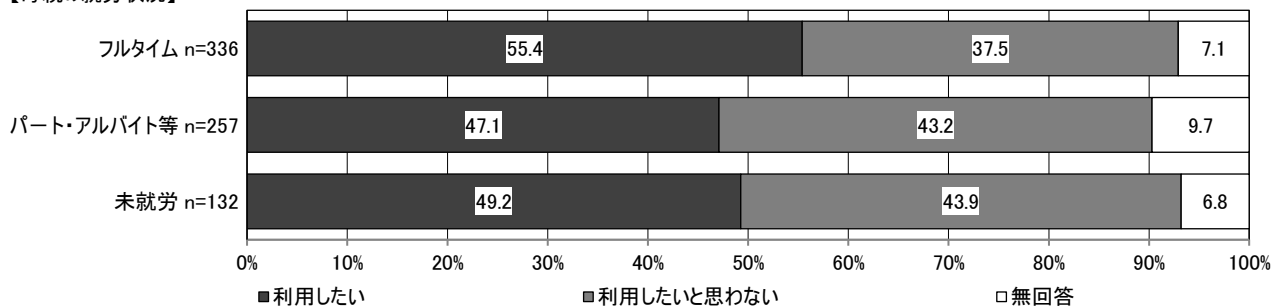
(SA) n=756



【年齢】

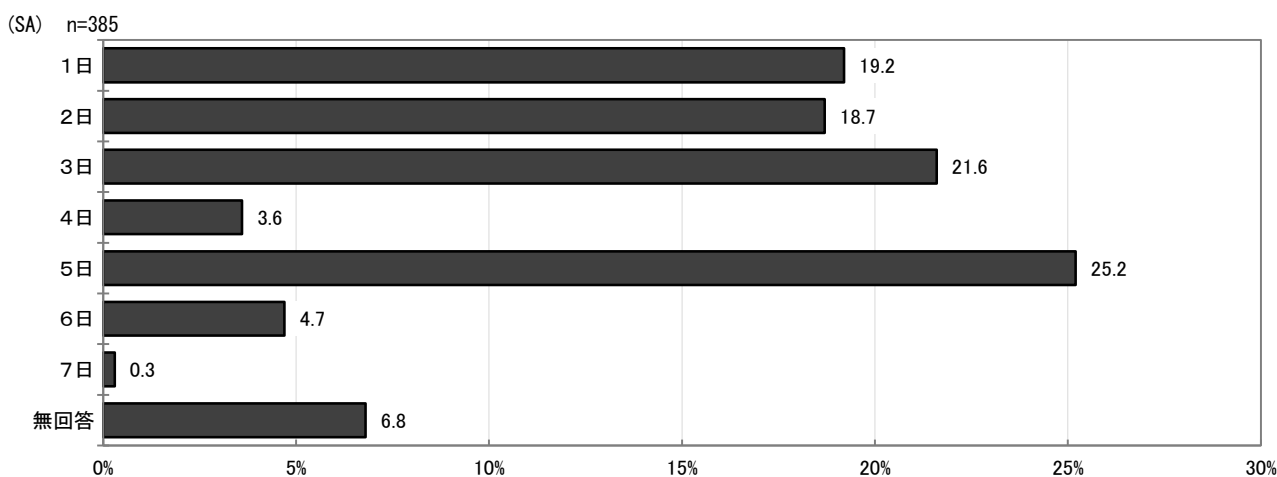


【母親の就労状況】



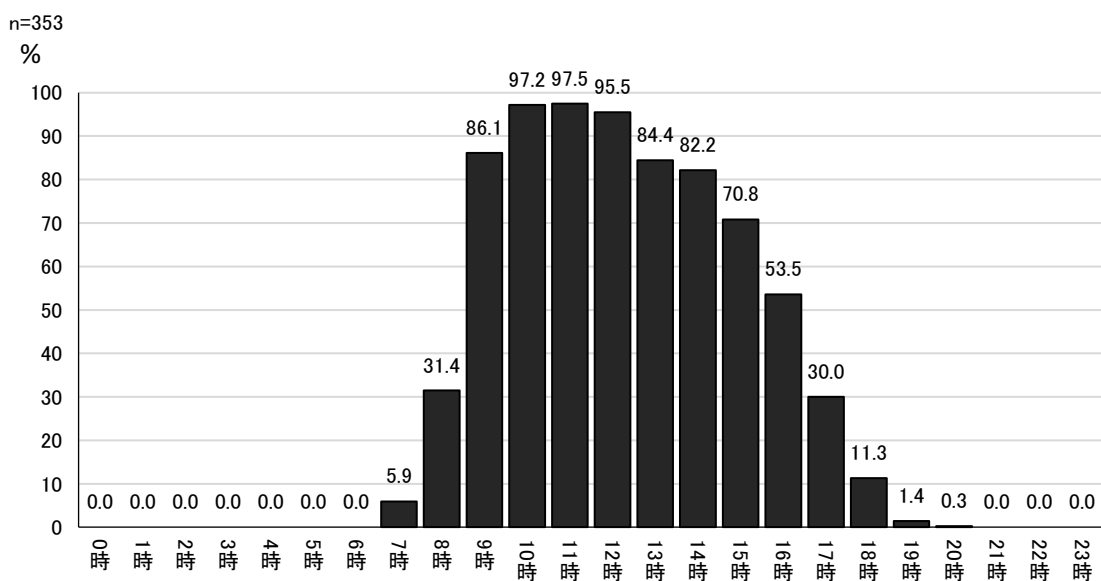
問20 1A「利用したい」場合、1週当たり(何)日ですか。(SA)

「5日」が25.2%で最も高くなっています。次いで「3日」が21.6%、「1日」が19.2%が続いています。



問20 1B「利用したい」場合、(何)時から(何)時までですか。(数量)

回答者のうち、10時～12時の利用希望が95%を超えています。
また、半数以上が16時までの利用を希望しています。

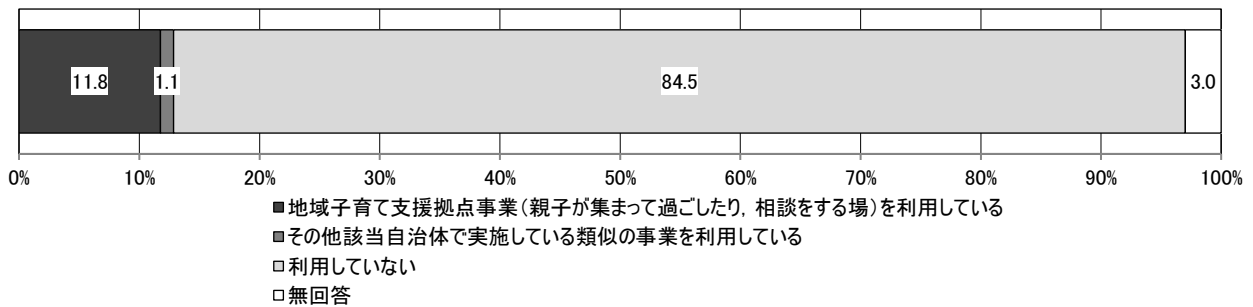


子育て支援事業の利用状況について

問21 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。(MA)

「利用していない」が 84.5%で突出しています。「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)を利用している」が 11.8%、「その他該当自治体で実施している類似の事業を利用している」が 1.1%で続いています。

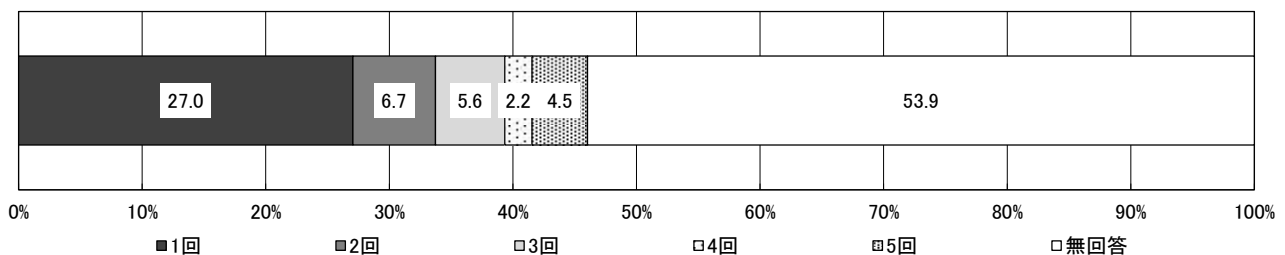
(MA) n=756



問21 1A 「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)を利用している」の場合、1週当たり(何)回ですか。(数量)

「1回」が 27.0%で突出しています。「2回」が 6.7%、「3回」が 5.6%で続いています。

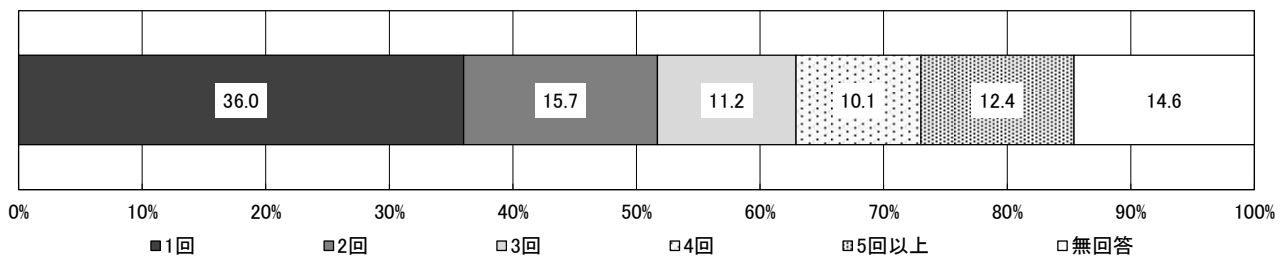
(数量) n=89



問21 1B 「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)を利用している」の場合、1か月当たり(何)回程度ですか。(数量)

「1回」が 36.0%で突出しています。「2回」が 15.7%、「5回以上」が 12.4%で続いています。

(数量) n=89



問21 2B 「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり, 相談をする場)を利用している」の場合, 1週当たり(何)回ですか。(数量)

対象者 8 人のうち, 2 人が「1 回」と回答しており, その他の回答はありませんでした。

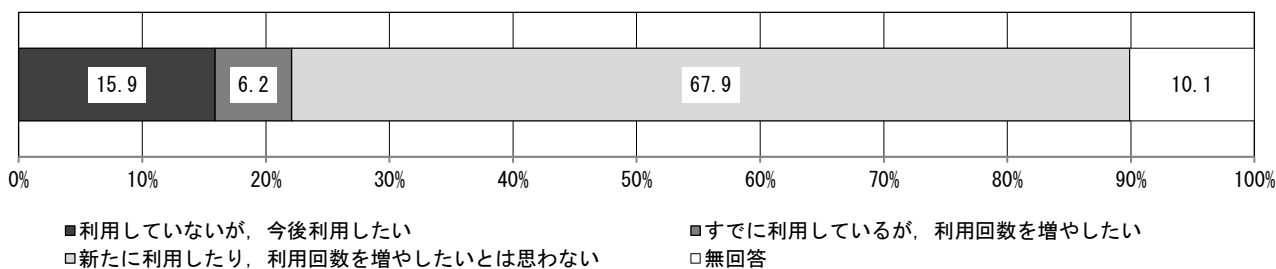
問21 2C 「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり, 相談をする場)を利用している」の場合, 1か月当たり(何)回程度ですか。(数量)

対象者 8 人のうち, 4 人が「1 回」と回答しており, その他の回答はありませんでした。

問22 地域子育て支援拠点事業を, 今後利用したり, 利用回数を増やしたいと思いますか。(利用する場合, 材料費などの実費負担がかかる場合があります。)(SA)

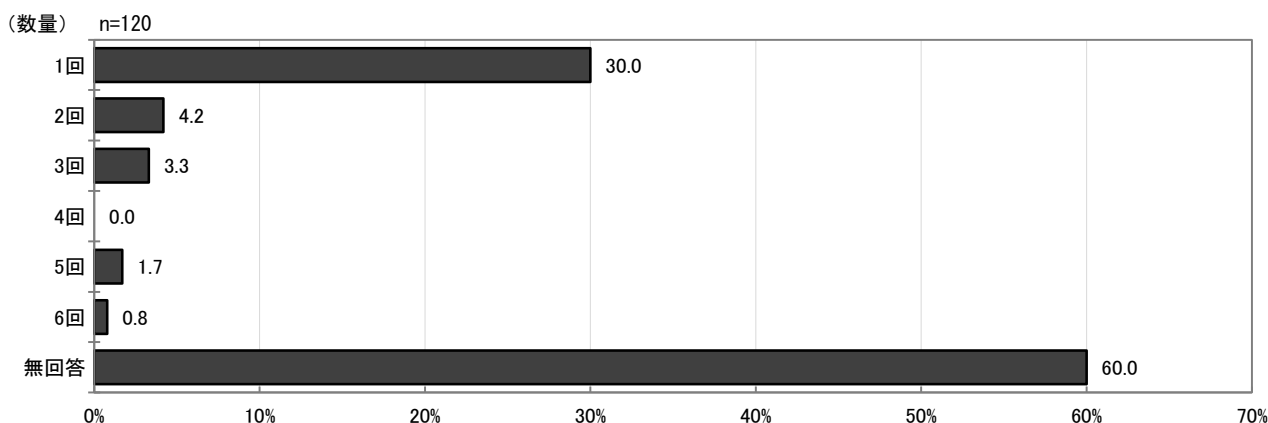
「新たに利用したり, 利用回数を増やしたいとは思わない」が 67.9%を占めています。

(SA) n=756



問22 1A 「利用していないが, 今後利用したい」場合, 1週当たり(何)回ですか。(数量)

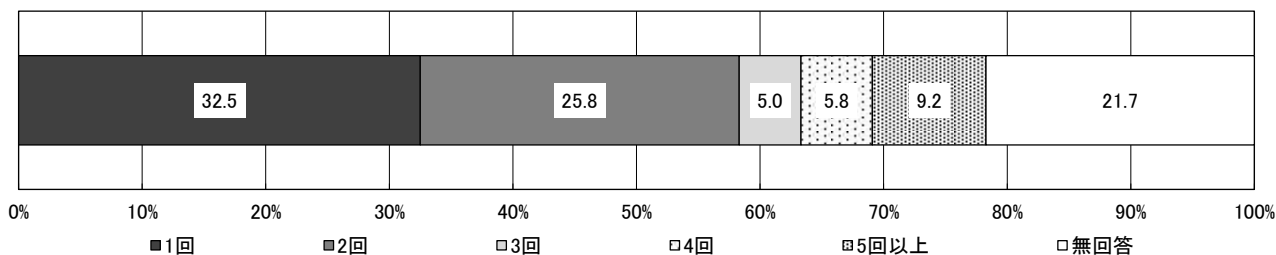
「1 回」が 30.0%で突出しています。「2 回」が 4.2%, 「3 回」が 3.3%が続いています。



問22 1B 「利用していないが、今後利用したい」場合、1か月当たり(何)回程度ですか。(数量)

「1回」が32.5%で最も高くなっています。次いで「2回」が25.8%、「5回以上」が9.2%が続いています。

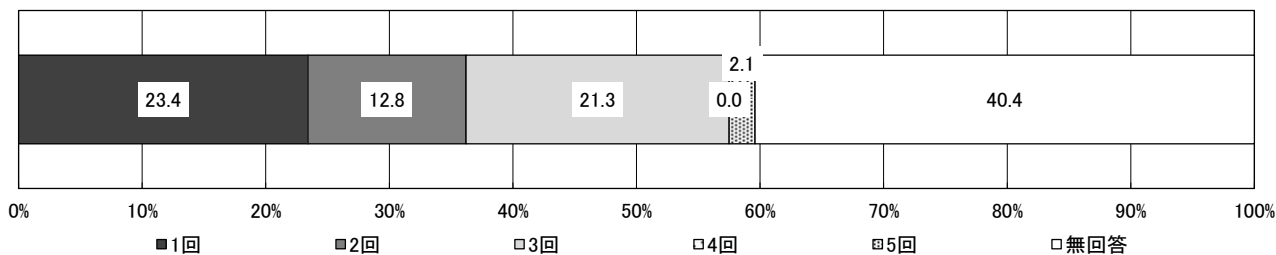
(数量) n=120



問22 2A 「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」場合、増やしたい回数は、1週当たり(何)回ですか。(数量)

「1回」が23.4%で最も高くなっています。次いで「3回」が21.3%、「2回」が12.8%が続いています。

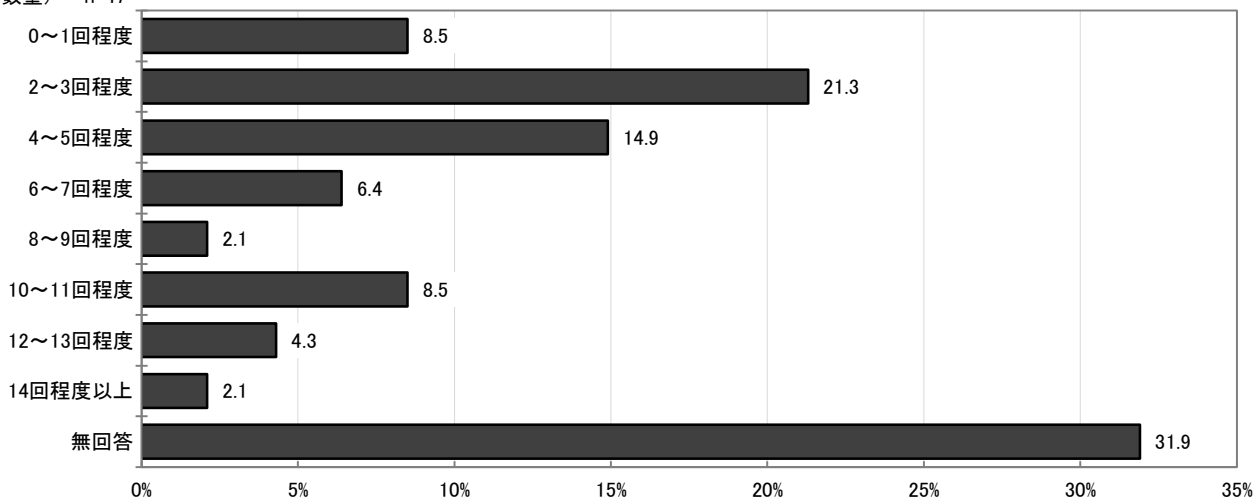
(数量) n=47



問22 2B 「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」場合、増やしたい回数は、1か月当たり(何)回程度ですか。(数量)

「2~3回程度」が21.3%で最も高くなっています。次いで「4~5回程度」が14.9%、「0~1回程度」が8.5%が続いています。

(数量) n=47



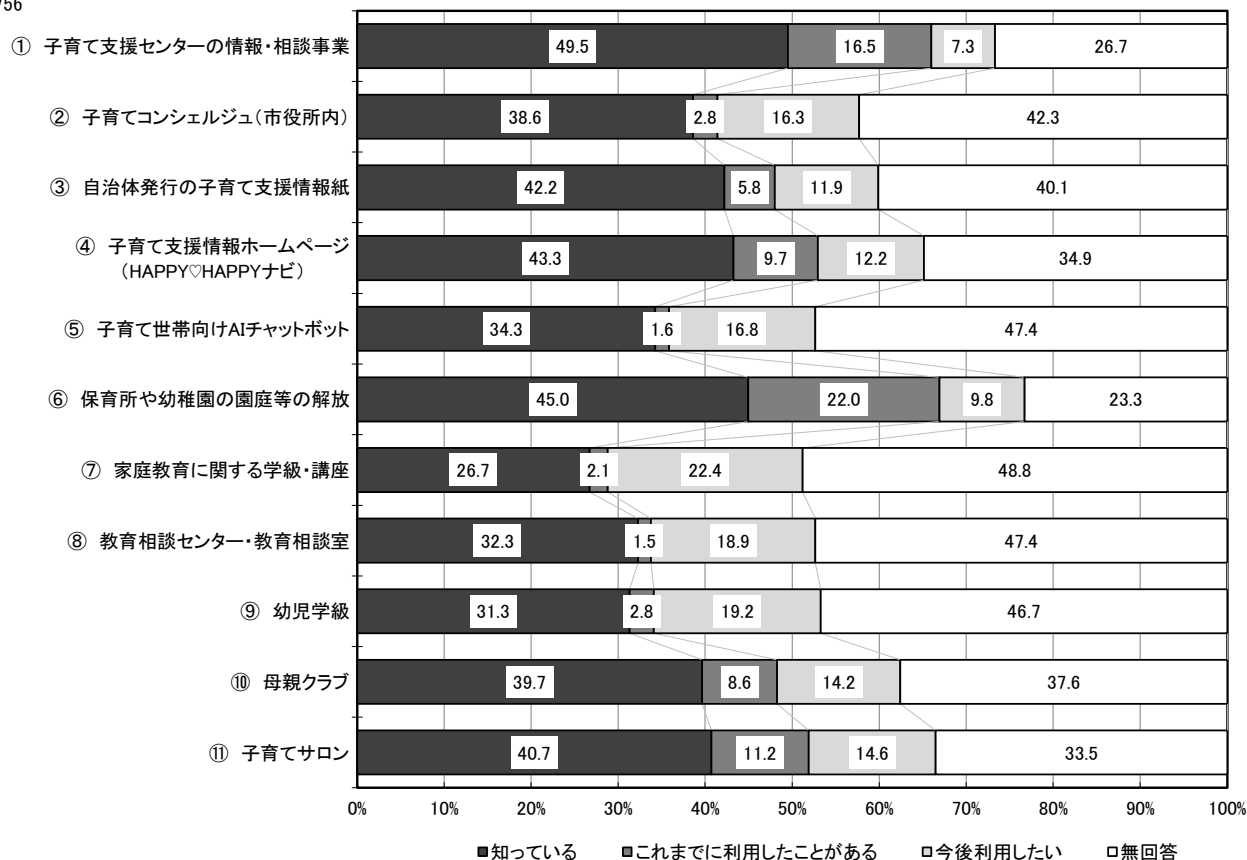
問23①～⑪の子育て支援事業を知っていますか、あるいはこれまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。(SA)

全体的に無回答の事業が多く、認知度が低いことがうかがえます。

知っているも利用につながっている事業は少なくなっており、「⑥ 保育所や幼稚園の園庭等の開放」で「利用している」が20%を超えています。

今後の利用希望では⑦～⑨の事業で20%前後と比較的高く、保護者が育児の情報を入手したい傾向がうかがえます。

n=756

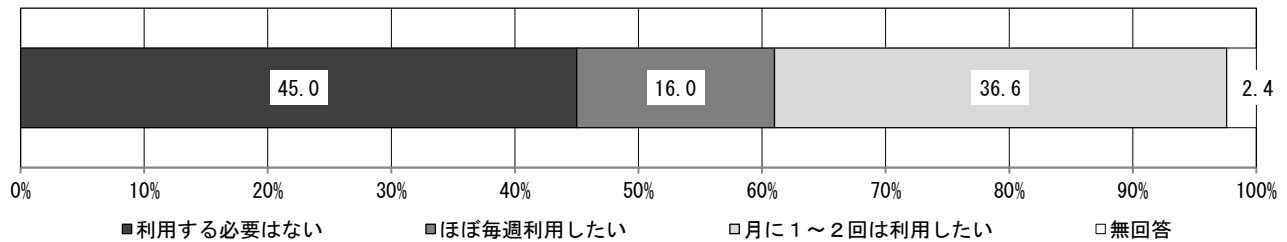


土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について

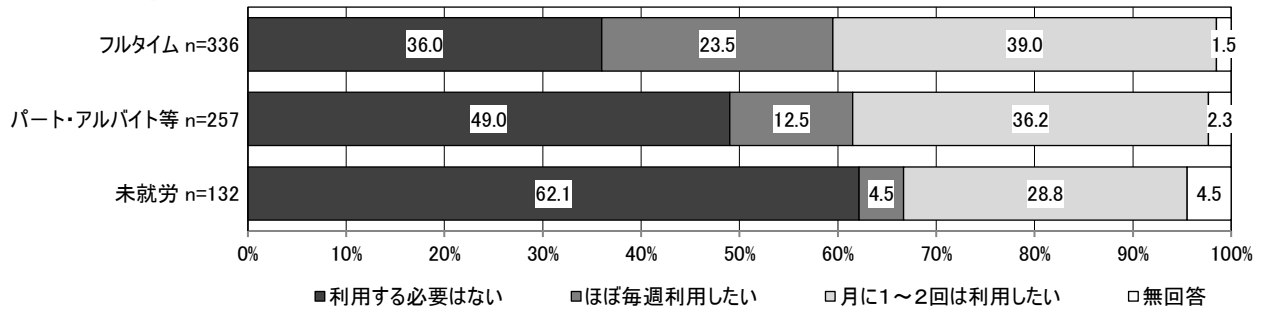
問24(1) あて名のお子さんについて、土曜日に、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用したいですか。(利用する場合、一定の利用料の負担があります。)(SA)

「利用する必要はない」が45.0%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が36.6%となっています。母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「ほぼ毎週利用したい」が比較的高くなっています。

(SA) n=756



【母親の就労状況】

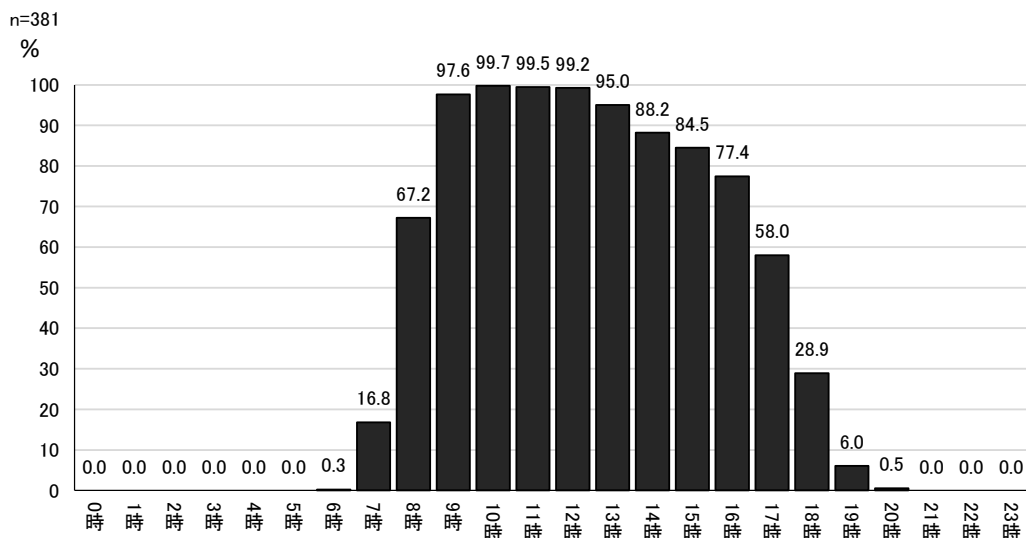


問24(1) 2・3 利用したい時間帯は、何時ですか。(数量)

回答者のうち、9時～15時の利用希望が84%を超えています。

また、8時～17時の利用希望が過半数となっています。

7時以前の利用希望は17.1%、19時以降の利用希望は6.5%となっています。

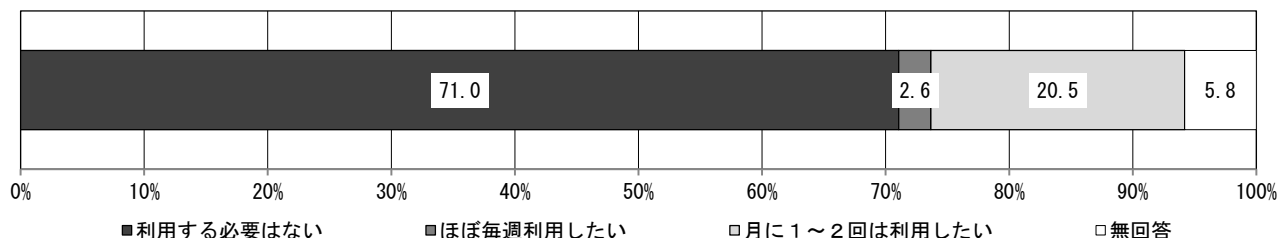


問24(2) あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用したいですか。(利用する場合、一定の利用料の負担があります。)(SA)

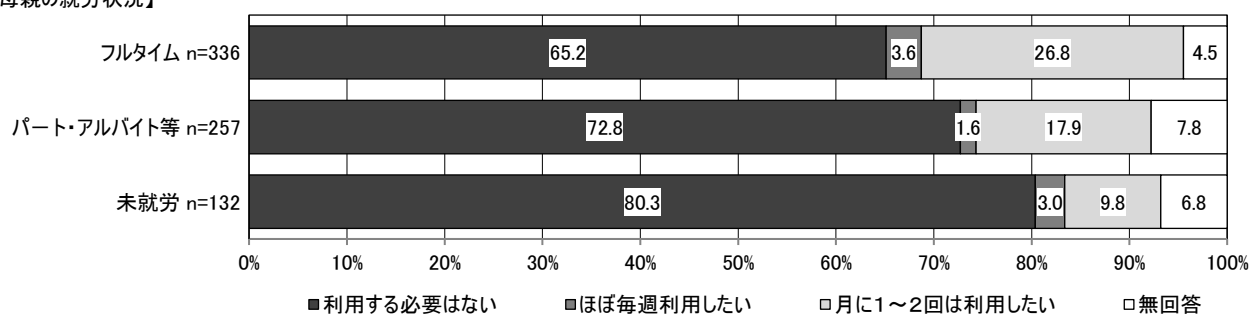
「利用する必要はない」が71.0%を占めています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「月に1～2回は利用したい」が比較的高くなっています。

(SA) n=756



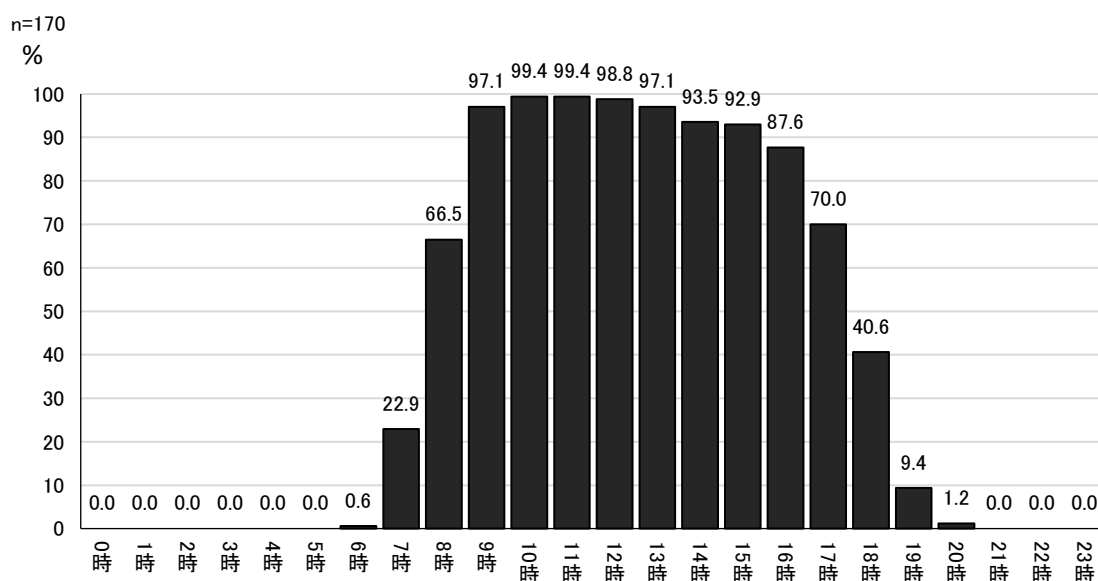
【母親の就労状況】



問24(2) 2・3 「利用したい」場合、利用したい時間帯は、何時ですか。(数量)

回答者のうち、9時～16時の利用希望が87%を超えています。

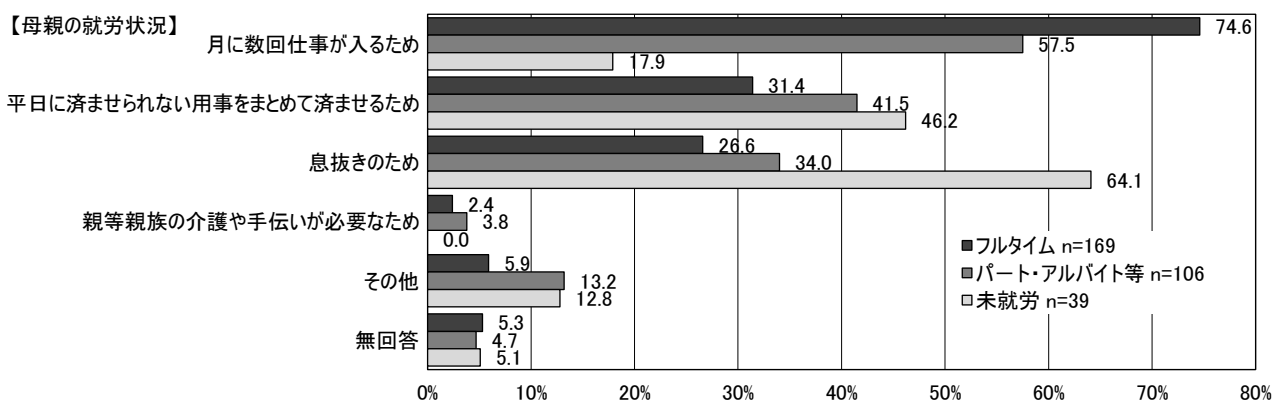
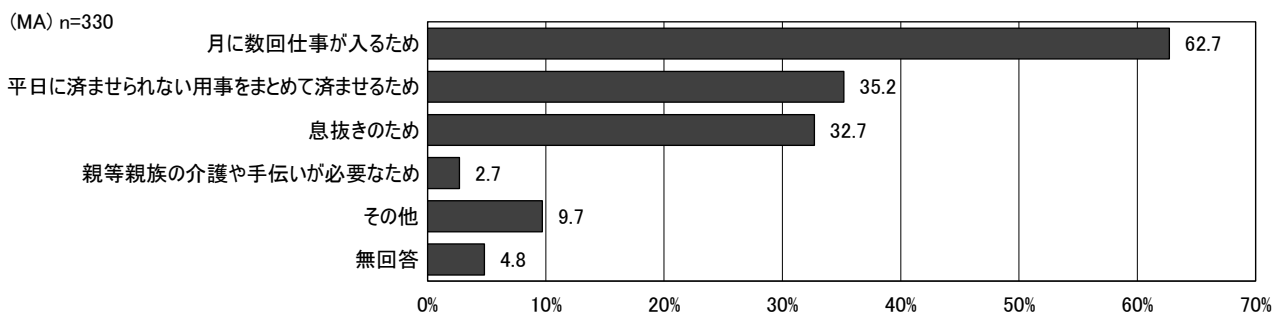
7時以前の利用希望が23.5%，19時以降の利用希望が10.6%となっています。



問24-1 毎週でなく、たまに利用したい理由を回答してください。(MA)

「月に数回仕事が入るため」が62.7%で突出しています。「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.2%、「息抜きのため」が32.7%で続いています。

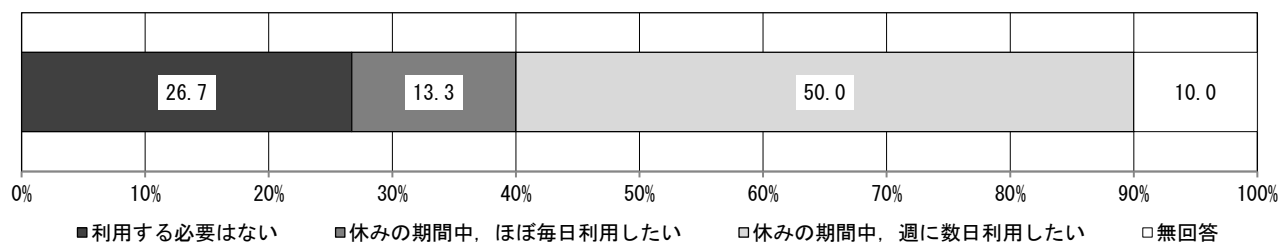
母親の就労状況別にみると、未就労では「息抜きのため」が特に高くなっています。



問25 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用したいですか。(利用する場合、一定の利用料の負担があります。)(SA)

「休みの期間中、週に数日利用したい」が50.0%で最も高く、次いで「利用する必要はない」が26.7%となっています。

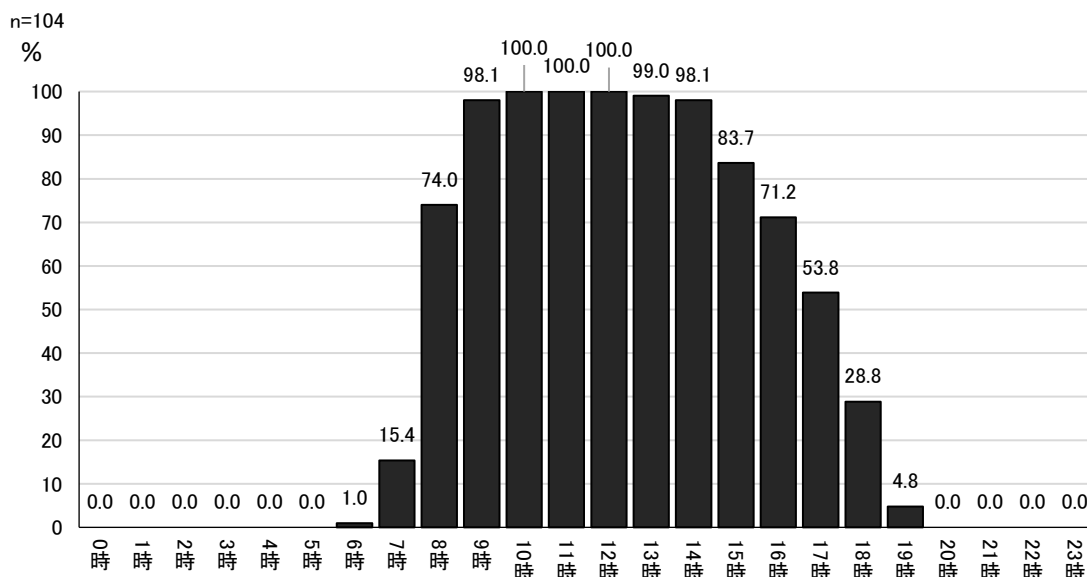
(SA) n=30



問25 2・3 「利用したい」場合、利用したい時間帯は、何時ですか。(数量)

回答者のうち、98%以上が9時～14時の利用を希望しています。また、70%以上が8時～16時の利用を希望しています。

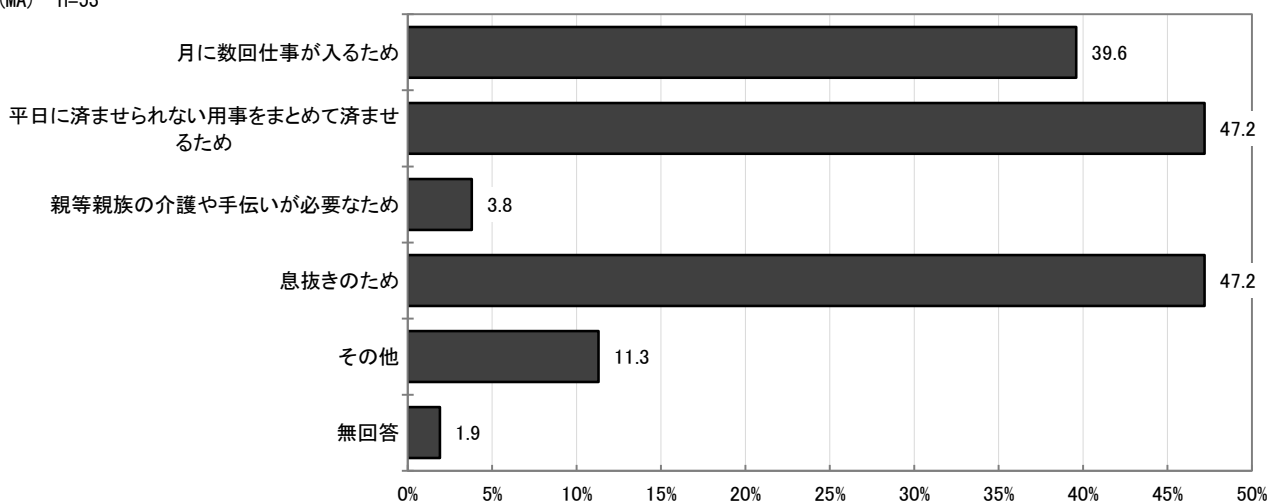
7時以前の利用希望は 16.4%，19 時以降の利用希望は 4.8%となっています。



問25-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由を回答してください。(MA)

「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が47.2%で最も高くなっています。次いで「息抜きのため」が47.2%、「月に数回仕事が入るため」が39.6%で続いています。

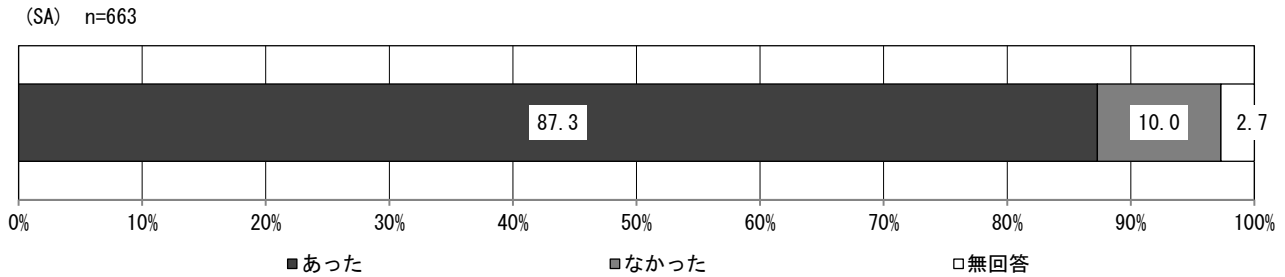
(MA) n=53



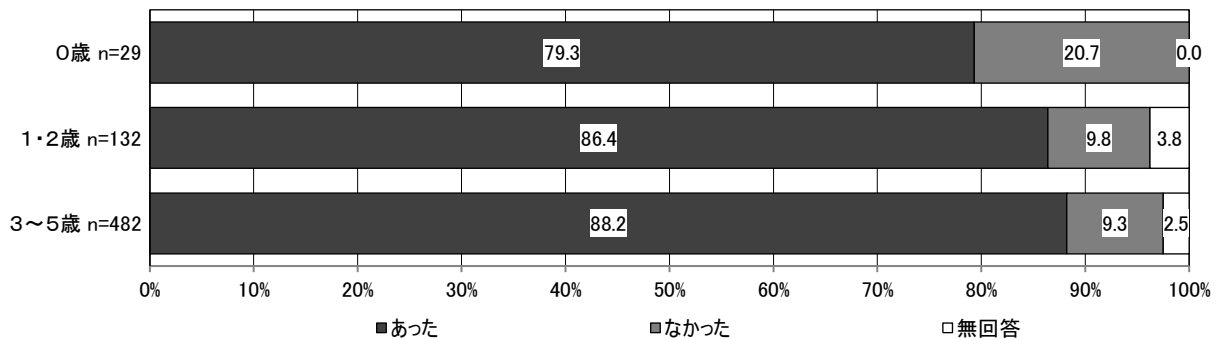
お子さんが病気の際の対応について (平日に幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用する方のみ)

問26 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所などを利用できなかったことはありましたか。(SA)

「あった」が87.3%を占めています。
年齢が高いほど、「あった」が高くなる傾向がみられます。



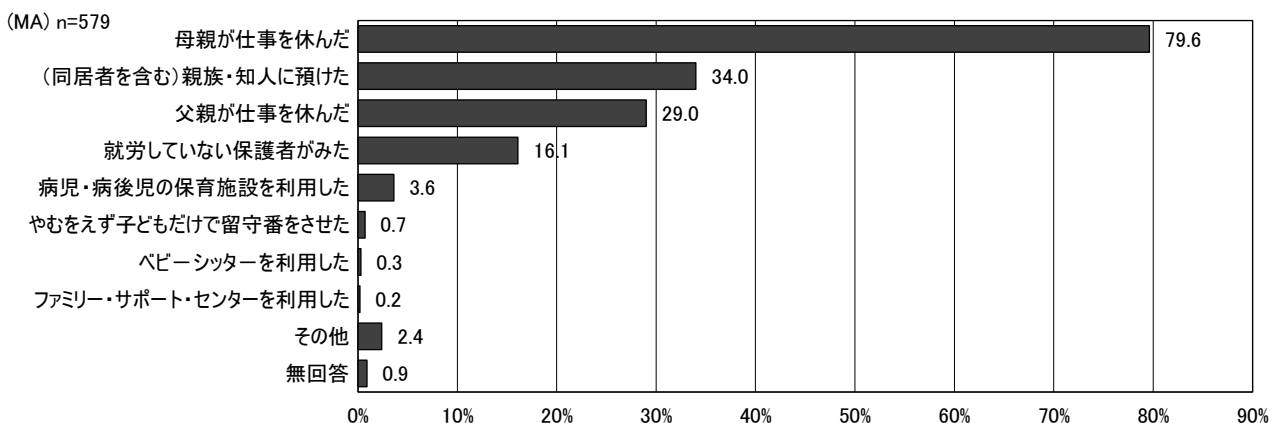
【年齢】



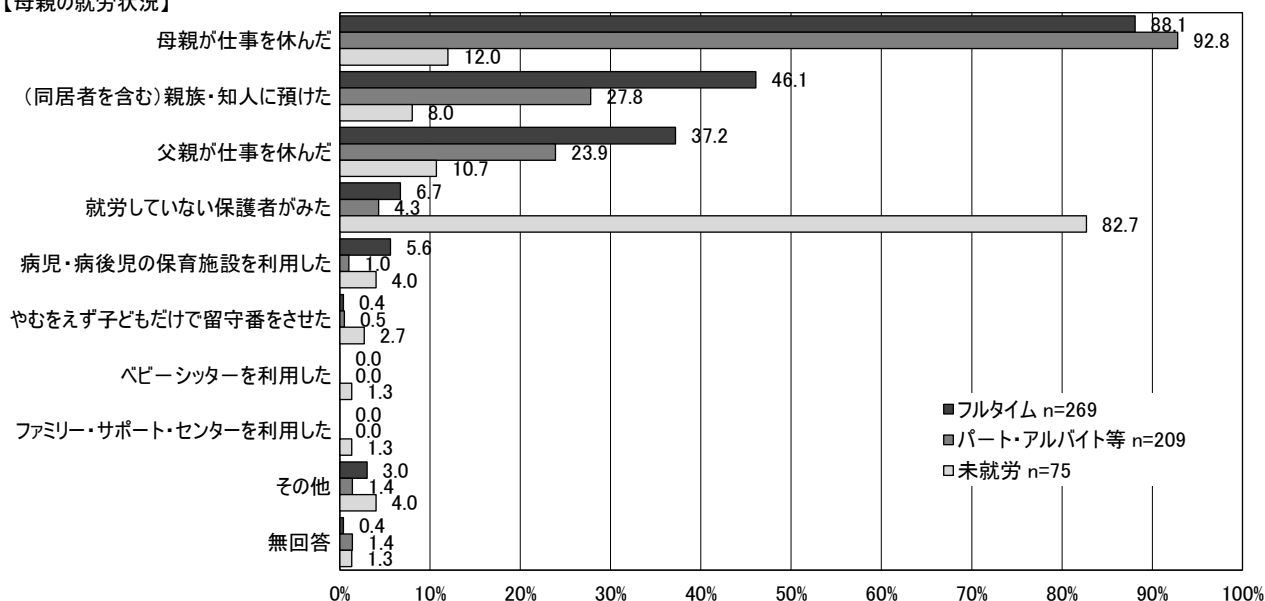
問26-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などを利用できなかった場合に、どのように対応しましたか。(MA)

「母親が仕事を休んだ」が79.6%で突出しています。「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が34.0%、「父親が仕事を休んだ」が29.0%が続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「(同居者を含む)親族・知人に預けた」「父親が仕事を休んだ」が比較的高くなっています。



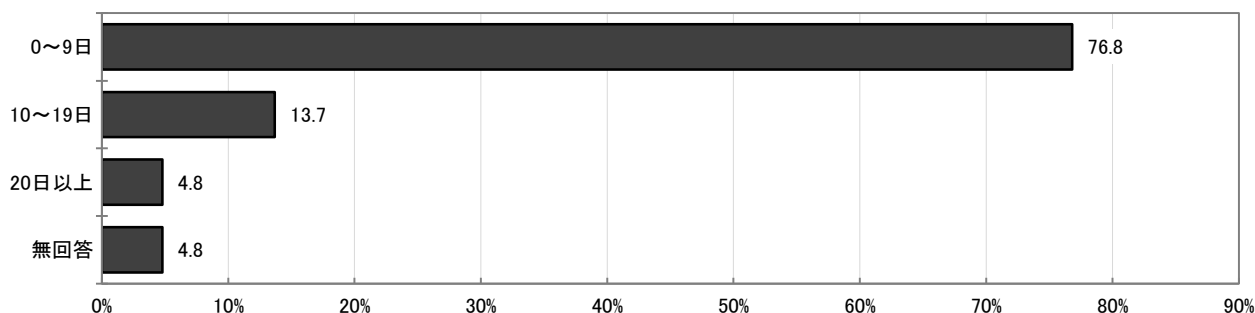
【母親の就労状況】



問26-1 1 「父親が仕事を休んだ」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「0～9日」が76.8%で最も高くなっています。

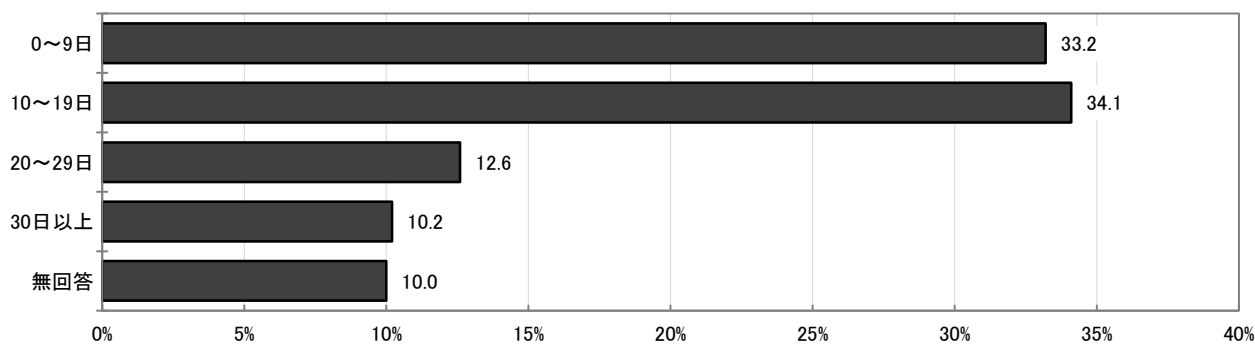
(数量) n=168



問26-1 2 「母親が仕事を休んだ」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

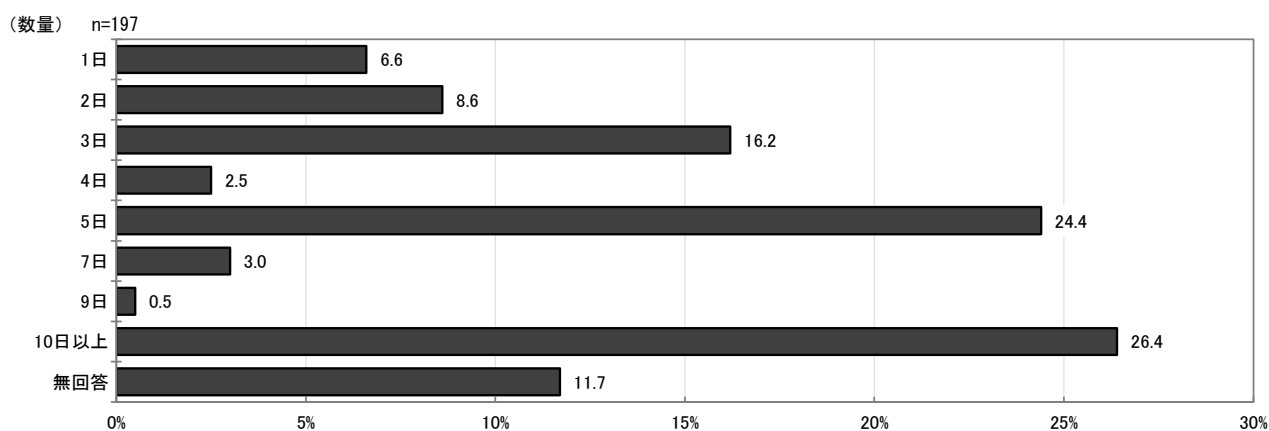
「10～19日」が34.1%、「0～9日」が33.2%で高くなっています。

(数量) n=461



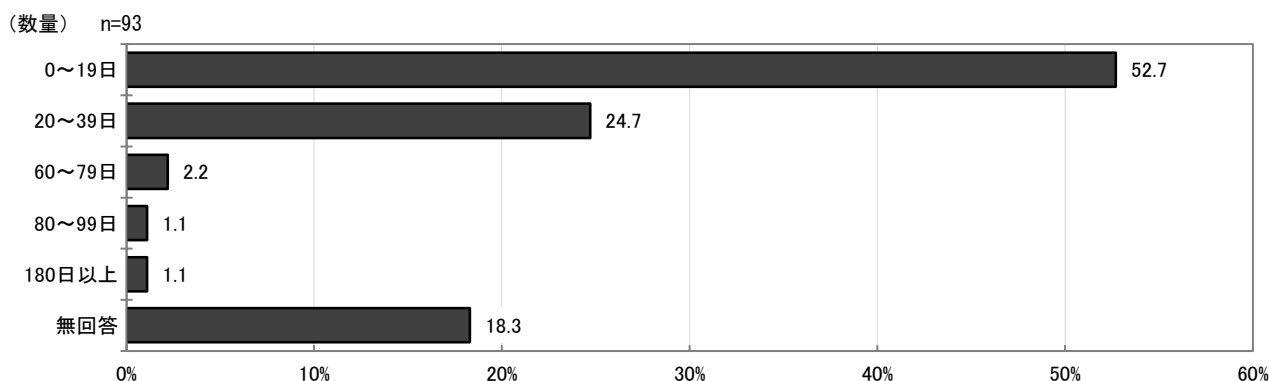
問26-1 3 「(同居者を含む)親族・知人に預けた」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「10日以上」が26.4%で最も高くなっています。次いで「5日」が24.4%、「3日」が16.2%が続いています。



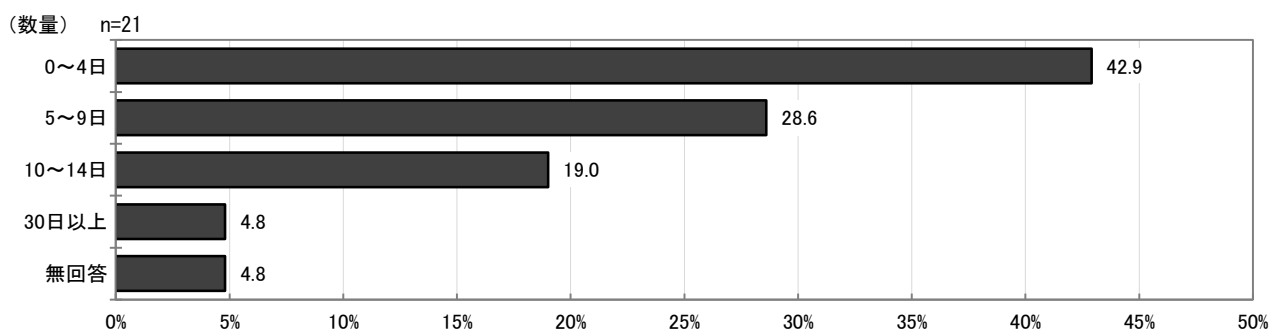
問26-1 4 「就労していない保護者がみた」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「0～19日」が52.7%で突出しています。「20～39日」が24.7%、「60～79日」が2.2%が続いています。



問26-1 5 「病児・病後児の保育施設を利用した」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「0～4日」が42.9%で最も高くなっています。次いで「5～9日」が28.6%、「10～14日」が19.0%が続いています。



問26-1 6 「ベビーシッターを利用した」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

対象者2人のうち「1日」「2日」に一人ずつの回答がありました。

問26-1 7 「ファミリー・サポート・センターを利用した」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

対象者1人が「1日」と回答しています。

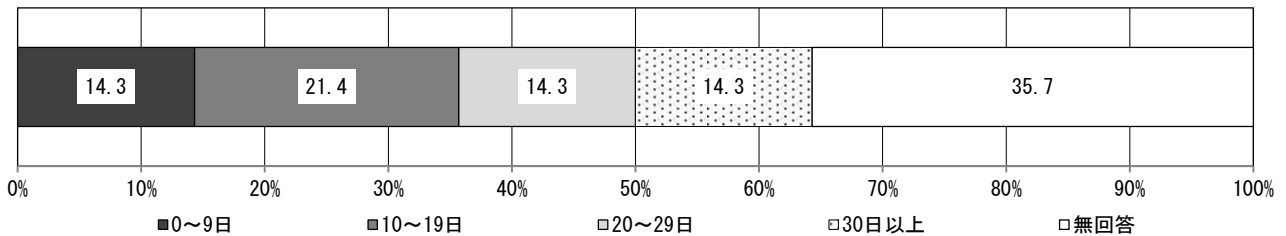
問26-1 8 「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

対象者4人のうち、3人が「1日」と回答しています。

問26-1 9 「その他」場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「10～19日」が21.4%で最も高く、次いで「0～9日」が14.3%、「20～29日」が14.3%が続いています。

(数量) n=14

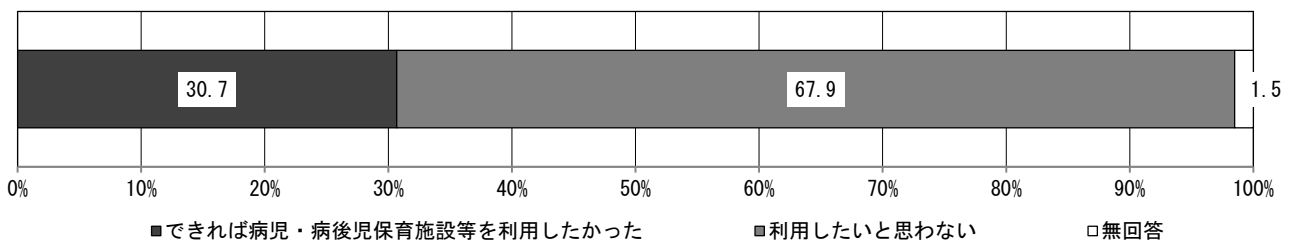


問26-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」と思いましたか。(SA)

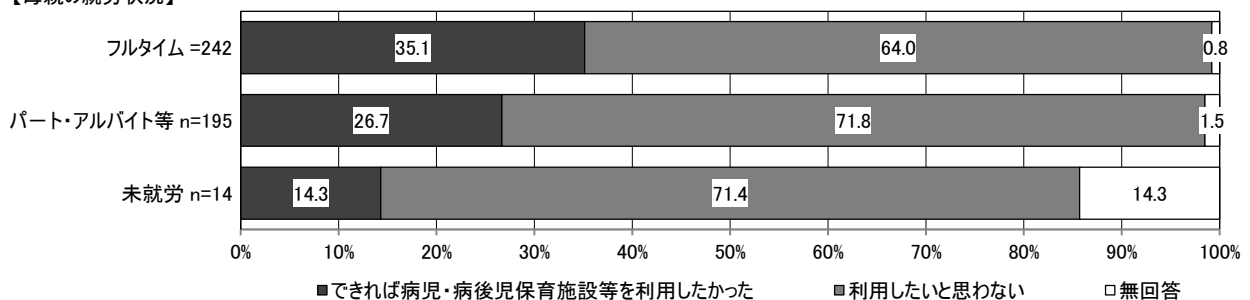
「利用したいと思わない」が67.9%を占めています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が比較的高くなっています。

(SA) n=473

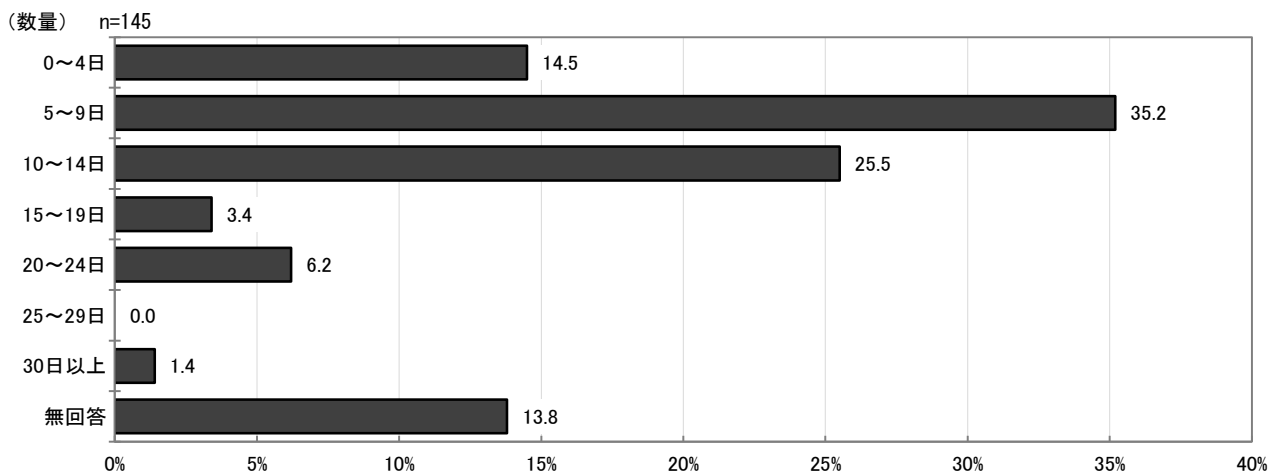


【母親の就労状況】



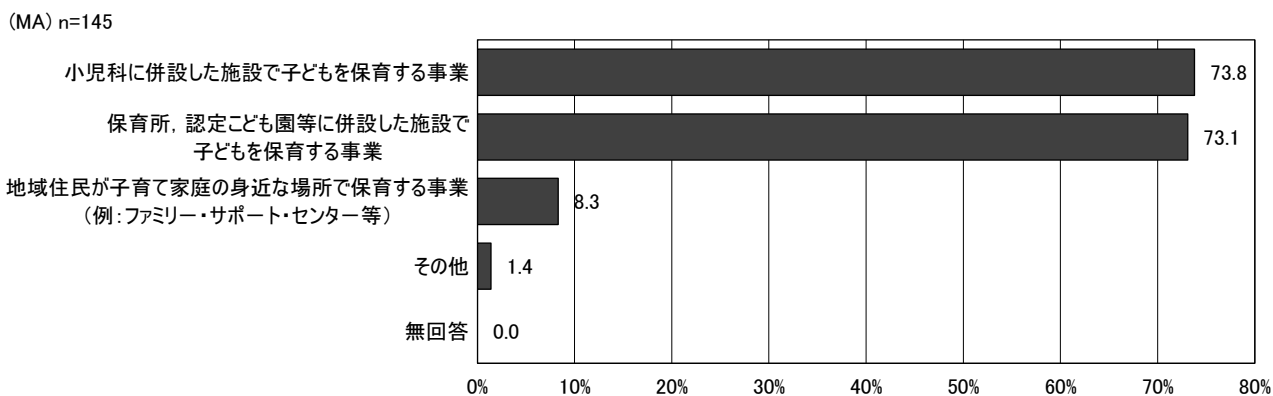
問26-2 1 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」場合、1年間に(何)日ですか。
(数量)

「5～9日」が35.2%で最も高くなっています。次いで「10～14日」が25.5%、「0～4日」が14.5%が続いています。



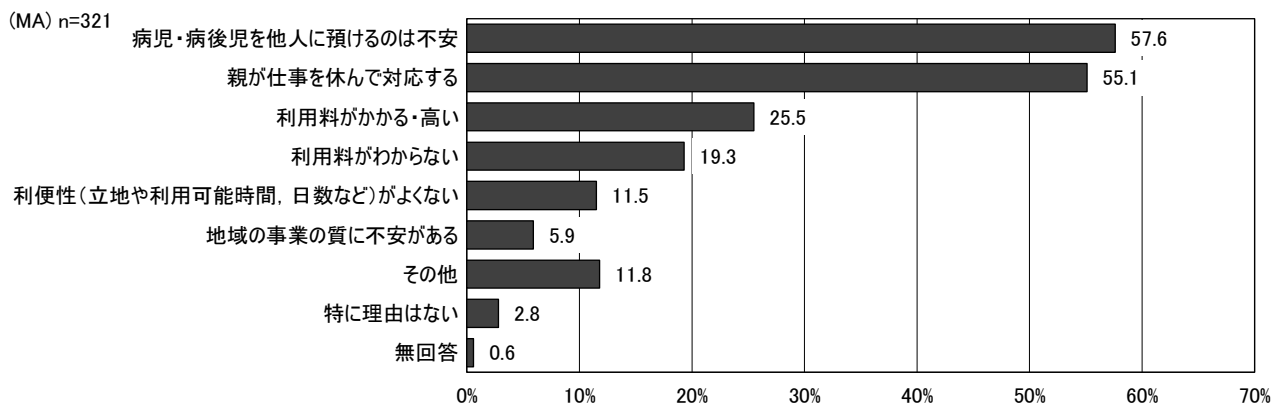
問26-3 病児・病後児のための保育施設等を利用する場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(MA)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.8%、「保育所、認定こども園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.1%で群を抜いて高くなっています。「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が8.3%が続いています。



問26-4 利用したくないと思う理由をお答えください。(MA)

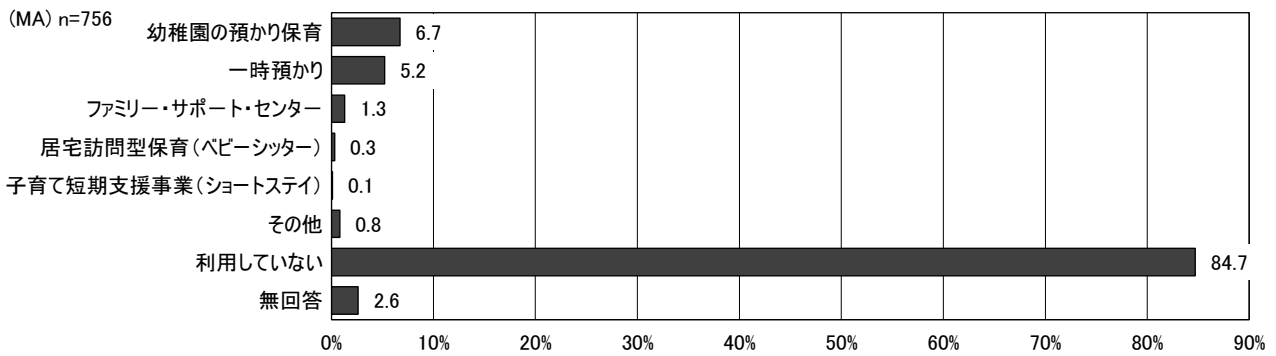
「病児・病後児を他人に預けるのは不安」が 57.6%、「親が仕事を休んで対応する」が 55.1%で群を抜いて高くなっています。「利用料がかかる・高い」が 25.5%で続いています。



不定期の保育サービスの利用について

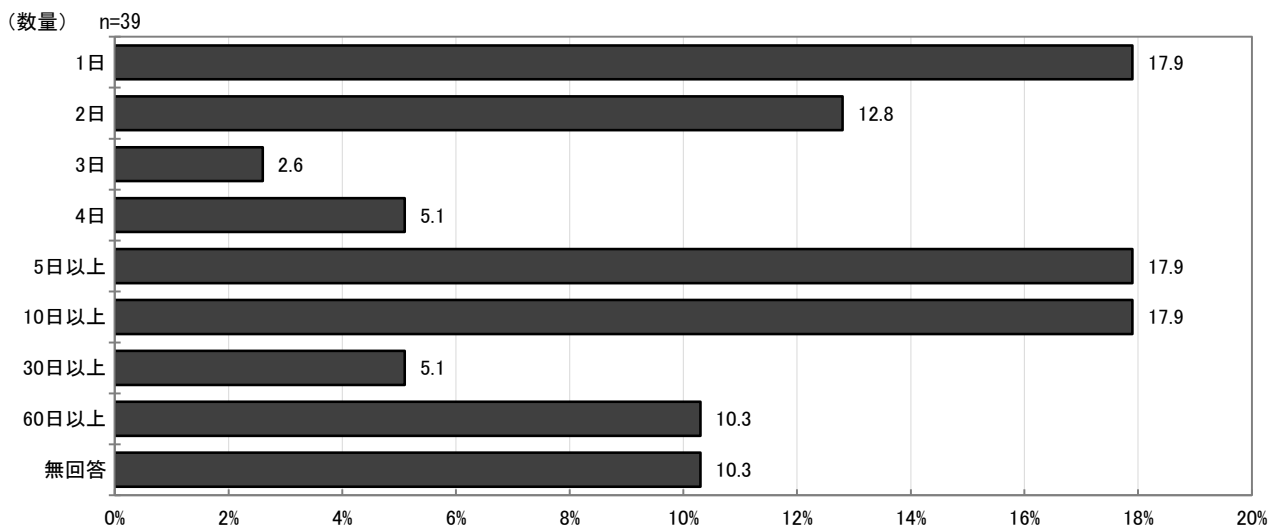
問27 あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不
定期に利用したサービスはありますか。(MA)

「利用していない」が84.7%で突出しています。「幼稚園の預かり保育」が6.7%、「一時預かり」が5.2%で続
いています。



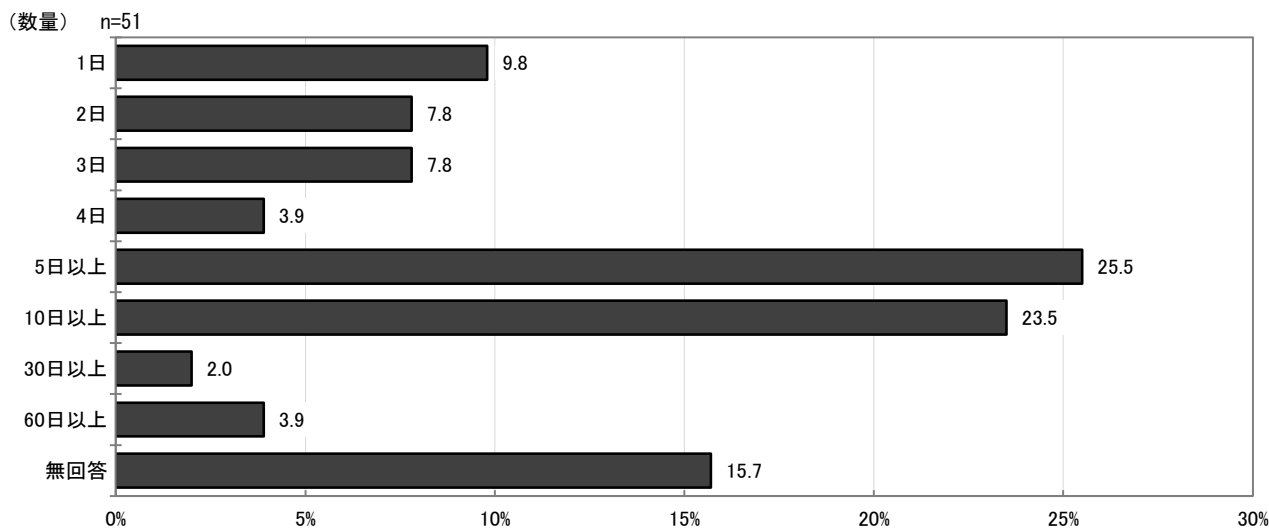
問27 1 「一時預かり」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「1日」「5日以上」「10日以上」が17.9%で高くなっています。



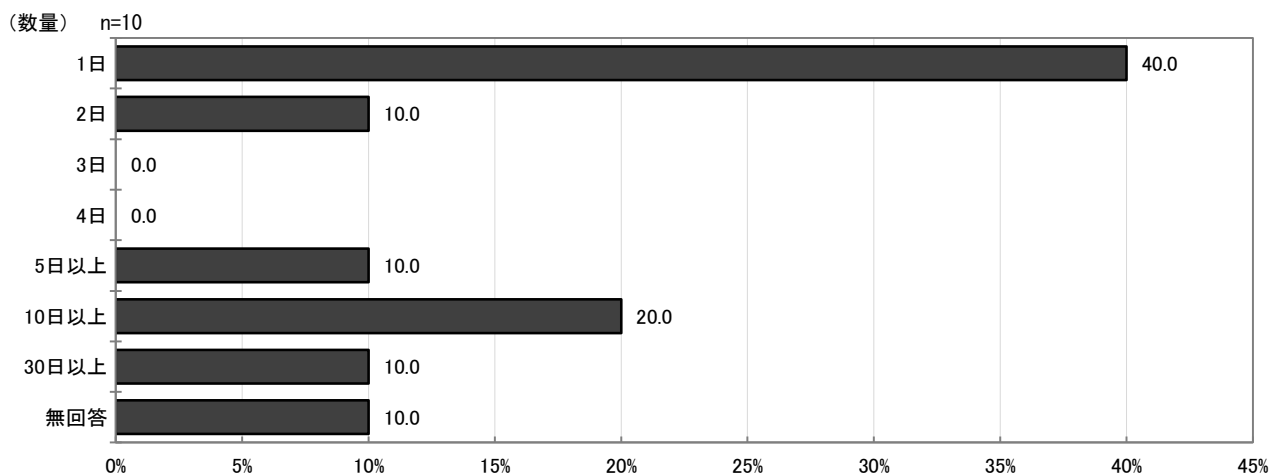
問27 2 「幼稚園の預かり保育」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「5日以上」が25.5%、「10日以上」が23.5%で群を抜いて高くなっています。「1日」が9.8%が続いています。



問27 3 「ファミリー・サポート・センター」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「1日」が40.0%で突出しています。「10日以上」が20.0%、「2日」が10.0%が続いています。



問27 4 「子育て短期支援事業(ショートステイ)」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

対象者1人が「1日」と回答しています。

問27 5 「居宅訪問型保育(ベビーシッター)」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

対象者2人が「1日」「55日」と回答しています。

問27 6 「その他」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

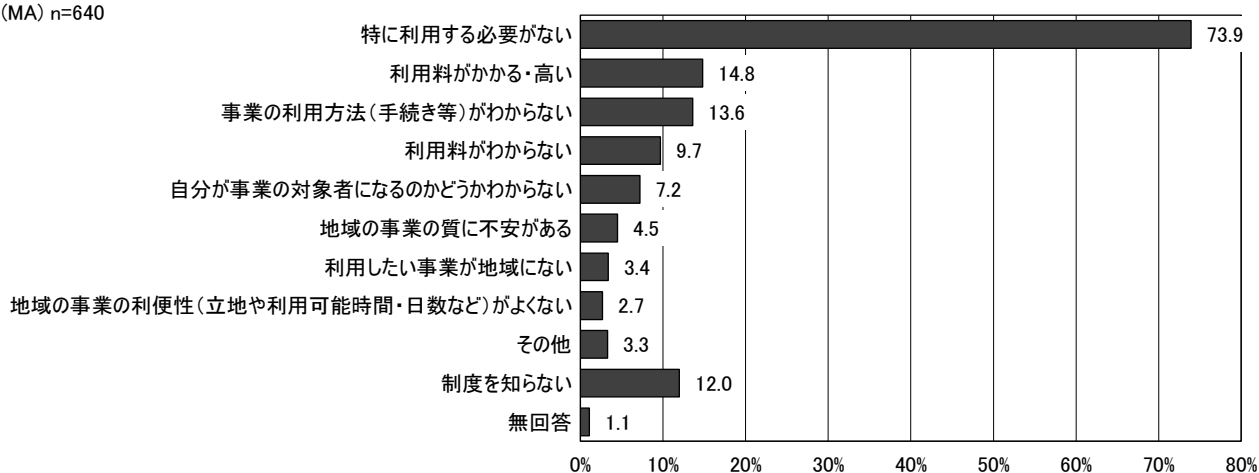
対象者6人のうち3人が「5日以下」、1人が「60日」と回答しています。

問27-1 現在、利用していない理由を回答してください。(MA)

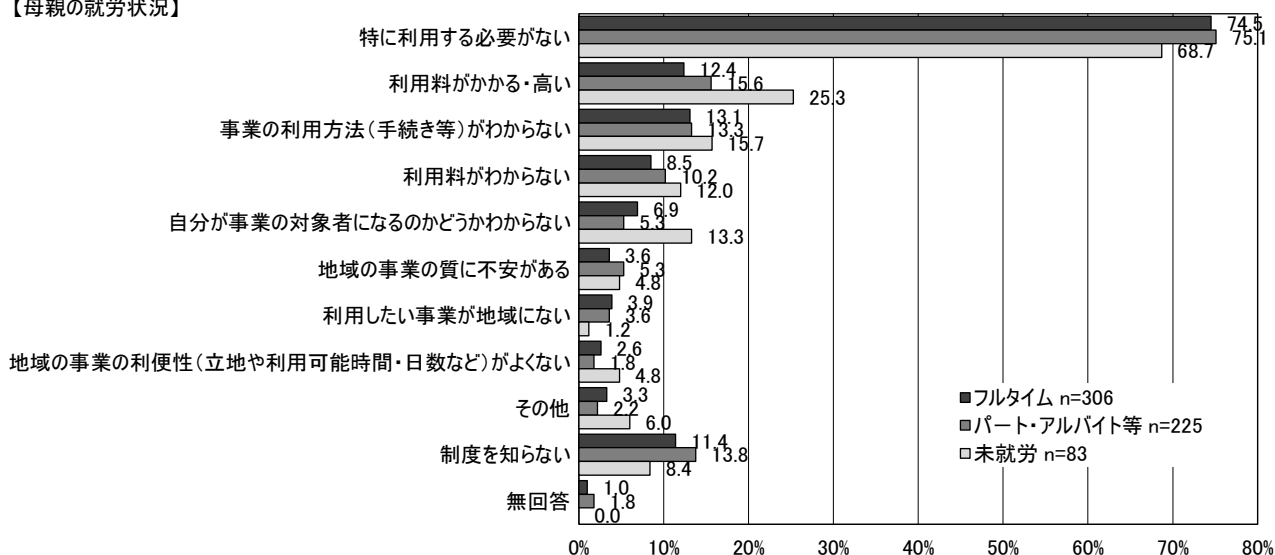
「特に利用する必要がない」が73.9%で突出しています。「利用料がかかる・高い」が14.8%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が13.6%で続いています。

母親の就労状況別にみると、未就労では「利用料がかかる・高い」「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」が比較的高くなっています。

(MA) n=640



【母親の就労状況】

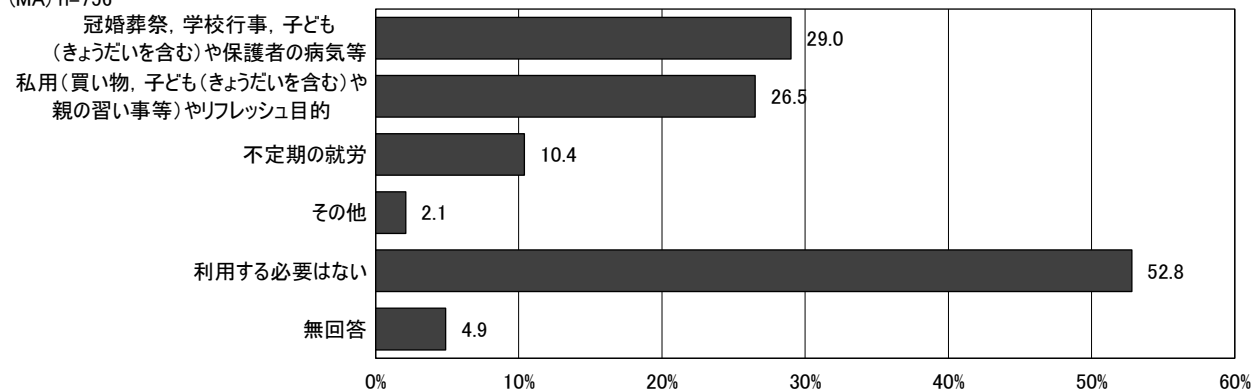


問28 あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労、保護者の病気等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。(利用には、一定の利用料の負担があります。)(MA)

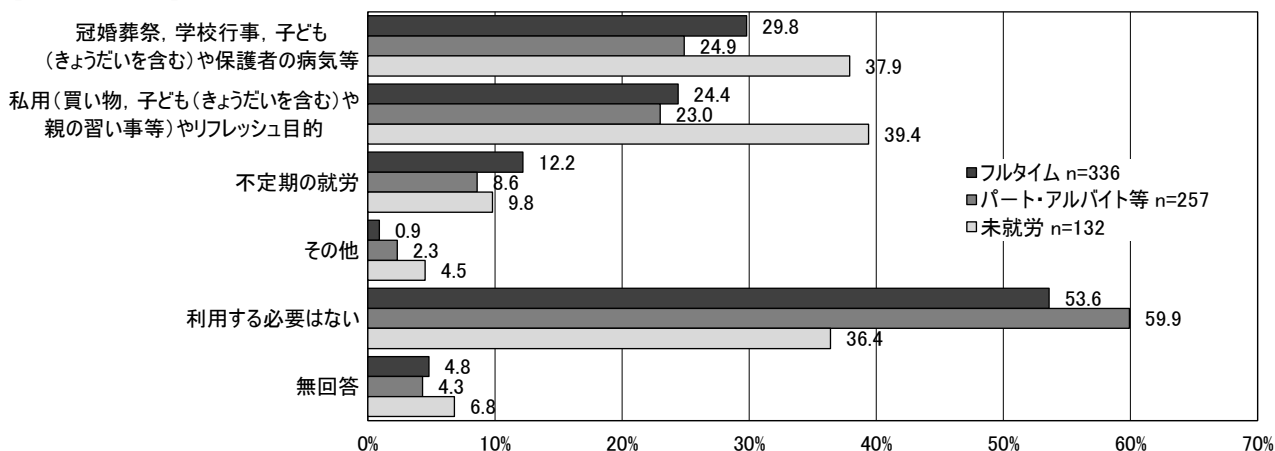
「利用する必要はない」が 52.8%で突出しています。「冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や保護者の病気等」が 29.0%、「私用(買い物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)やリフレッシュ目的」が 26.5%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム、パート・アルバイト等では「利用する必要はない」が比較的高くなっています。

(MA) n=756

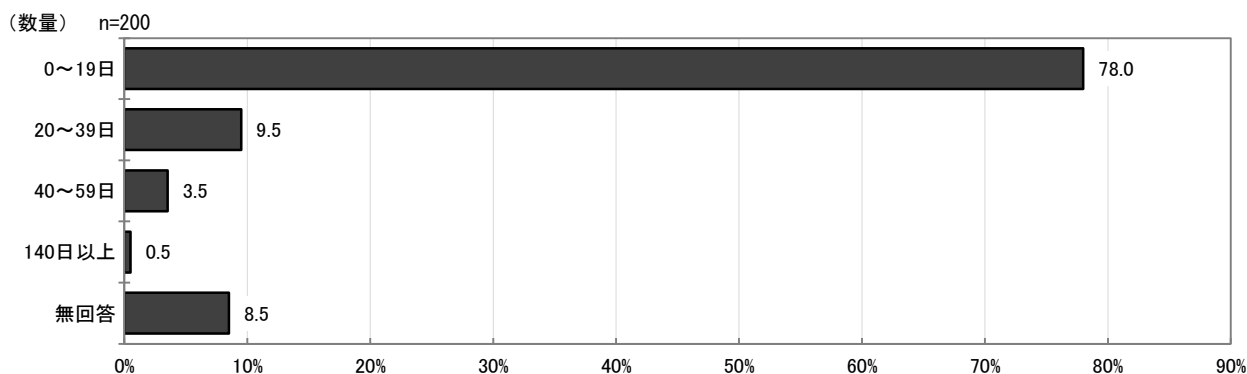


【母親の就労状況】



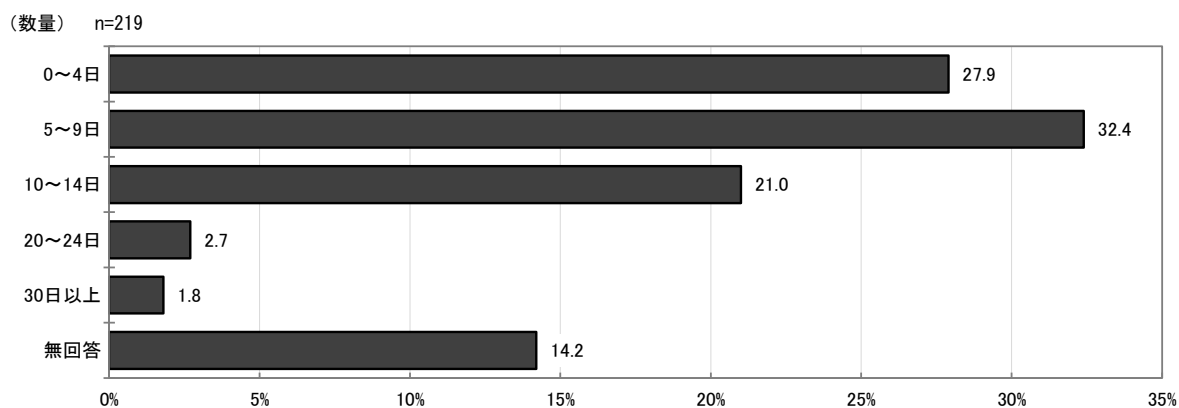
問28 1 「私用(買い物, 子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)やリフレッシュ目的」の場合, 1年間に(何)日ですか。(数量)

「0～19日」が78.0%で突出しています。「20～39日」が9.5%、「40～59日」が3.5%が続いています。



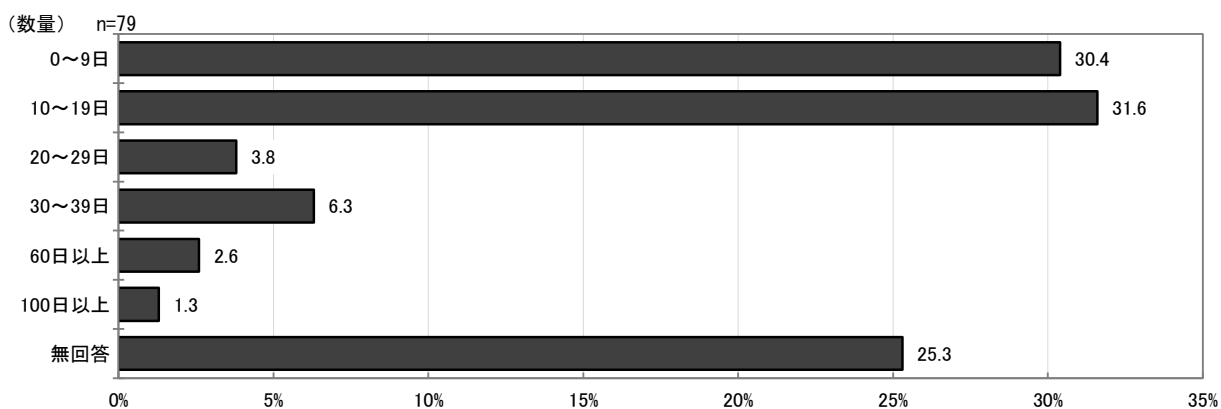
問28 2 「冠婚葬祭, 学校行事, 子ども(きょうだいを含む)や保護者の病気等」の場合, 1年間に(何)日ですか。(数量)

「5～9日」が32.4%で最も高くなっています。次いで「0～4日」が27.9%、「10～14日」が21.0%が続いています。



問28 3 「不定期の就労」の場合, 1年間に(何)日ですか。(数量)

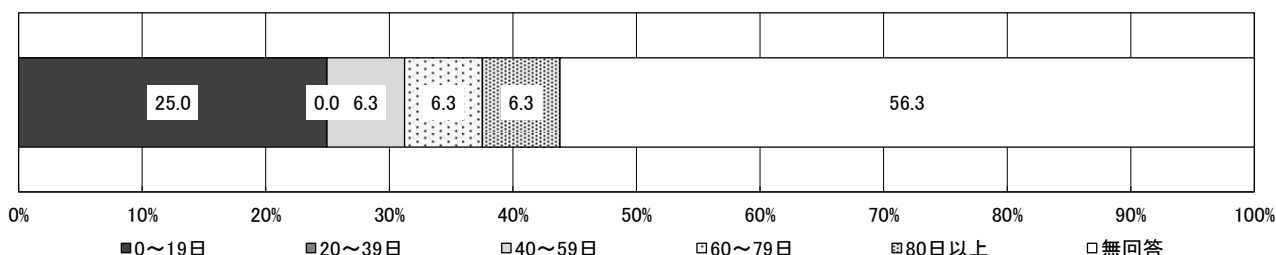
「10～19日」が31.6%、「0～9日」が30.4%で群を抜いて高くなっています。「30～39日」が6.3%が続いています。



問28 4 「その他」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

「0～19日」が25.0%で突出しています。

(数量) n=16

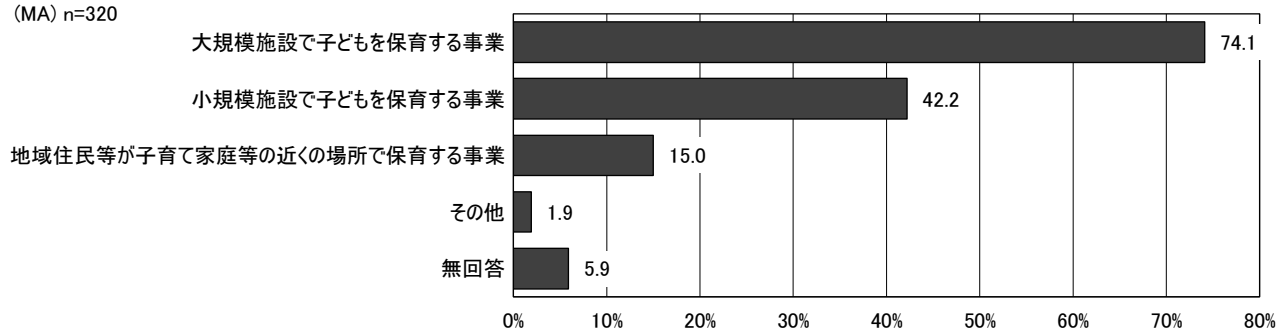


問28-1 問28の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(MA)

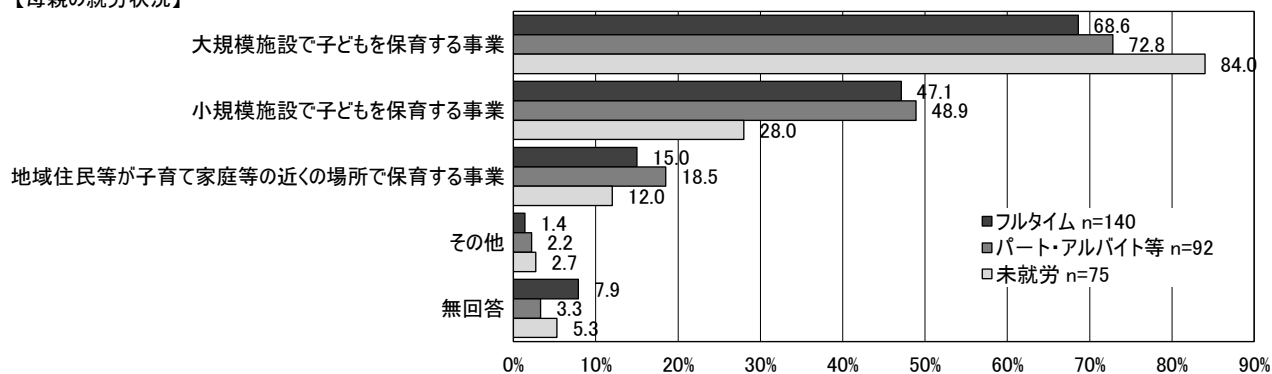
「大規模施設で子どもを保育する事業」が74.1%で突出しています。「小規模施設で子どもを保育する事業」が42.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が15.0%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム、パート・アルバイト等では「小規模施設で子どもを保育する事業」が比較的高くなっています。

(MA) n=320



【母親の就労状況】

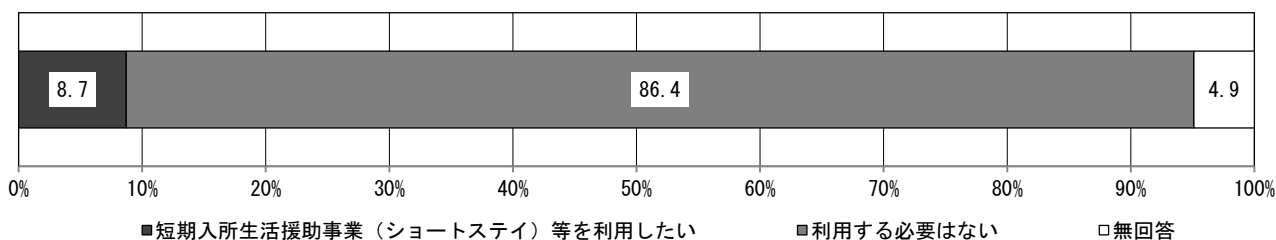


問29 あて名のお子さんについて、親の用事(冠婚葬祭、親・家族の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望の有無について(SA)

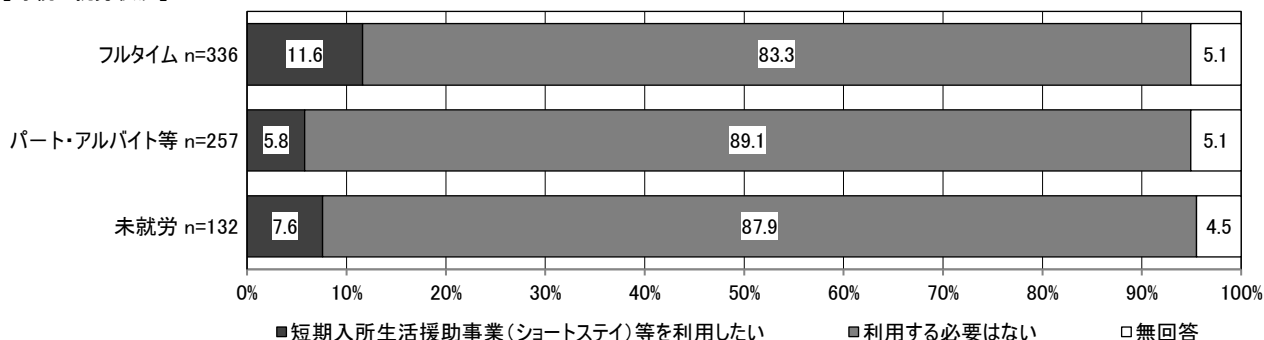
「利用する必要はない」が86.4%を占めています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「短期入所生活援助事業(ショートステイ)等を利用したい」が比較的高くなっています。

(SA) n=756



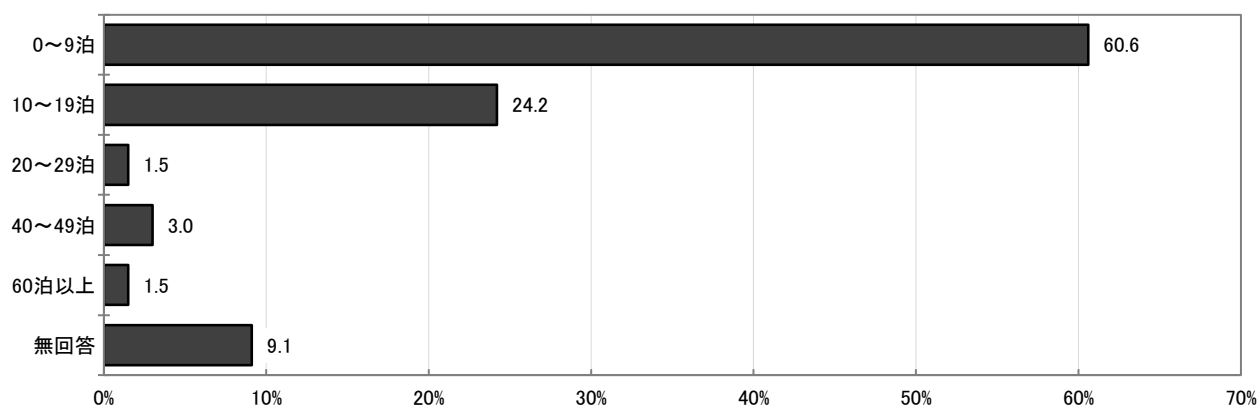
【母親の就労状況】



問29 1① 「短期入所生活援助事業(ショートステイ)等を利用したい」場合、合計(何)泊ですか。(数量)

「0～9泊」が60.6%で突出しています。「10～19泊」が24.2%、「40～49泊」が3.0%が続いています。

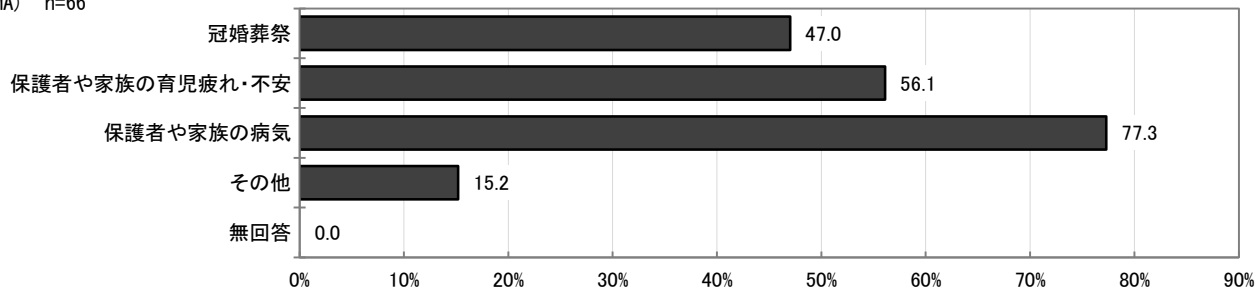
(数量) n=66



問29 1② 「短期入所生活援助事業(ショートステイ)等を利用したい」場合、その内訳を教えてください。(MA)

「保護者や家族の病気」が 77.3%で最も高くなっています。次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 56.1%、「冠婚葬祭」が 47.0%が続いています。

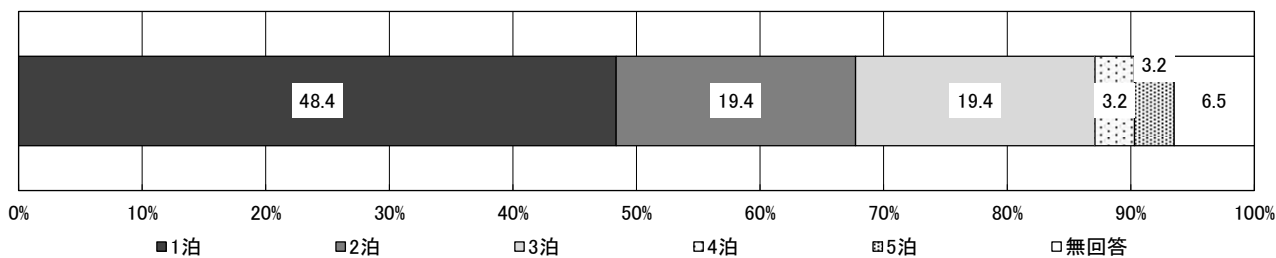
(MA) n=66



問29 1② 1 「冠婚葬祭」の場合、1年間に(何)泊ですか。(数量)

「1泊」が 48.4%で突出しています。「2泊」が 19.4%、「3泊」が 19.4%が続いています。

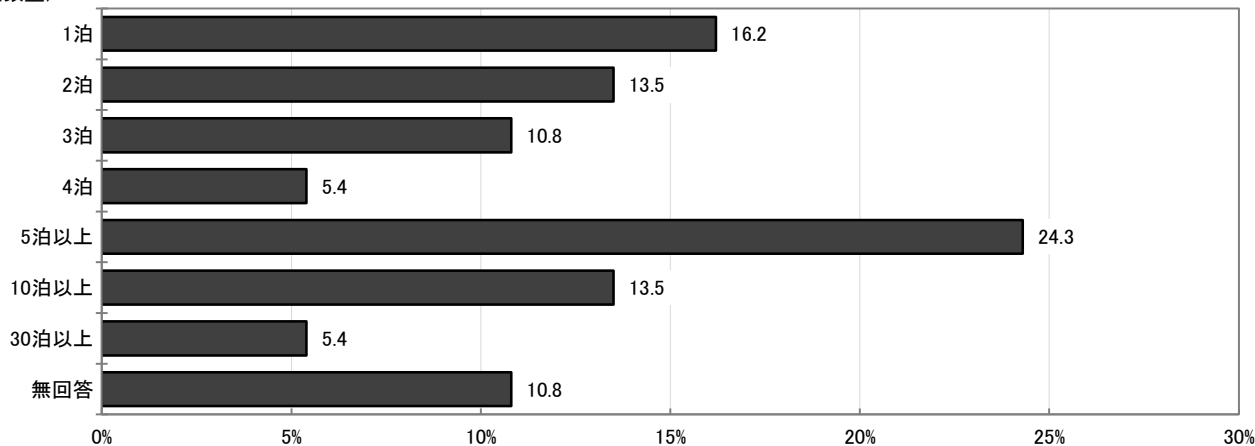
(数量) n=31



問29 1② 2 「保護者や家族の育児疲れ・不安」の場合、1年間に(何)泊ですか。(数量)

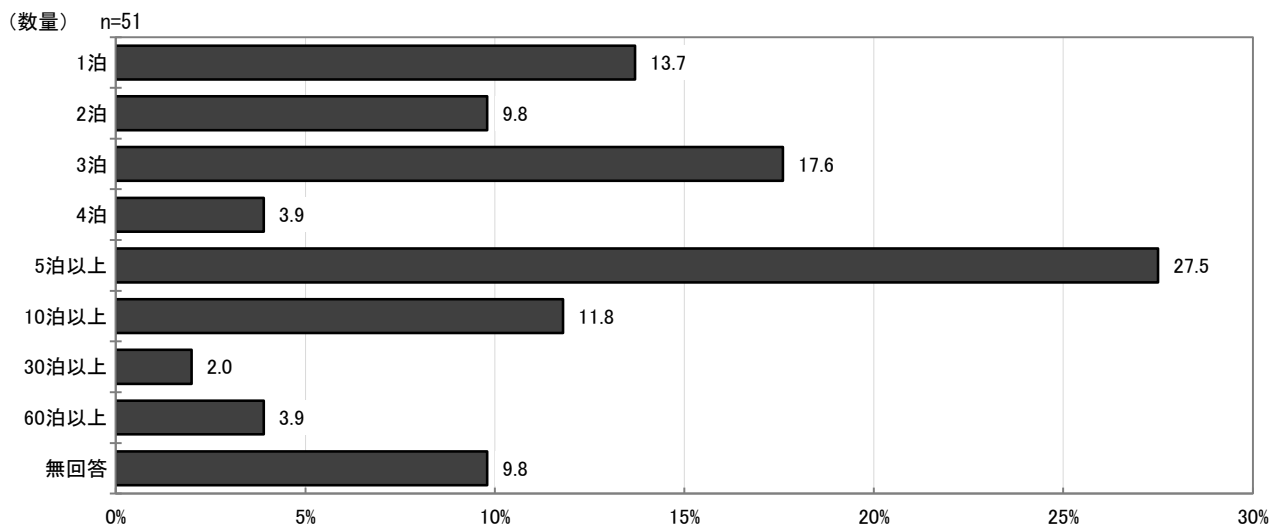
「5泊以上」が 24.3%で最も高くなっています。次いで「1泊」が 16.2%、「2泊」が 13.5%が続いています。

(数量) n=37



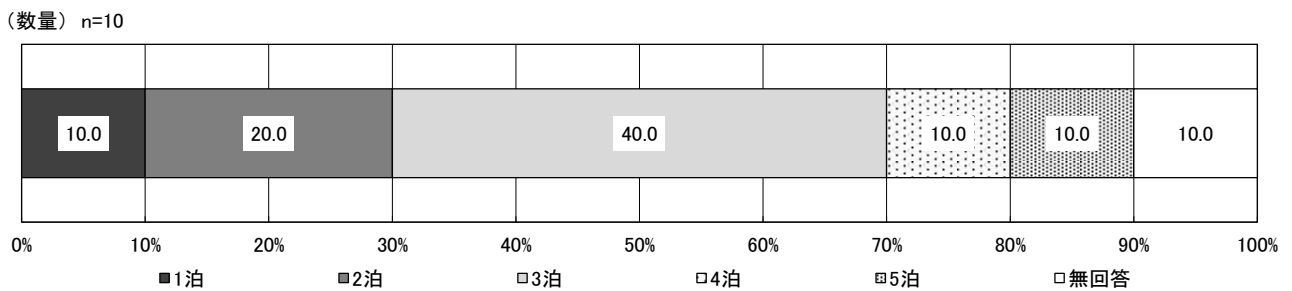
問29 1② 3 「保護者や家族の病気」の場合、1年間に(何)泊ですか。(数量)

「5泊以上」が27.5%で最も高くなっています。次いで「3泊」が17.6%、「1泊」が13.7%が続いています。



問29 1② 4 「その他」の場合、1年間に(何)泊ですか。(数量)

「3泊」が40.0%で突出しています。「2泊」が20.0%、「1泊」が10.0%が続いています。

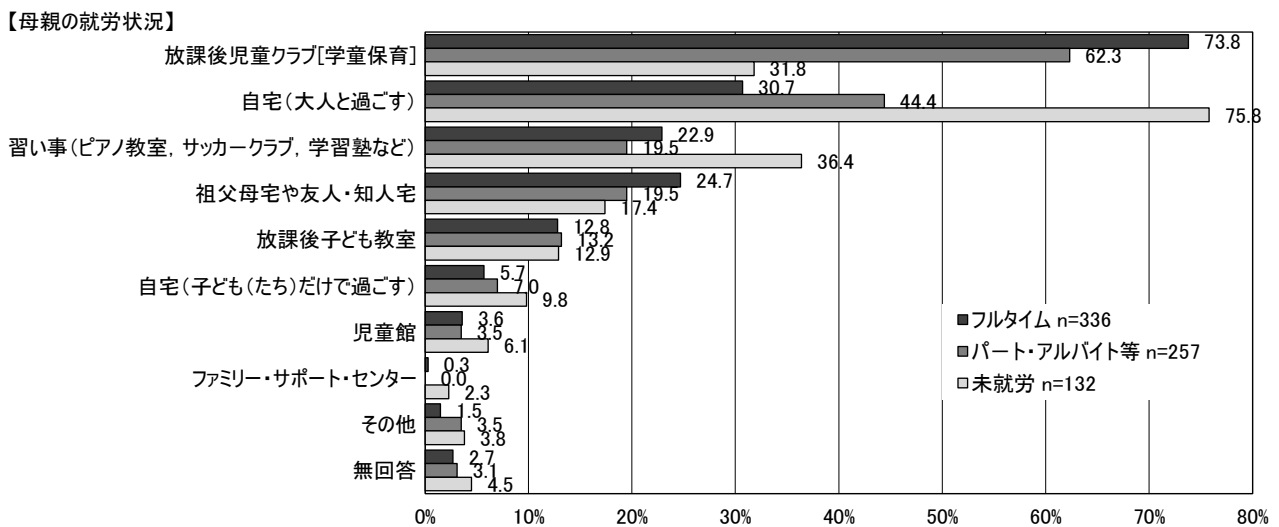
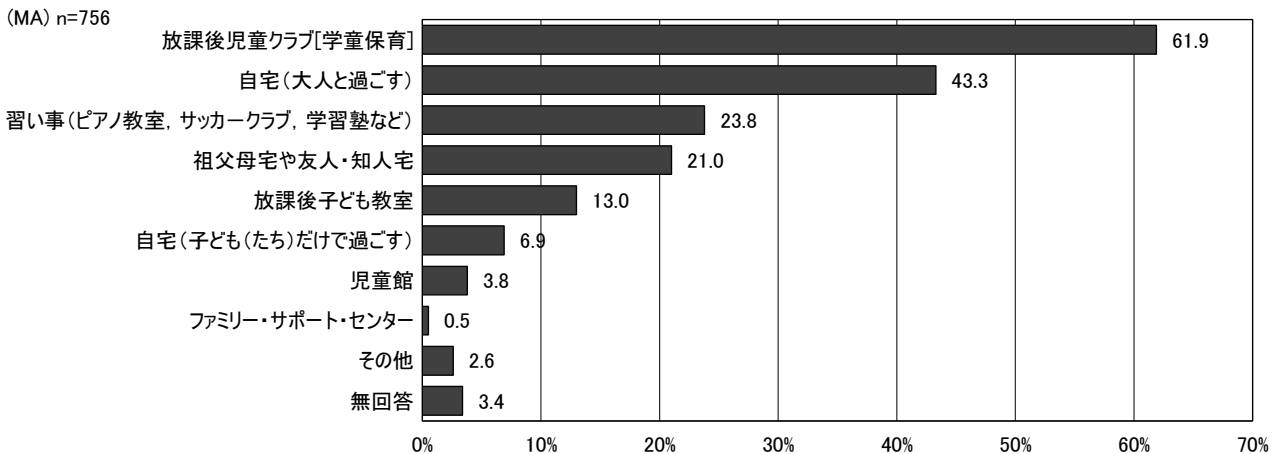


小学校就学後の放課後の過ごし方について

問30 あて名のお子さんについて、小学校に行くようになったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(MA)

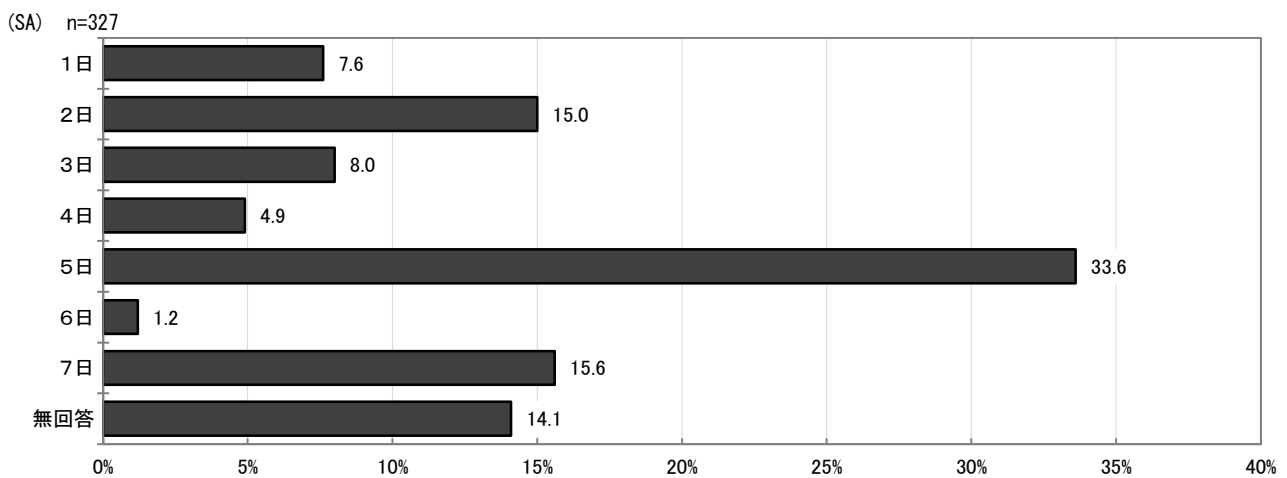
「放課後児童クラブ[学童保育]」が61.9%で最も高くなっています。次いで「自宅(大人と過ごす)」が43.3%、「習い事(ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾など)」が23.8%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム, パート・アルバイト等で「放課後児童クラブ[学童保育]」が比較的高くなっています。



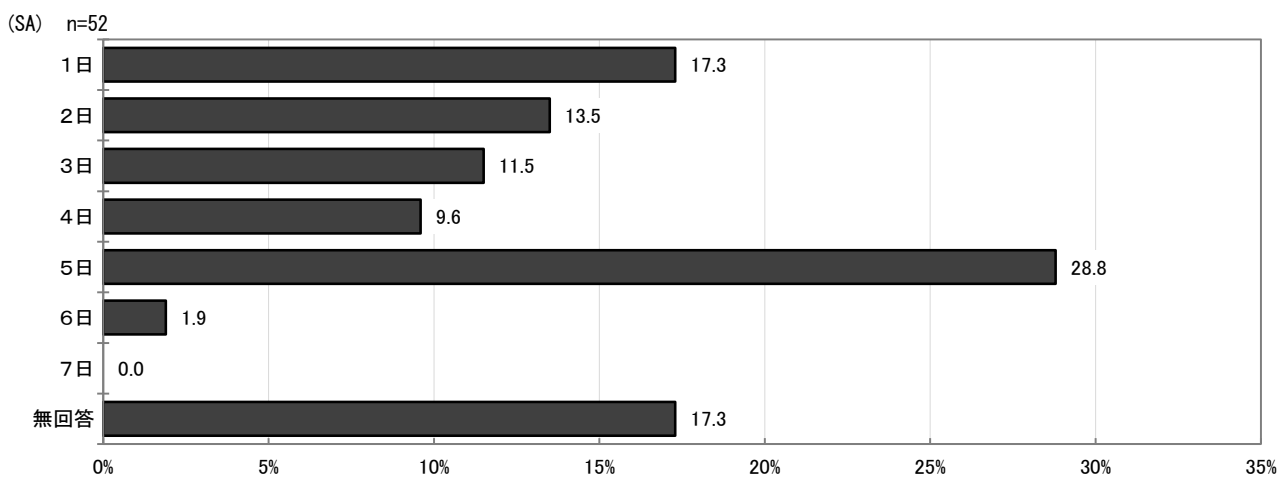
問30 1 「自宅(大人と過ごす)」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が33.6%で突出しています。「7日」が15.6%、「2日」が15.0%が続いています。



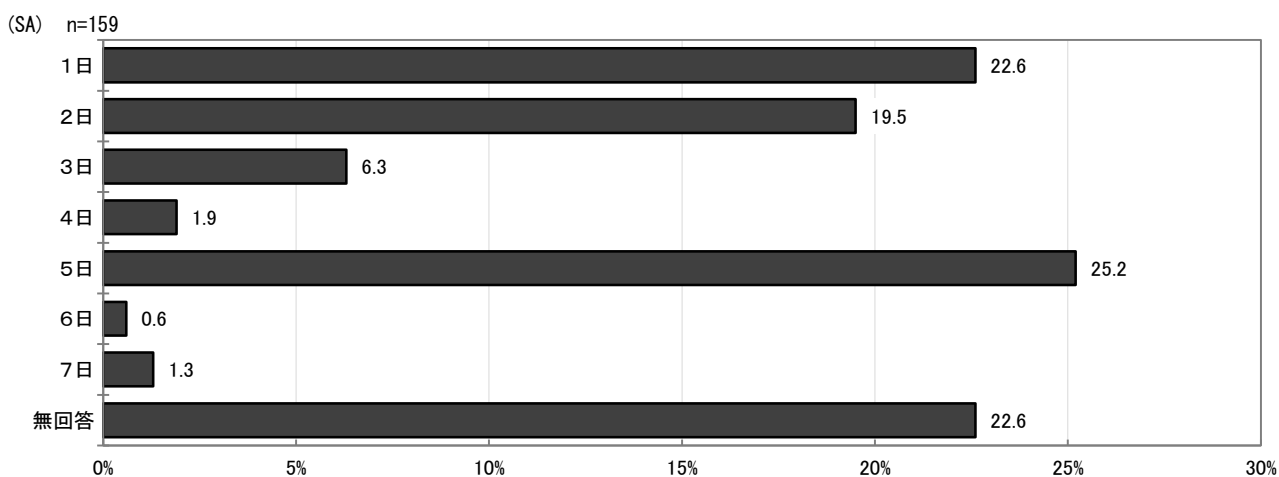
問30 2 「自宅(子ども(たち)だけで過ごす)」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が28.8%で最も高くなっています。次いで「1日」が17.3%、「2日」が13.5%が続いています。



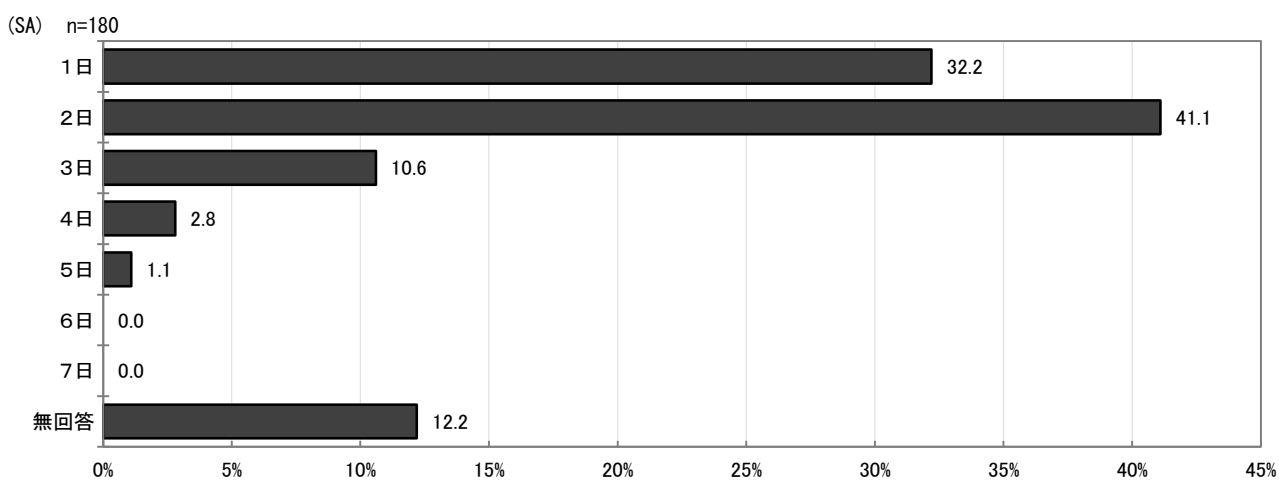
問30 3 「祖父母宅や友人・知人宅」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が25.2%で最も高くなっています。次いで「1日」が22.6%、「2日」が19.5%が続いています。



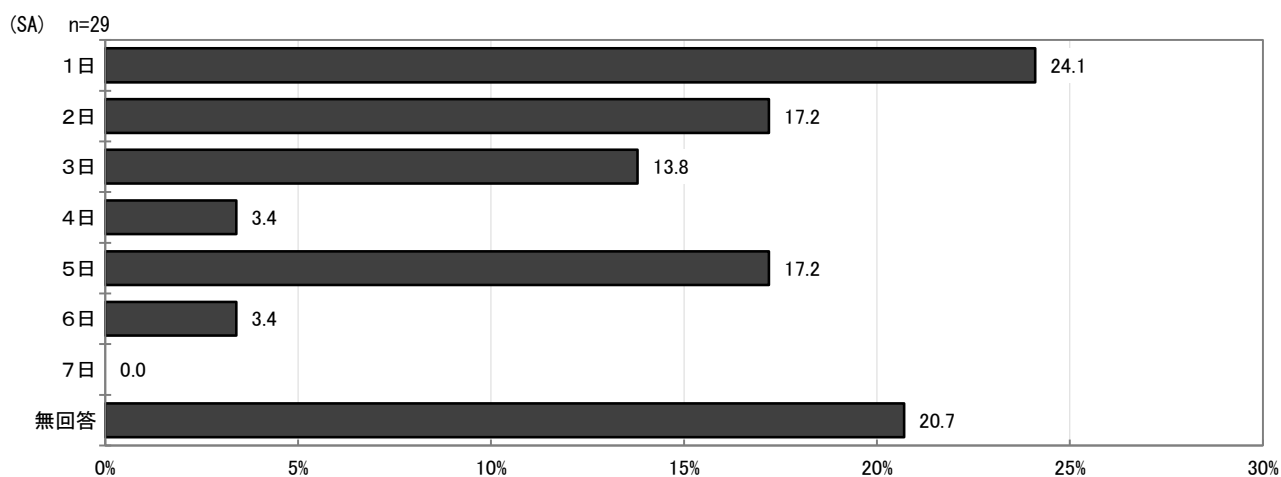
問30 4 「習い事(ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾など)」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「2日」が41.1%で最も高くなっています。次いで「1日」が32.2%、「3日」が10.6%が続いています。



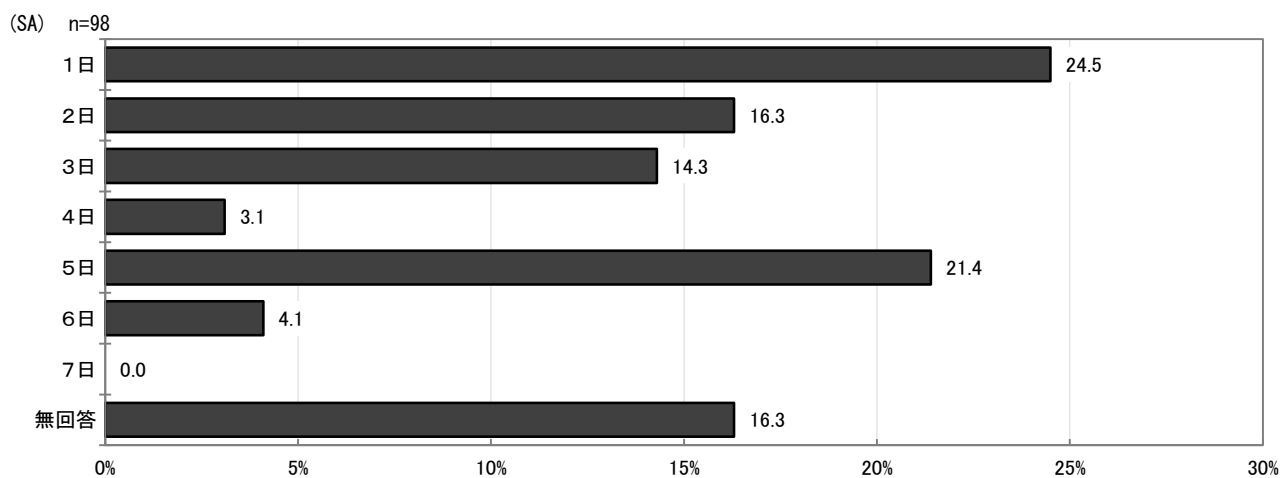
問30 5 「児童館」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「1日」が24.1%で最も高くなっています。次いで「2日」が17.2%、「5日」が17.2%が続いています。



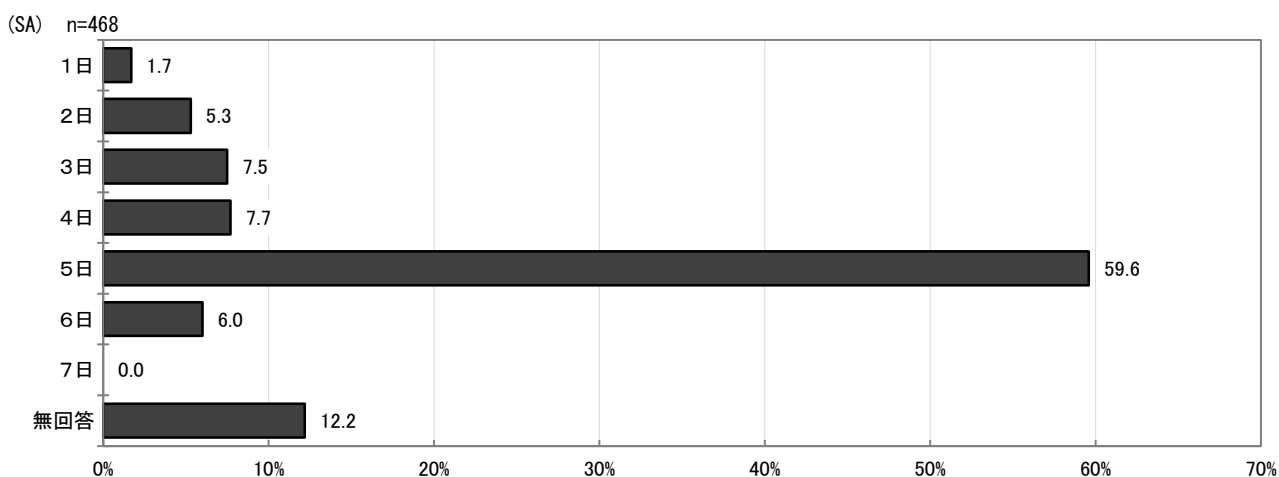
問30 6 「放課後子ども教室」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「1日」が24.5%で最も高くなっています。次いで「5日」が21.4%、「2日」が16.3%が続いています。



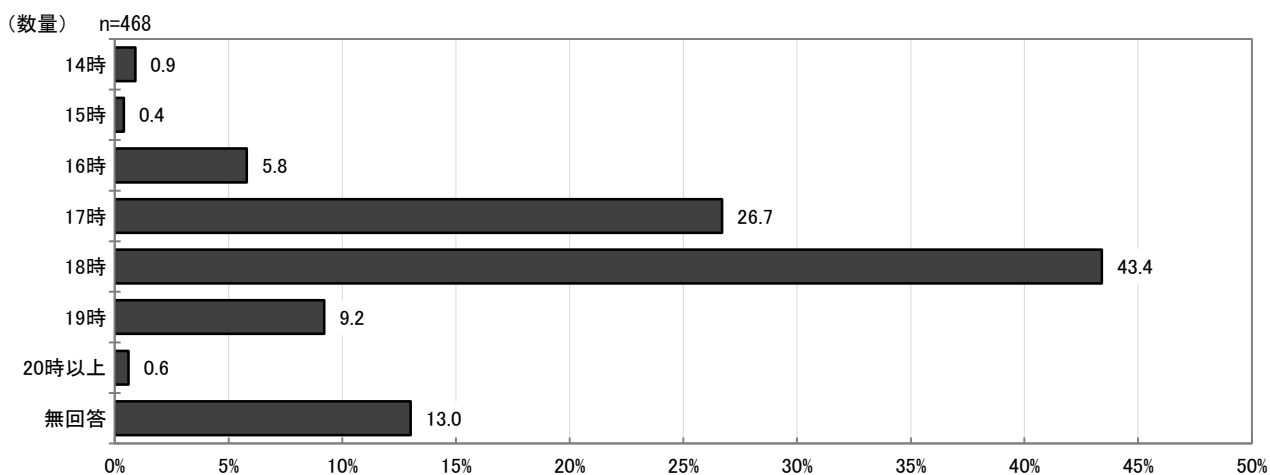
問30 7A 「放課後児童クラブ[学童保育]」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が59.6%で突出しています。「4日」が7.7%、「3日」が7.5%が続いています。



問30 7B 「放課後児童クラブ[学童保育]」の場合、下校時から(何)時くらいまでですか。(終了時刻)(数量)

「18時」が43.4%で最も高くなっています。次いで「17時」が26.7%、「19時」が9.2%が続いています。



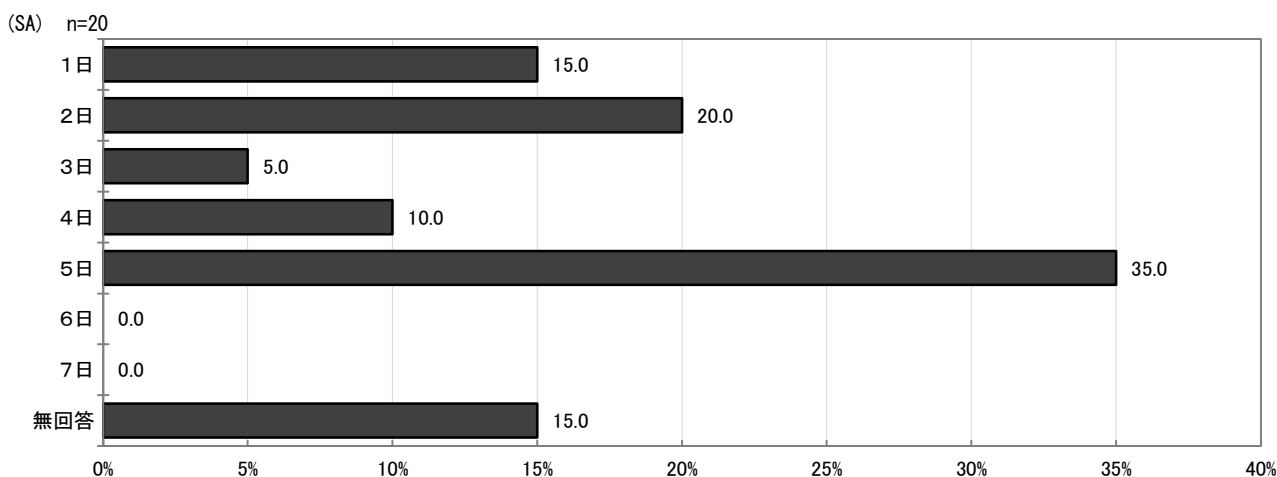
問30 8 「ファミリー・サポート・センター」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

対象者は4人で、いずれも4日以内となっています。

カテゴリ(n=4)	件数
1日	1
2日	1
4日	1
無回答	1

問30 9 「その他」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が 35.0%で突出しています。「2日」が 20.0%、「1日」が 15.0%で続いています。

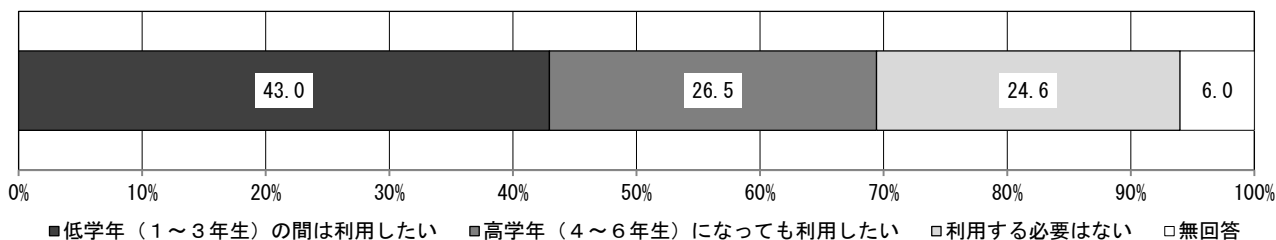


問31 あて名のお子さんについて、一定の利用料の負担があったとしても、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(SA)

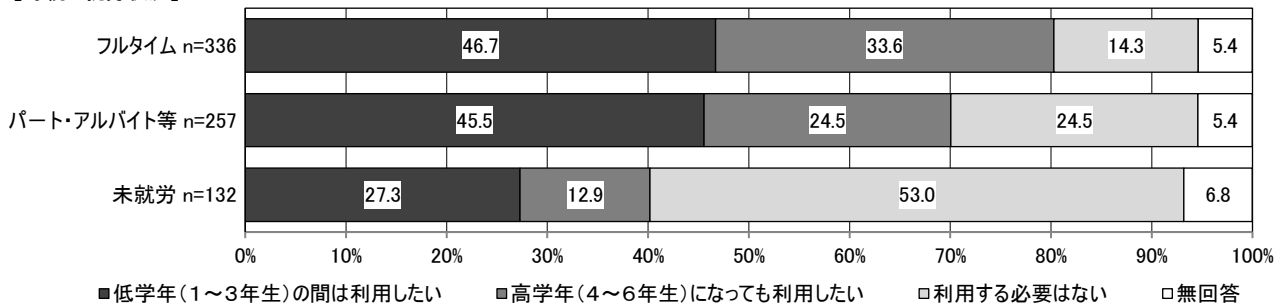
「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が 43.0%で最も高く、次いで「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が 26.5%となっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が比較的高くなっています。

(SA) n=756

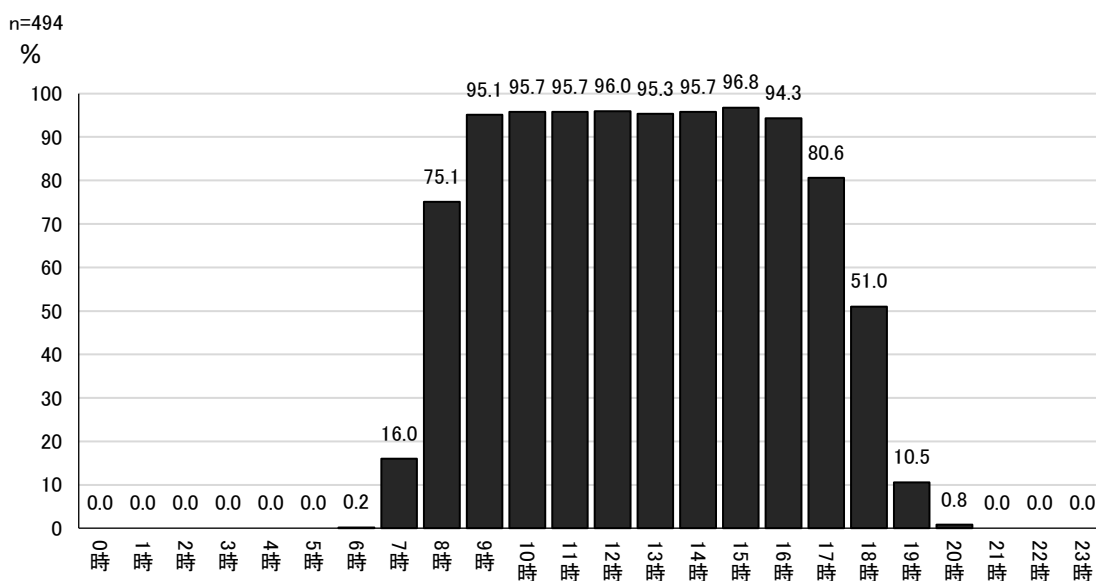


【母親の就労状況】



問31 1・2 「利用したい」場合、利用したい時間帯は何時ですか。(数量)

9時～17時の利用希望が80%を超えています。



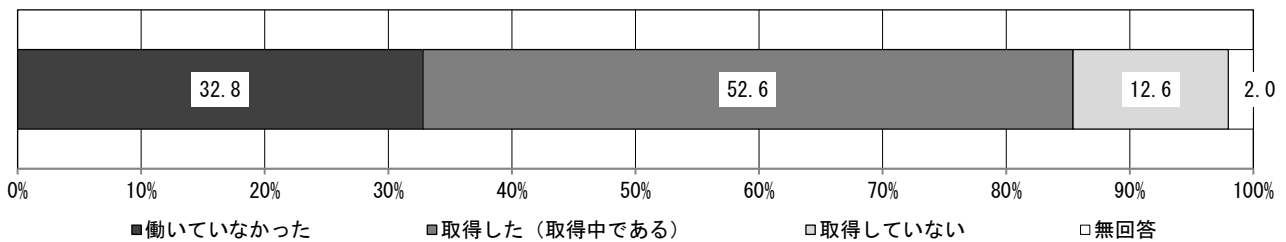
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問32A あて名のお子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。(SA)

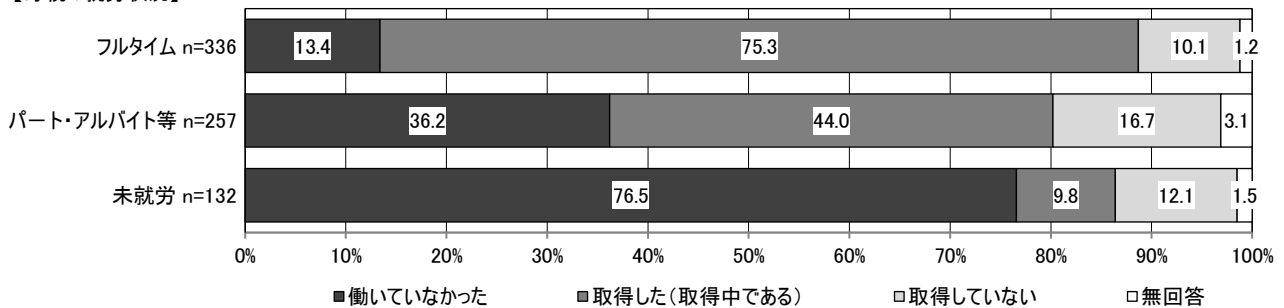
「取得した(取得中である)」が52.6%を占めています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「取得した(取得中である)」が75.3%となっています。

(SA) n=756



【母親の就労状況】

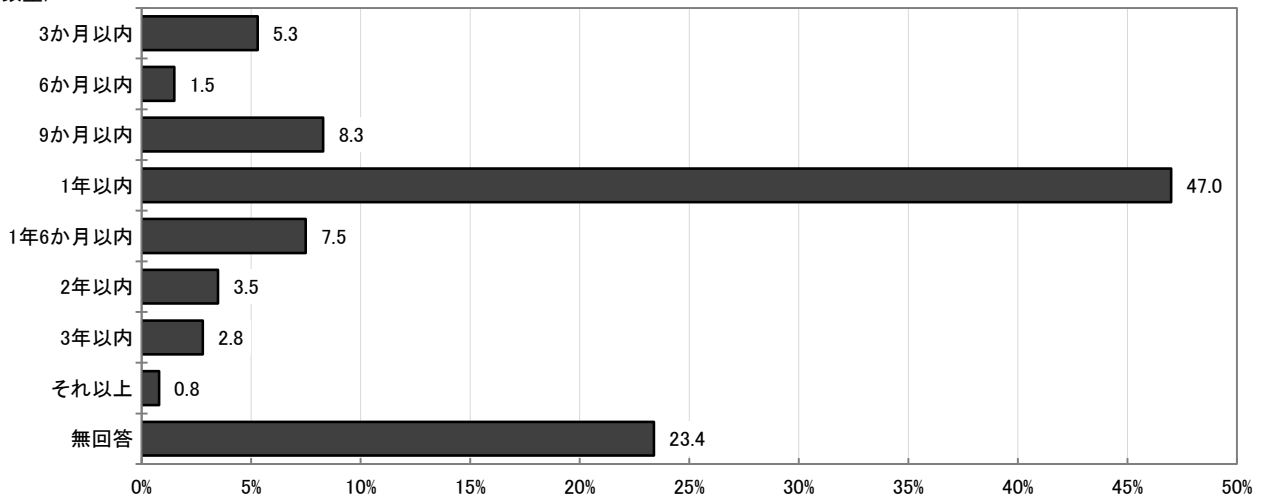


問32A 2 母親が取得した(取得中である)期間は(何)日ですか。(数量)

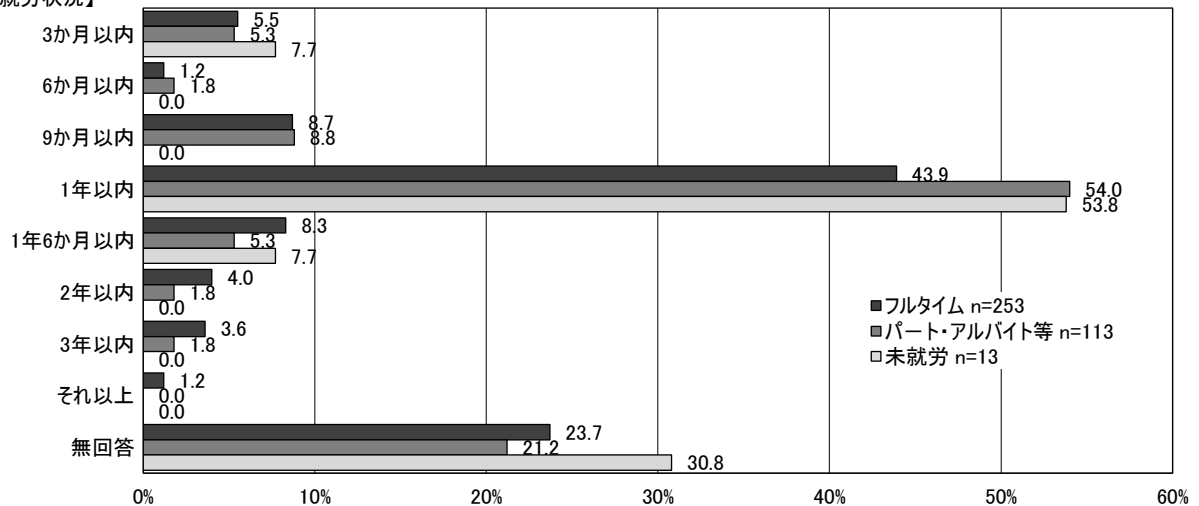
「1年以内」が47.0%で突出しています。「9か月以内」が8.3%、「1年6か月以内」が7.5%が続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは1年以上の回答が比較的高くなっています。

(数量) n=398



【母親の就労状況】

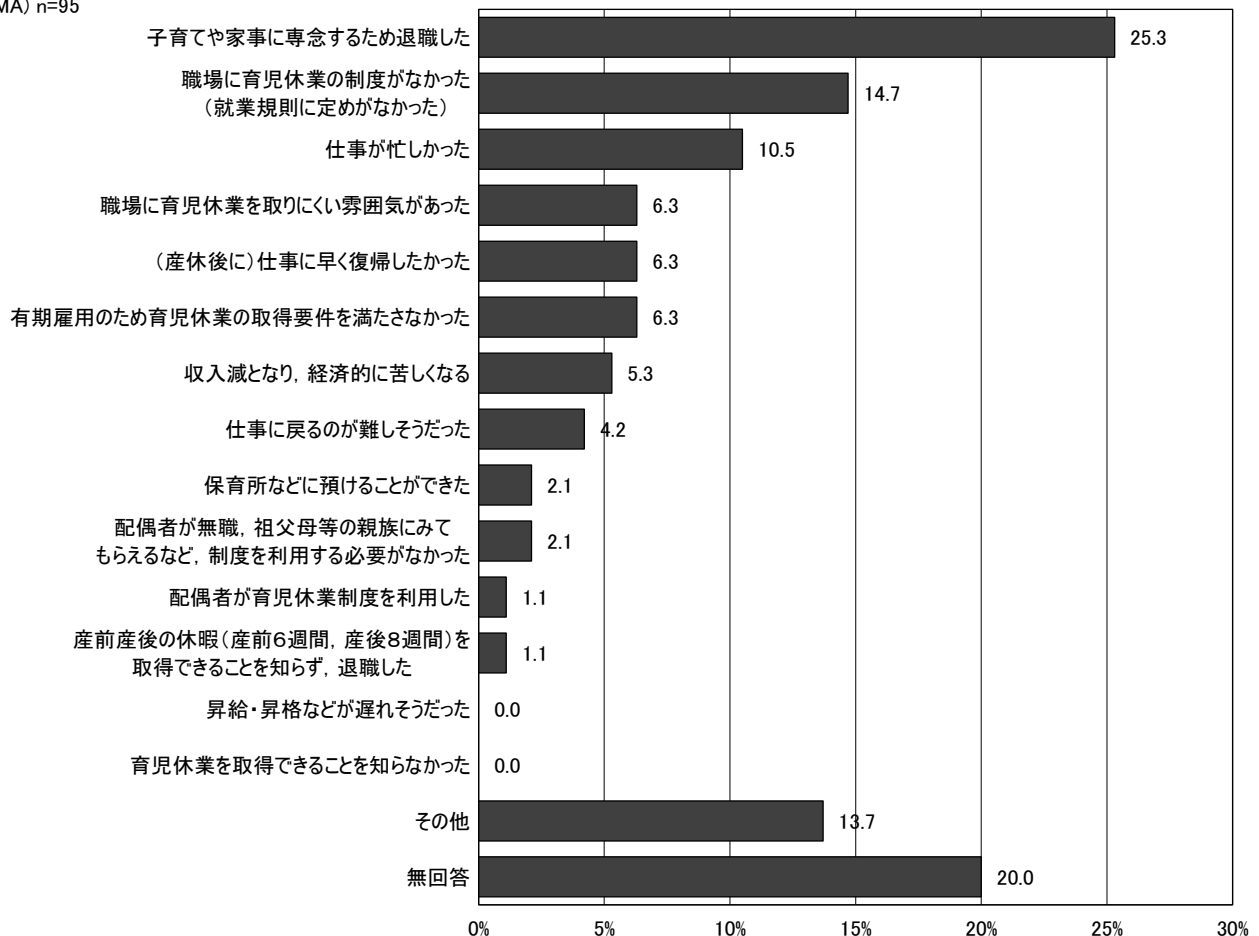


問32A 3 母親が取得していない方はその理由をお答えください。(MA)

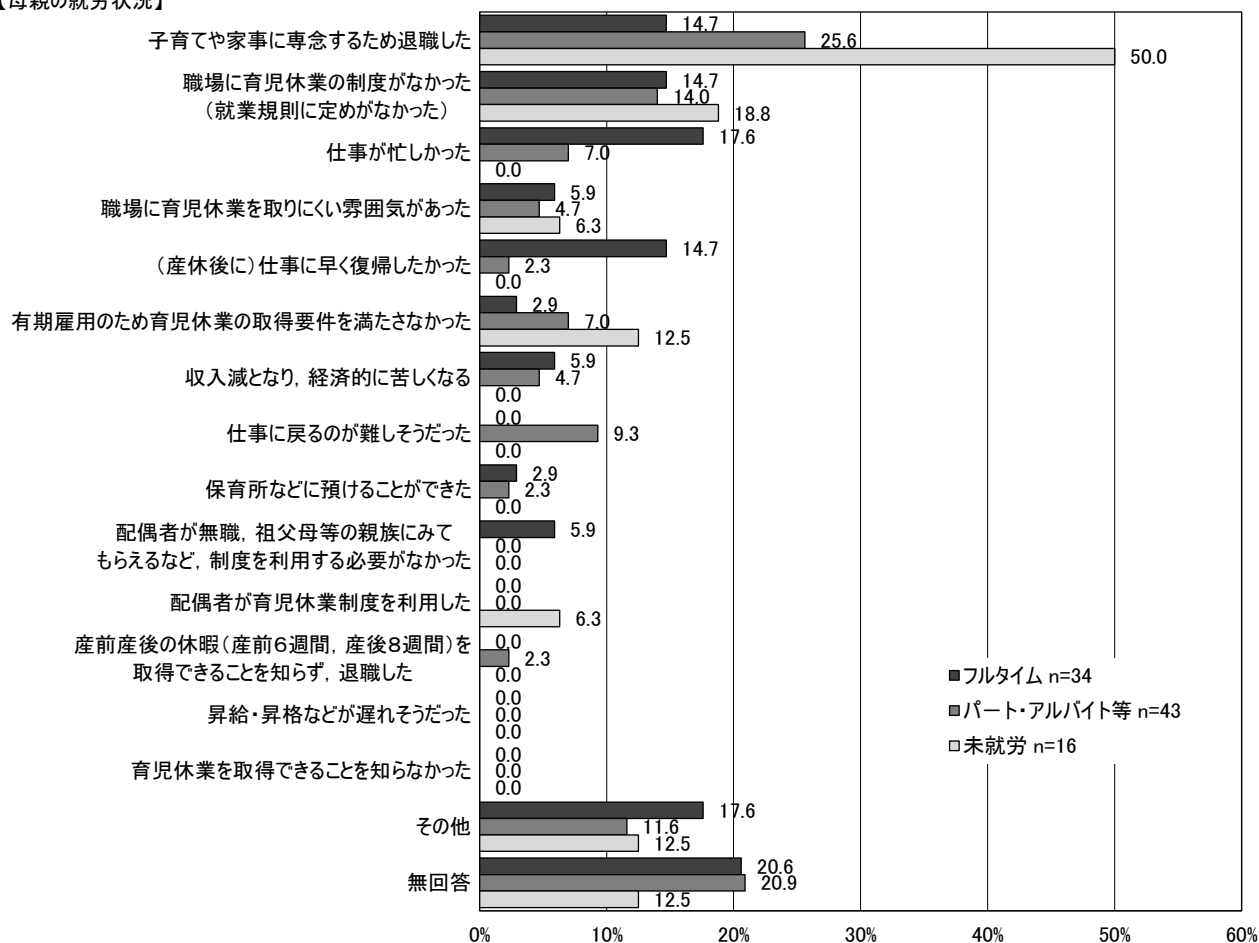
「子育てや家事に専念するため退職した」が 25.3%で突出しています。「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 14.7%、「その他」が 13.7%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「仕事が忙しかった」「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」が比較的高くなっています。

(MA) n=95



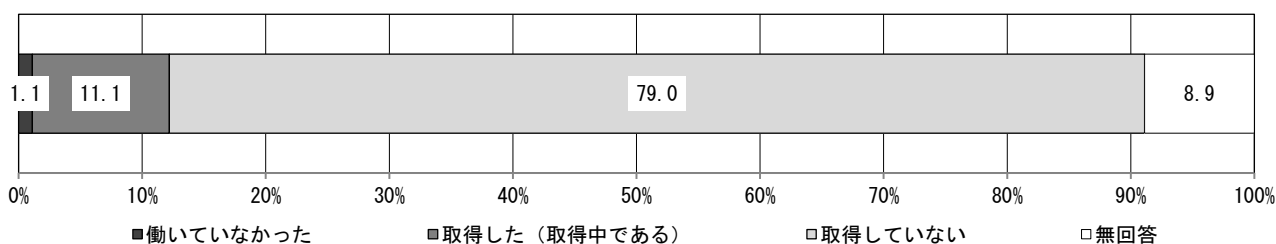
【母親の就労状況】



問32B あて名のお子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。(SA)

「取得していない」が79.0%を占めています。

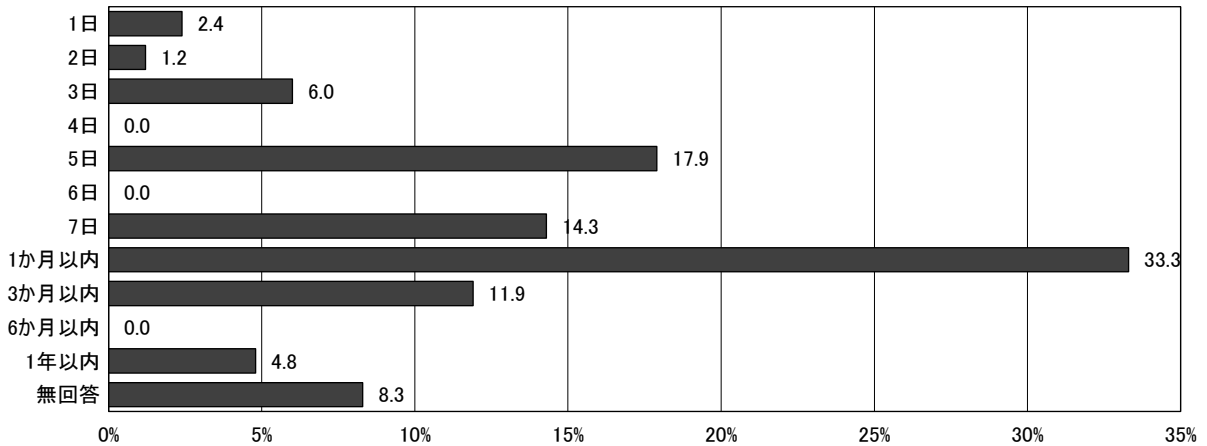
(SA) n=756



問32B 2 父親が取得した(取得中である)期間は(何)日ですか。(数量)

「1か月以内」が33.3%で突出しています。「5日」が17.9%、「7日」が14.3%が続いています。

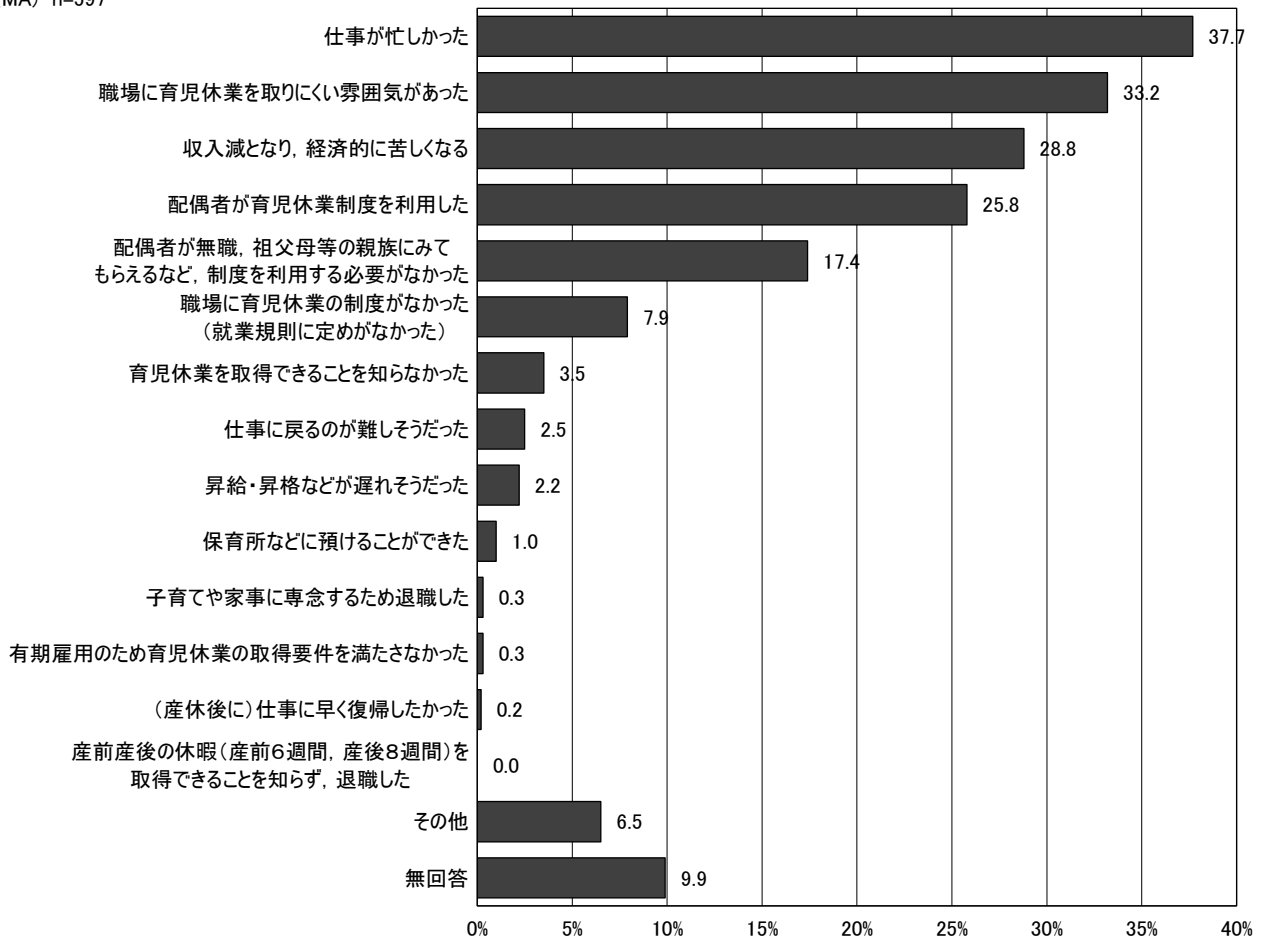
(数量) n=84



問32B 3 父親が取得していない方はその理由をお答えください。(MA)

「仕事が忙しかった」が37.7%で最も高くなっています。次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.2%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.8%が続いています。

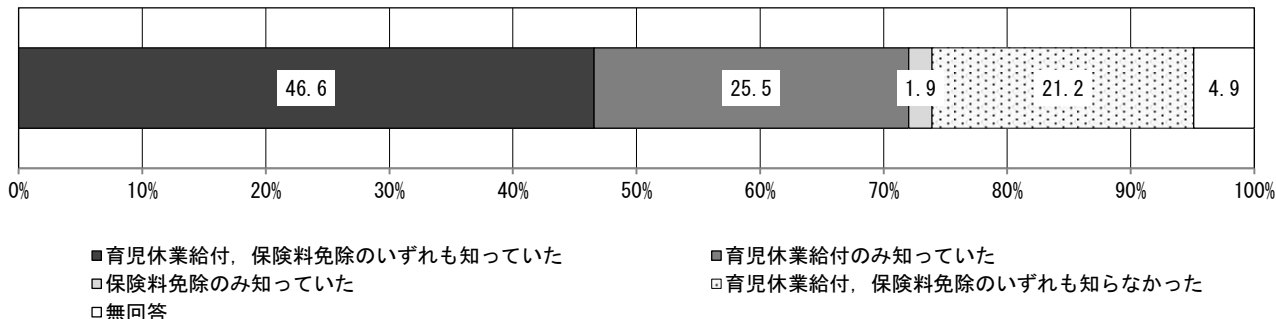
(MA) n=597



問32-1 「育児休業給付」と「保険料免除」について、下記の仕組みを知っていましたか。(SA)

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 46.6%で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が 25.5%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 21.2%で続いています。

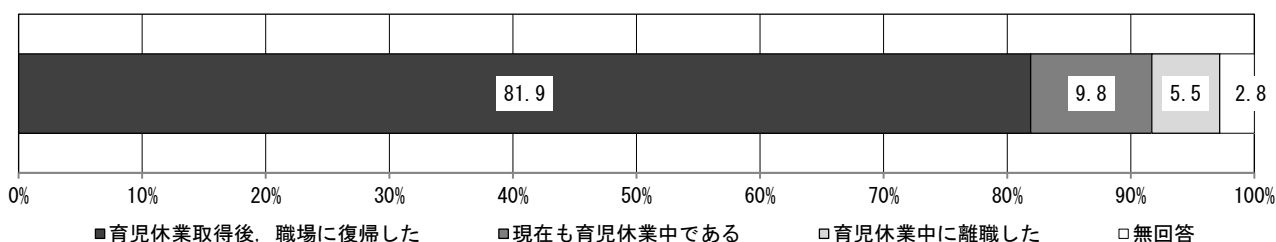
(SA) n=756



問32-2A 母親は育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(SA)

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 81.9%を占めています。

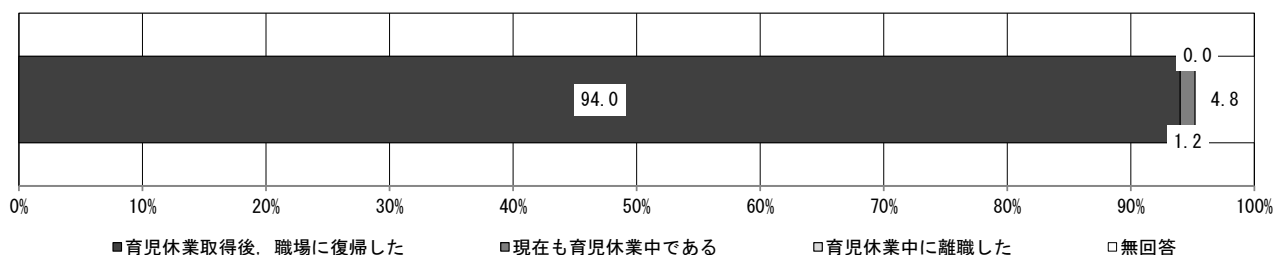
(SA) n=398



問32-2B 父親は育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(SA)

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 94.0%を占めています。

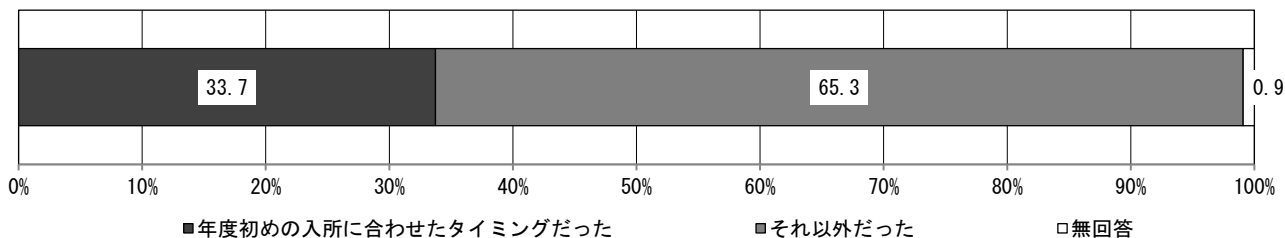
(SA) n=84



問32-3A 母親は育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。(SA)

「それ以外だった」が 65.3%を占めています。

(SA) n=326



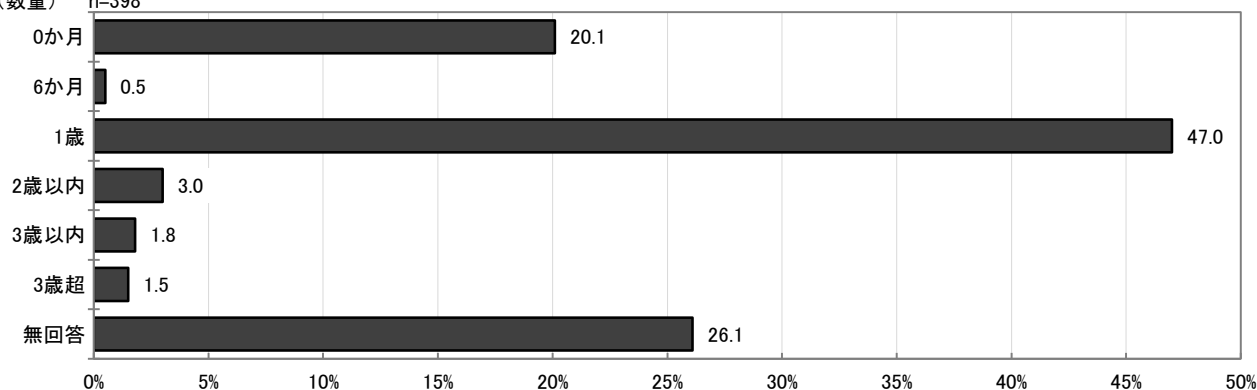
問32-3B 父親は育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。(SA)

対象者8人のうち1人が「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答しています。

問32-4A① 母親は育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳のときに職場復帰しましたか。(数量)

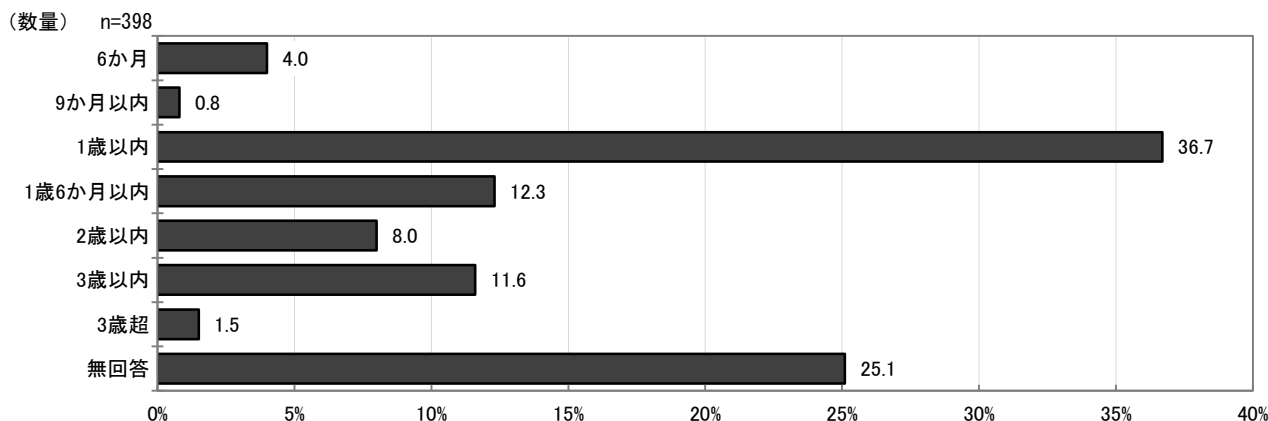
「1歳」が47%で突出しています。「0か月」が20.1%が続いています。

(数量) n=398



問32-4A 母親は勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月の時まで取得したかったですか。(数量)

「1歳」が36.7%で突出しています。

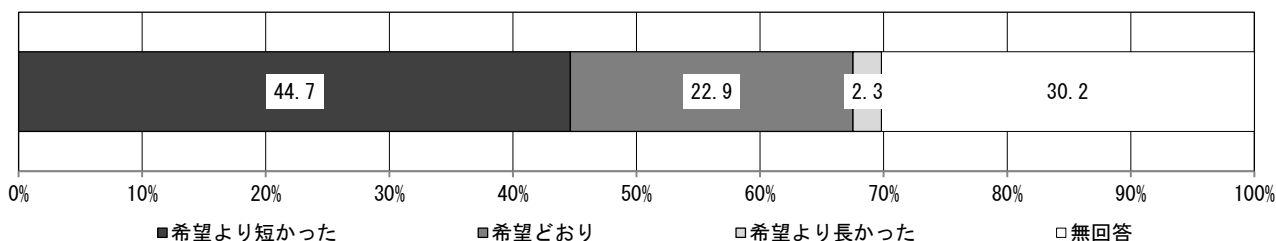


母親の職場復帰ずれ(実際-希望)(数量)

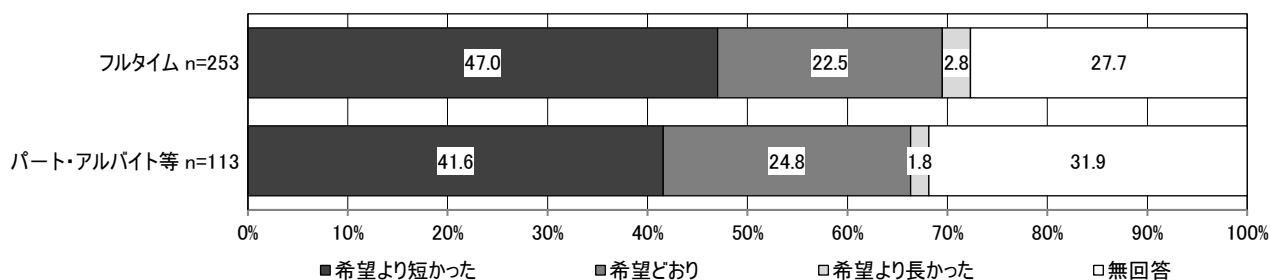
「希望より短かった」が44.7%で最も高くなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「希望より短かった」が比較的高くなっています。

(数量) n=398



【母親の就労状況】



問32-4B① 父親は育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳のときに職場復帰しましたか。(数量)

対象者8人のうち1人が「1歳」と回答しています。

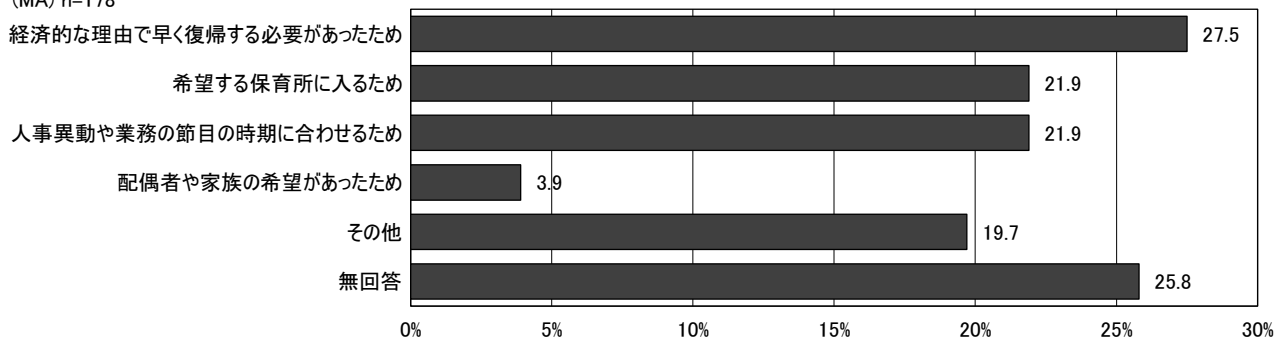
問32-4B③ 父親は勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳の時まで取得したかったですか。
(数量)

対象者8人のうち1人が「1歳」と回答しています。

問32-5(1)A 母親は「希望」より早く復帰した方は、その理由をお答えください。(MA)

「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が27.5%で最も高くなっています。次いで「希望する保育所に入るため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が21.9%で続いています。

(MA) n=178



問32-5(2)A 母親は「希望」より遅く復帰した方は、その理由をお答えください。(MA)

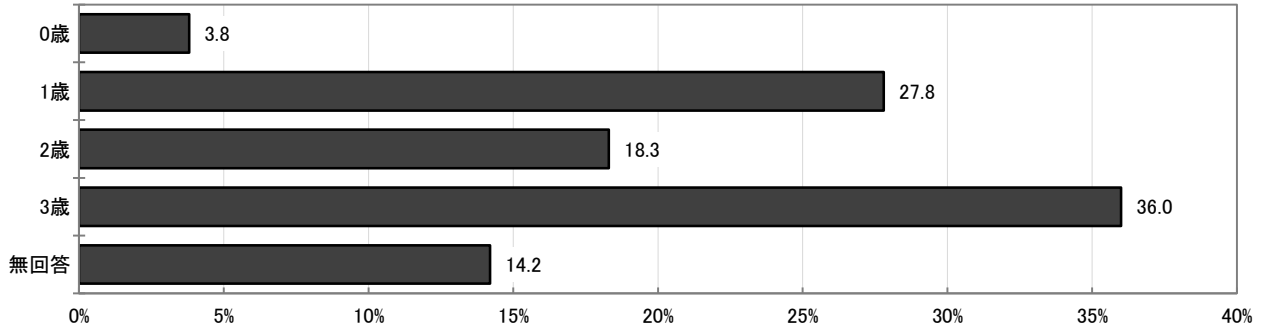
対象者9人の回答は以下の通りです。

カテゴリ(n=9)	件数
希望する保育所に入れなかったため	0
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	1
配偶者や家族の希望があったため	1
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0
子どもをみてくれる人がいなかったため	0
その他	3
無回答	4

問32-6① 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳のときまで取りたかったですか。(数量)

「3歳」が36.0%で最も高くなっています。次いで「1歳」が27.8%、「2歳」が18.3%が続いています。

(数量) n=367

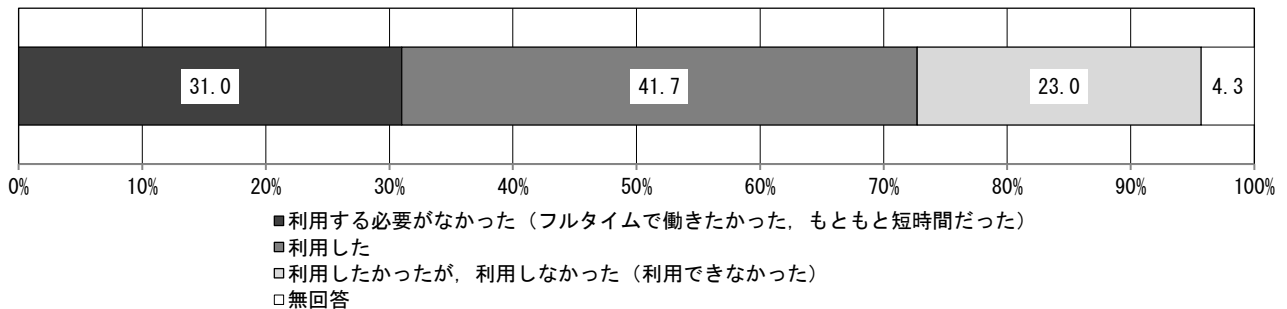


問32-7A 母親は育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(SA)

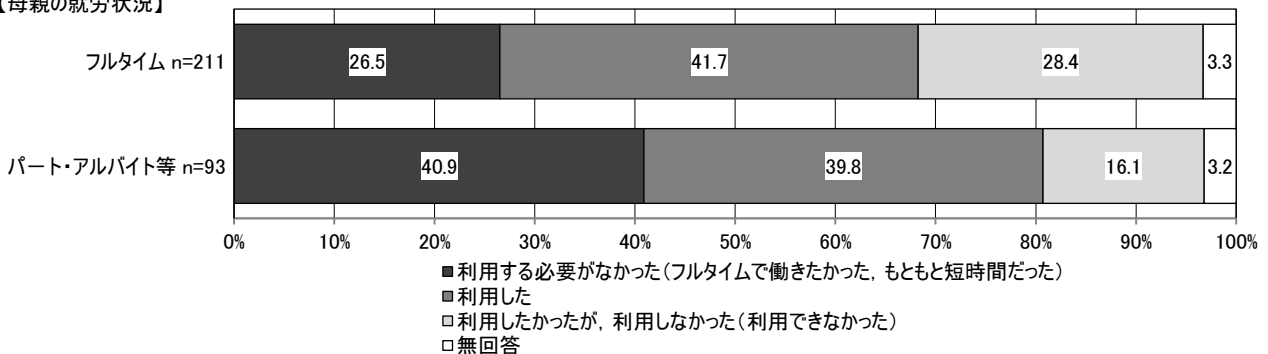
「利用した」が41.7%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間だった)」が31.0%となっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が比較的高くなっています。

(SA) n=326



【母親の就労状況】



問32-7B 父親は育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(SA)

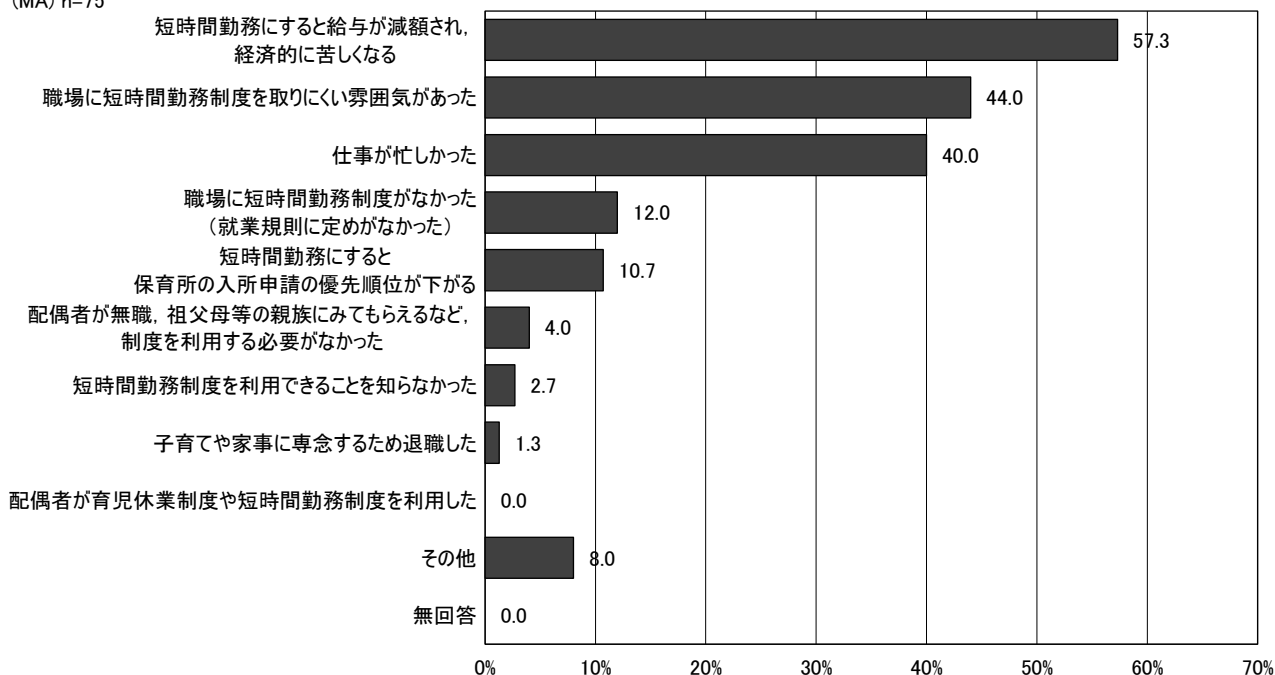
対象者8人のうち1人が「利用する必要がなかった」と回答しています。

問32-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由をお答えください。(MA)

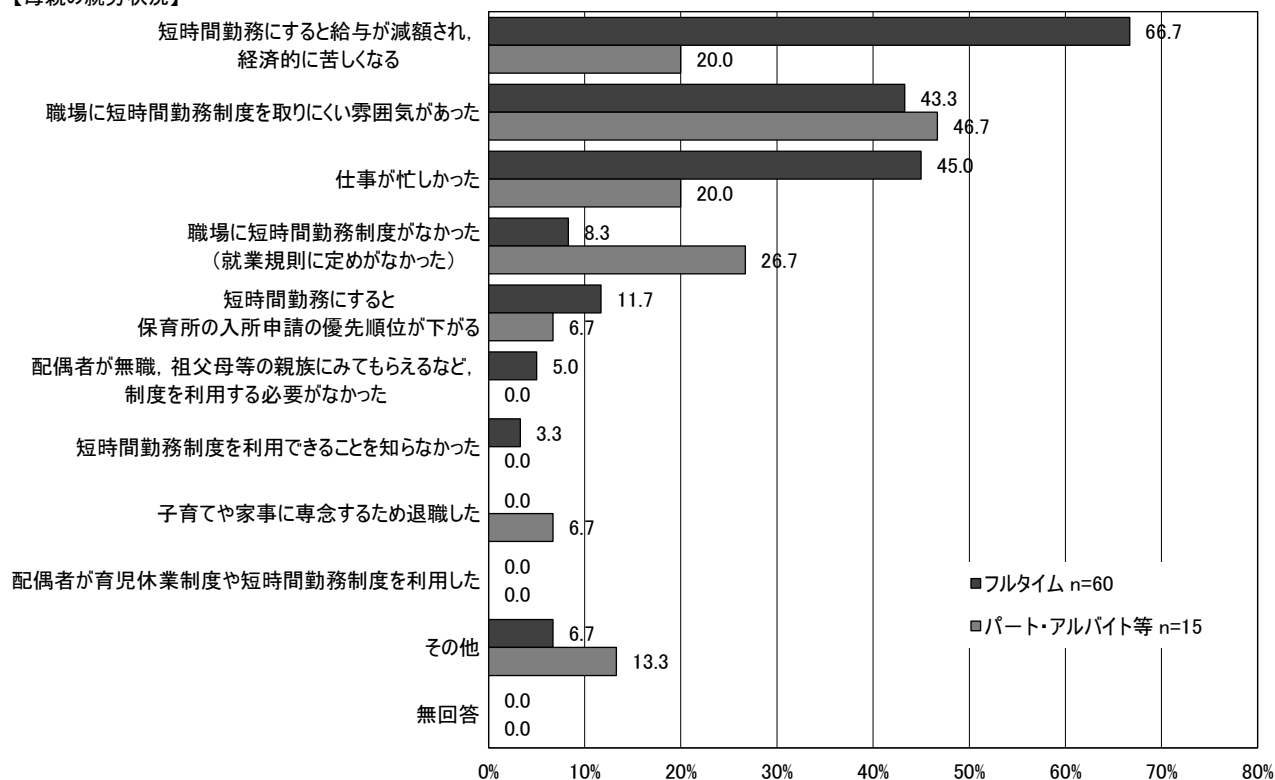
「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が57.3%で最も高くなっています。次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が44.0%、「仕事が忙しかった」が40.0%が続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」「仕事が忙しかった」が比較的高くなっています。

(MA) n=75

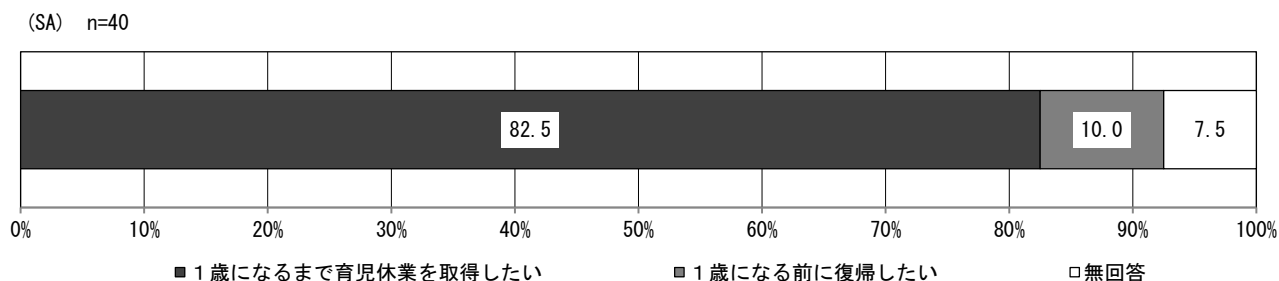


【母親の就労状況】



問32-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育所などの事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(SA)

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が82.5%を占めています。

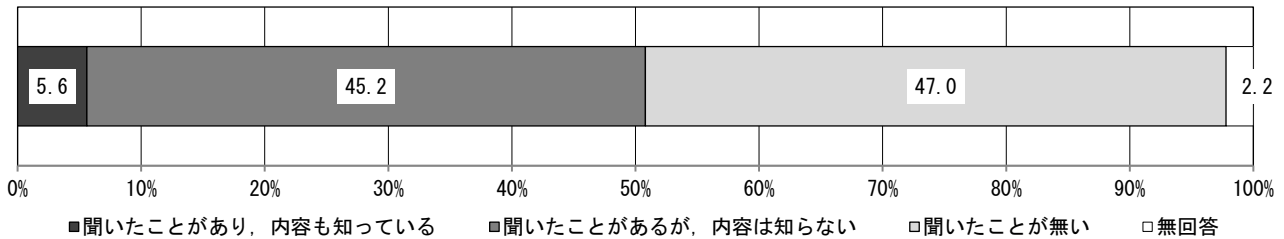


子育て全般について

問33 あなたは、笠岡市子ども条例のことを知っていますか。(SA)

「聞いたことが無い」が47.0%で最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない」が45.2%となっています。

(SA) n=756

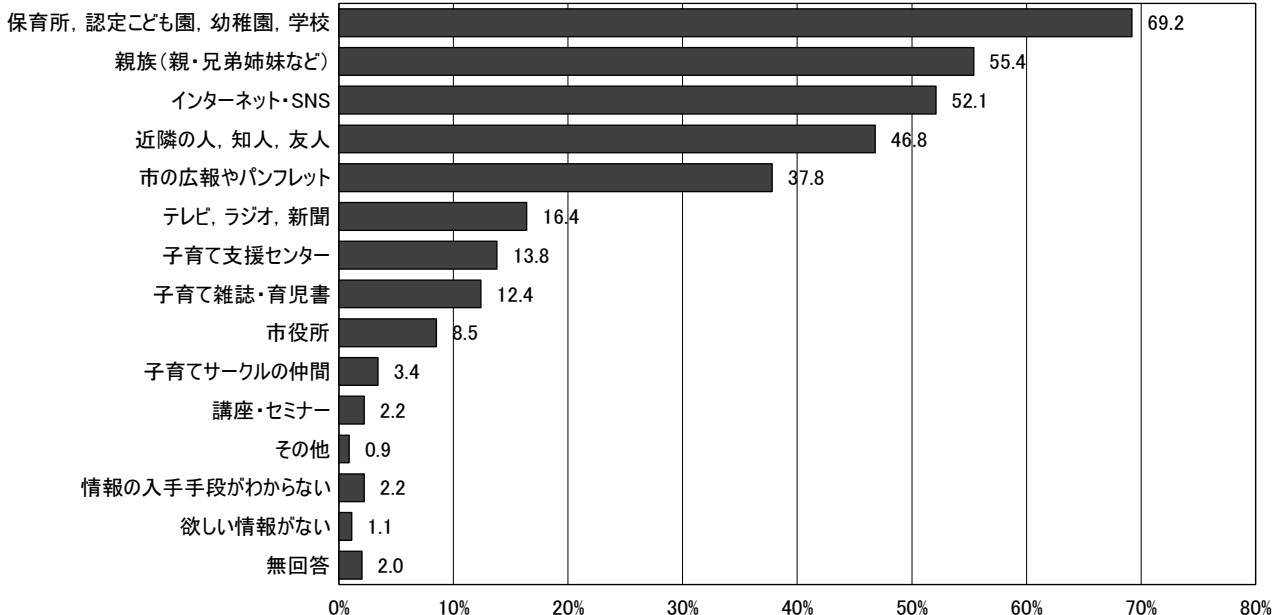


問34 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(MA)

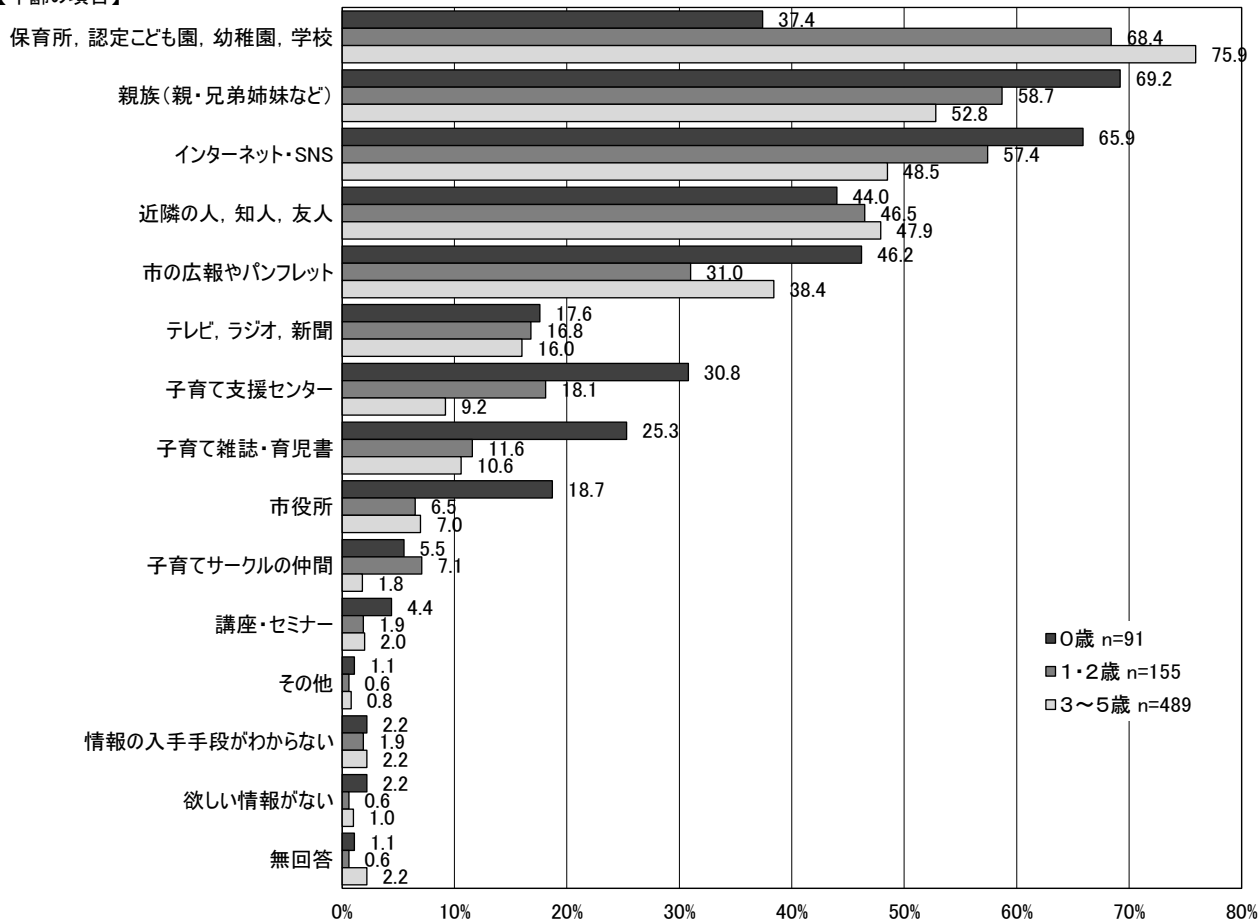
「保育所、認定こども園、幼稚園、学校」が69.2%で最も高くなっています。次いで「親族(親・兄弟姉妹など)」が55.4%、「インターネット・SNS」が52.1%で続いています。

年齢別にみると、0歳では他の年齢に比べて積極的に情報収集をしており、1歳以上では「保育所、認定こども園、幼稚園、学校」が比較的高くなっています。

(MA) n=756



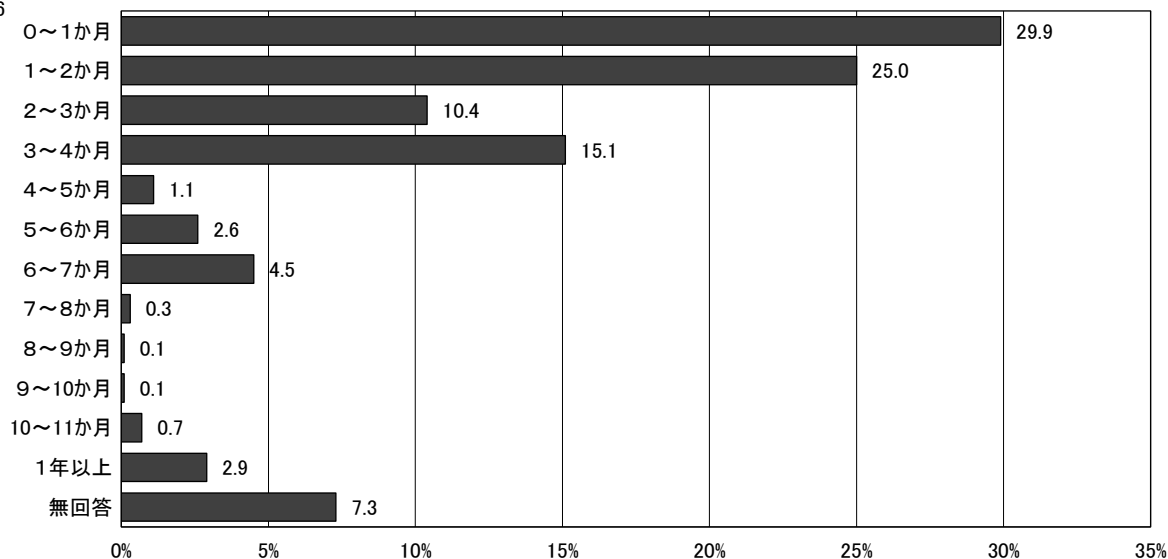
【年齢の項目】



問35 あなた, または配偶者が里帰り出産を希望し, 一番上の子を里帰り先(他市町含む)の保育所等に預けられる状態と仮定して, 里帰り期間はどのくらいを希望しますか。(SA)

「0～1か月」が 29.9%で最も高くなっています。次いで「1～2か月」が 25.0%, 「3～4か月」が 15.1%で続いています。

(SA) n=756

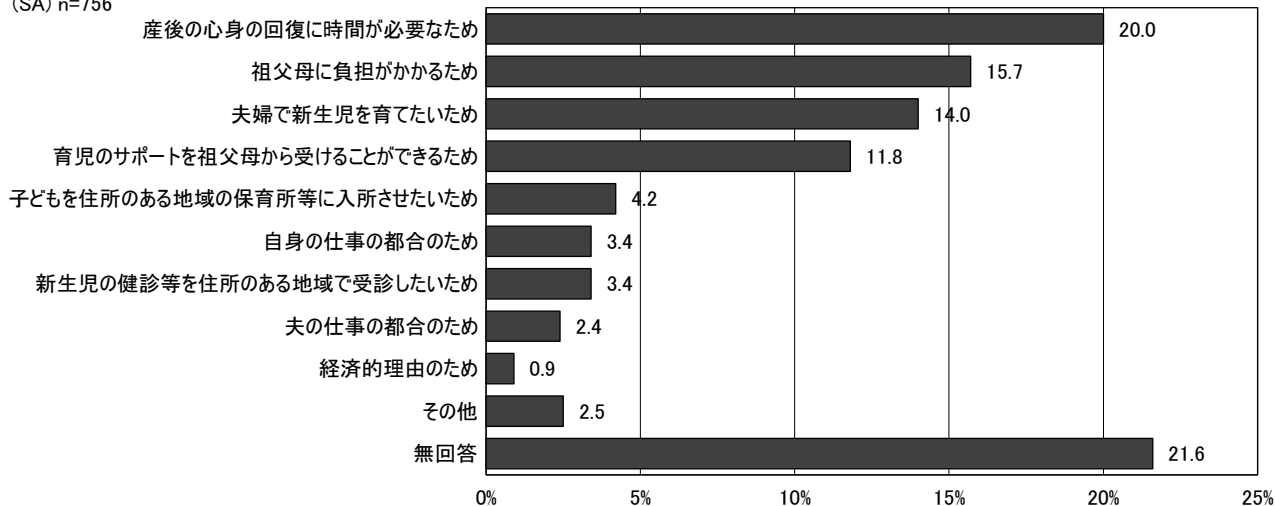


問35-1 その期間を選んだ理由を教えてください。(SA)

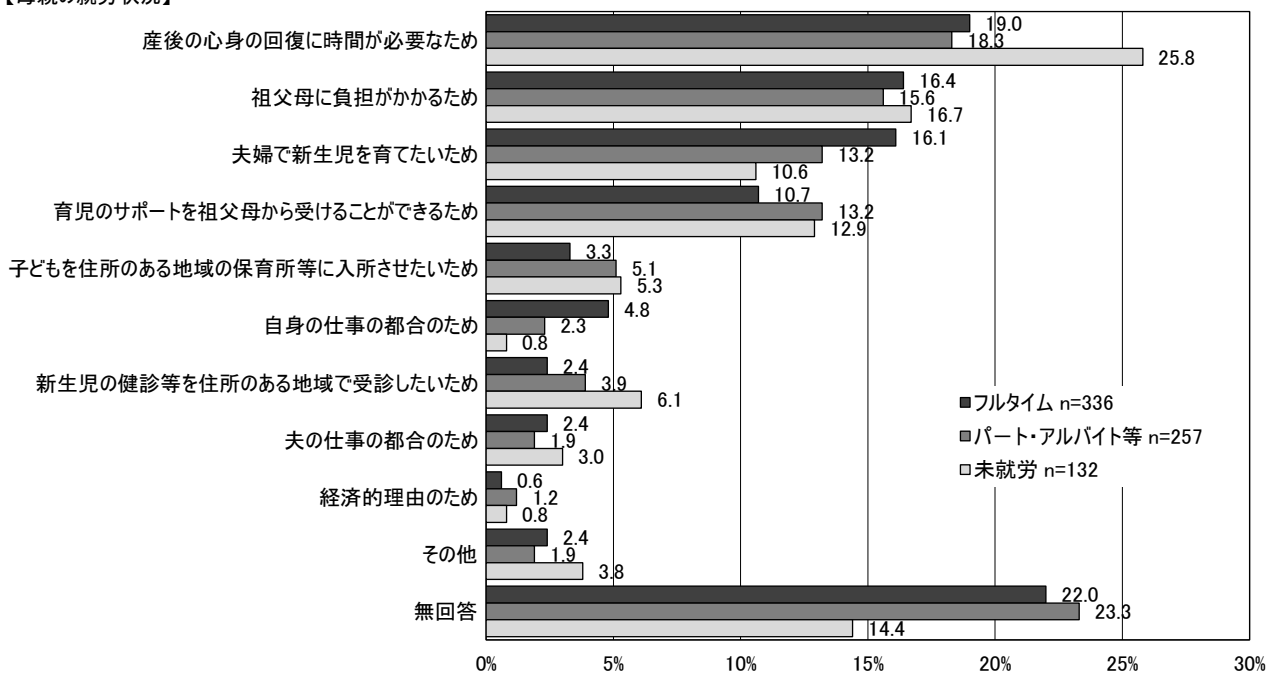
「産後の心身の回復に時間が必要なため」が 20.0%で最も高くなっています。次いで「祖父母に負担がかかるため」が 15.7%、「夫婦で新生児を育てたいため」が 14.0%で続いています。

母親の就労状況別にみると、未就労では「産後の心身の回復に時間が必要なため」が比較的高くなっています。

(SA) n=756



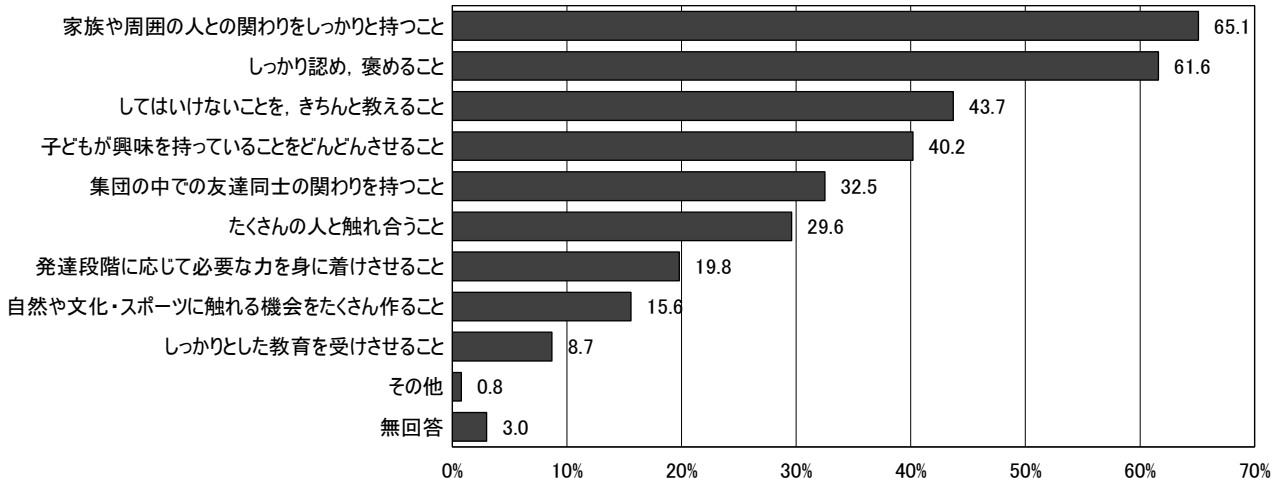
【母親の就労状況】



問36 子育てをしていく上で大切だと思うことはなんですか。(MA)

「家族や周囲の人との関わりをしっかりと持つこと」が 65.1%で最も高くなっています。次いで「しっかり認め、褒めること」が 61.6%、「してはいけないことを、きちんと教えること」が 43.7%で続いています。

(MA) n=756

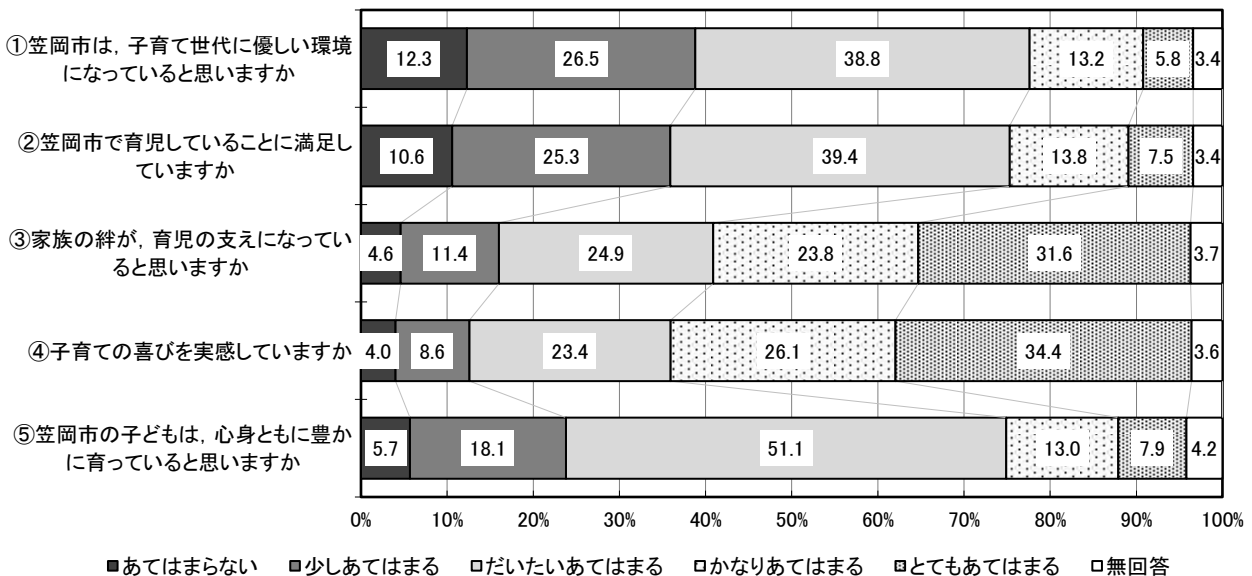


問37 あなたが笠岡市で子育てしていることに関連して、以下の項目についてお答えください。(各 SA)

「①子育て世代に優しい環境だと思いますか」「②育児していることに満足していますか」では「あてはまらない」が 10%を超えています。

「③家族の絆が、育児の支えになっていると思いますか」「④子育ての喜びを実感していますか」では「かなりあてはまる」「とてもあてはまる」が合わせて 50%を超えています。

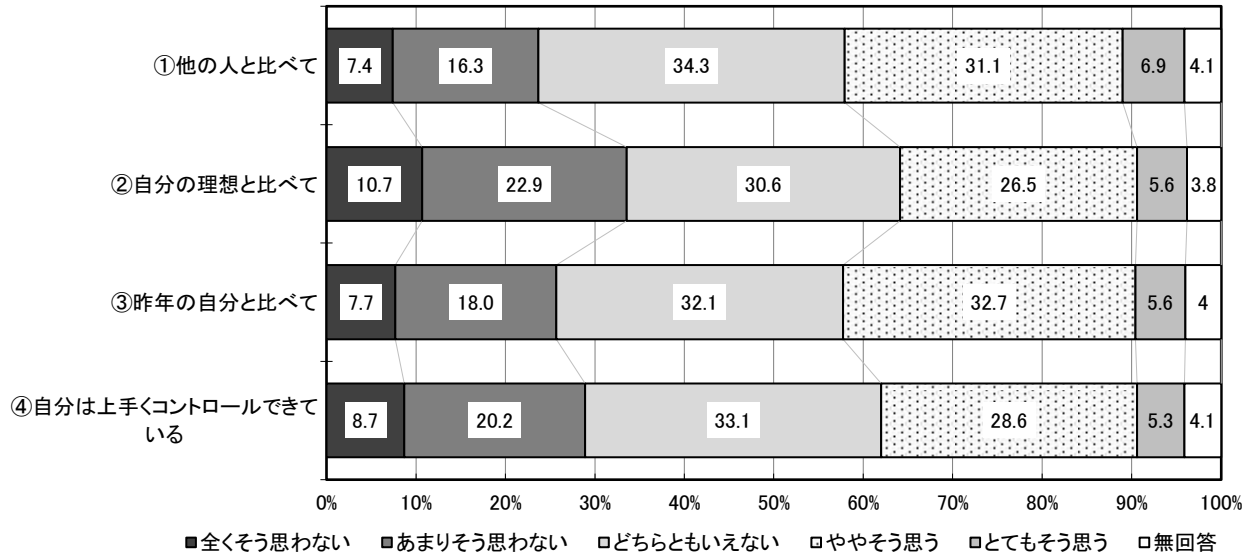
n=756



問38 あなたご自身の仕事と家庭生活および地域生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の程度について、うまくできていると思いますか。(SA)

いずれとの比較においても、「どちらともいえない」が30%を超えています。
 「②自分の理想と比べて」では「そう思わない」の合計が33.6%となっています。

n=756

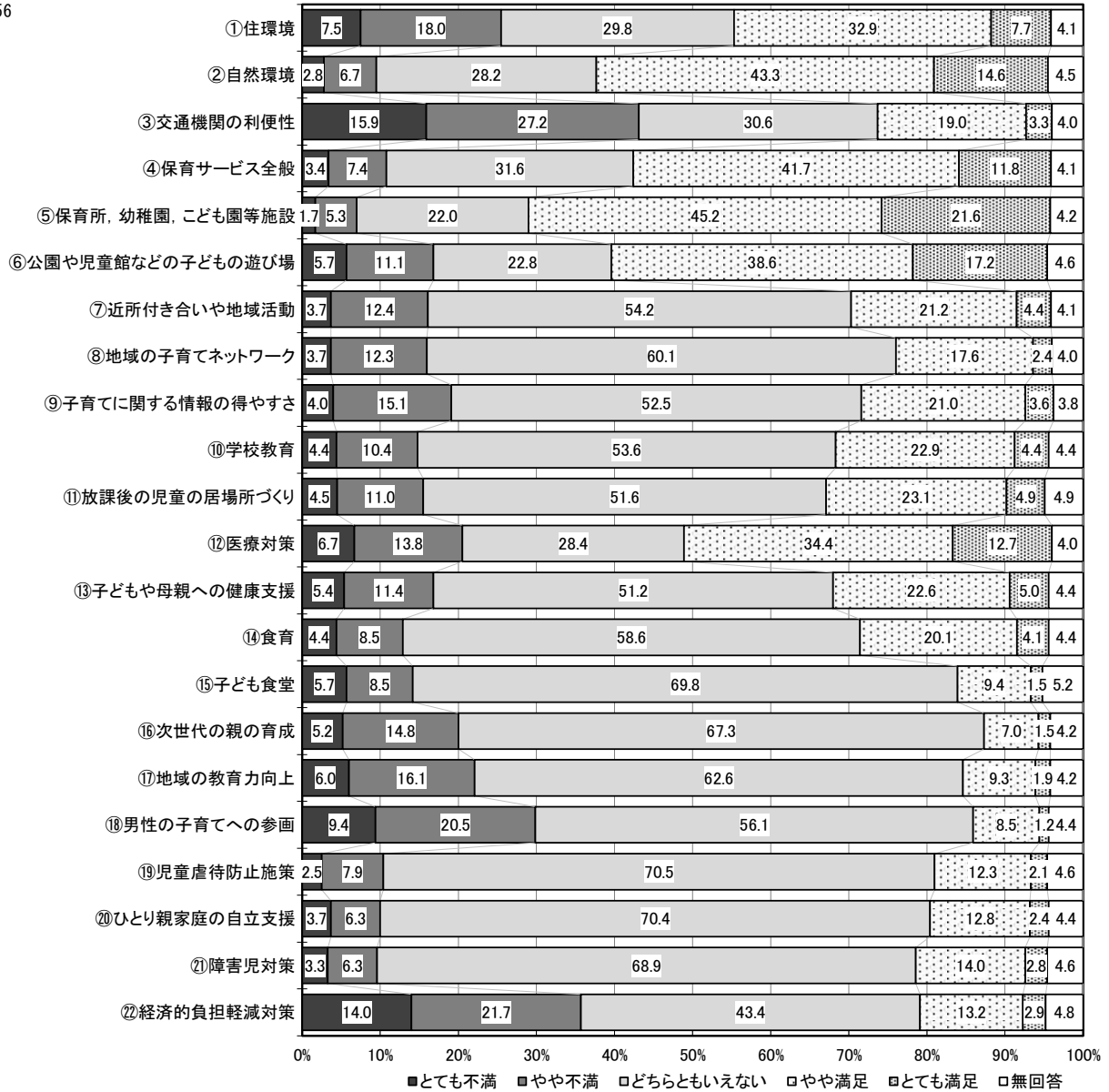


問39 笠岡市の子育て環境や子育て支援施策についての満足度をお答えください。(SA)

「③交通機関の利便性」で特に不満が高くなっています。また、「②経済的負担軽減策」「⑧男性の子育てへの参画」「①住環境」においても不満が高い傾向となっています。

一方、「②自然環境」や、「④⑤⑥の子ども・子育てサービス関連」、「⑫医療対策」などは、満足度が比較的高い項目となっています。

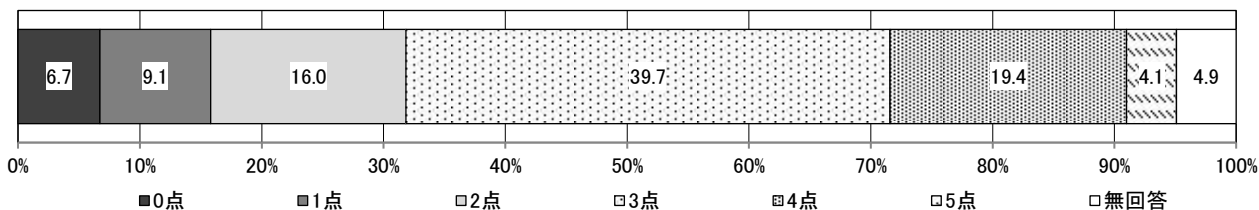
n=756



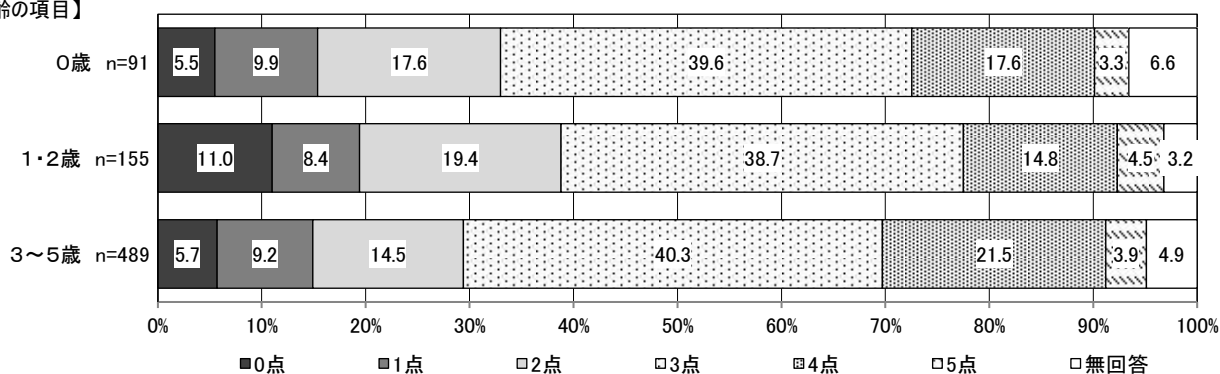
問40 あなたは、市外に住む人に対して、笠岡市の子育て環境を薦めたいと思いますか。点数をお答えください。(数量)

「3点」が39.7%で突出しています。「4点」が19.4%、「2点」が16.0%が続いています。
 年齢別にみると、1・2歳で「0点」が比較的高くなっています。
 経済状況別にみると、中央値の2分の1未満では、比較的点数が低くなっています。

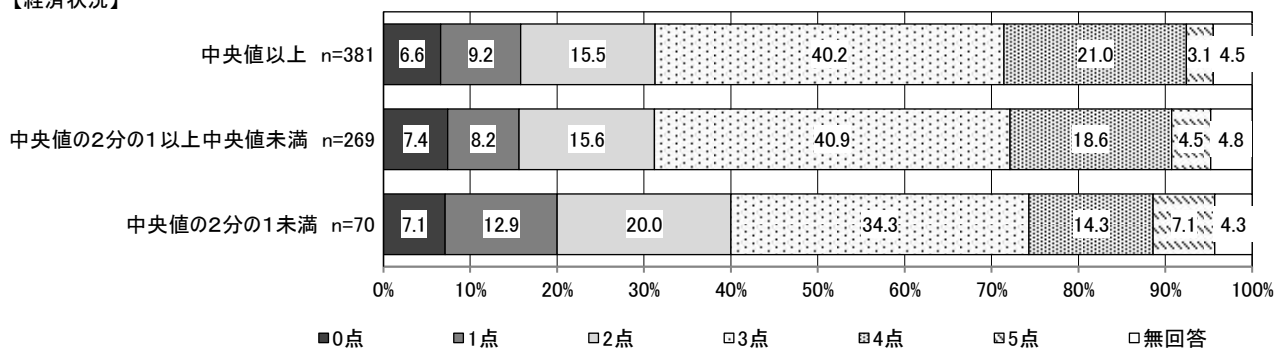
(数量) n=756



【年齢の項目】



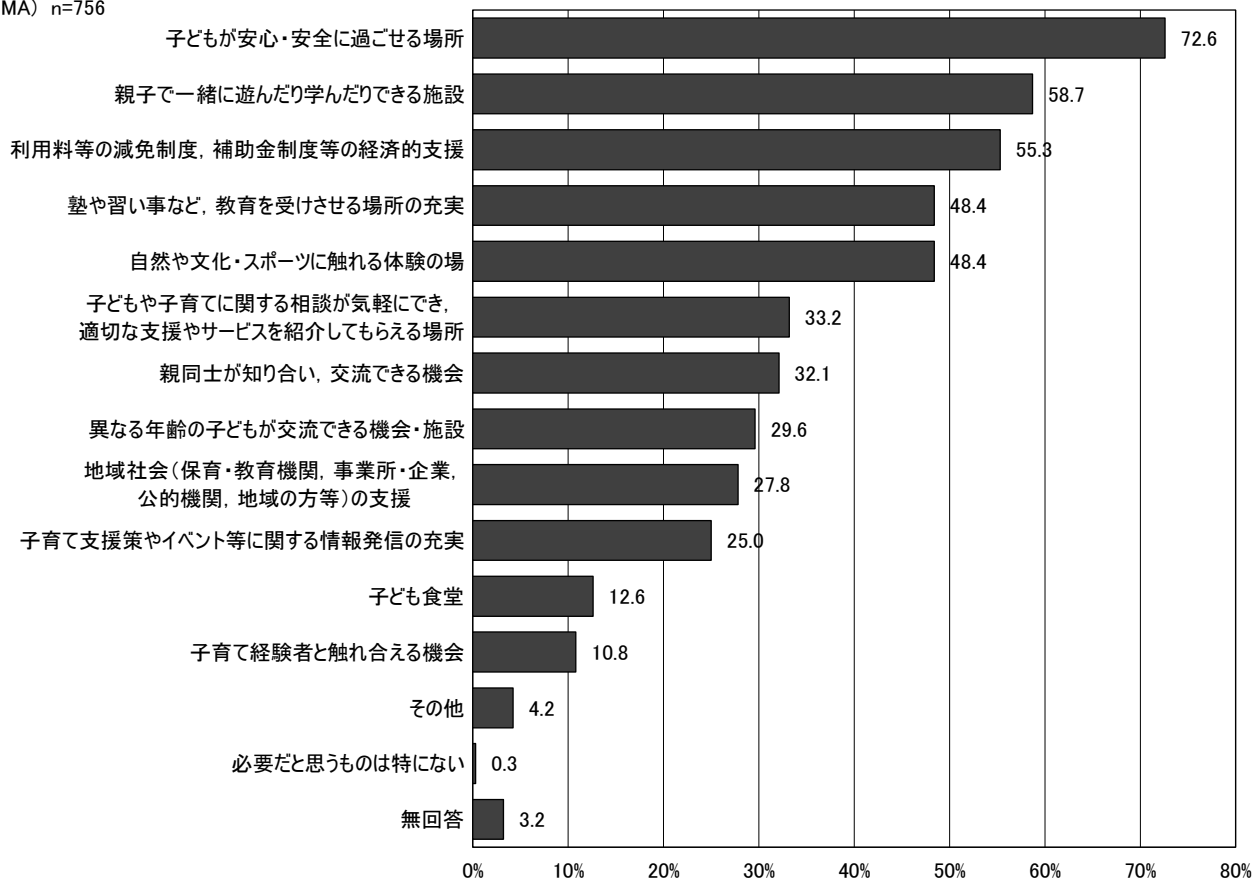
【経済状況】



問41 子育てしやすい環境を整えるために必要だと思うことはなんですか。(MA)

「子どもが安心・安全に過ごせる場所」が72.6%で最も高くなっています。次いで「親子で一緒に遊んだり学んだりできる施設」が58.7%、「利用料等の減免制度、補助金制度等の経済的支援」が55.3%が続いています。

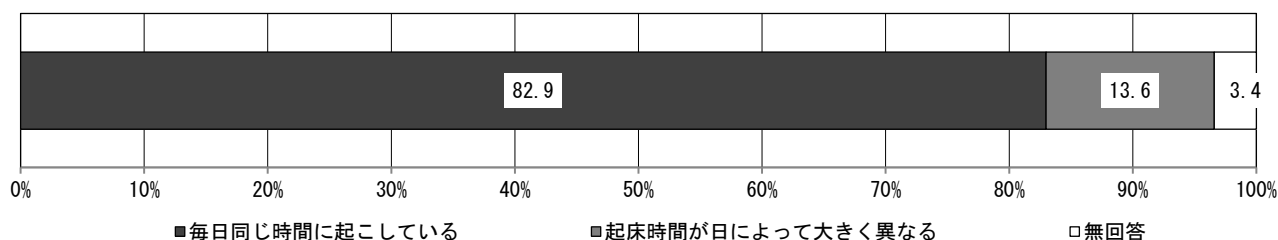
(MA) n=756



問42① 子どもの起床の様子を教えてください。(SA)

「毎日同じ時間に起こしている」が82.9%を占めています。

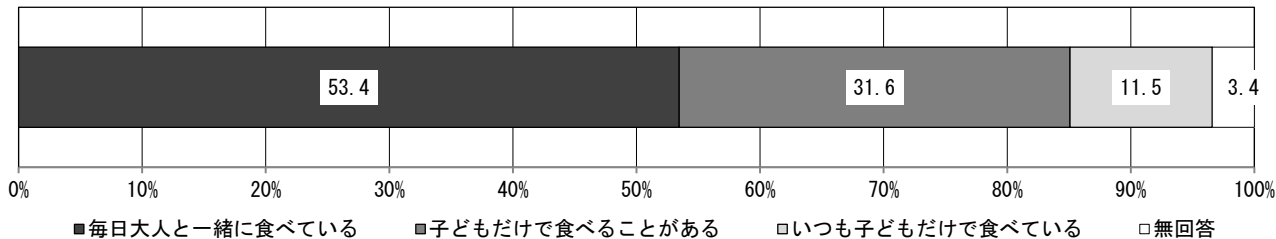
(SA) n=756



問42② 子どもの朝食(共食)の様子を教えてください。(SA)

「毎日大人と一緒に食べている」が53.4%を占めています。

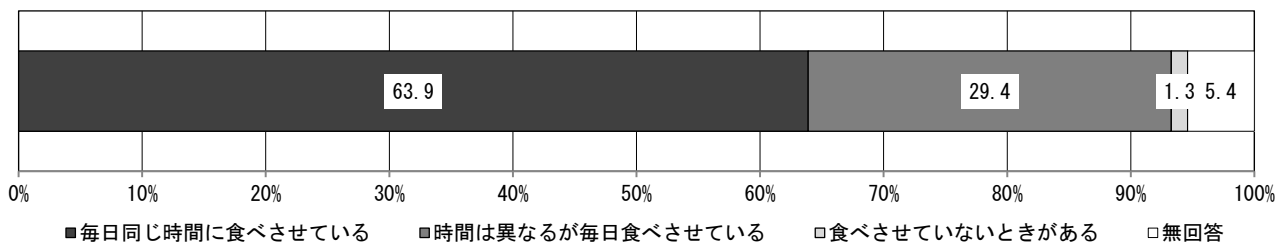
(SA) n=756



問42③ 子どもの朝食(時間)の様子を教えてください。(SA)

「毎日同じ時間に食べさせている」が63.9%を占めています。

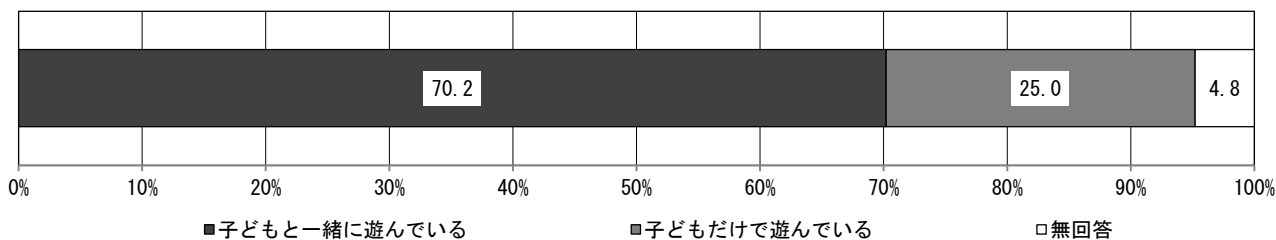
(SA) n=756



問42④ 子どもの遊びの様子を教えてください。(SA)

「子どもと一緒に遊んでいる」が70.2%を占めています。

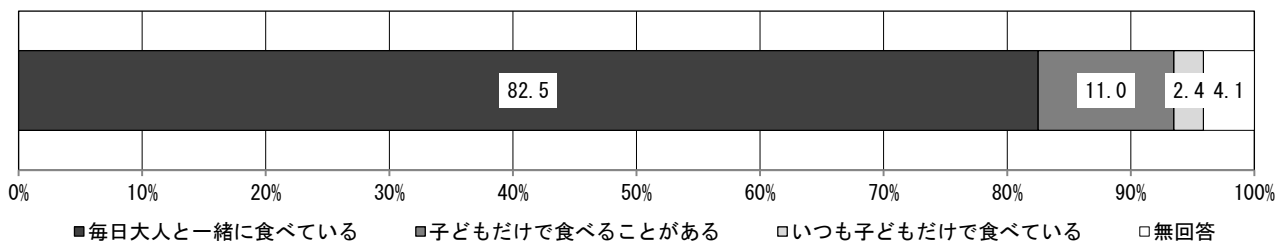
(SA) n=756



問42⑤ 子どもの夕食(共食)の様子を教えてください。(SA)

「毎日大人と一緒に食べている」が82.5%を占めています。

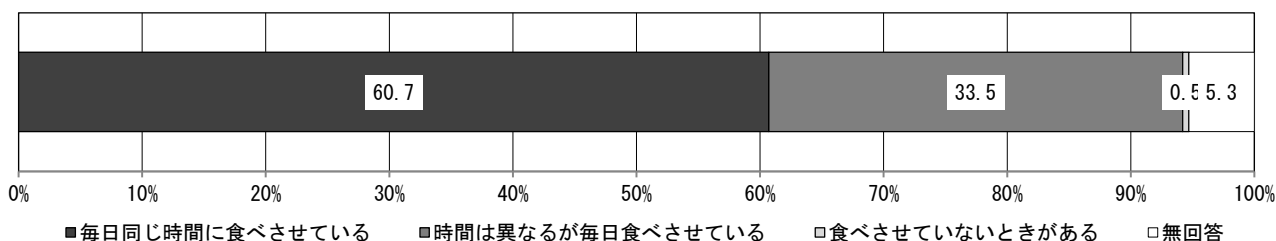
(SA) n=756



問42⑥ 子どもの夕食(時間)の様子を教えてください。(SA)

「毎日同じ時間に食べさせている」が60.7%を占めています。

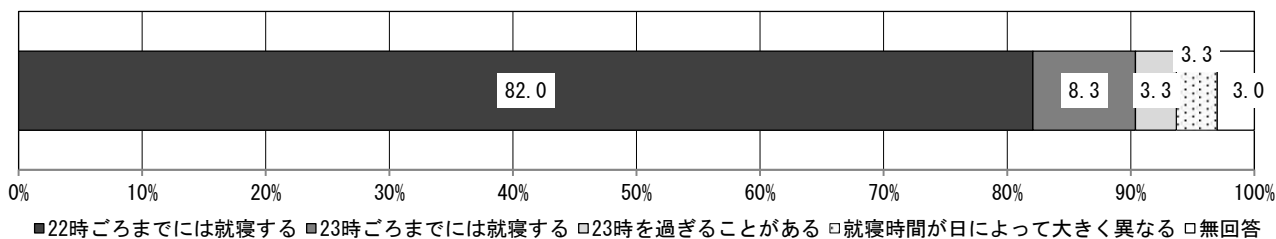
(SA) n=756



問42⑦ 子どもの就寝の様子を教えてください。(SA)

「22時ごろまでには就寝する」が82.0%を占めています。

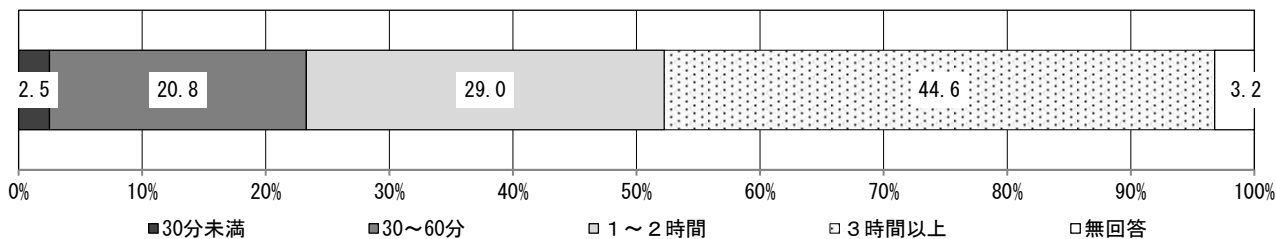
(SA) n=756



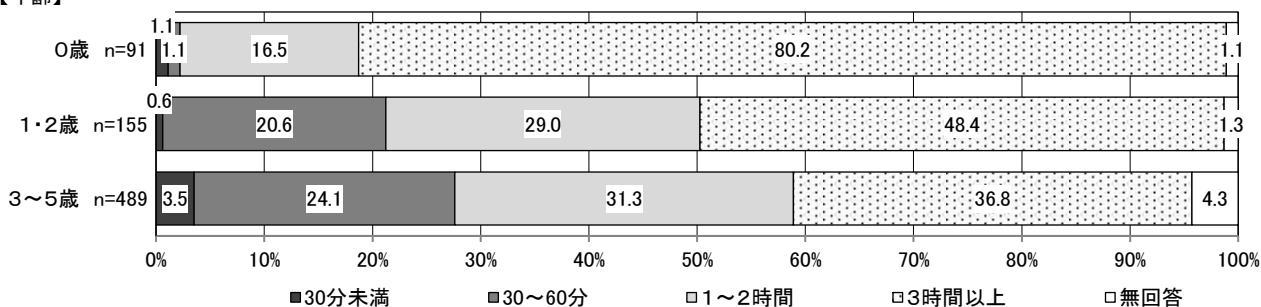
問43 平日に子どもと対話したり触れ合ったりできる時間は1日平均どの程度ありますか。(SA)

「3時間以上」が44.6%で最も高く、次いで「1～2時間」が29.0%、「30～60分」が20.8%が続いています。年齢別にみると、年齢が高いほど、触れ合う時間が短くなる傾向がみられます。母親の就労状況別にみると、フルタイムでは触れ合う時間が比較的短くなっています。

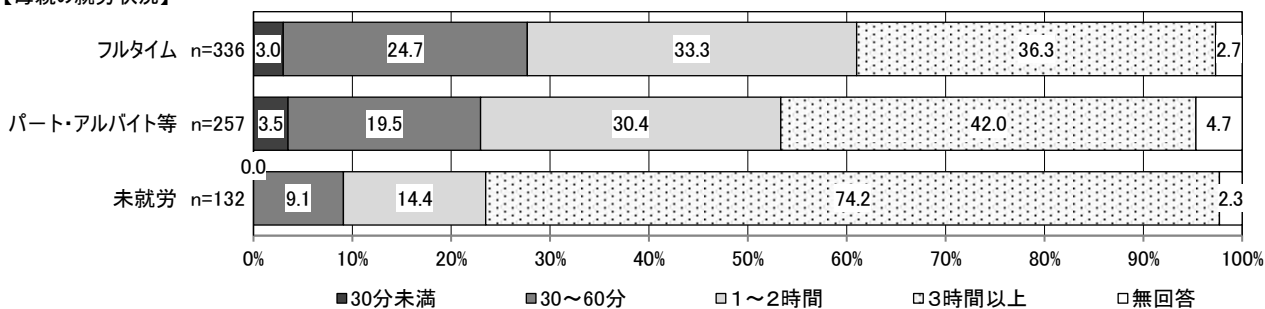
(SA) n=756



【年齢】



【母親の就労状況】

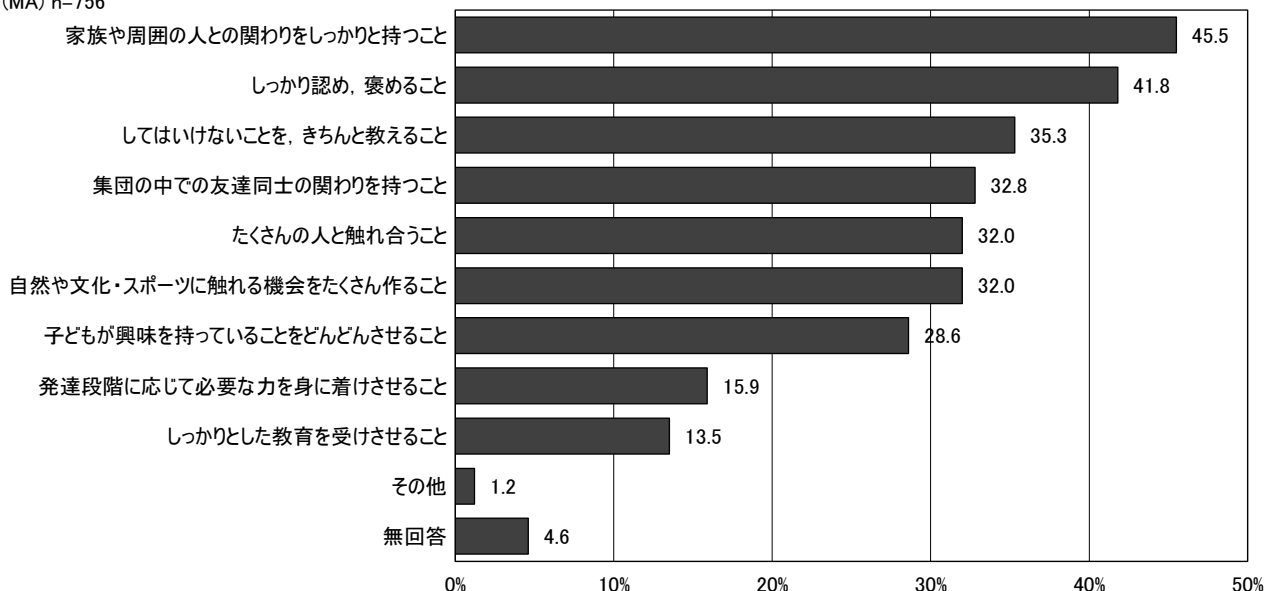


問44(1) 地域社会の役割として、あなたが重要と考えているものをお答えください。(MA)

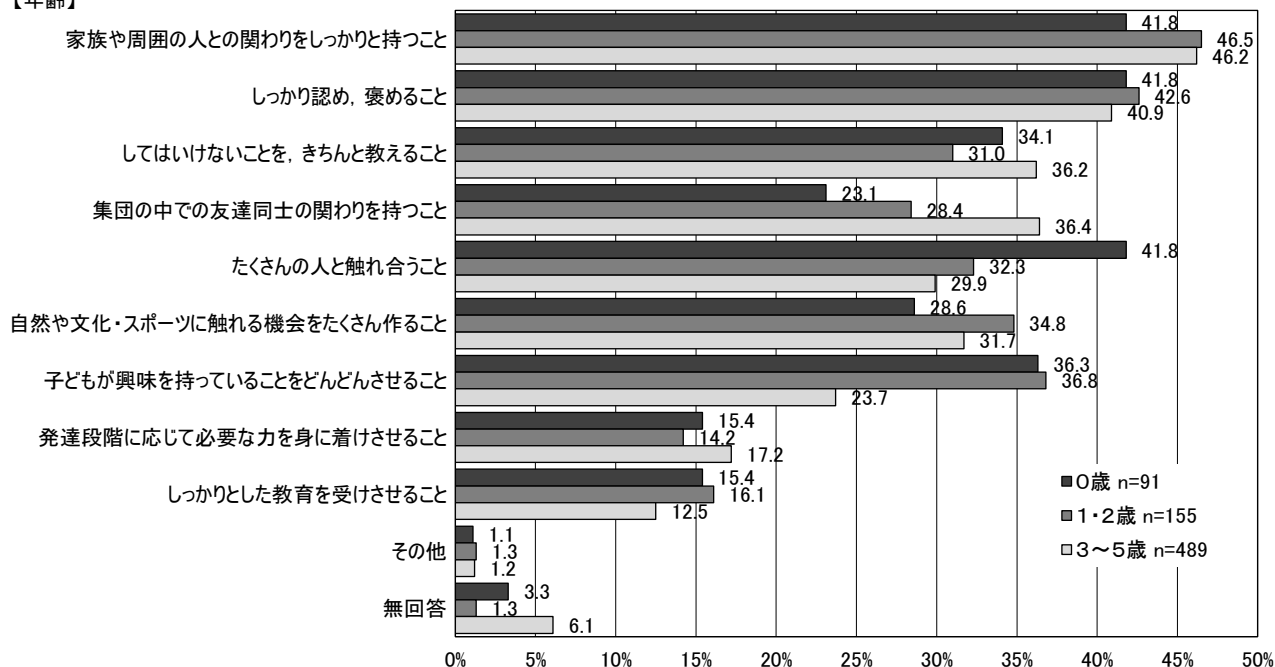
「家族や周囲の人との関わりをしっかりと持つこと」が45.5%で最も高くなっています。次いで「しっかり認め、褒めること」が41.8%、「してはいけないことを、きちんと教えること」が35.3%が続いています。

年齢別にみると、0歳では「たくさんの人と触れ合うこと」が比較的高くなっています。また、年齢が高いほど、「集団の中での友達同士の関わりを持つこと」が高くなる傾向がみられます。

(MA) n=756



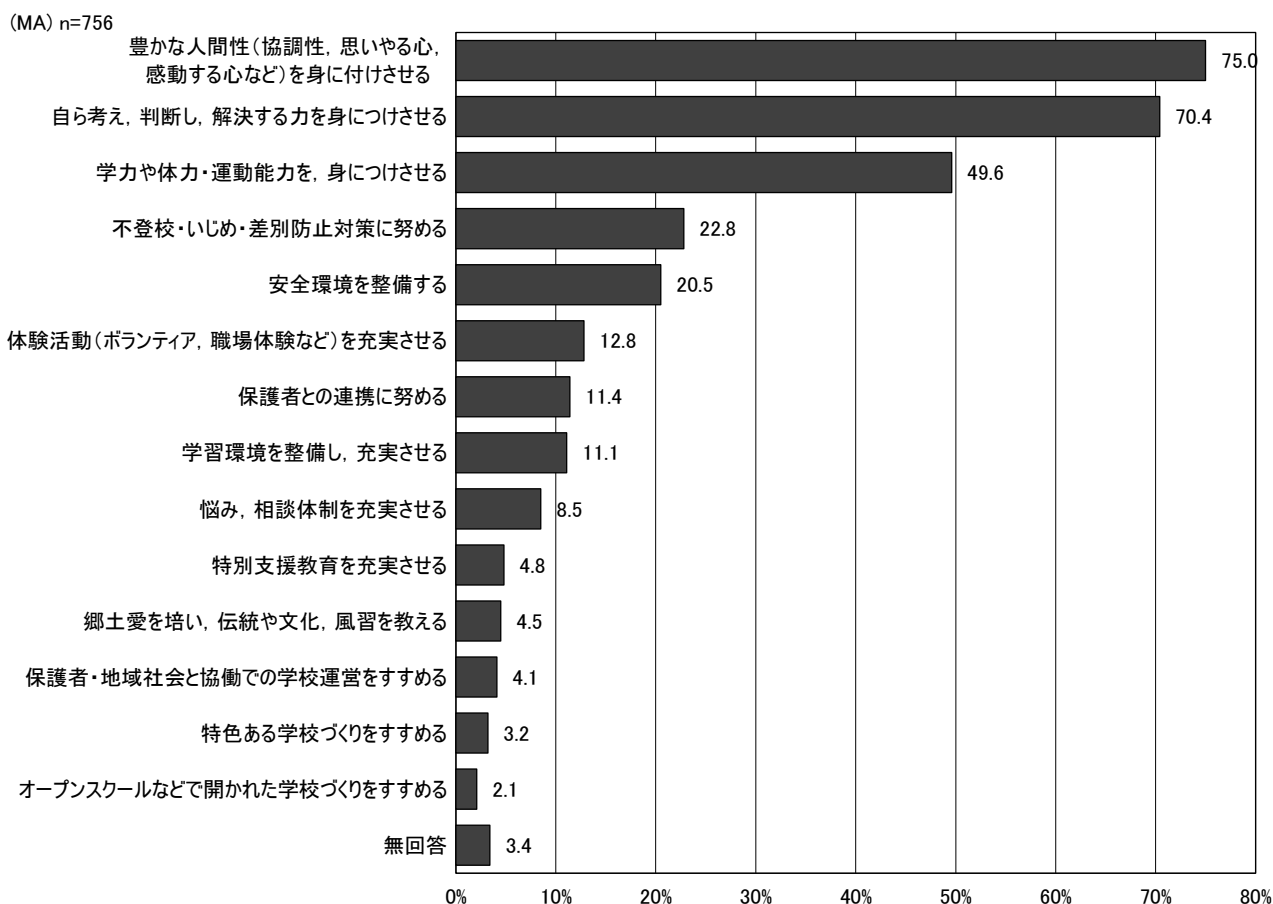
【年齢】



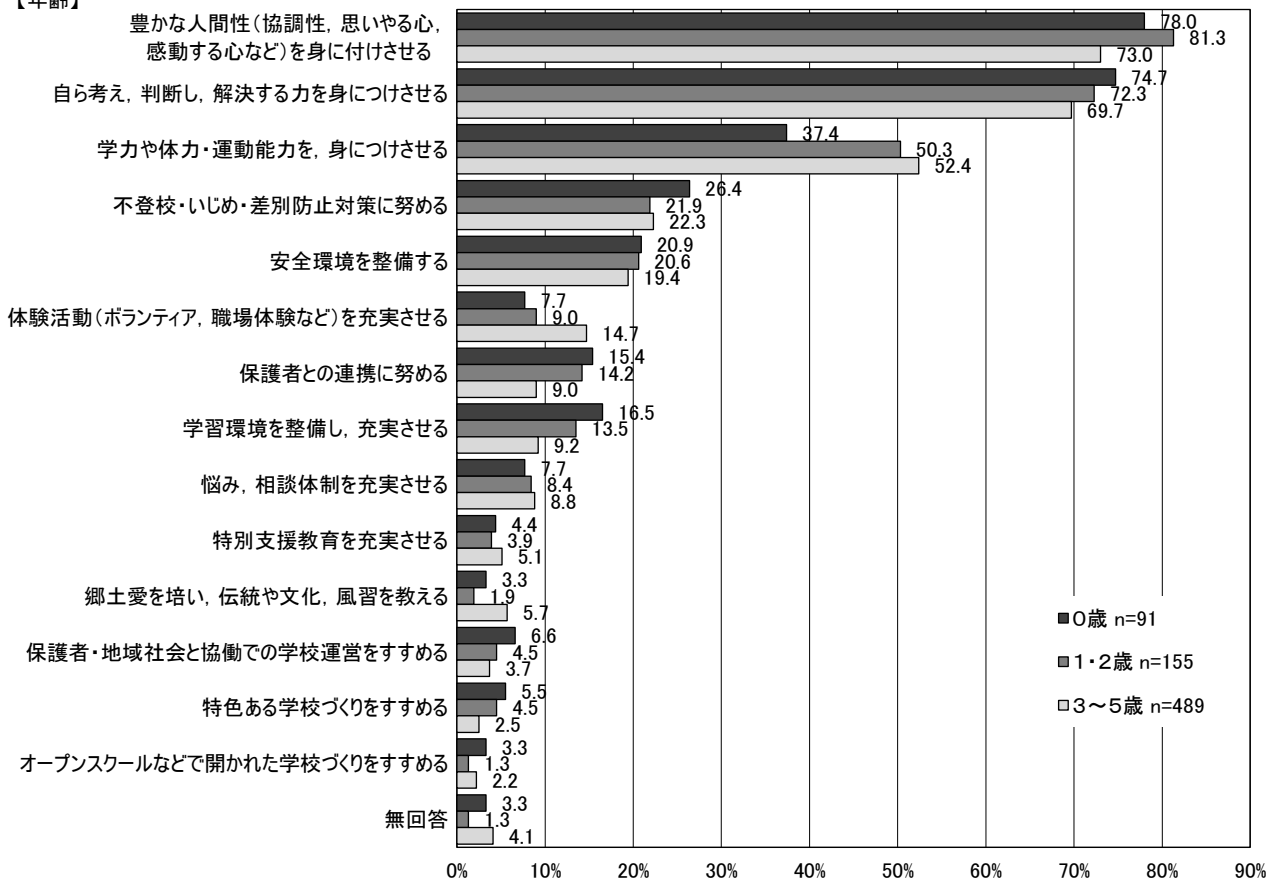
問44(2) 保育・教育機関の役割として、あなたが重要と考えているものをお答えください。(MA)

「豊かな人間性(協調性, 思いやる心, 感動する心など)を身に付けさせる」が 75.0%で最も高くなっています。次いで「自ら考え, 判断し, 解決する力を身につけさせる」が 70.4%, 「学力や体力・運動能力を, 身につけさせる」が 49.6%で続いています。

年齢別にみると, 1歳以上で「学力や体力・運動能力を, 身につけさせる」が比較的高くなっています。



【年齢】

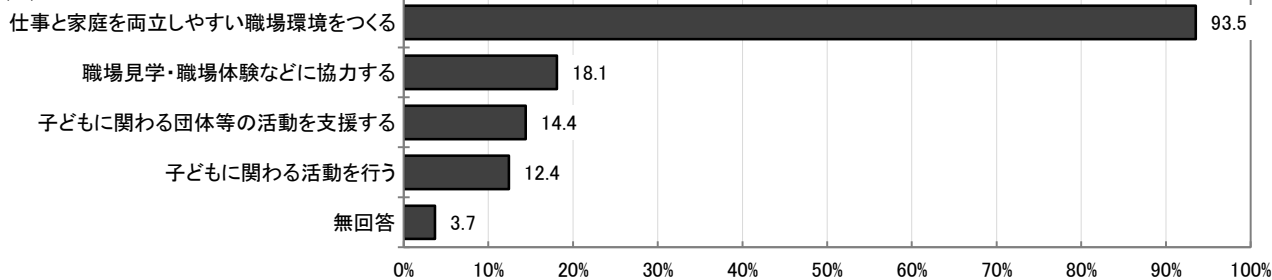


問44(3) 事業所・企業の役割として、あなたが重要と考えているものをお答えください。(MA)

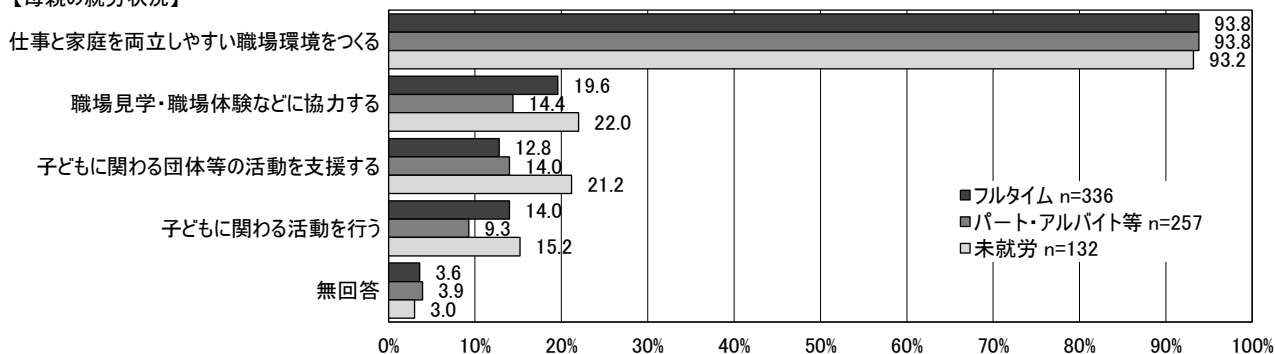
「仕事と家庭を両立しやすい職場環境をつくる」が 93.5%で突出しています。「職場見学・職場体験などに協力する」が 18.1%、「子どもに関わる団体等の活動を支援する」が 14.4%で続いています。

母親の就労状況別にみると、未就労では「子どもに関わる団体等の活動を支援する」が比較的高くなっています。

(MA) n=756



【母親の就労状況】



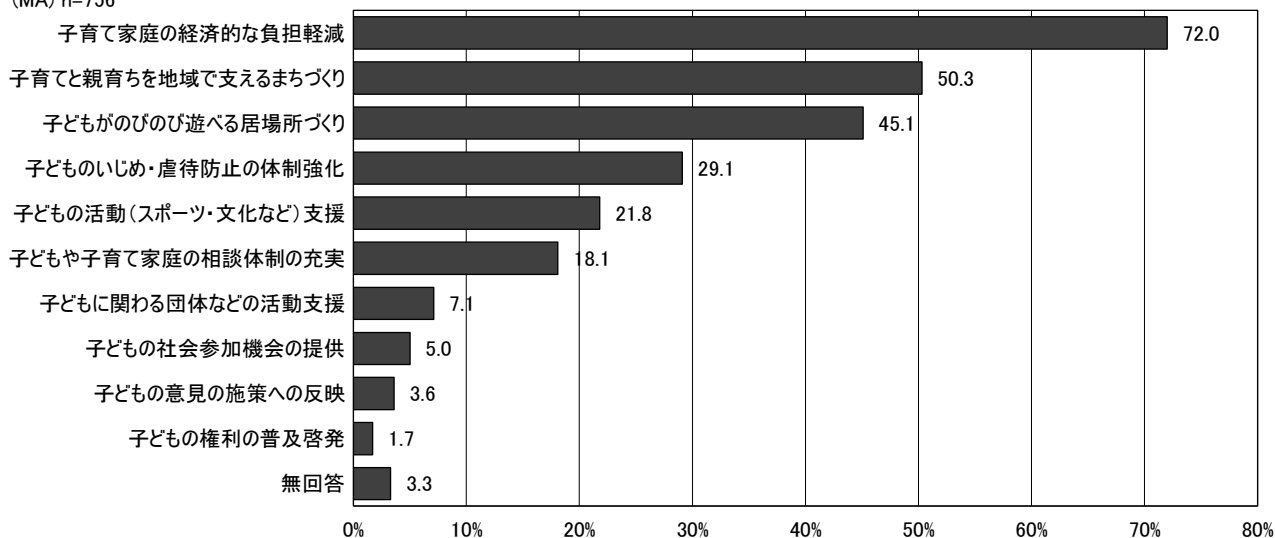
問44(4) 市役所の役割として、あなたが重要と考えているものをお答えください。(MA)

「子育て家庭の経済的な負担軽減」が 72.0%で最も高くなっています。次いで「子育てと親育ちを地域で支えるまちづくり」が 50.3%、「子どもがのびのび遊べる居場所づくり」が 45.1%で続いています。

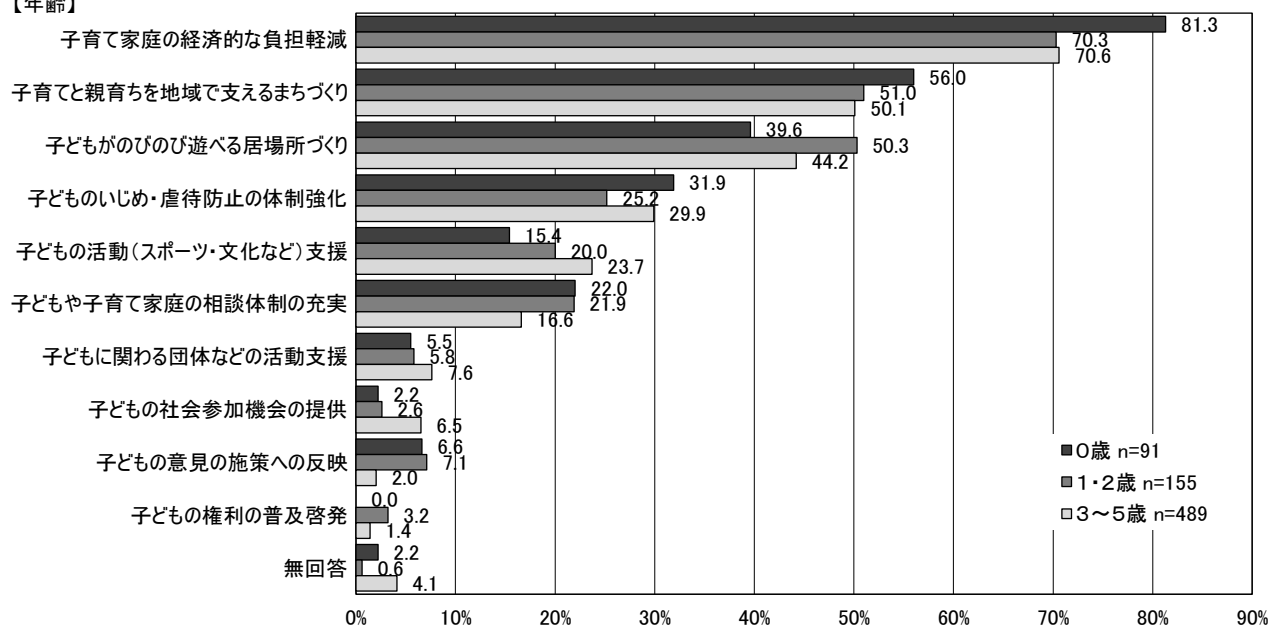
年齢別にみると、0歳で「子育て家庭の経済的な負担軽減」が比較的高くなっています。

母親の就労状況別にみると、未就労で「子どもや子育て家庭の相談体制の充実」が比較的高くなっています。

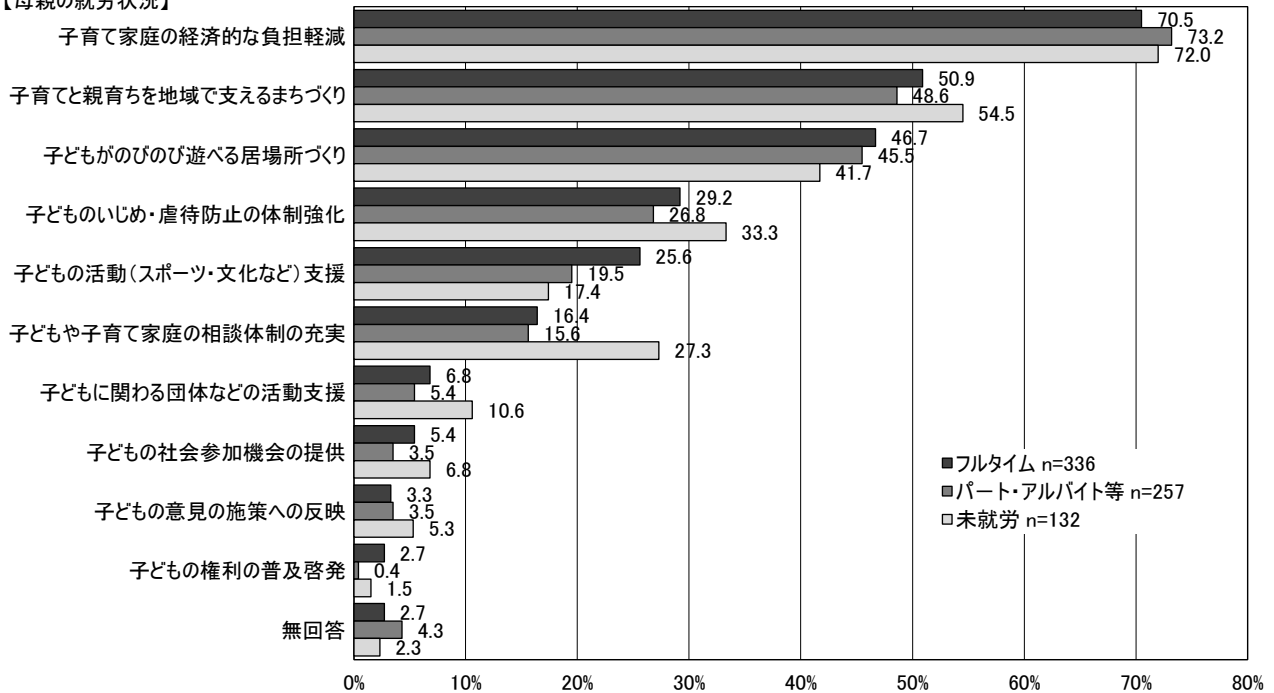
(MA) n=756



【年齢】



【母親の就労状況】



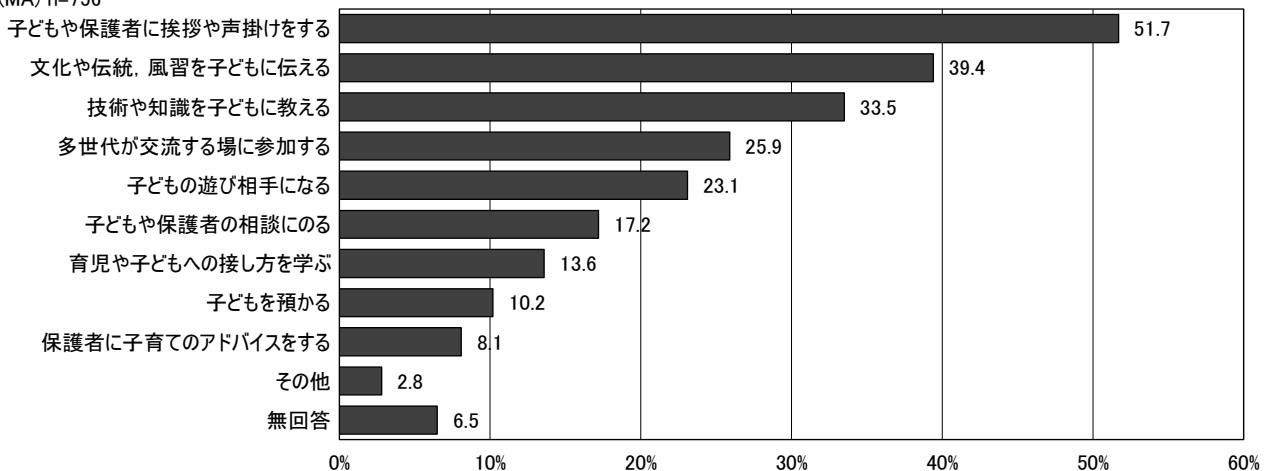
問45 子ども・子育てに関して、地域の方にどのように助けたいですか。(MA)

「子どもや保護者に挨拶や声掛けをする」が 51.7%で最も高くなっています。次いで「文化や伝統、風習を子どもに伝える」が 39.4%、「技術や知識を子どもに教える」が 33.5%で続いています。

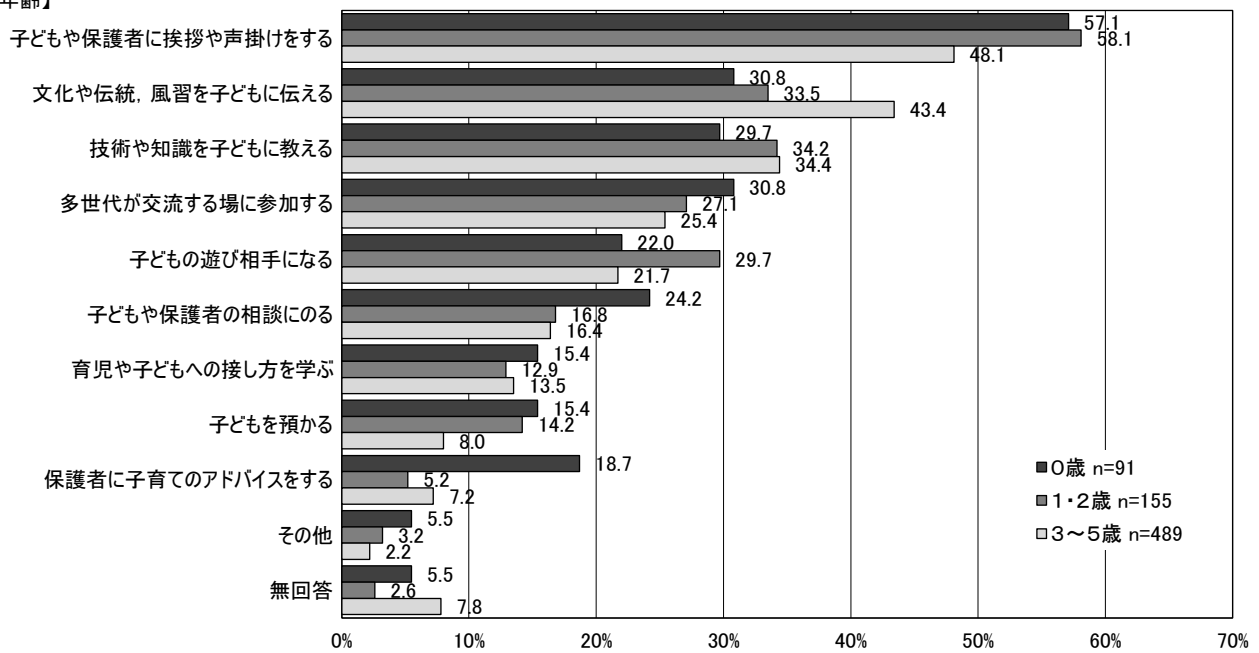
年齢別にみると、0歳では「子どもや保護者の相談にのる」「保護者に子育てのアドバイスをする」が比較的高くなっています。

母親の就労状況別にみると、未就労で「子どもや保護者の相談にのる」が比較的高くなっています。

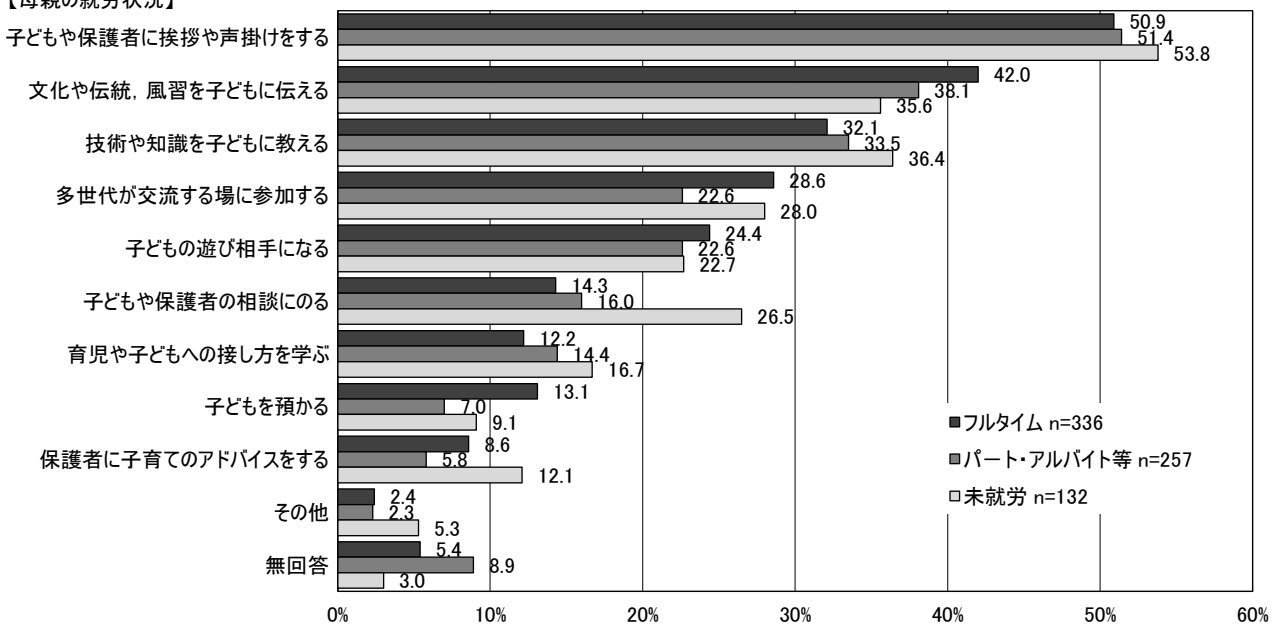
(MA) n=756



【年齢】



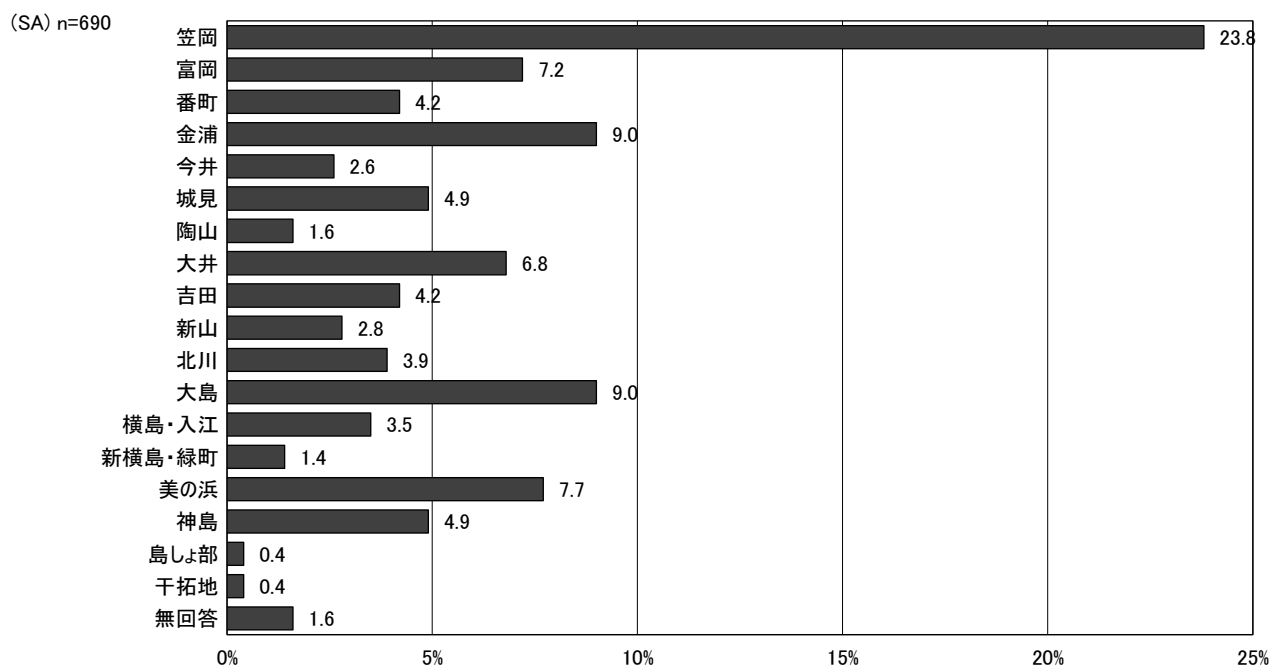
【母親の就労状況】



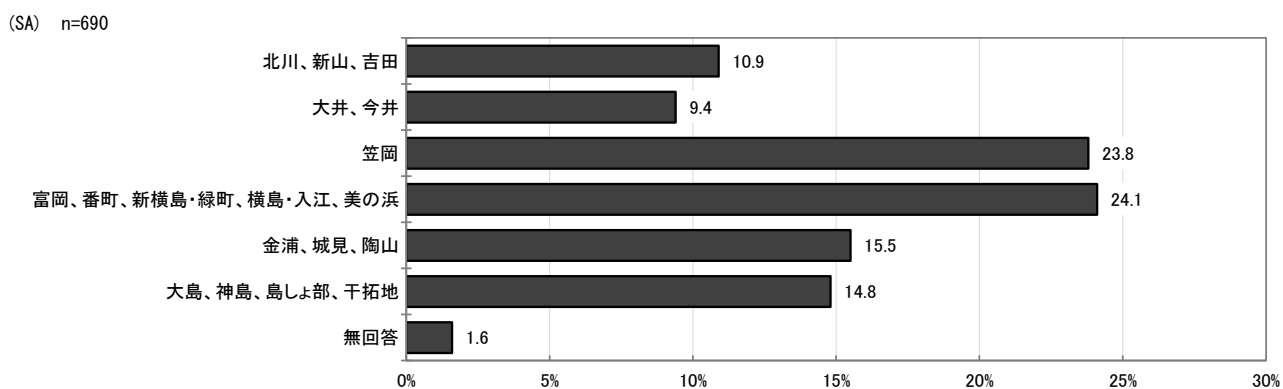
小学生保護者調査結果

ご家族の状況等について

問1 この調査票を持ち帰ったお子さんのお住まいの地域はどちらですか。(SA)

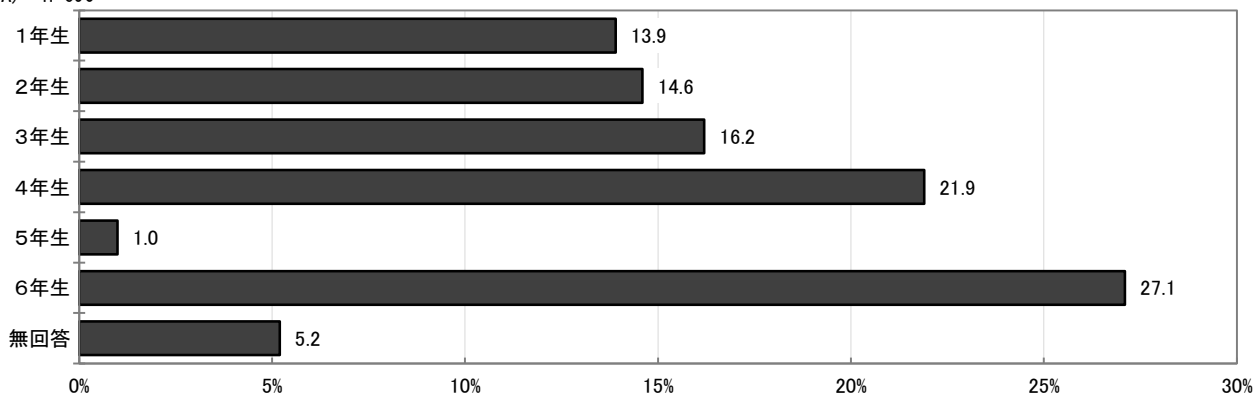


地区区分(SA)



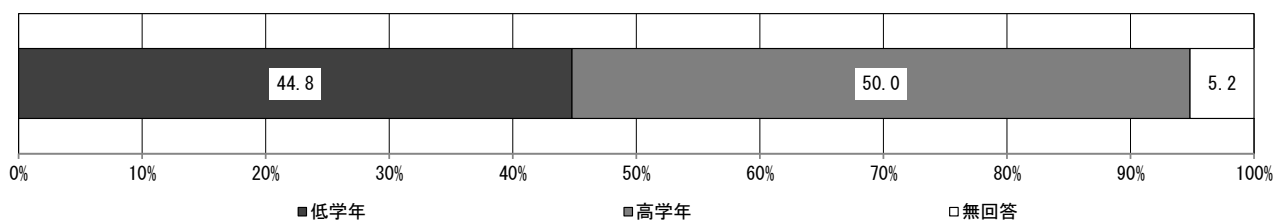
問2 宛名のお子さんの年齢(学年)

(SA) n=690



学年(SA)

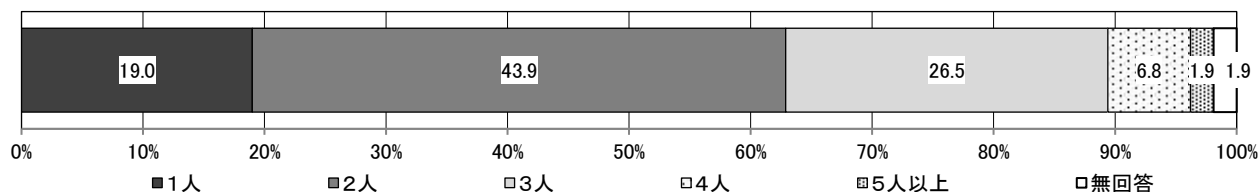
(SA) n=690



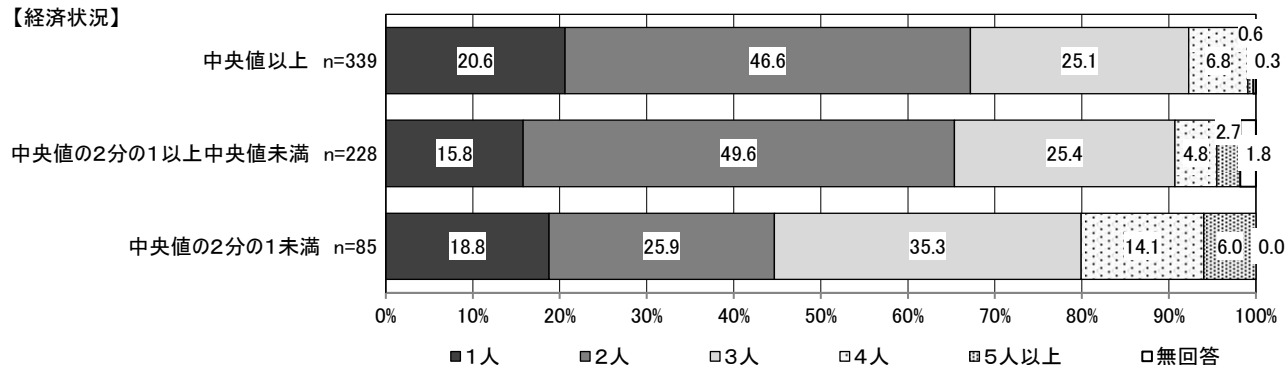
問3A この調査票を持ち帰ったお子さんは何人きょうだいですか(あて名のお子さんを含む)。きょうだい人数(何)人(SA)

「2人」が43.9%で最も高くなっています。次いで「3人」が26.5%, 「1人」が19.0%が続いています。経済状況別にみると、中央値の2分の1未満で比較的きょうだいの数が多くなっています。

(SA) n=690



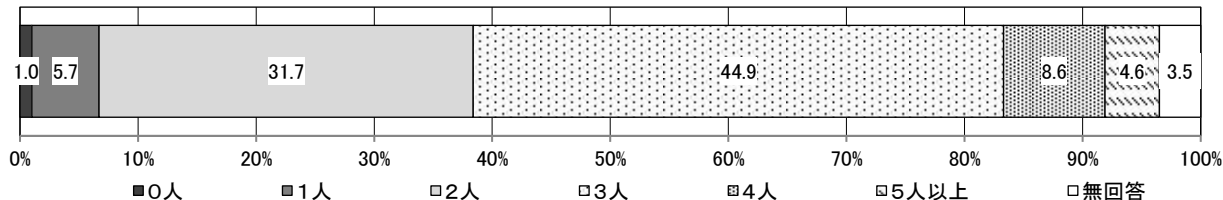
【経済状況】



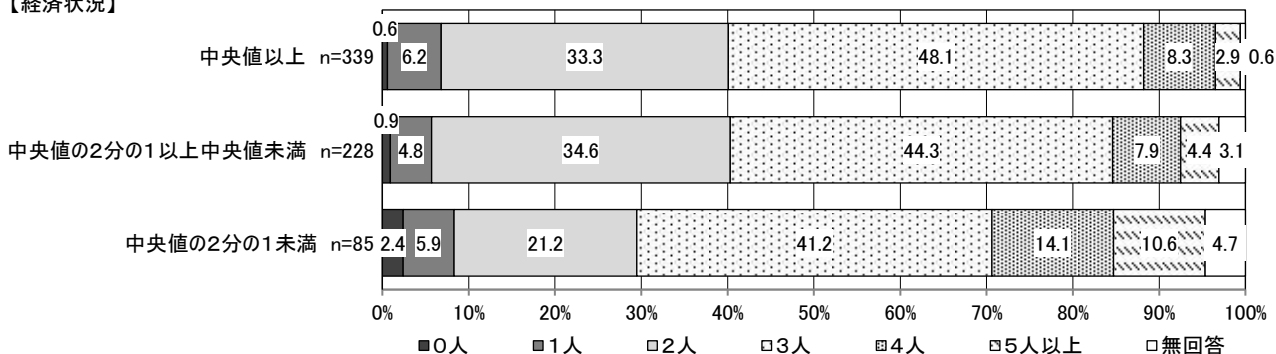
問4① あなたの家庭にとって、欲しい子どもの人数は何人ですか。(数量)

「3人」が44.9%で最も高くなっています。次いで「2人」が31.7%、「4人」が8.6%が続いています。経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど、欲しい子どもの人数が多くなる傾向がみられます。

(数量) n=690



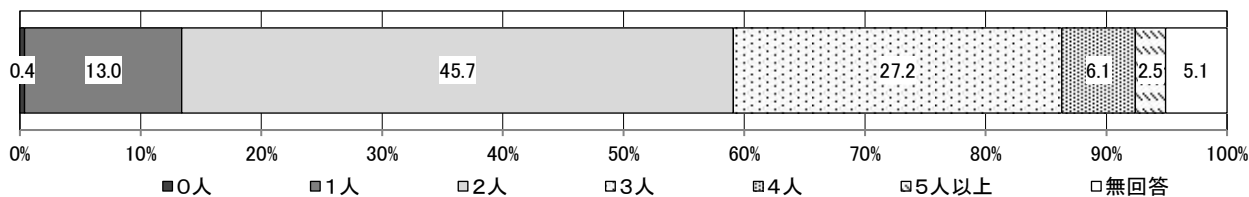
【経済状況】



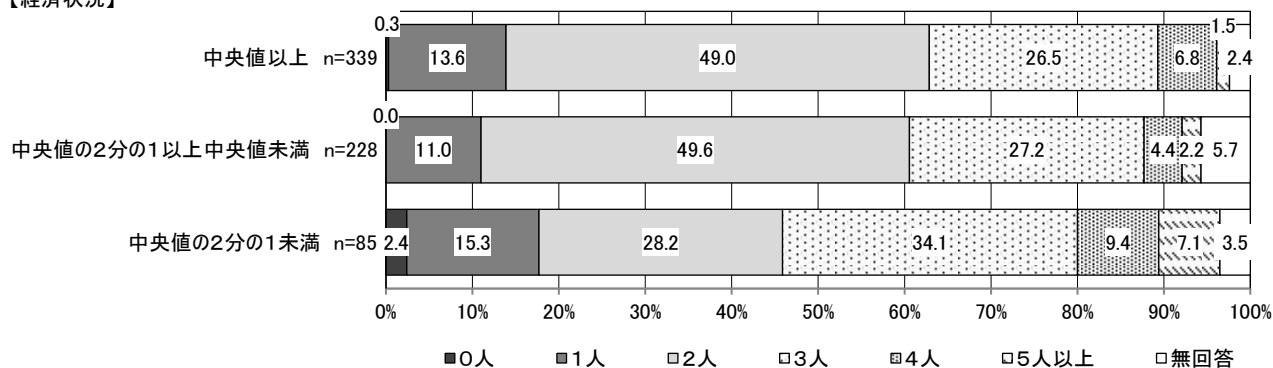
問4② あなたの家庭にとって、実際に子育てが可能な子どもの人数は何人ですか。(数量)

「2人」が45.7%で突出しています。「3人」が27.2%、「1人」が13.0%が続いています。経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど、実際に子育てが可能な子どもの人数が多くなる傾向がみられます。

(数量) n=690



【経済状況】

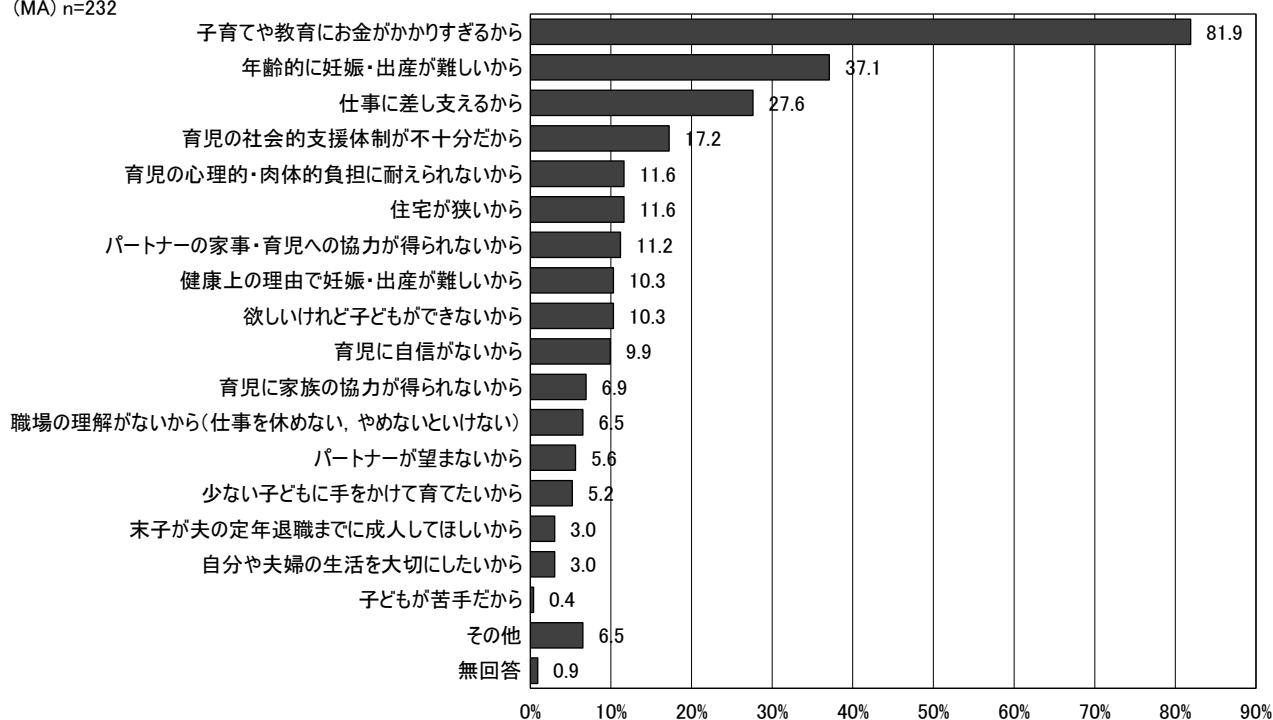


問4-1 「①欲しい子どもの人数」より、「②子育て可能な子どもの人数」が、少ないのはどのような理由からですか。(MA)

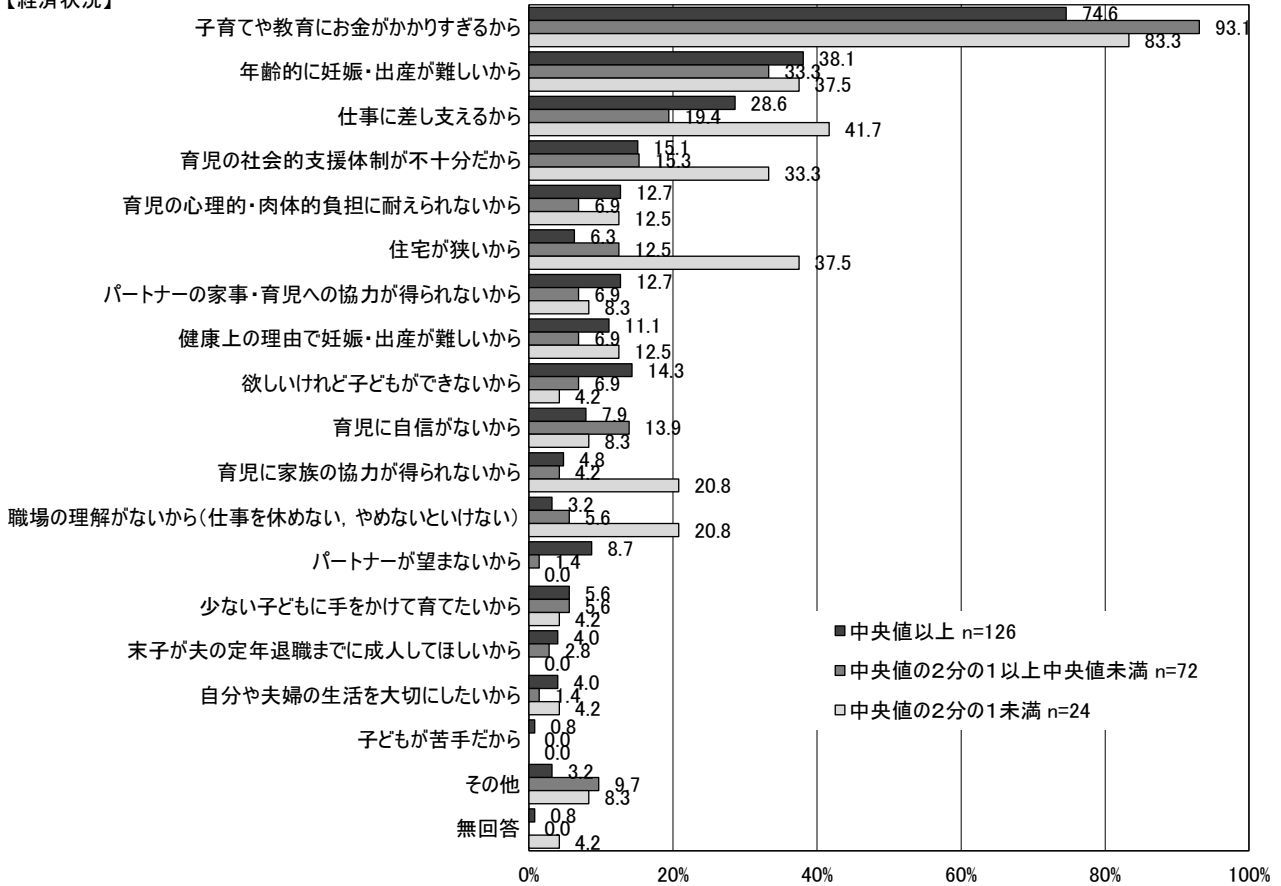
「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が81.9%で突出しています。「年齢的に妊娠・出産が難しいから」が37.1%、「仕事に差し支えるから」が27.6%が続いています。

経済状況別にみると、中央値の2分の1未満では「仕事に差し支えるから」「育児の社会的支援体制が不十分だから」「住宅が狭いから」が比較的高くなっています。

(MA) n=232



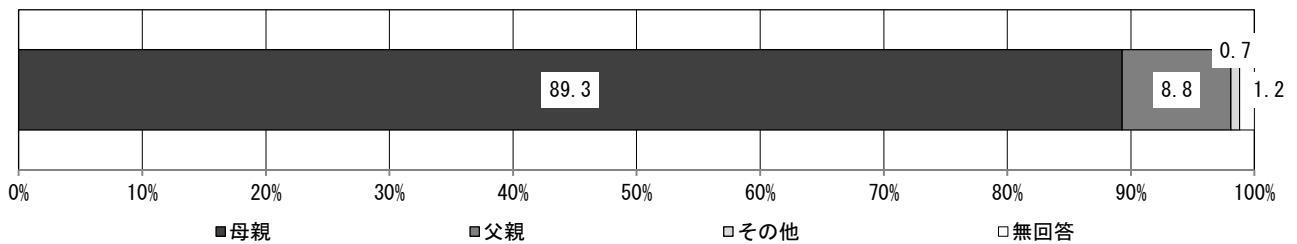
【経済状況】



問5 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。この調査票を持ち帰ったお子さんからみた関係で回答してください。(SA)

「母親」が 89.3% を占めています。

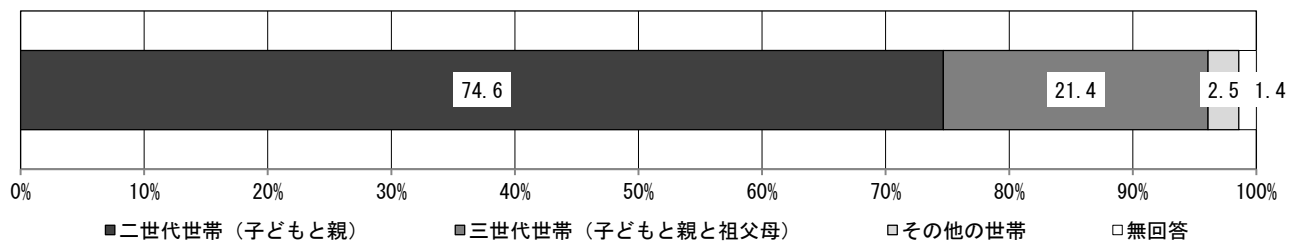
(SA) n=690



問6 家族構成をお答えください。(SA)

「二世世代世帯(子どもと親)」が74.6%を占めています。

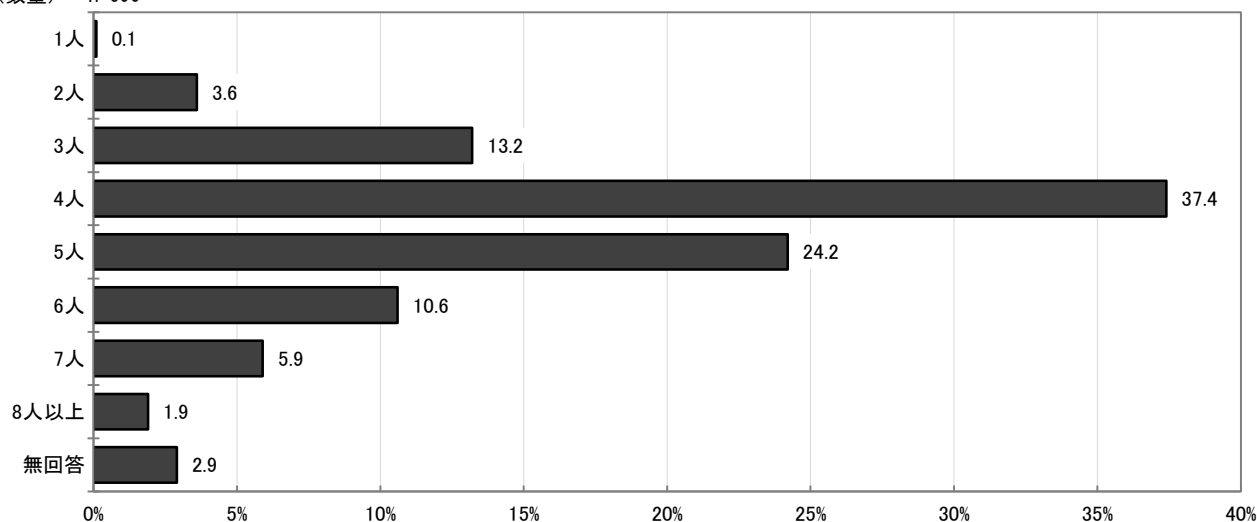
(SA) n=690



問7 世帯の人数(単身赴任などの一時的な別居人数を含む)をお答えください。(数量)

「4人」が37.4%で最も高くなっています。次いで「5人」が24.2%、「3人」が13.2%が続いています。

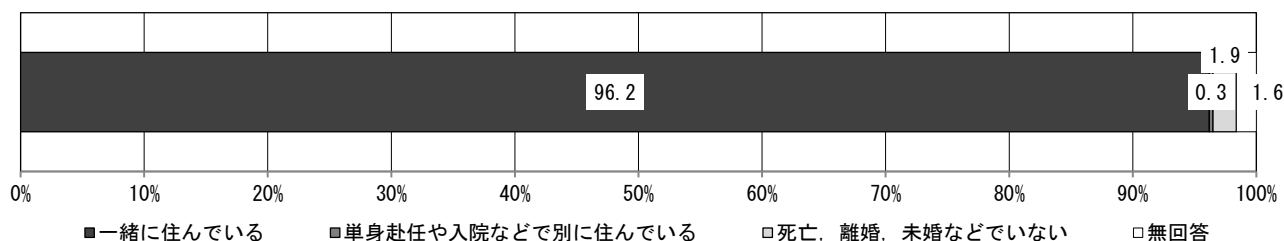
(数量) n=690



問8A お子さんの母親の状況について、お答えください。(SA)

「一緒に住んでいる」が96.2%を占めています。

(SA) n=690



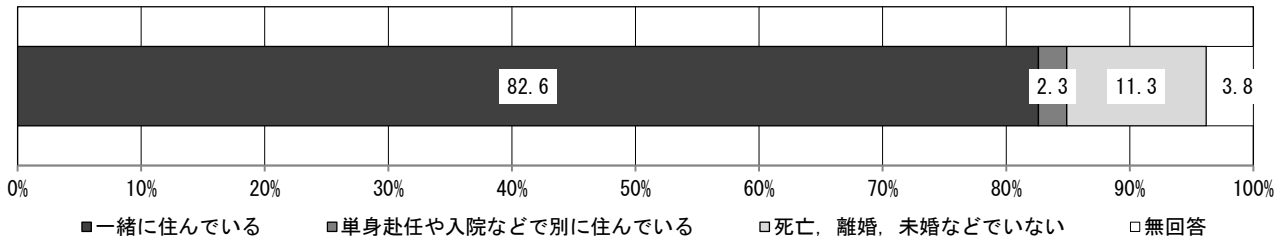
問8B お子さんの父親の状況について、お答えください。(SA)

「一緒に住んでいる」が 82.6%を占めています。

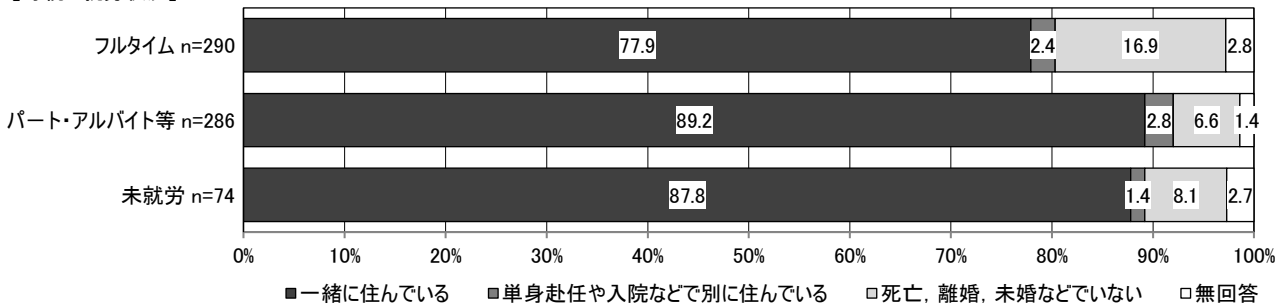
母親の就労状況別にみると、フルタイムで「死亡、離婚、未婚などでいない」が比較的高くなっています。

経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど、「死亡、離婚、未婚などでいない」が高くなる傾向がみられます。

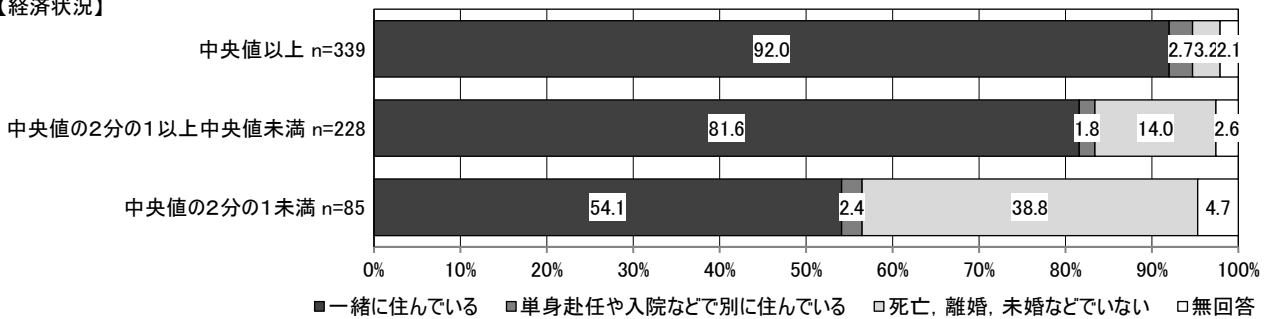
(SA) n=690



【母親の就労状況】



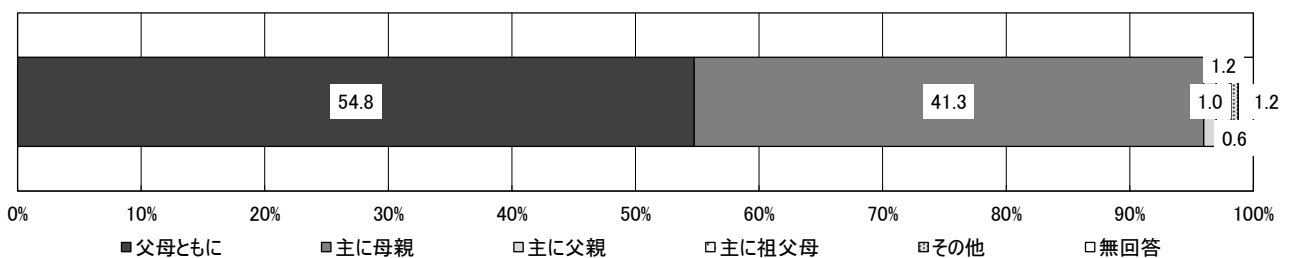
【経済状況】



問9 この調査票を持ち帰ったお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。(SA)

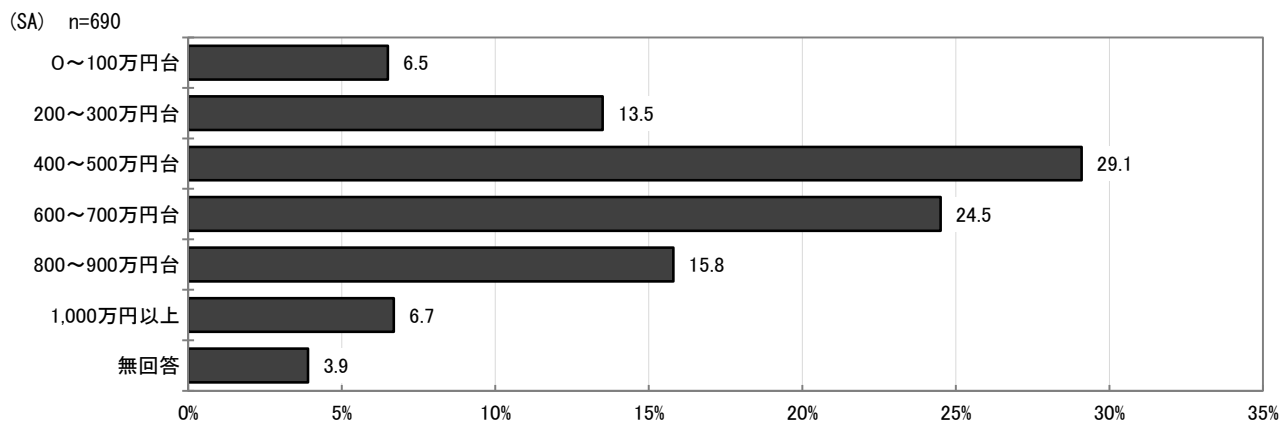
「父母ともに」が 54.8%で最も高くなっています。次いで「主に母親」が 41.3%、「主に祖父母」が 1.2%が続いています。

(SA) n=690



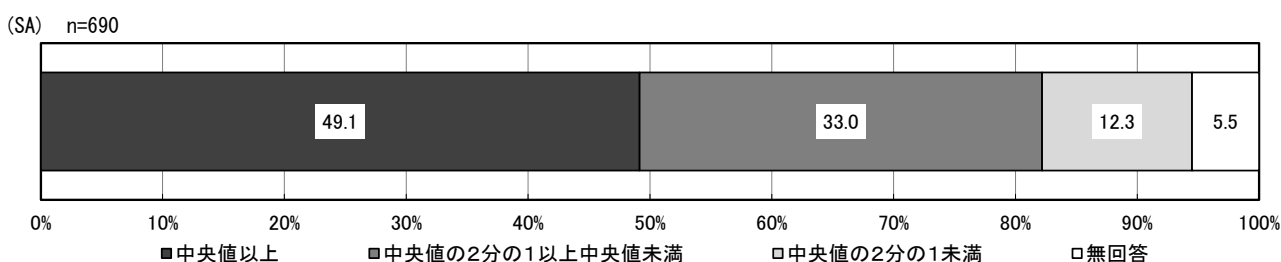
問10 あなたの世帯全員の合計年収はいくらですか。(SA)

「400～500万円台」が29.1%で最も高くなっています。次いで「600～700万円台」が24.5%、「800～900万円台」が15.8%が続いています。



経済状況(SA)

「中央値以上」が49.1%で最も高くなっています。次いで「中央値の2分の1以上中央値未満」が33.0%、「中央値の2分の1未満」が12.3%が続いています。

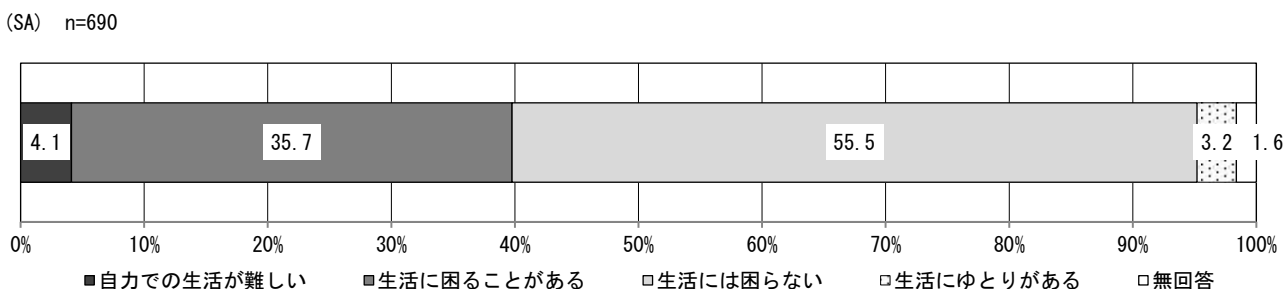


問11 あなたの世帯は現在、経済的にどんな状況ですか。(SA)

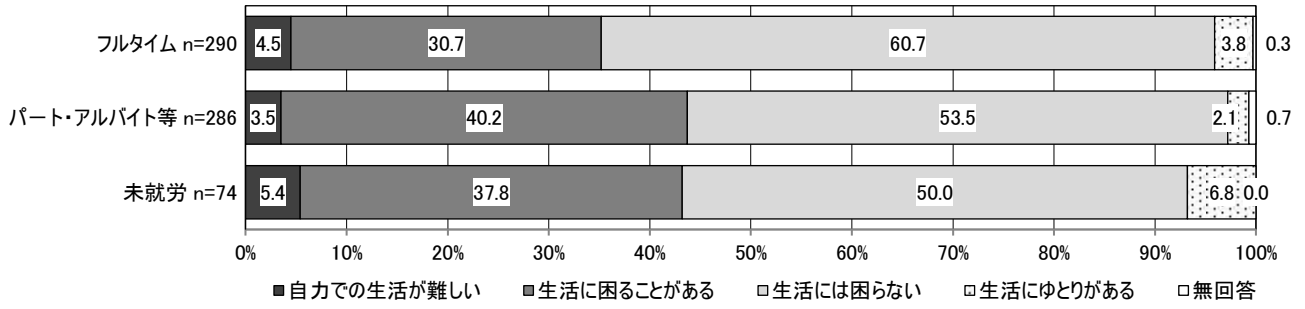
「生活には困らない」が55.5%を占めています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「生活には困らない」が比較的高くなっています。

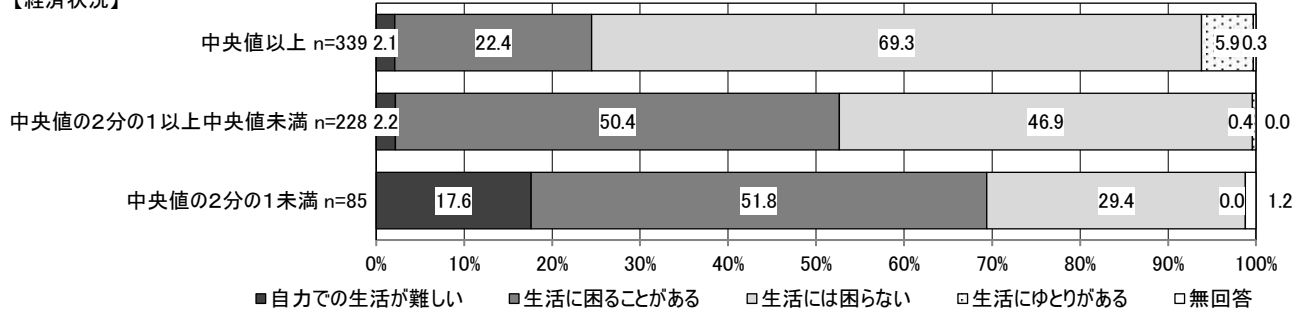
経済状況別にみると、実際の経済状況が厳しいほど、感覚的な経済状況も厳しいと感じています。



【母親の就労状況】



【経済状況】



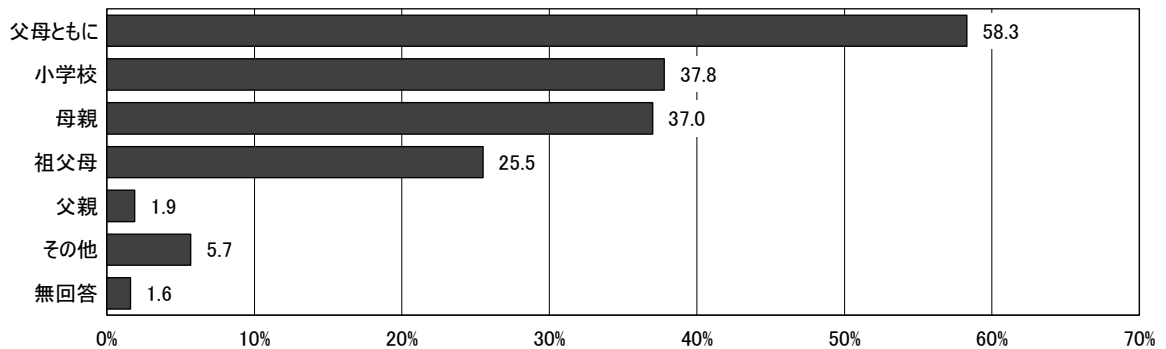
お子さんの育ちをめぐる環境について

問12 この調査票を持ち帰ったお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(MA)

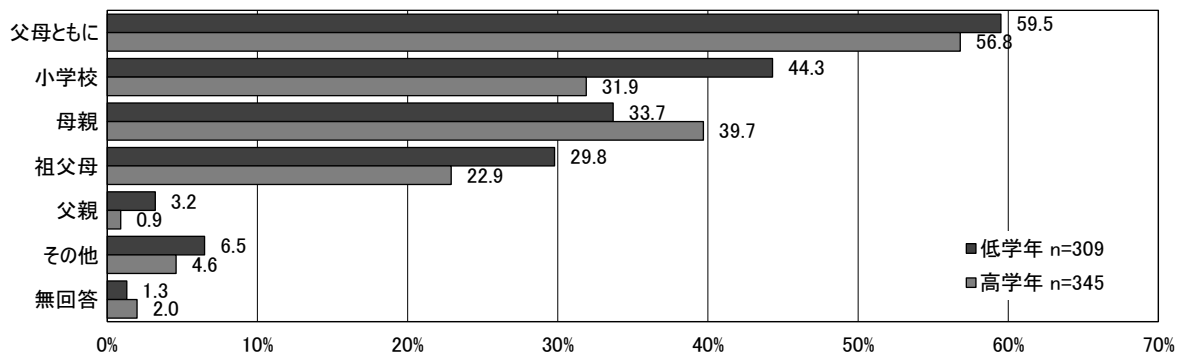
「父母ともに」が 58.3%で最も高くなっています。次いで「小学校」が 37.8%、「母親」が 37.0%が続いています。

学年別にみると、低学年では「小学校」「祖父母」が比較的高く、高学年では「母親」が比較的高くなっています。

(MA) n=690

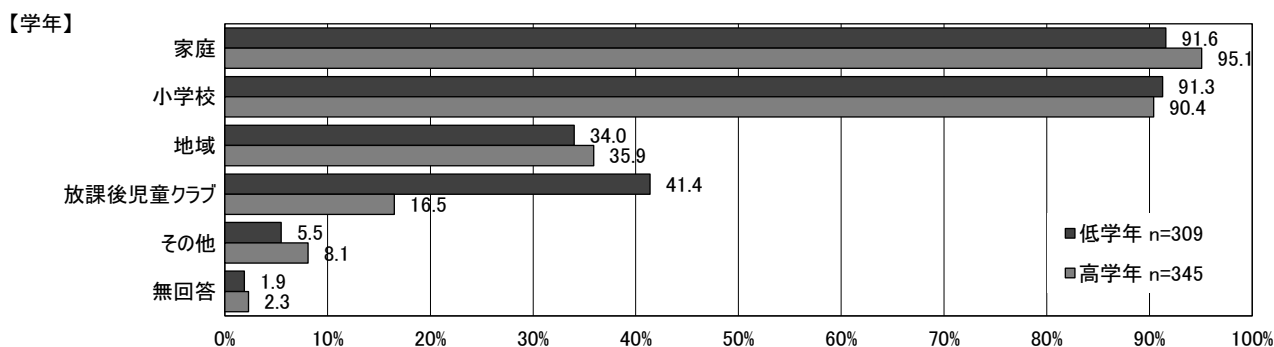
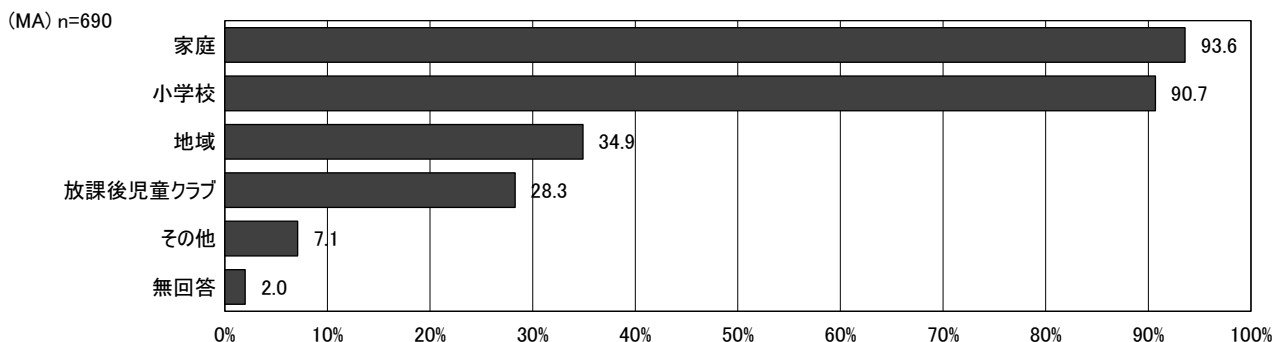


【学年】



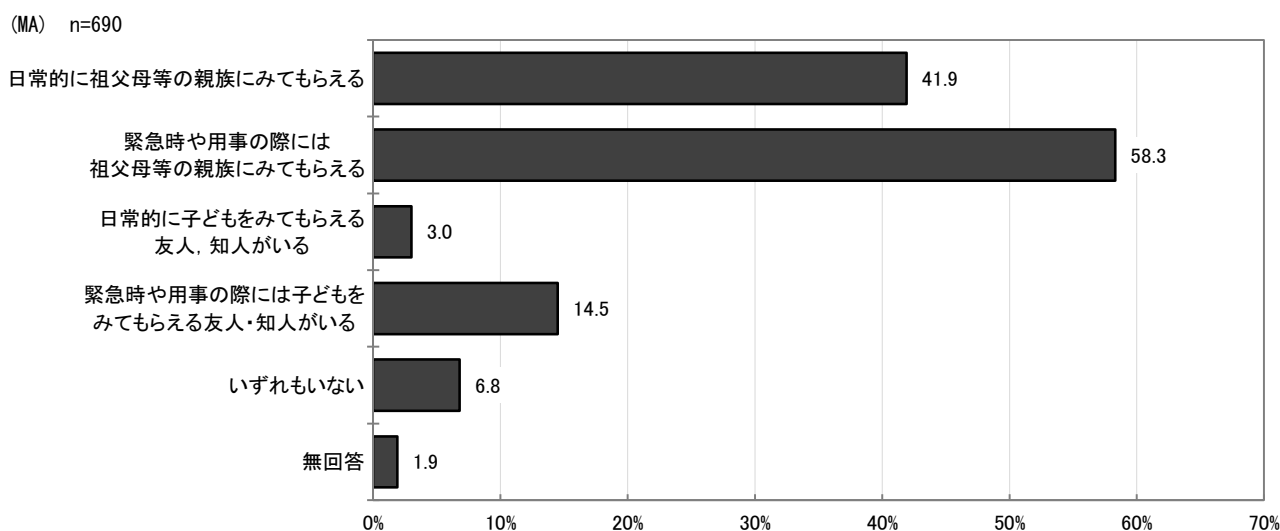
問13 この調査票を持ち帰ったお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。(MA)

「家庭」が93.6%、「小学校」が90.7%で群を抜いて高くなっています。「地域」が34.9%が続いています。学年別にみると、低学年では「放課後児童クラブ」が比較的高くなっています。



問14 日頃、この調査票を持ち帰ったお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(MA)

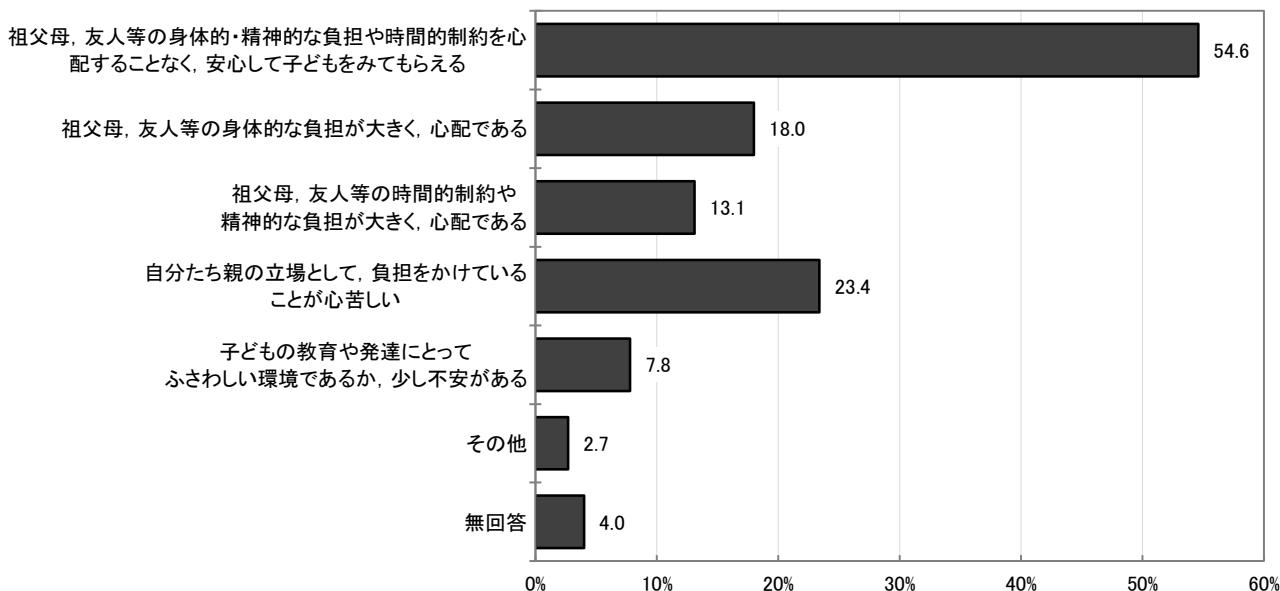
「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.3%で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が41.9%、「緊急時や用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が14.5%が続いています。



問14-1 祖父母等の親族, 友人, 知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(MA)

「祖父母, 友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく, 安心して子どもをみてもらえる」が 54.6%で突出しています。「自分たち親の立場として, 負担をかけていることが心苦しい」が 23.4%, 「祖父母, 友人等の身体的な負担が大きく, 心配である」が 18.0%で続いています。

(MA) n=632

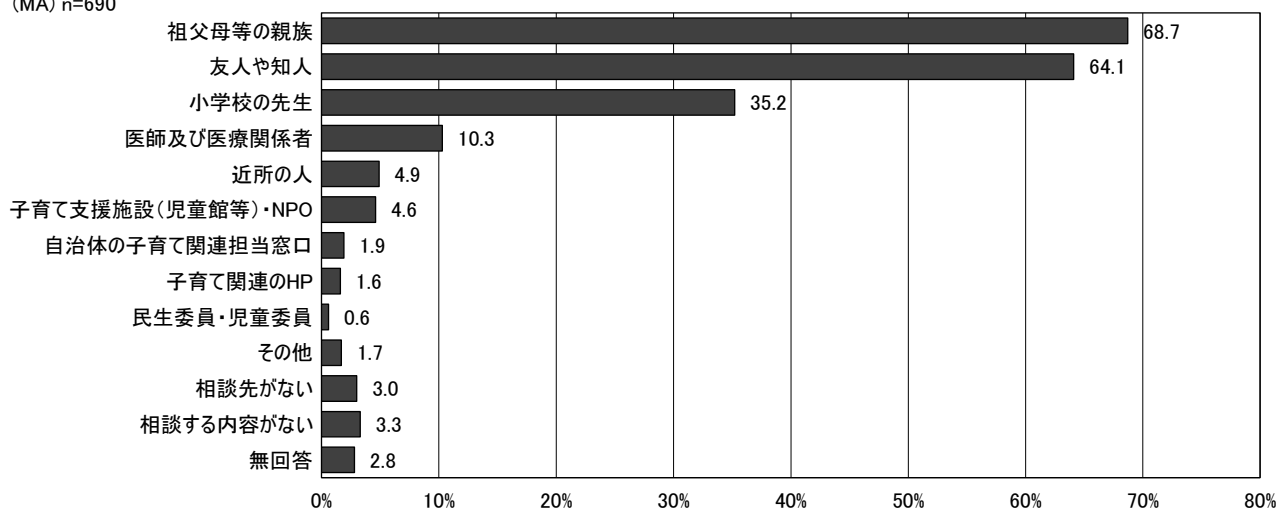


問15 お子さんの子育て(教育を含む)に関して, 気軽に相談できる先は, 誰(どこ)ですか。(MA)

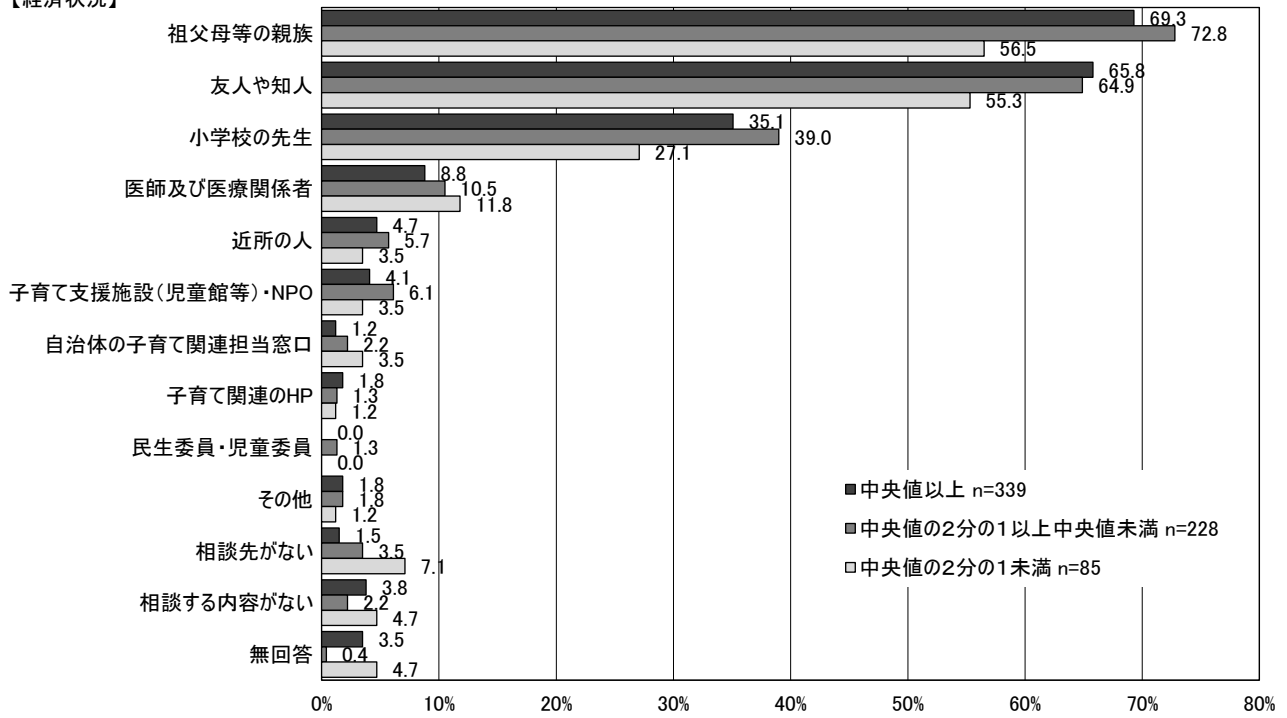
「祖父母等の親族」が 68.7%, 「友人や知人」が 64.1%で群を抜いて高くなっています。「小学校の先生」が 35.2%で続いています。

経済状況別にみると, 中央値の2分の1未満では「相談先がない」が比較的高くなっています。

(MA) n=690



【経済状況】



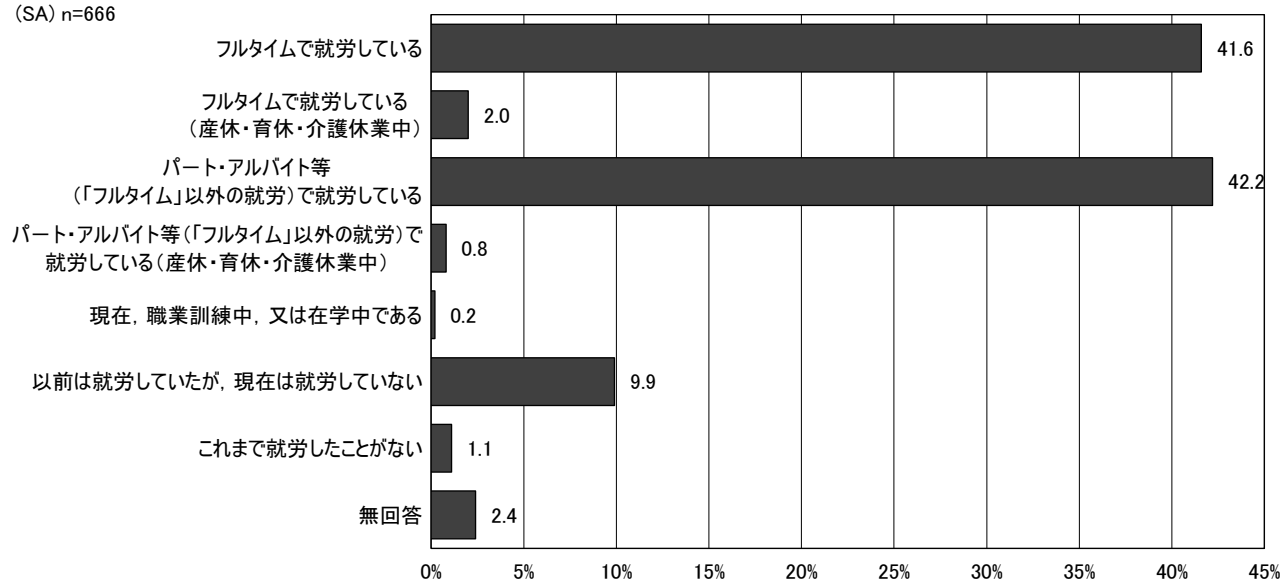
母親の就労状況について

問16 母親の就労状況を回答してください。(SA)

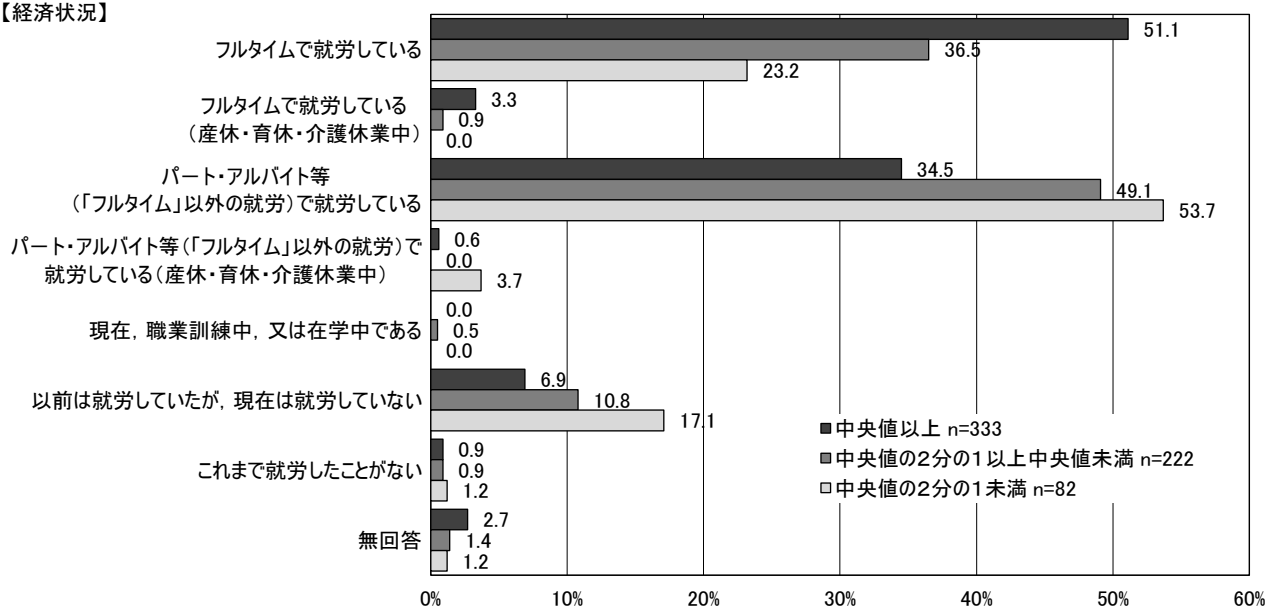
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している」が 42.2%、「フルタイムで就労している」が 41.6%で群を抜いて高くなっています。「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 9.9%が続いています。

経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど「フルタイムで就労している」が低く、「パート・アルバイト等で就労している」「以前は就労していたが、現在は就労していない」が高くなる傾向がみられます。

(SA) n=666



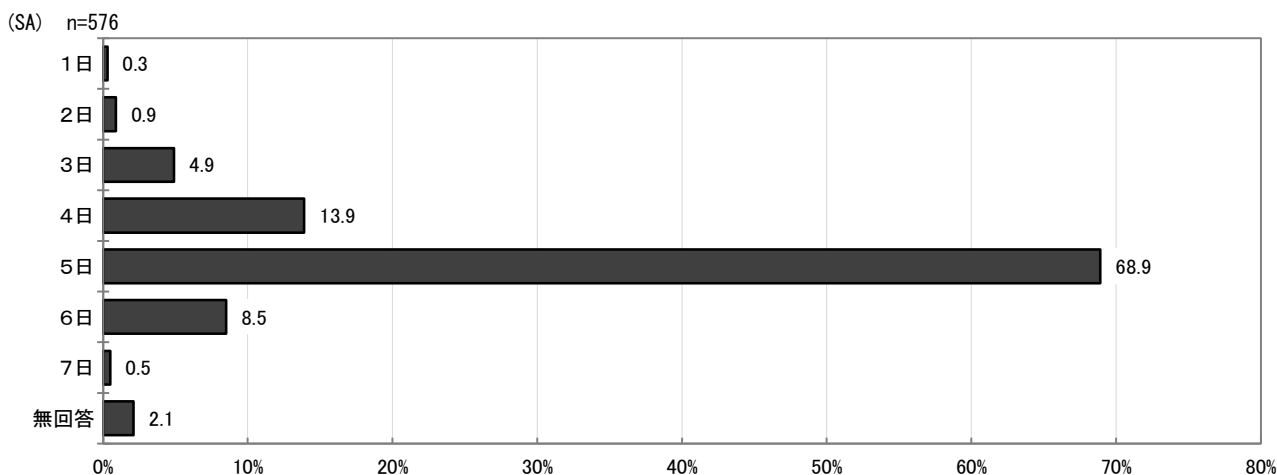
【経済状況】



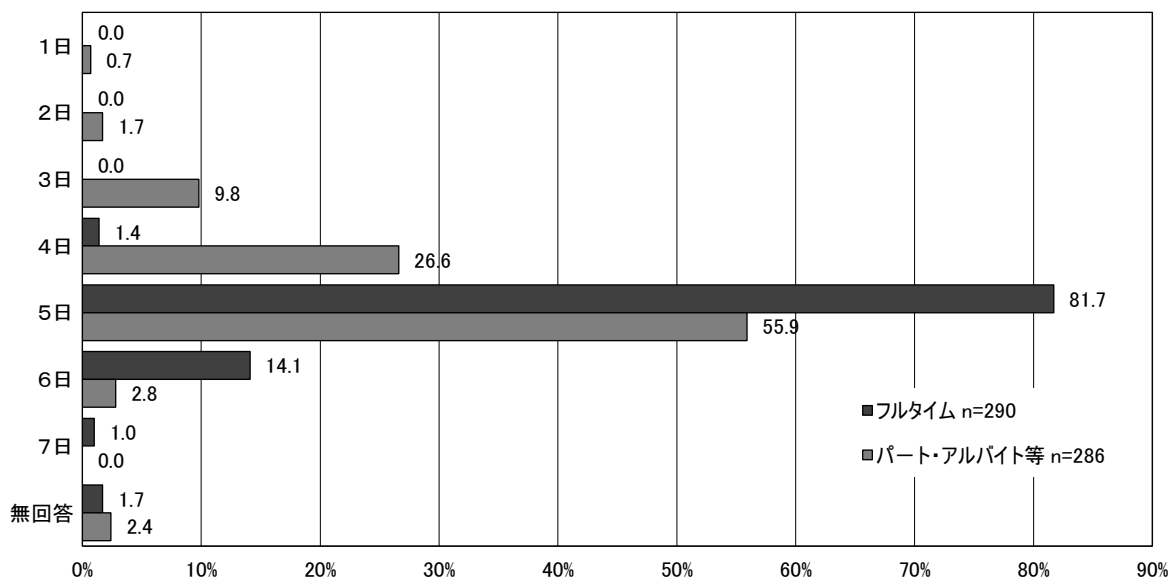
問16-1A① 母親の1週当たりの「就労日数」をお答えください。(SA)

「5日」が68.9%で突出しています。「4日」が13.9%、「6日」が8.5%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「5日」に次いで「6日」が高く、パート・アルバイト等では「5日」に次いで「4日」が高くなっています。



【母親の就労状況】

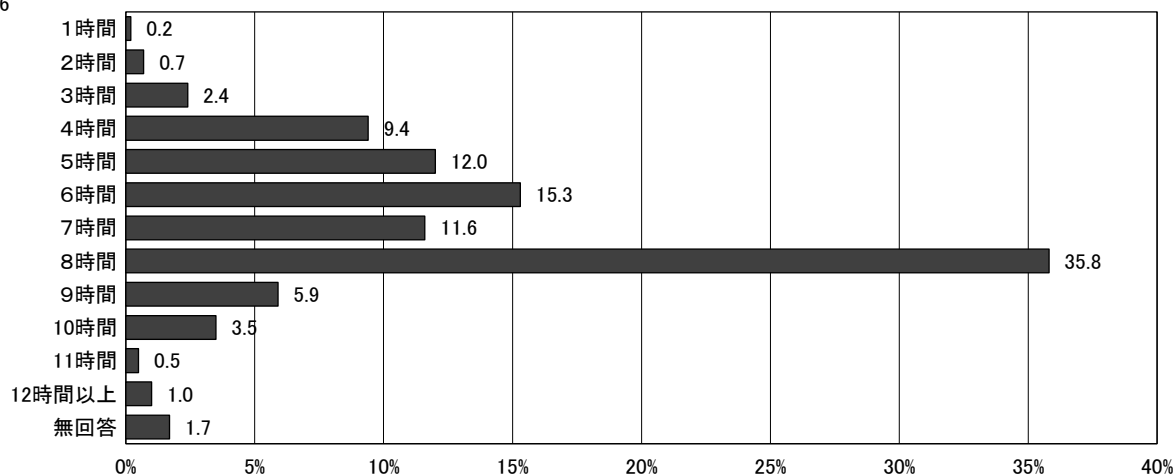


問16-1A② 母親の1週当たりの1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
(SA)

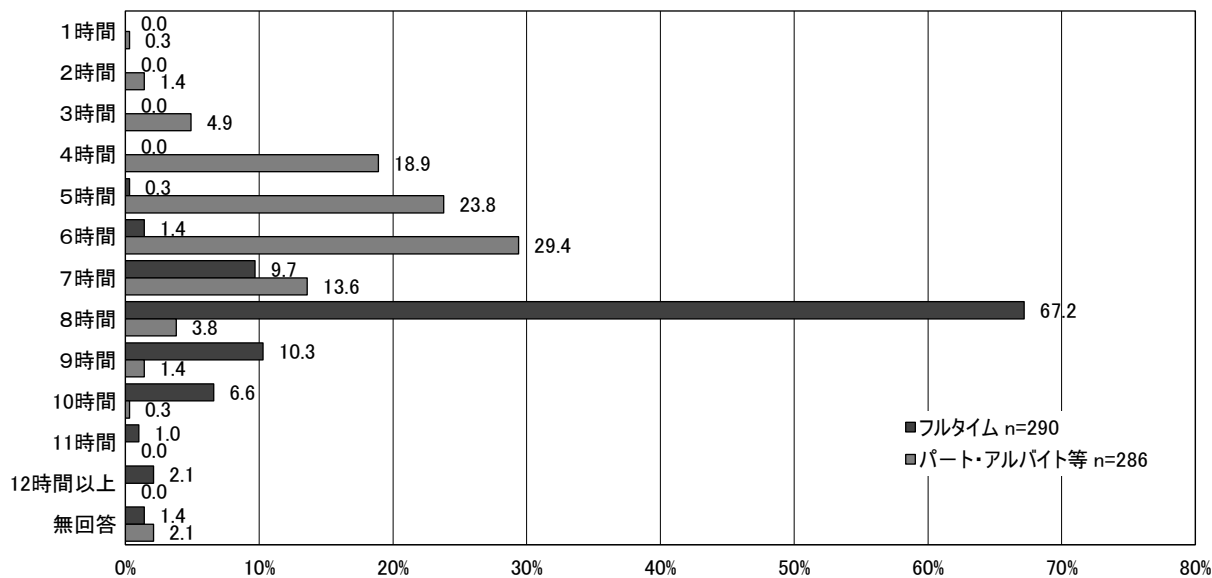
「8時間」が35.8%で突出しています。「6時間」が15.3%、「5時間」が12.0%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「8時間」が突出しています。パート・アルバイト等では「6時間」が最も高くなっています。

(SA) n=576

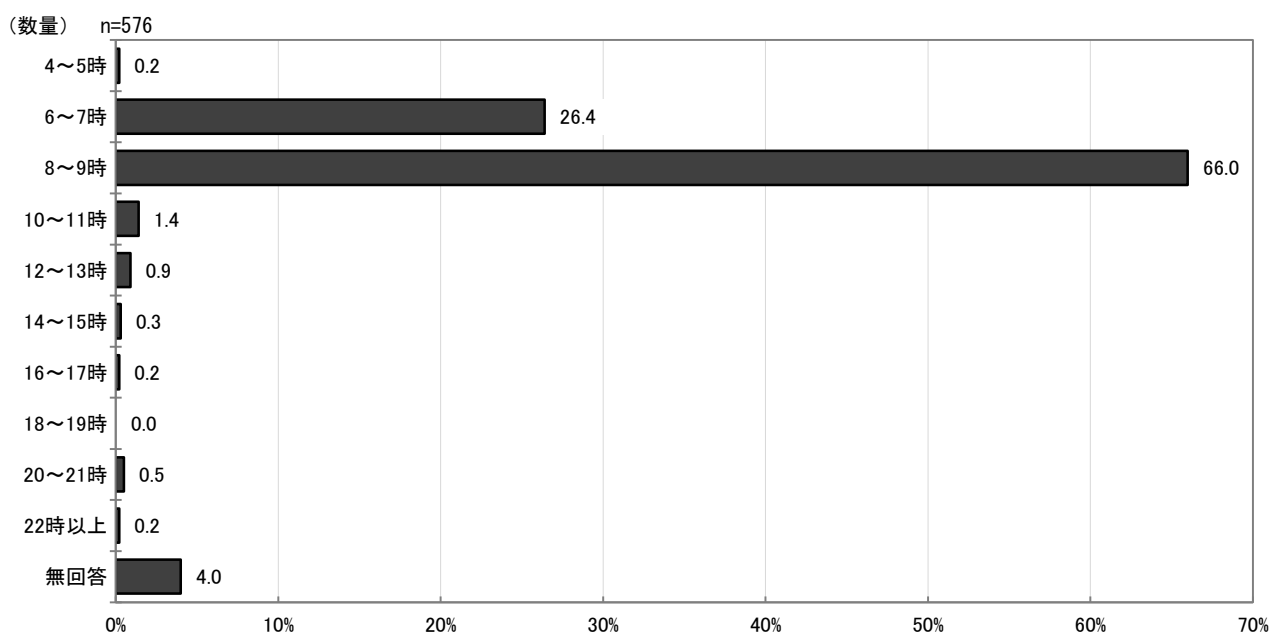


【母親の就労状況】



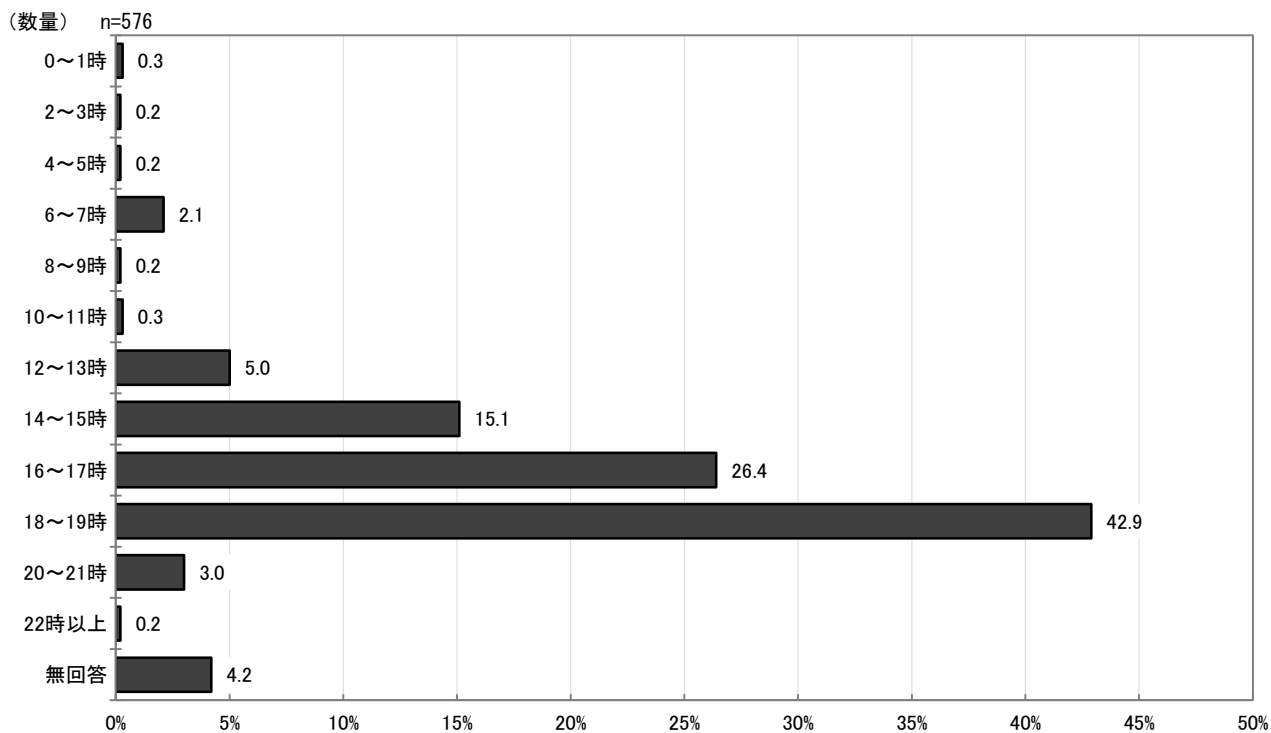
問16-1B① 母親の家を出る時間をお答えください。(数量)

「8～9時」が66.0%で突出しています。「6～7時」が26.4%、「10～11時」が1.4%が続いています。



問16-1B② 母親の帰宅時間をお答えください。(数量)

「18～19時」が42.9%で最も高くなっています。次いで「16～17時」が26.4%、「14～15時」が15.1%が続いています。

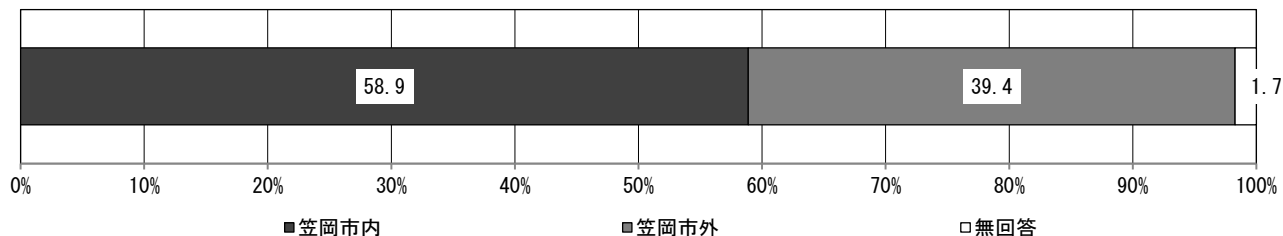


問16-1C 母親の就労場所をお答えください。(SA)

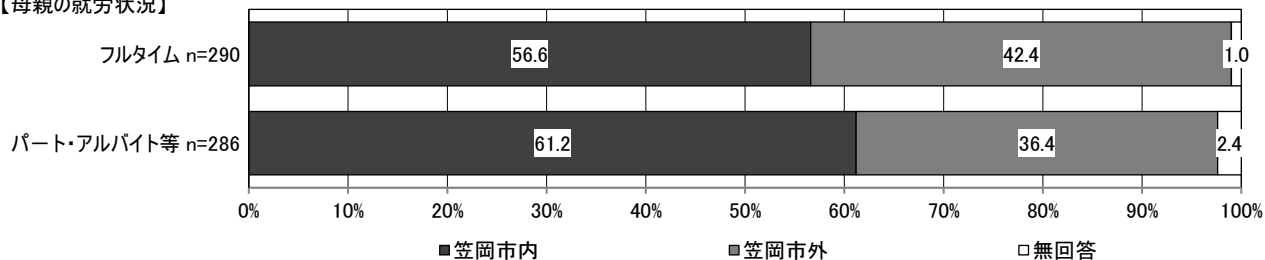
「笠岡市内」が 58.9%を占めています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「笠岡市外」が比較的高くなっています。

(SA) n=576



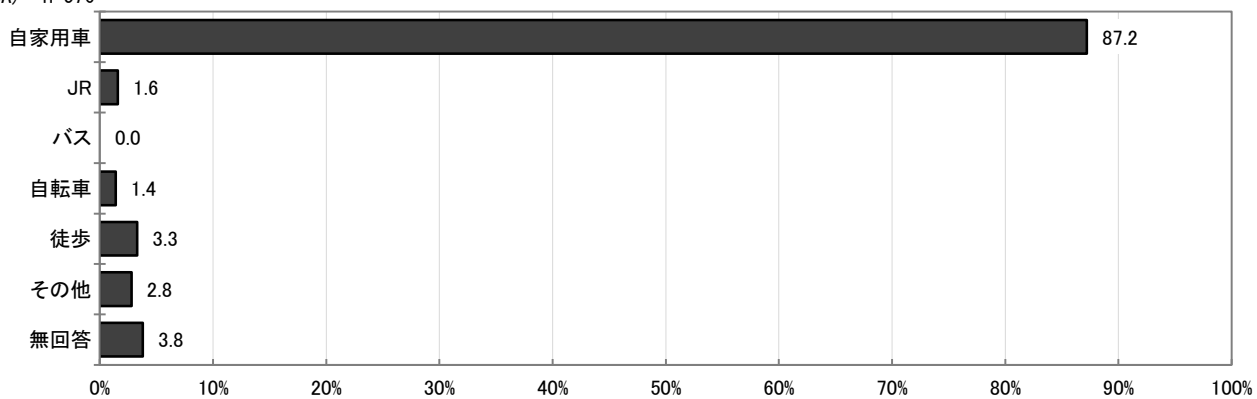
【母親の就労状況】



問16-1D 母親の通勤手段をお答えください。(SA)

「自家用車」が 87.2%で突出しています。「徒歩」が 3.3%、「その他」が 2.8%が続いています。

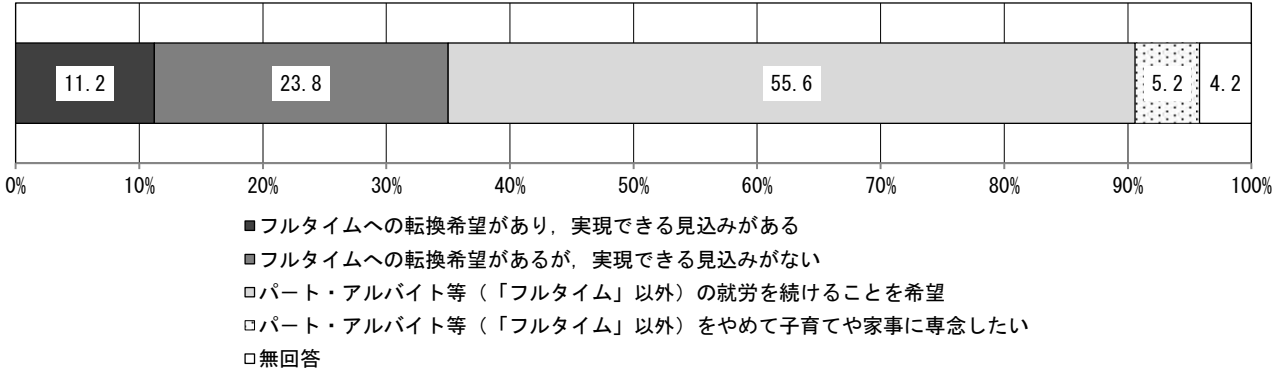
(SA) n=576



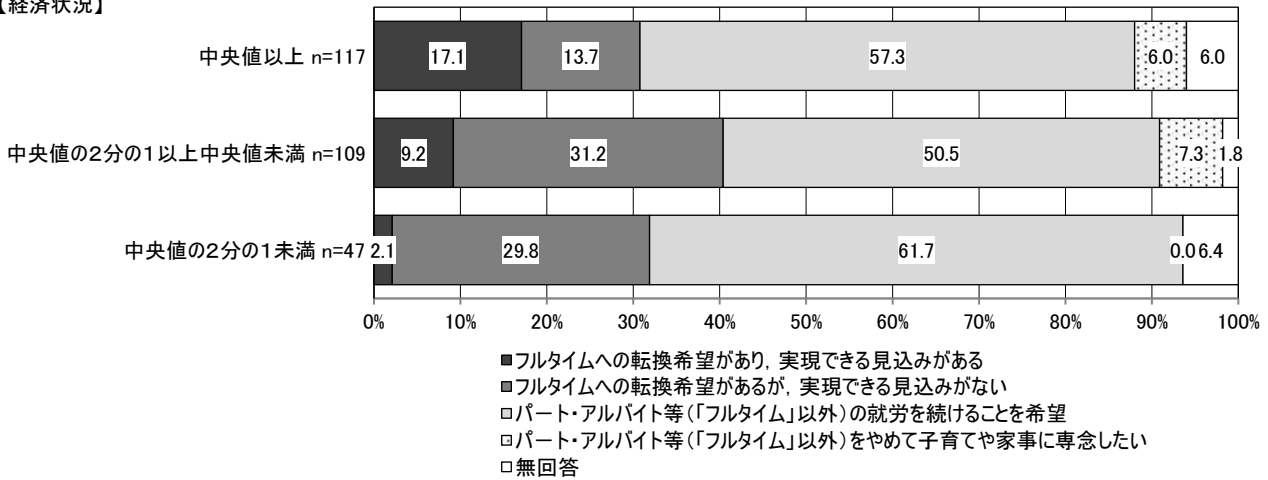
問16-2 母親はフルタイムへの転換希望はありますか。(SA)

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 55.6%を占めています。
 経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が低くなっています。

(SA) n=286



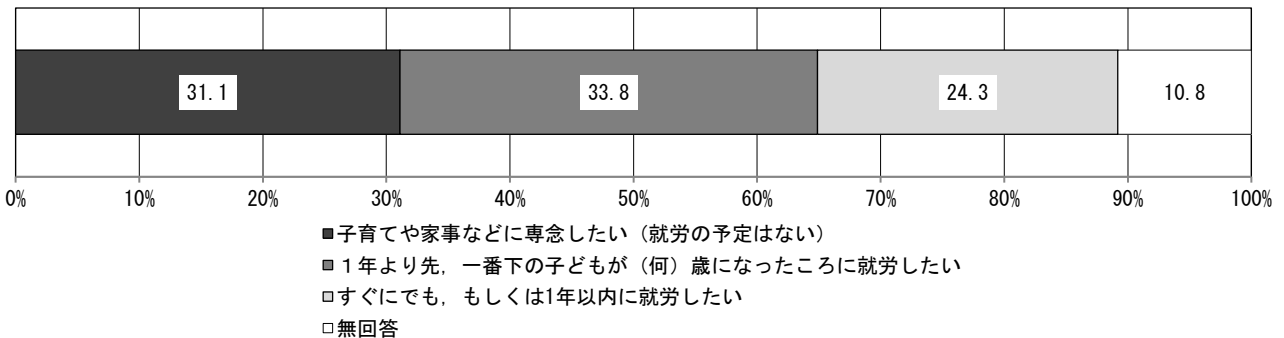
【経済状況】



問16-3 母親は就労したいという希望はありますか。(SA)

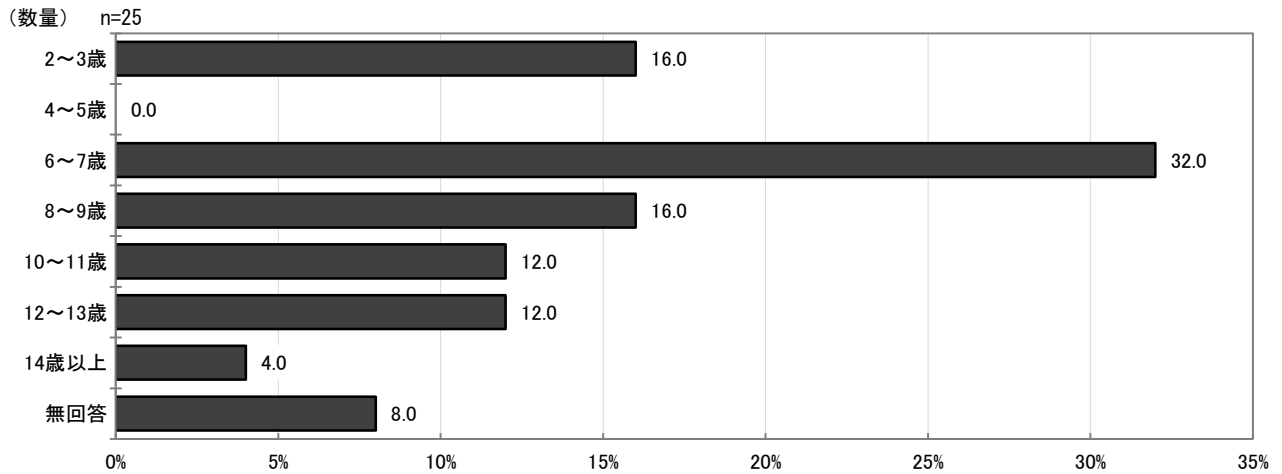
「1年より先、一番下の子どもが(何)歳になったところに就労したい」が 33.8%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 31.1%となっています。

(SA) n=74



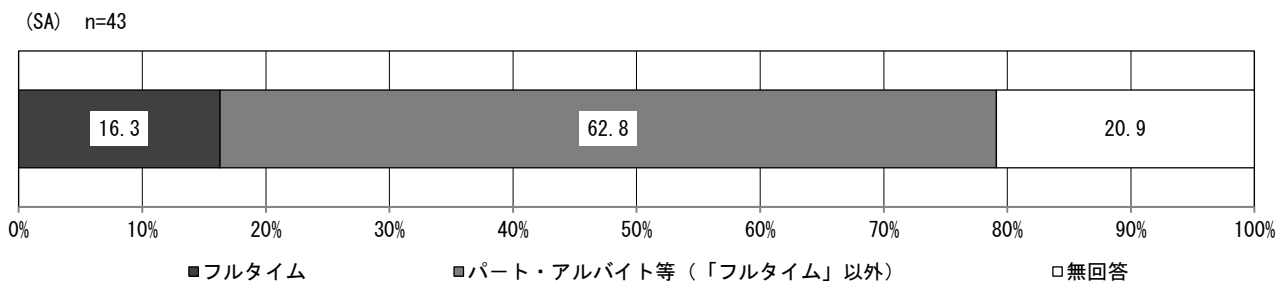
問16-3 2 「1年より先、一番下の子どもが(何)歳になったころに就労したい」の場合、何歳ですか。(数量)

「6～7歳」が32.0%で突出しています。「2～3歳」が16.0%、「8～9歳」が16.0%が続いています。



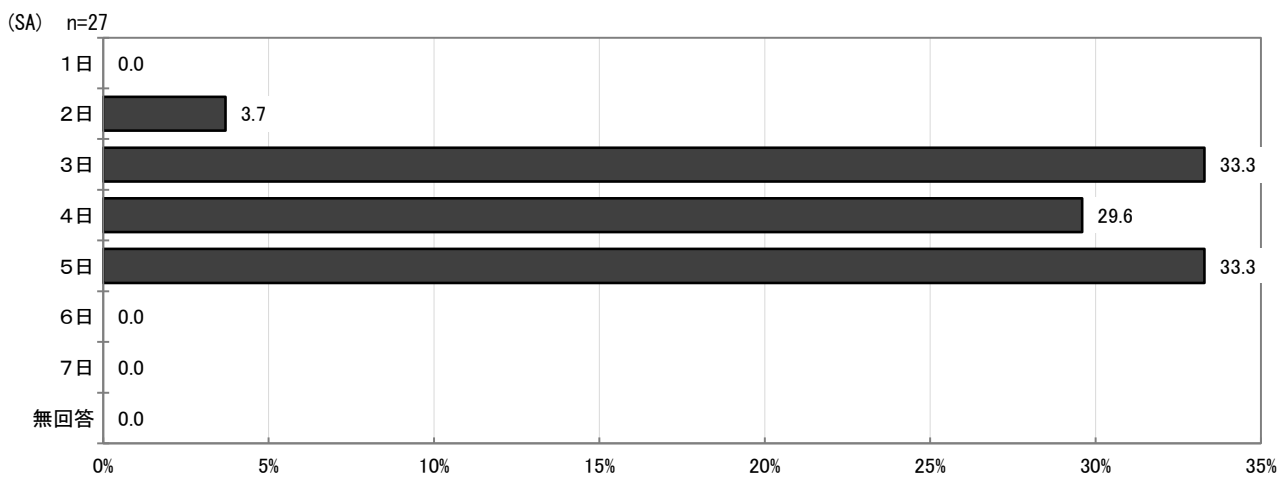
問16-4 希望する就労形態を回答してください。(SA)

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)」が62.8%を占めています。



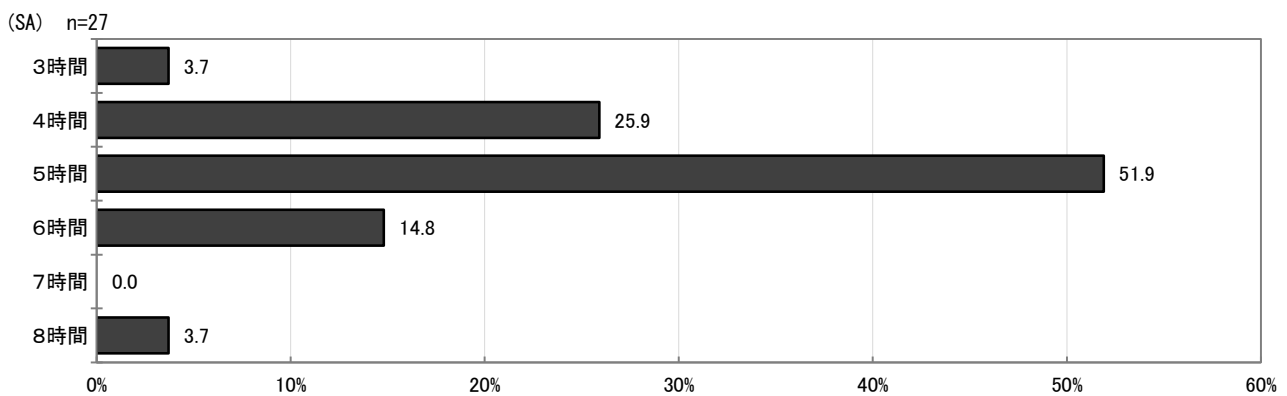
問16-4 2① 「パート・アルバイト等」の場合、1週当たり(何)日ですか。(SA)

「3日」が33.3%で最も高くなっています。次いで「5日」が33.3%、「4日」が29.6%が続いています。



問16-4 2② 「パート・アルバイト等」の場合、1日当たり(何)時間ですか。(SA)

「5時間」が51.9%で突出しています。「4時間」が25.9%、「6時間」が14.8%が続いています。

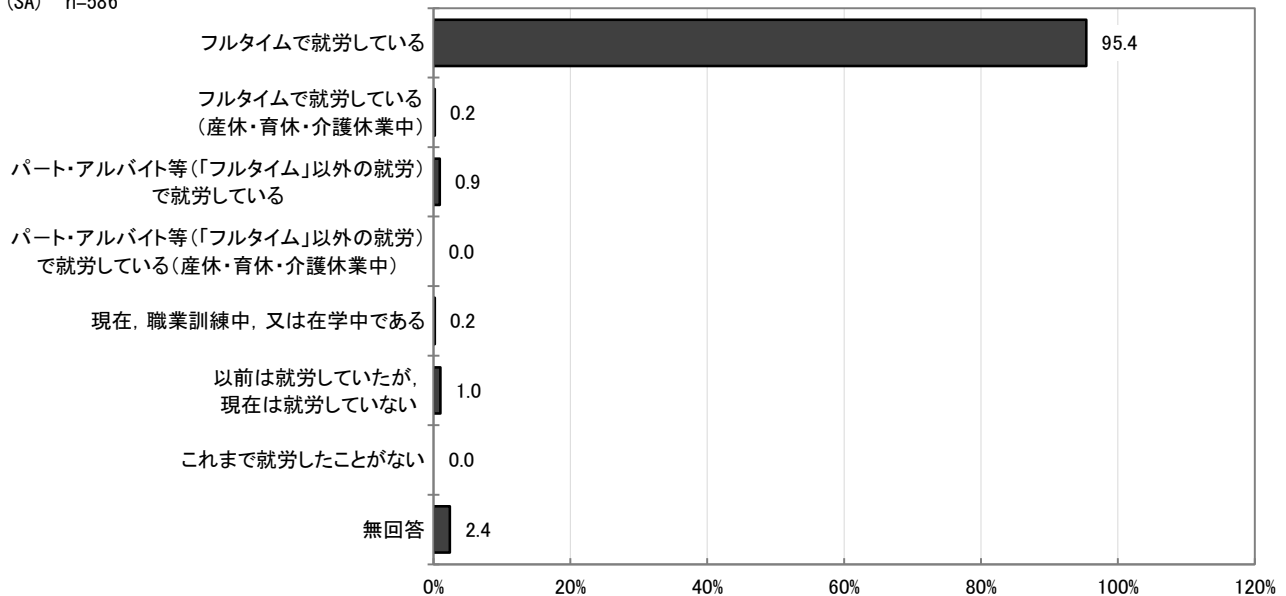


父親の就労状況について

問17 父親の就労状況を回答してください。(SA)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している」が 95.4%で突出しています。「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 1.0%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している」が 0.9%で続いています。

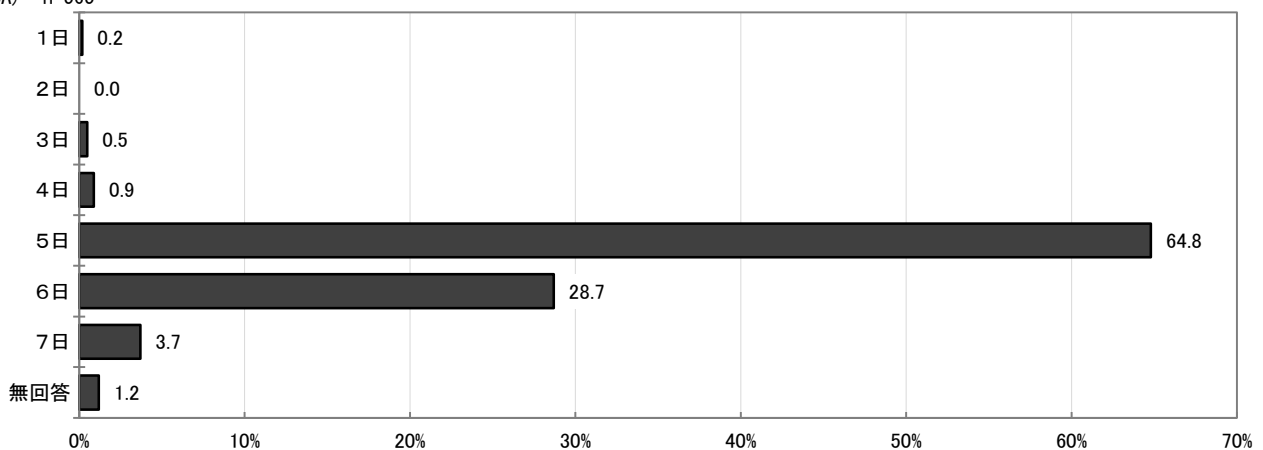
(SA) n=586



問17-1A① 父親の1週当たりの「就労日数」をお答えください。(SA)

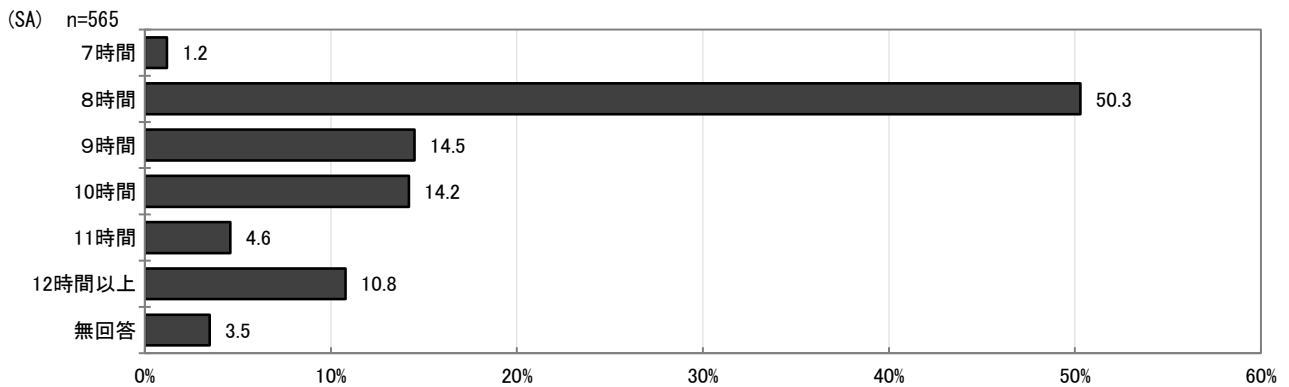
「5日」が 64.8%で突出しています。「6日」が 28.7%、「7日」が 3.7%で続いています。

(SA) n=565



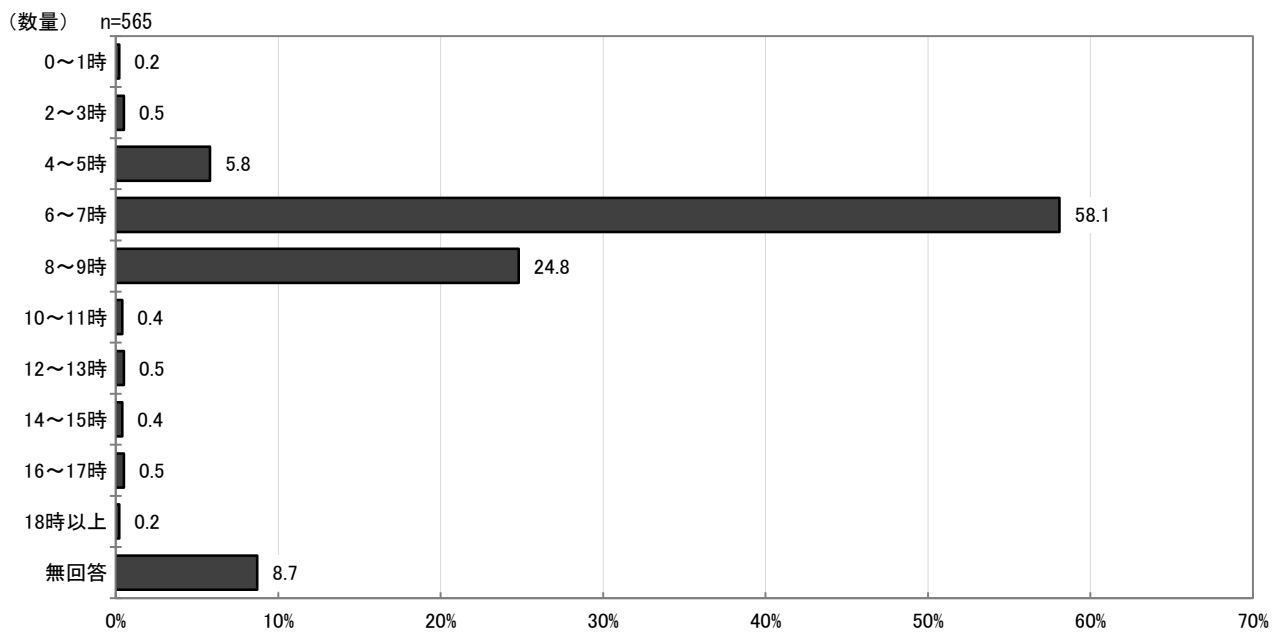
問17-1A② 父親の1週当たりの1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
(SA)

「8時間」が50.3%で突出しています。「9時間」が14.5%、「10時間」が14.2%が続いています。



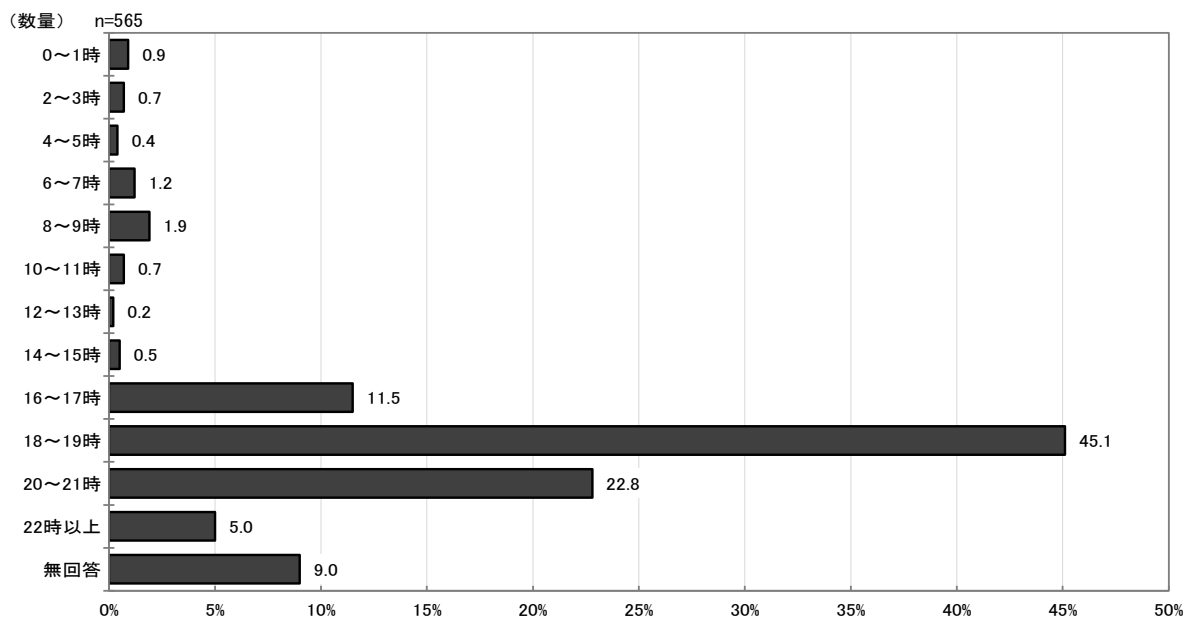
問17-1B① 父親の家を出る時間をお答えください。(数量)

「6～7時」が58.1%で突出しています。「8～9時」が24.8%、「4～5時」が5.8%が続いています。



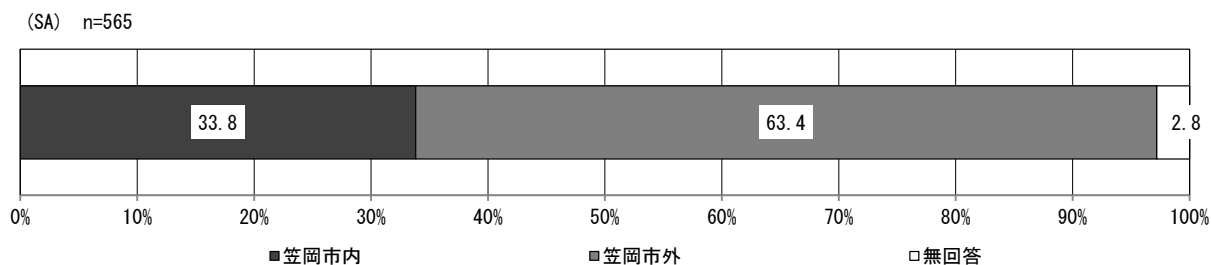
問17-1B② 父親の帰宅時間をお答えください。(数量)

「18～19時」が45.1%で突出しています。「20～21時」が22.8%、「16～17時」が11.5%が続いています。



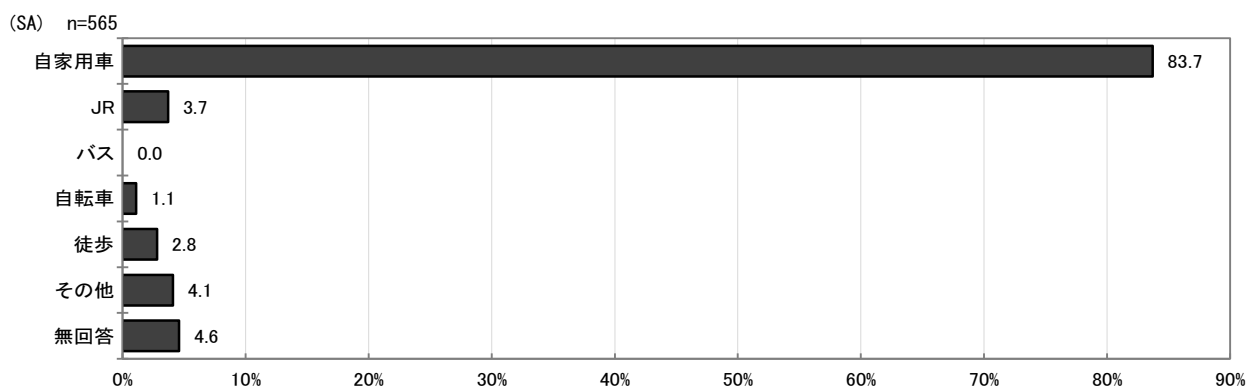
問17-1C 父親の就労場所をお答えください。(SA)

「笠岡市外」が63.4%を占めています。



問17-1D 父親の通勤手段をお答えください。(SA)

「自家用車」が83.7%で突出しています。「その他」が4.1%、「JR」が3.7%が続いています。



問17-2 父親はフルタイムへの転換希望はありますか。(SA)

対象者は5人で、全員が「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」と回答しています。

問17-3 父親は就労したいという希望はありますか。(SA)

対象者は7人で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4人となっています。

カテゴリ(n=7)	件数
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	2
1年より先、一番下の子どもが(何)歳になったころに就労したい	0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4
無回答	1

問17-4 希望する就労形態を回答してください。(SA)

対象者は4人で回答は以下の通りとなっています。

カテゴリ(n=4)	件数
フルタイム	2
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)	1
無回答	1

問17-4 2① 「パート・アルバイト等」の場合、1週当たり(何)日ですか。(SA)

対象者は1人で「2日」と回答しています。

問17-4 2② 「パート・アルバイト等」の場合、1日当たり(何)時間ですか。(SA)

対象者は1人で「8時間」と回答しています。

子どもの放課後の過ごし方について

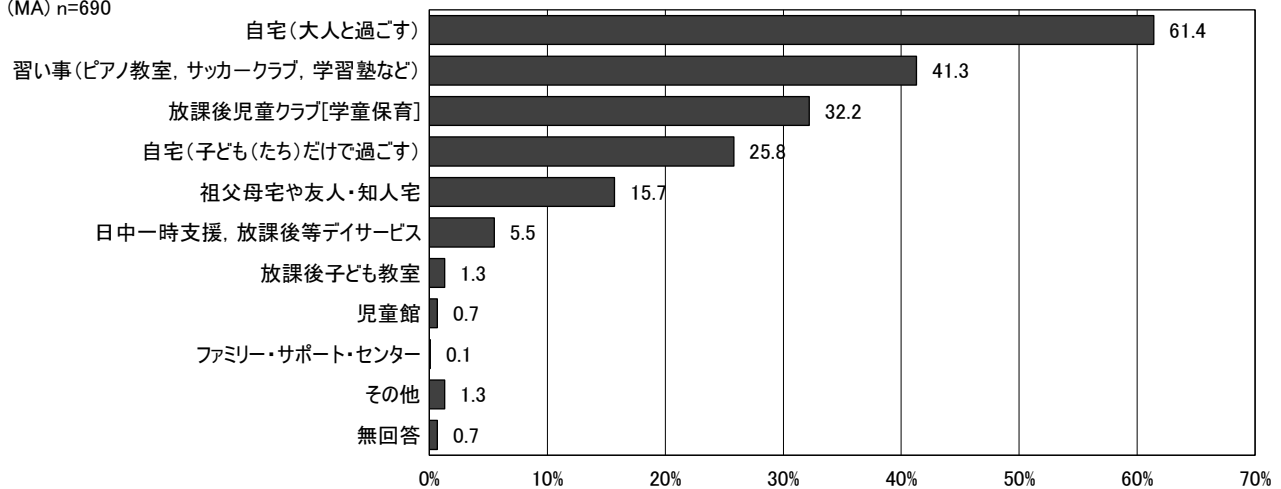
問18(1) この調査票を持ち帰ったお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間の過ごし方について、「実際の過ごし方」についてお答えください。(MA)

「自宅(大人と過ごす)」が61.4%で最も高くなっています。次いで「習い事(ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾など)」が41.3%, 「放課後児童クラブ[学童保育]」が32.2%が続いています。

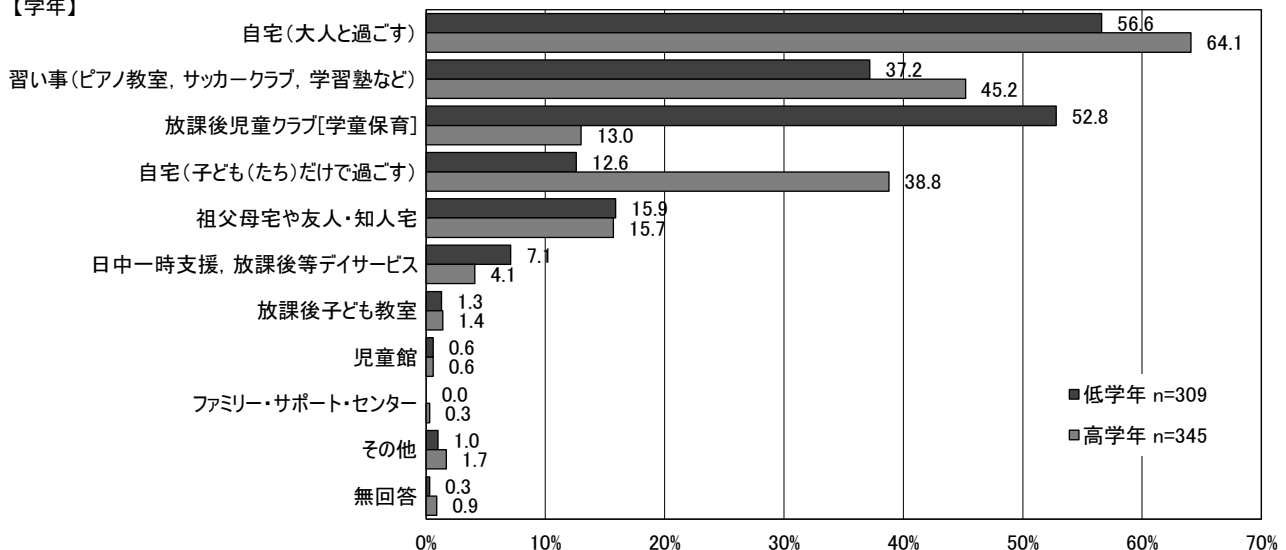
学年別にみると、低学年では「放課後児童クラブ[学童保育]」が比較的高く、高学年では「自宅(子ども(たち)だけで過ごす)」が比較的高くなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「自宅(大人と過ごす)」が比較的低く、「放課後児童クラブ[学童保育]」「自宅(子ども(たち)だけで過ごす)」が比較的高くなっています。

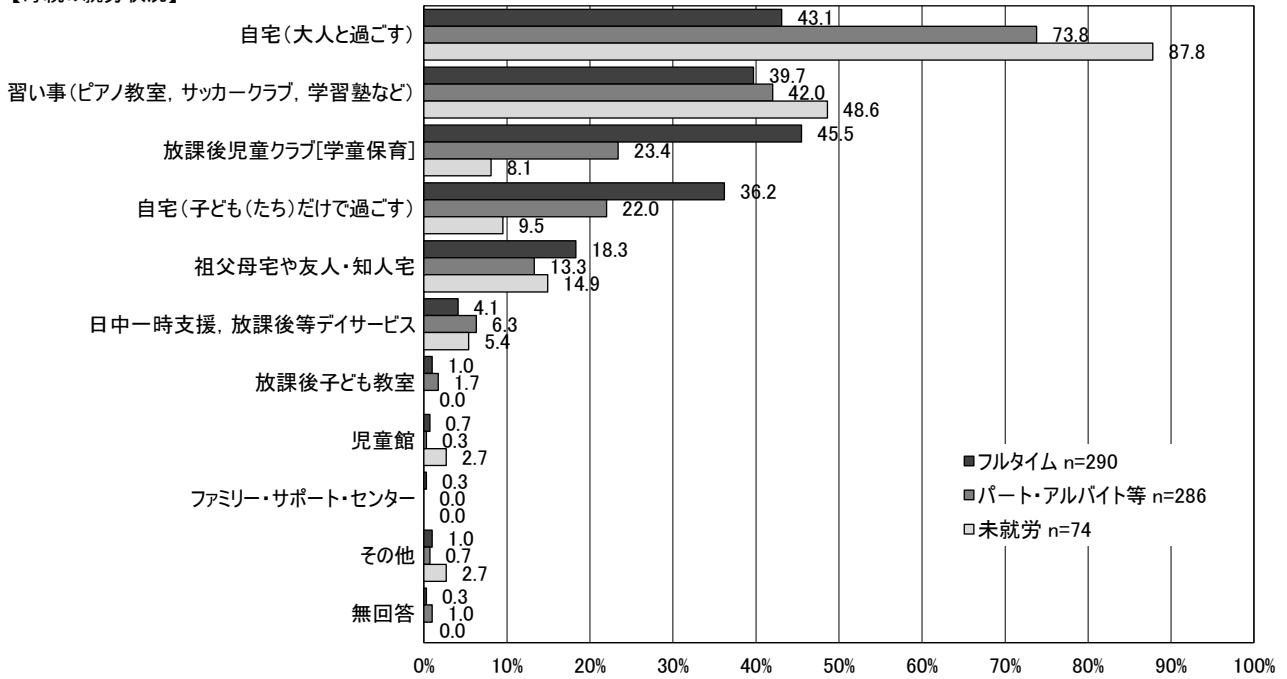
(MA) n=690



【学年】

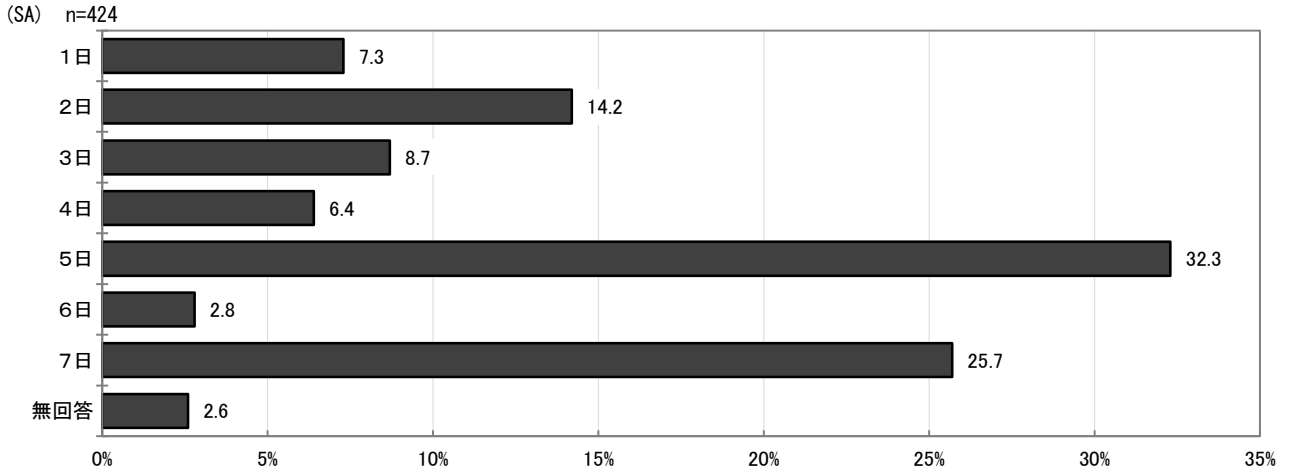


【母親の就労状況】



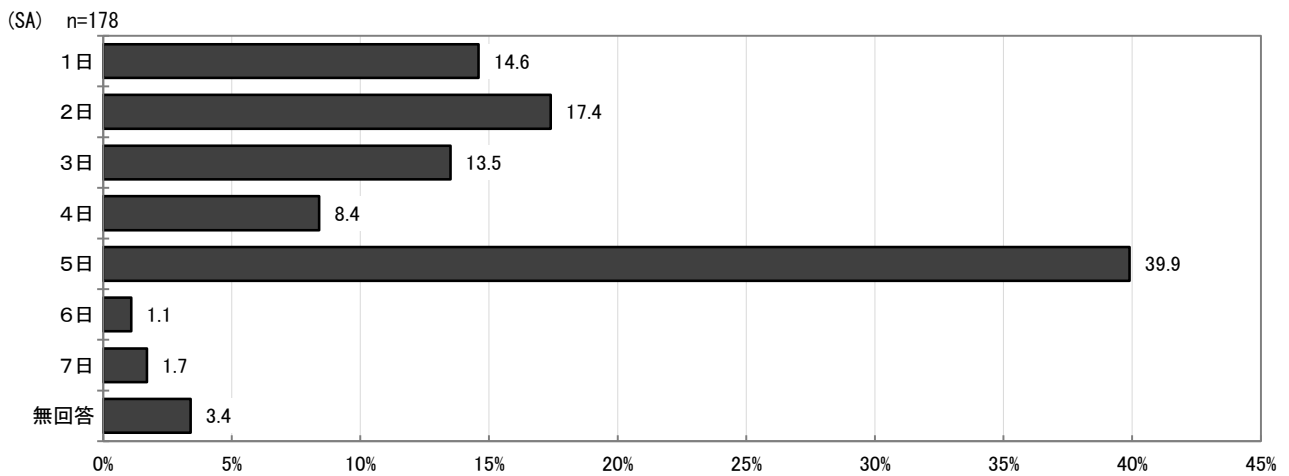
問18(1) 1 「自宅(大人と過ごす)」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が32.3%で最も高くなっています。次いで「7日」が25.7%、「2日」が14.2%が続いています。



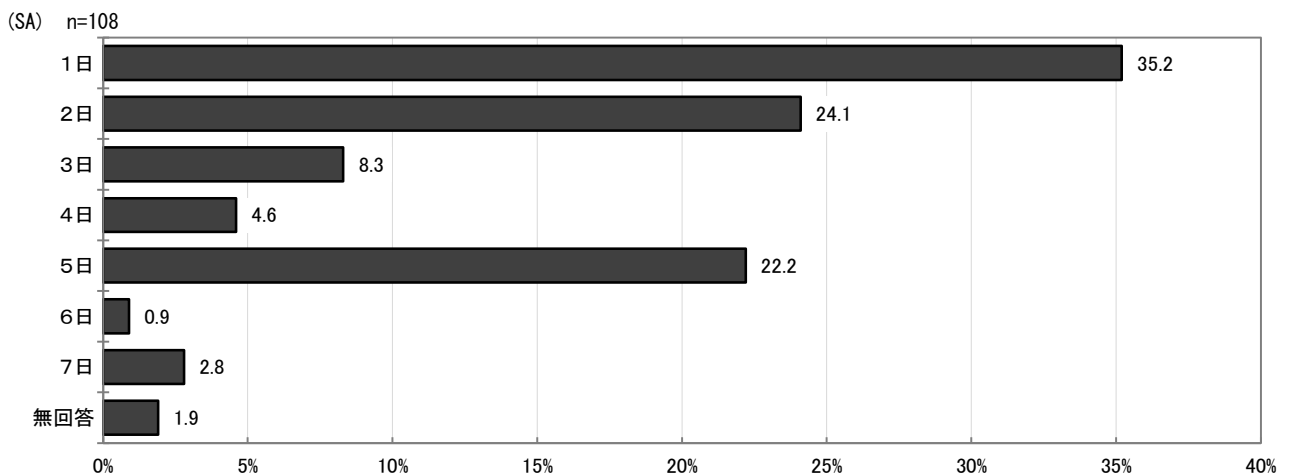
問18(1) 2 「自宅(子ども(たち)だけで過ごす)」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が39.9%で突出しています。「2日」が17.4%, 「1日」が14.6%が続いています。



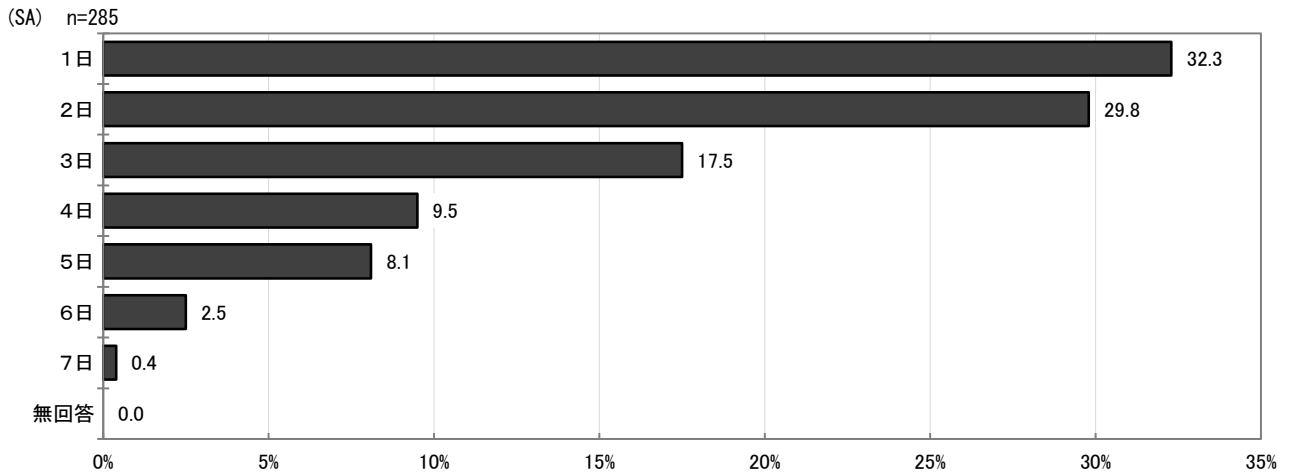
問18(1) 3 「祖父母宅や友人・知人宅」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「1日」が35.2%で最も高くなっています。次いで「2日」が24.1%, 「5日」が22.2%が続いています。



問18(1) 4 「習い事(ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾など)」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「1日」が32.3%, 「2日」が29.8%で群を抜いて高くなっています。「3日」が17.5%が続いています。

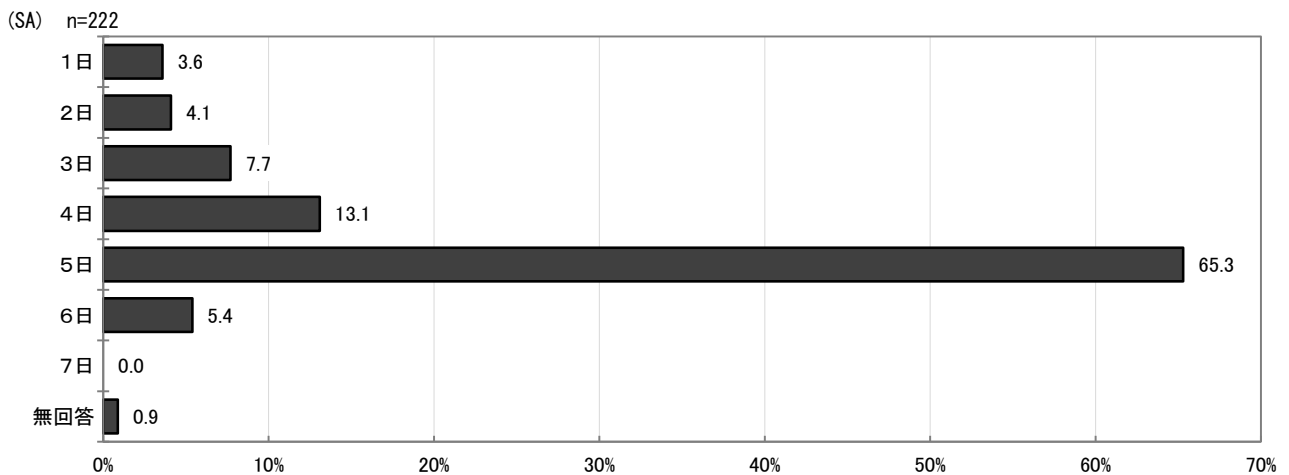


問18(1) 5① 「放課後児童クラブ[学童保育]」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

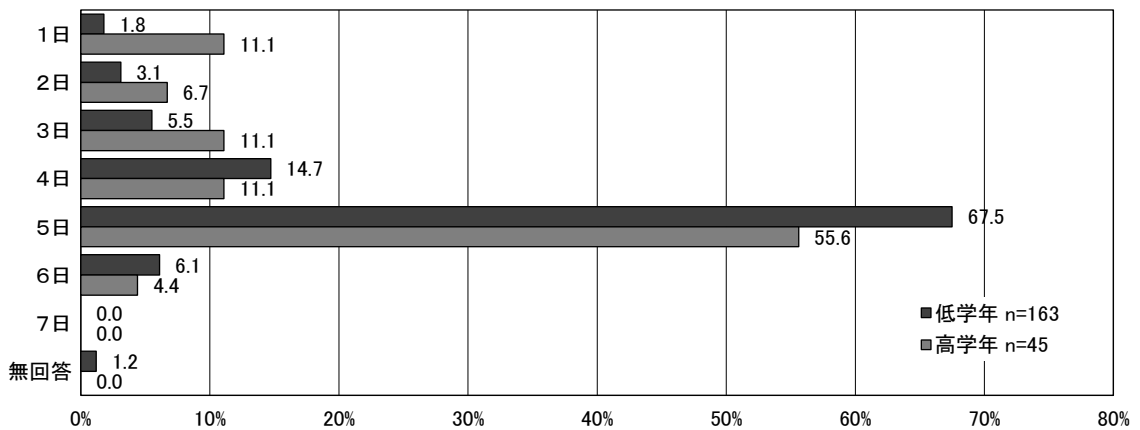
「5日」が65.3%で突出しています。「4日」が13.1%, 「3日」が7.7%が続いています。

学年別にみると, 高学年は低学年に比べて日数が少ない傾向がみられます。

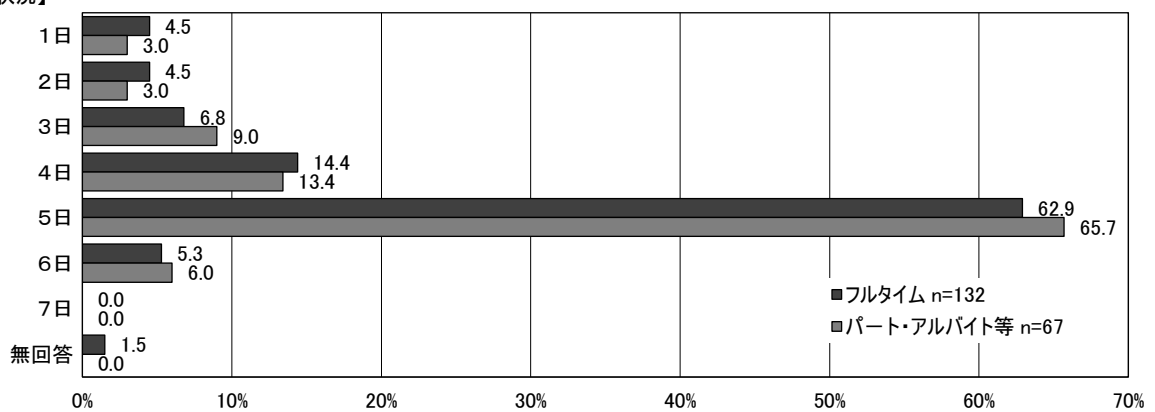
母親の就労状況別にみると, 大きな変化はありません。



【学年】



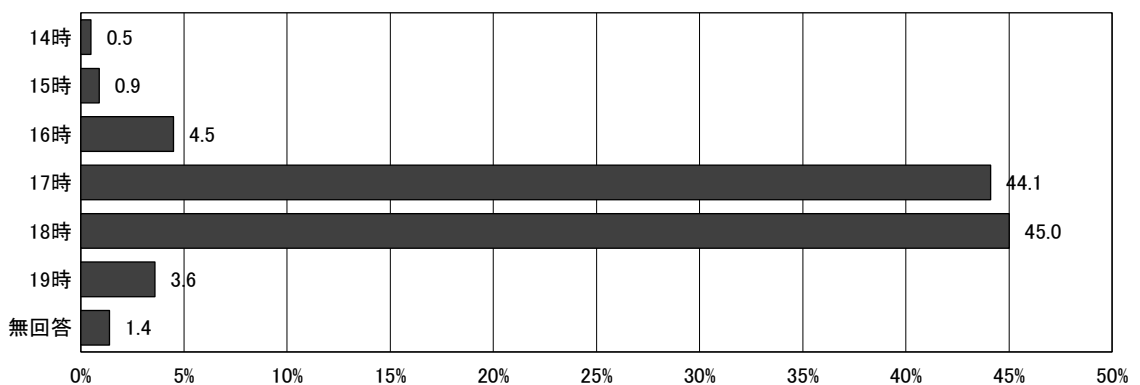
【母親の就労状況】



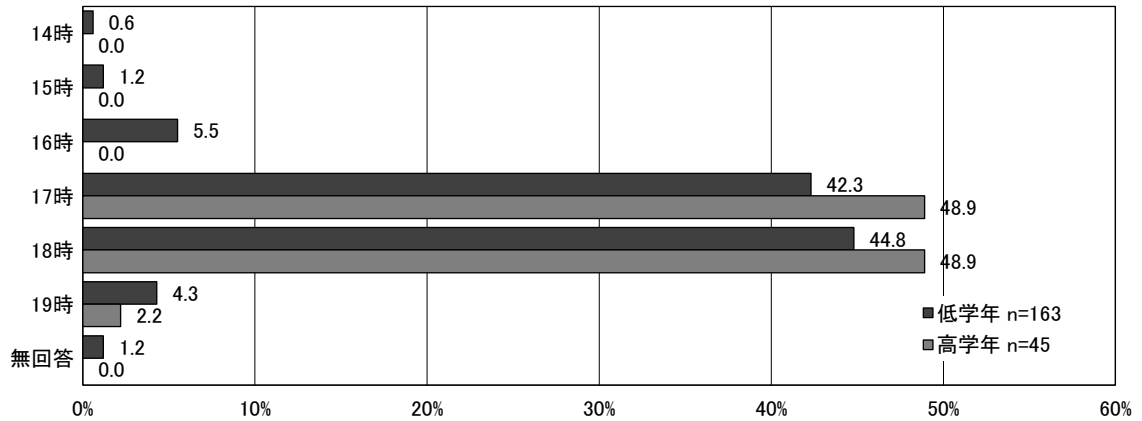
問18(1) 5② 「放課後児童クラブ[学童保育]」の場合、下校時から(何)時くらいまでですか。(終了時刻)(数量)

「18時」が45.0%、「17時」が44.1%で群を抜いて高くなっています。「16時」が4.5%で続いています。学年別にみると、高学年で「17時」「18時」が比較的高くなっています。母親の就労状況別にみると、フルタイムの方が比較的遅い時間となっています。

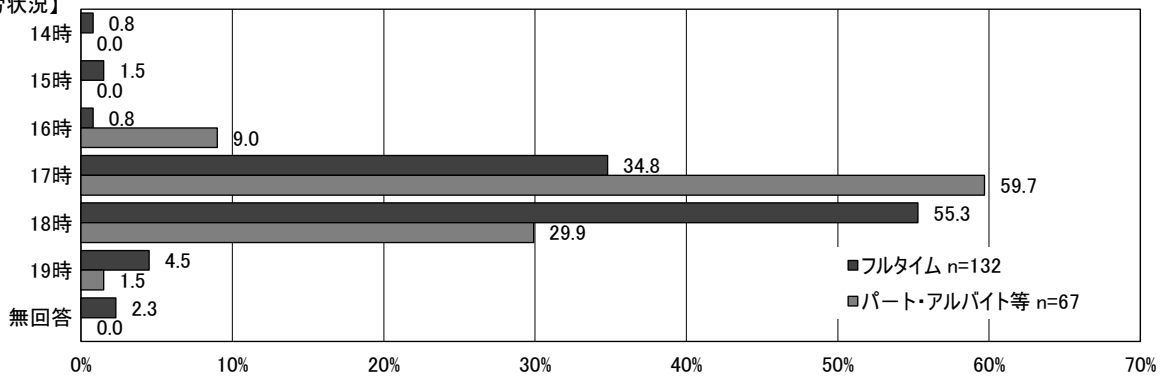
(数量) n=222



【学年】



【母親の就労状況】



問18(1) 6 「放課後子ども教室」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

対象は9人で、回答は以下の通りです。

カテゴリ(n=9)	件数
1日	3
2日	2
4日	2
無回答	2

問18(1) 7 「児童館」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

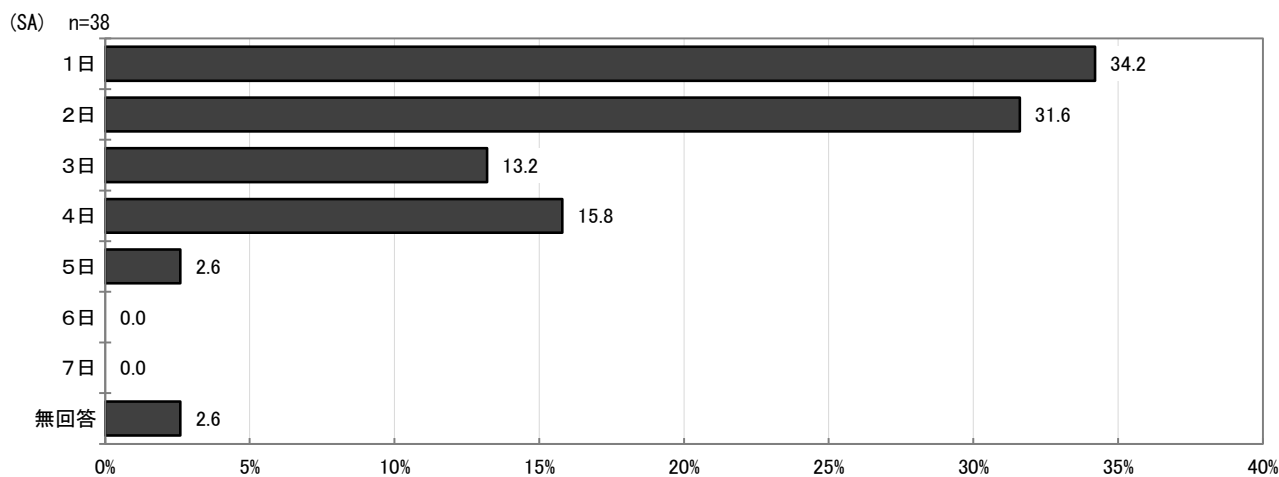
対象者は5人で「1日」が4人、「6日」が1人となっています。

問18(1) 8 「ファミリー・サポート・センター」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

対象者は1人で「1日」と回答しています。

問18(1) 9 「日中一時支援, 放課後等デイサービス」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。
(SA)

「1日」が 34.2%, 「2日」が 31.6%で群を抜いて高くなっています。「4日」が 15.8%が続いています。



問18(1) 10 「その他」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

対象は9人で, 回答は以下の通りです。

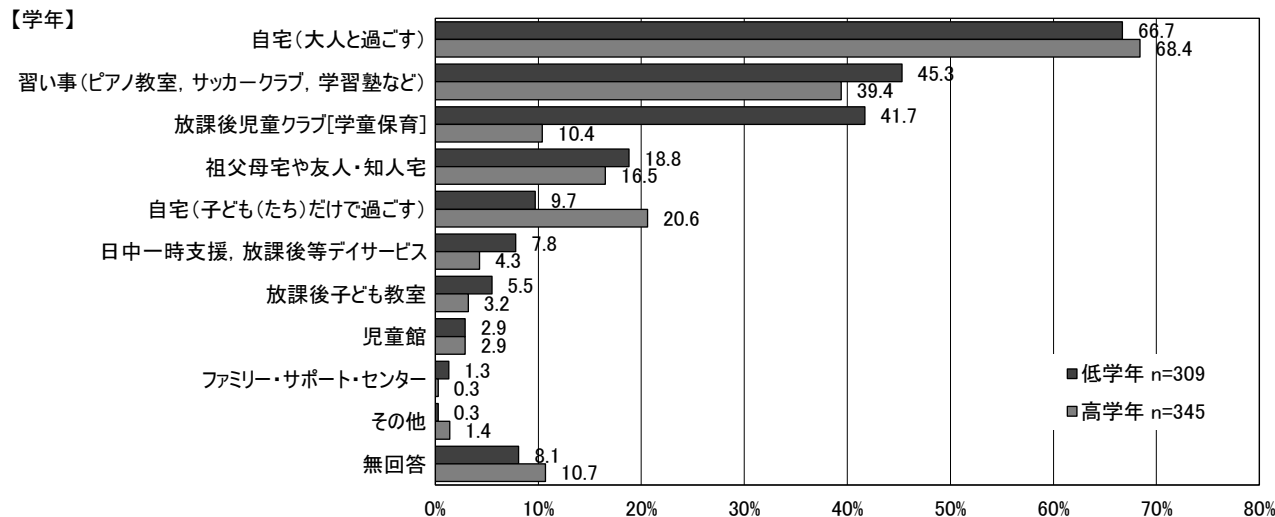
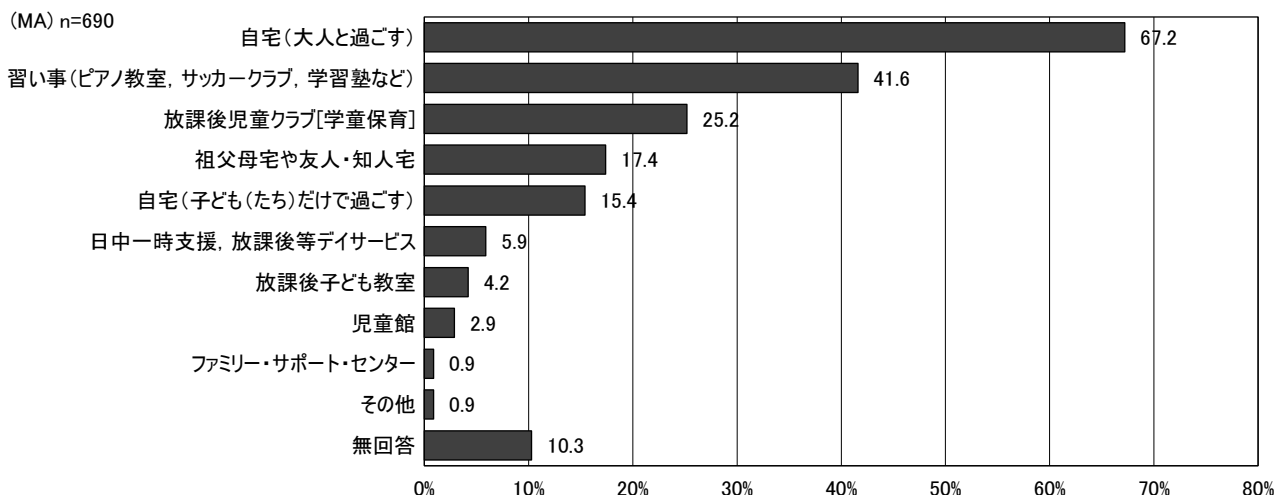
カテゴリ(n=6)	件数
1日	1
2日	2
4日	4
5日	2

問18(2) この調査票を持ち帰ったお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間の過ごし方について、「希望する過ごし方」についてお答えください。(MA)

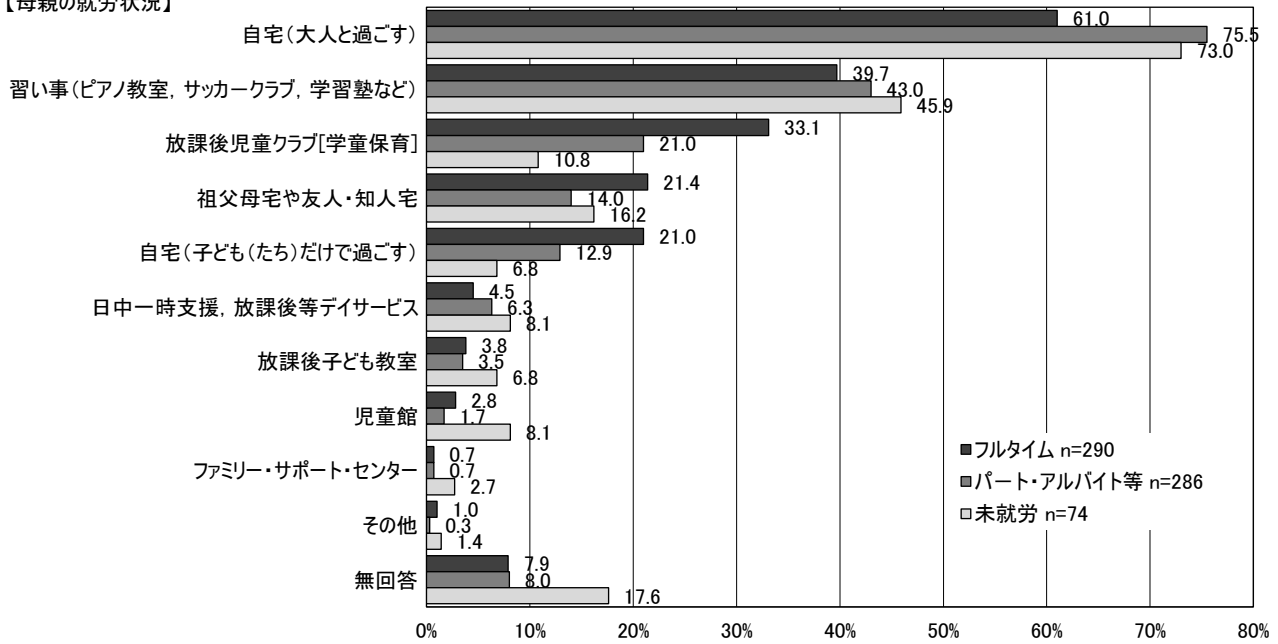
「自宅(大人と過ごす)」が67.2%で最も高くなっています。次いで「習い事(ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾など)」が41.6%, 「放課後児童クラブ[学童保育]」が25.2%で続いています。

学年別にみると、低学年では「放課後児童クラブ[学童保育]」が比較的高く、高学年では「自宅(子ども(たち)だけで過ごす)」が比較的高くなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「自宅(大人と過ごす)」が比較的低く、「放課後児童クラブ[学童保育]」「自宅(子ども(たち)だけで過ごす)」が比較的高くなっています。

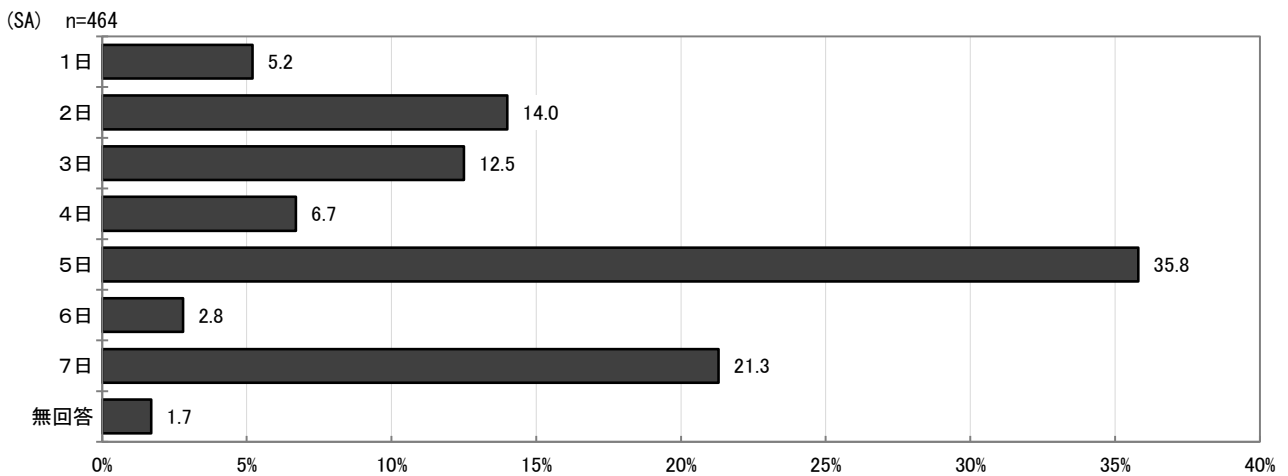


【母親の就労状況】



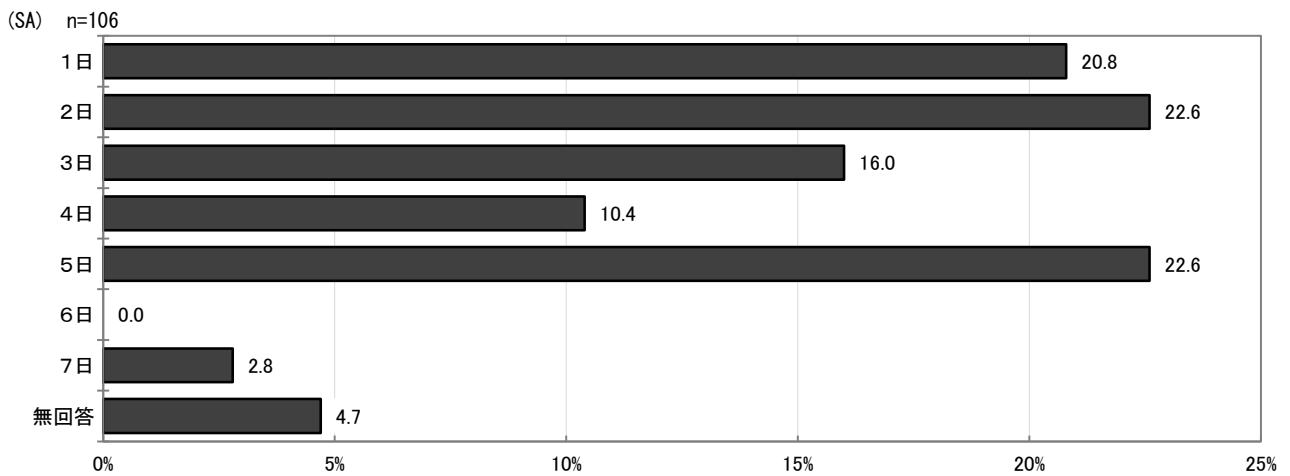
問18(2) 1 「自宅(大人と過ごす)」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が 35.8%で突出しています。「7日」が 21.3%, 「2日」が 14.0%で続いています。



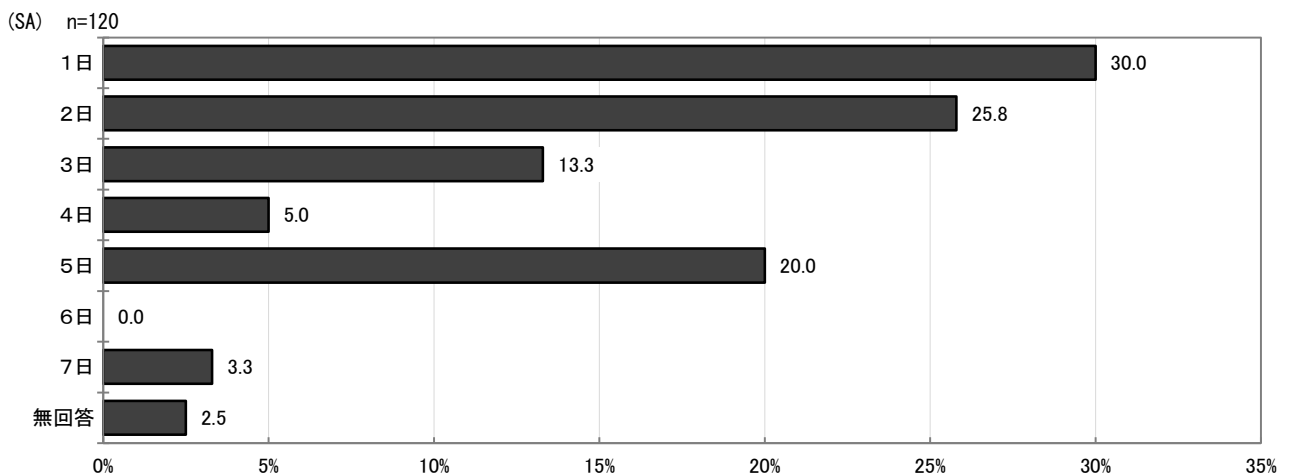
問18(2) 2 「自宅(子ども(たち)だけで過ごす)」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「2日」が22.6%で最も高くなっています。次いで「5日」が22.6%, 「1日」が20.8%が続いています。



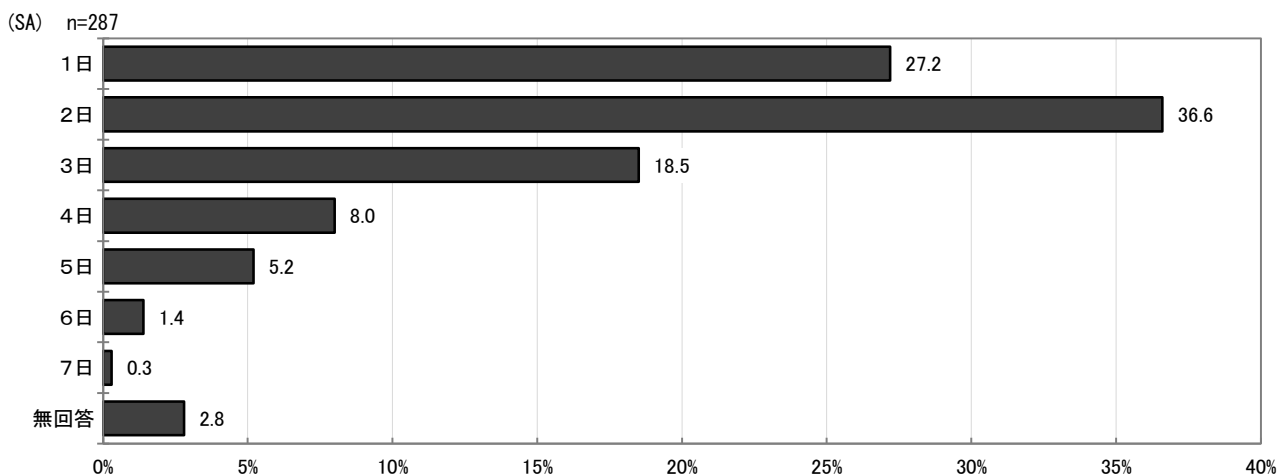
問18(2) 3 「祖父母宅や友人・知人宅」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「1日」が30.0%で最も高くなっています。次いで「2日」が25.8%, 「5日」が20.0%が続いています。



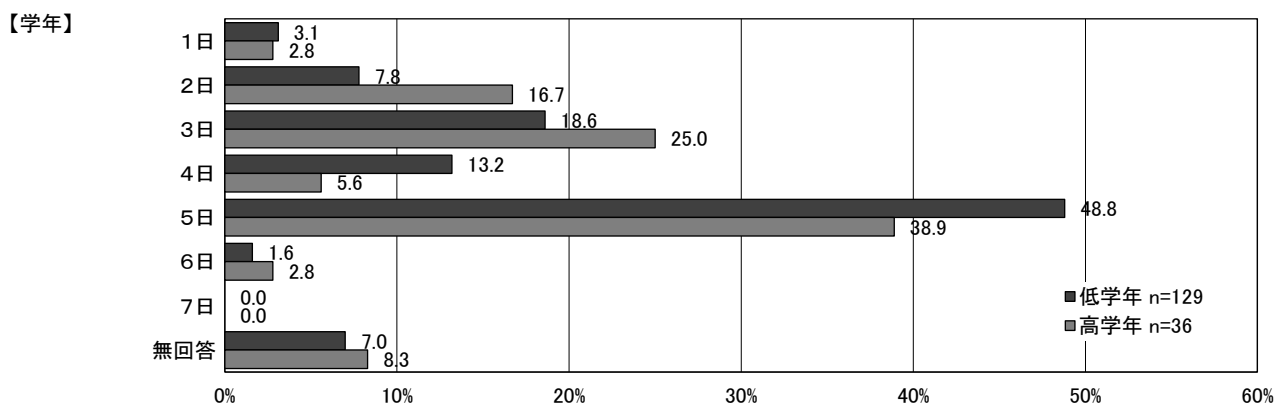
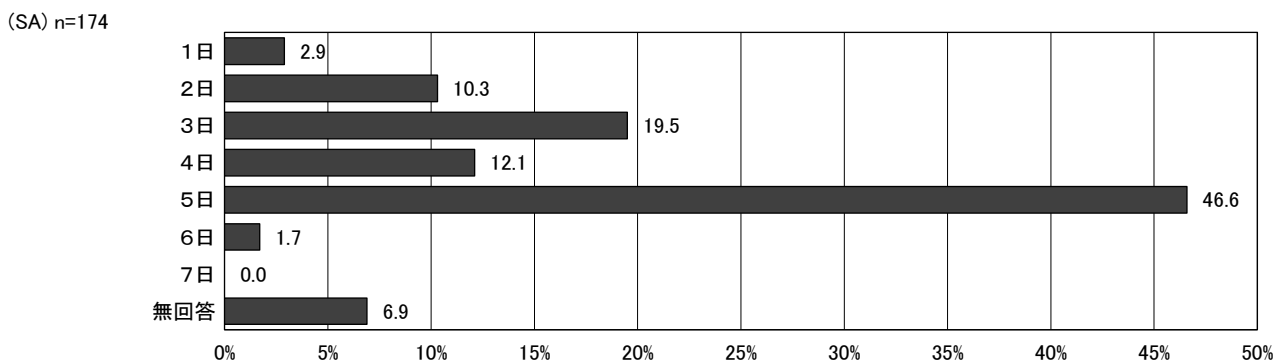
問18(2) 4 「習い事(ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾など)」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「2日」が36.6%で最も高くなっています。次いで「1日」が27.2%, 「3日」が18.5%が続いています。

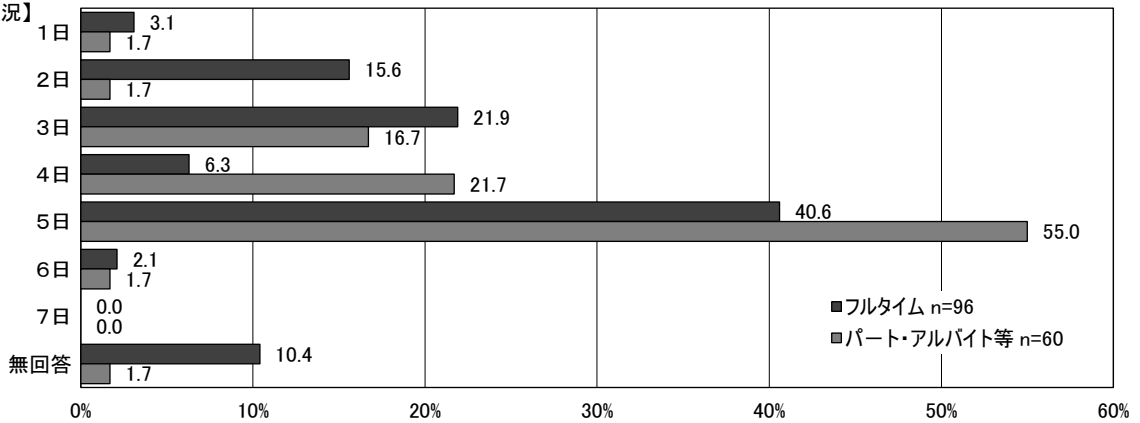


問18(2) 5① 「放課後児童クラブ[学童保育]」の場合, 1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「5日」が46.6%で突出しています。「3日」が19.5%, 「4日」が12.1%が続いています。学年別にみると, 低学年では「5日」が比較的高く, 高学年では「2日」「3日」が比較的高くなっています。母親の就労状況別にみると, フルタイムの方が比較的日数が少ない傾向がみられます。



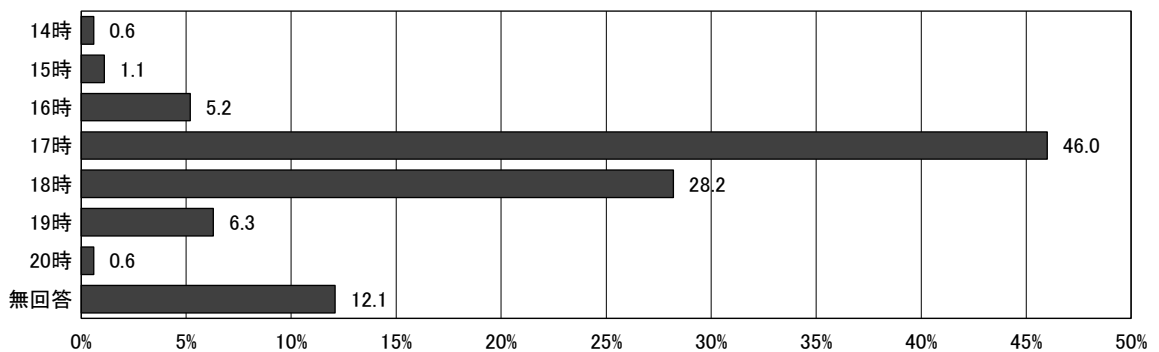
【母親の就労状況】



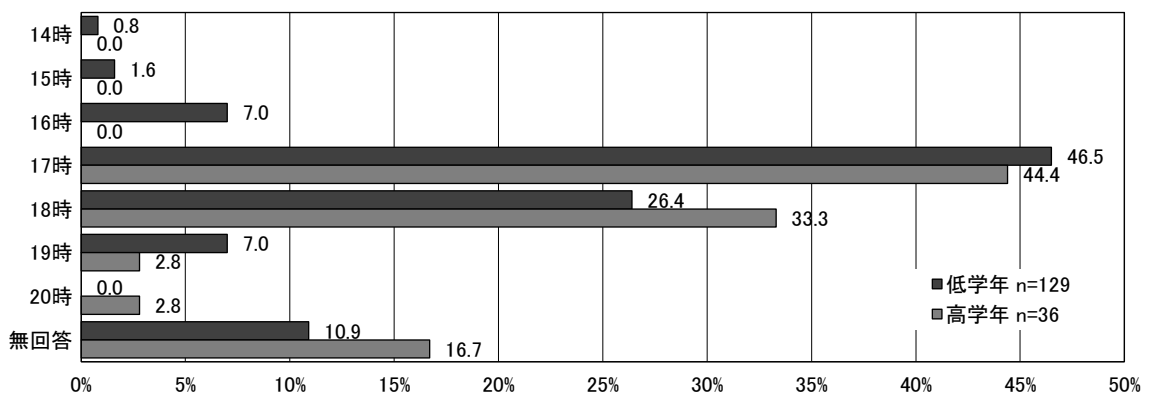
問18(2) 5② 「放課後児童クラブ[学童保育]」の場合、下校時から(何)時くらいまでですか。(終了時刻)(数量)

「17時」が46.0%で最も高くなっています。次いで「18時」が28.2%、「19時」が6.3%が続いています。学年別にみると、低学年で「19時」が比較的高く、高学年で「18時」が比較的高くなっています。母親の就労状況別にみると、フルタイムの方が比較的時間が遅い傾向がみられます。

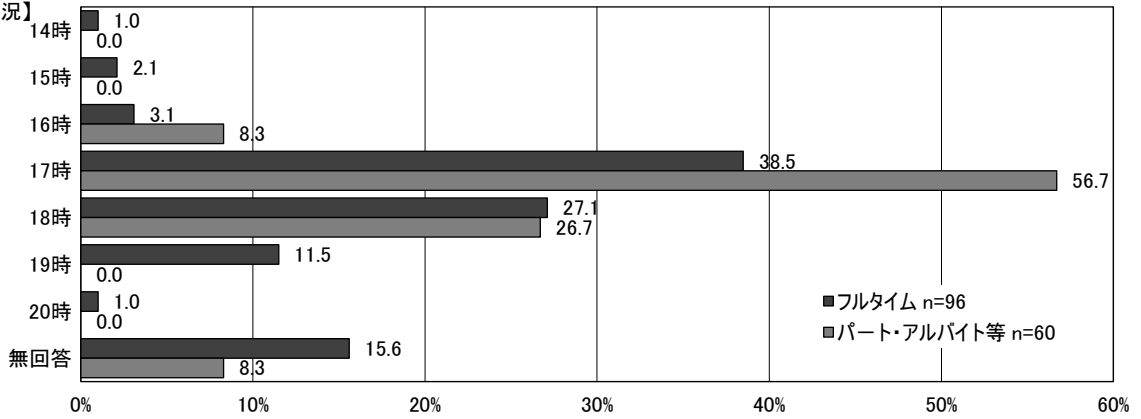
(数量) n=174



【学年】



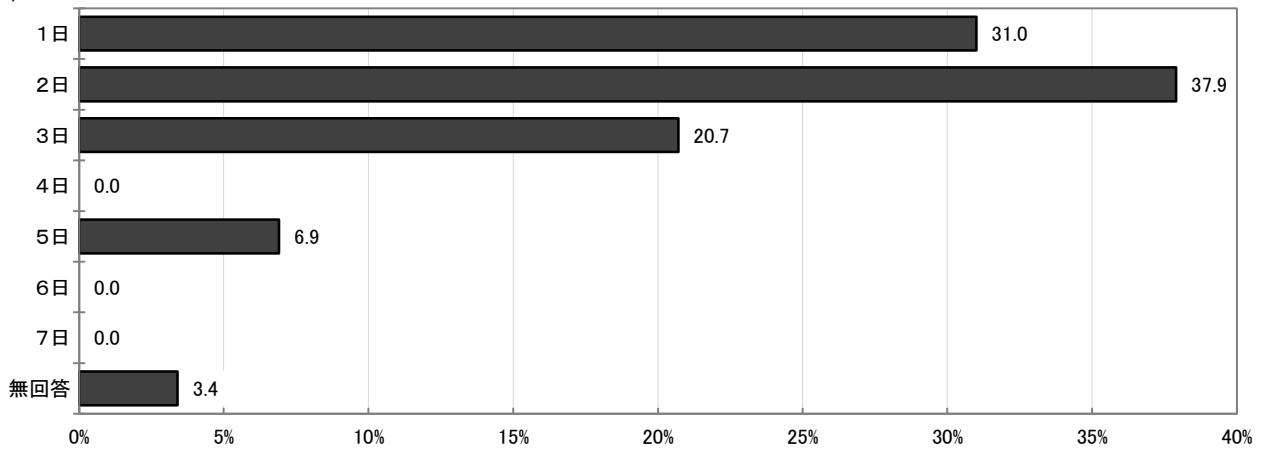
【母親の就労状況】



問18(2) 6 「放課後子ども教室」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「2日」が37.9%で最も高くなっています。次いで「1日」が31.0%、「3日」が20.7%が続いています。

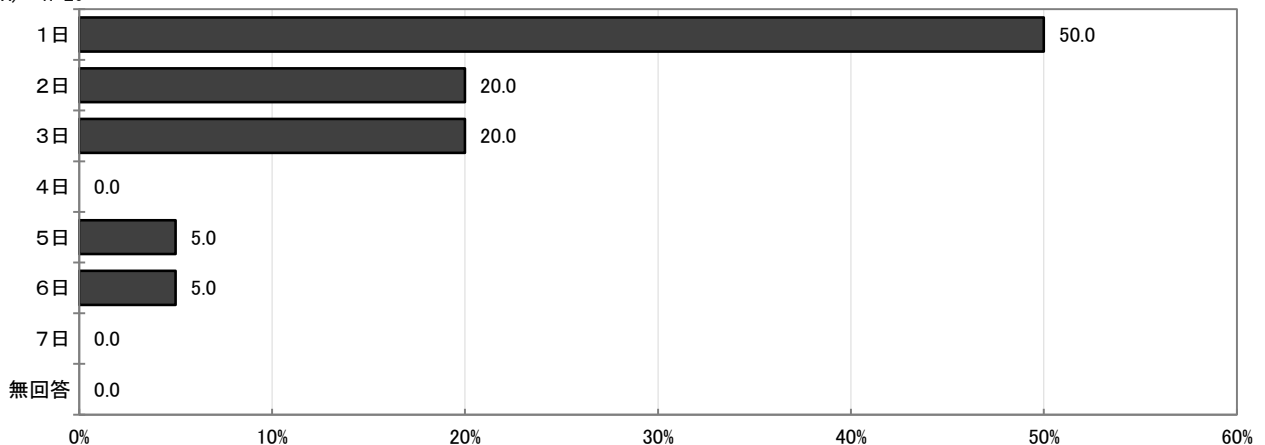
(SA) n=29



問18(2) 7 「児童館」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「1日」が50.0%で突出しています。「2日」が20.0%、「3日」が20.0%が続いています。

(SA) n=20



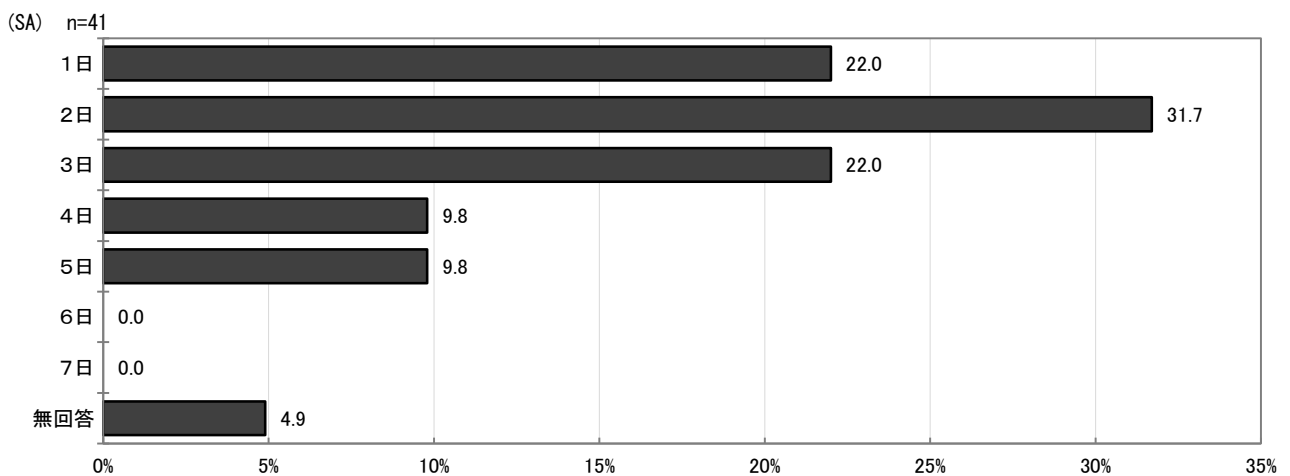
問18(2) 8 「ファミリー・サポート・センター」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

対象者は6人で、回答は以下の通りです。

カテゴリ(n=6)	件数
1日	4
2日	1
5日	1

問18(2) 9 「日中一時支援、放課後等デイサービス」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

「2日」が31.7%で最も高くなっています。次いで「1日」が22.0%、「3日」が22.0%が続いています。



問18(2) 10 「その他」の場合、1週当たり(何)日くらいですか。(SA)

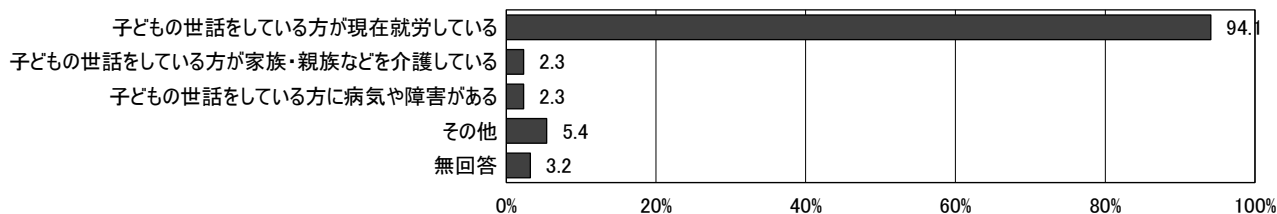
対象者は6人で、回答は以下の通りです。

カテゴリ(n=6)	件数
1日	2
2日	1
3日	1
5日	1
無回答	1

問18-1 現在放課後児童クラブを利用している理由はなんですか。(MA)

「子どもの世話をしている方が現在就労している」が94.1%で突出しています。「その他」が5.4%、「子どもの世話をしている方が家族・親族などを介護している」が2.3%で続いています。

(MA) n=222

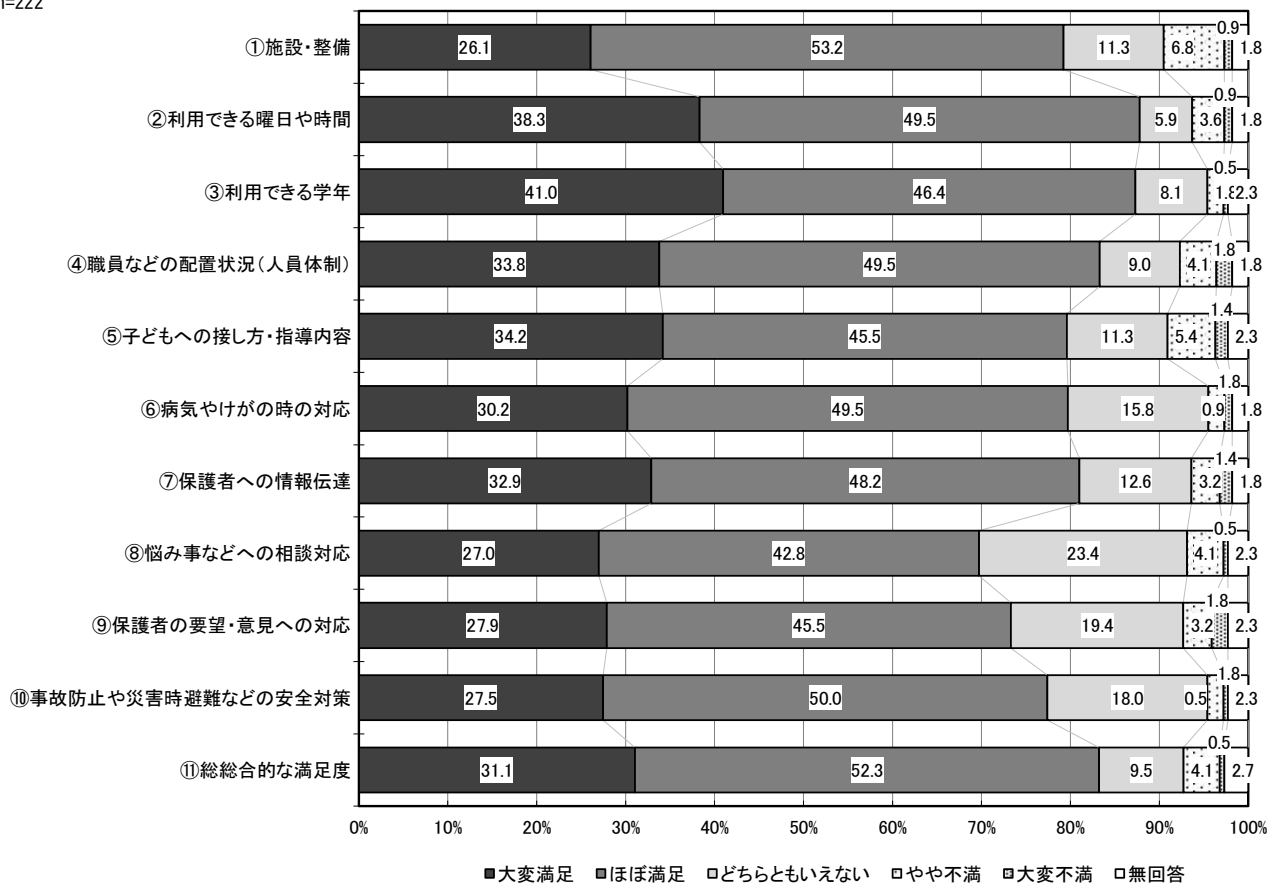


問18-2 現在、利用している放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。(SA)

いずれの項目についても、「大変満足」「ほぼ満足」の合計は80%前後となっています。

「①施設・整備」「⑤子どもへの接し方・指導内容」では「やや不満」が比較的高くなっています。

n=222

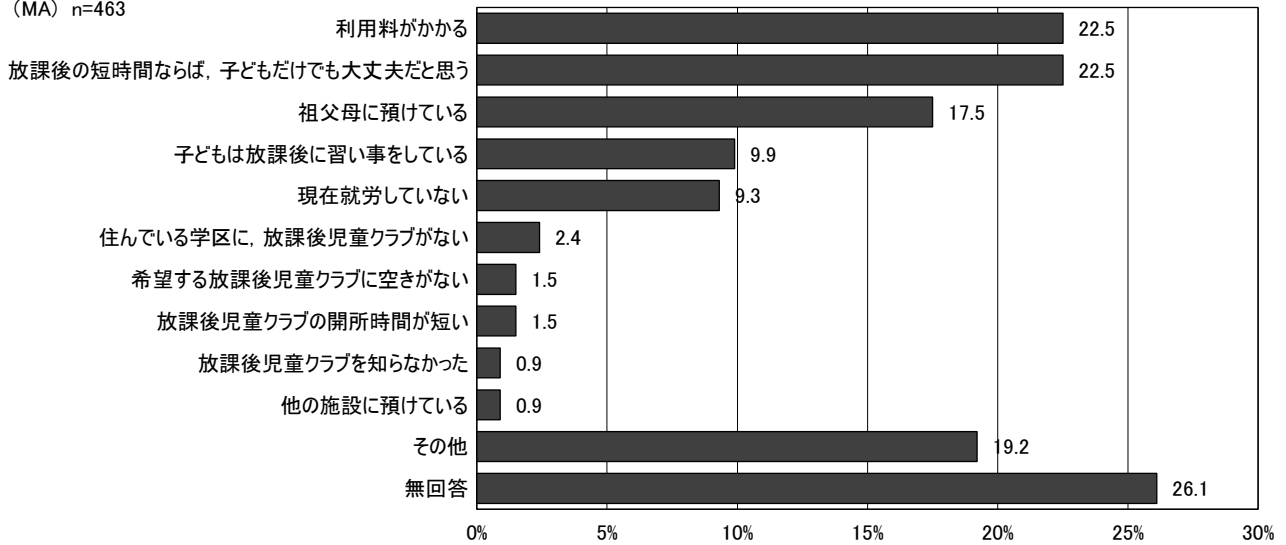


問18-3 放課後児童クラブを利用していない理由をお答えください。(MA)

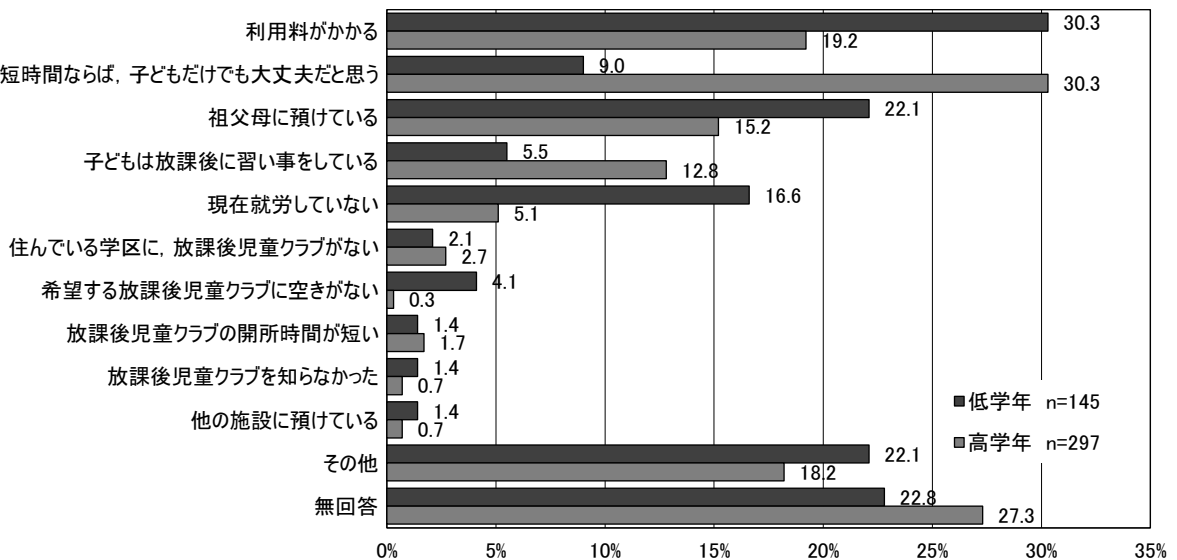
「利用料がかかる」「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」が 22.5%で最も高くなっています。「その他」が 19.2%で続いています。

学年別にみると、低学年では「利用料がかかる」「祖父母に預けている」「現在就労していない」が比較的高く、高学年では「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」「子どもは放課後に習い事をしている」が比較的高くなっています。

(MA) n=463

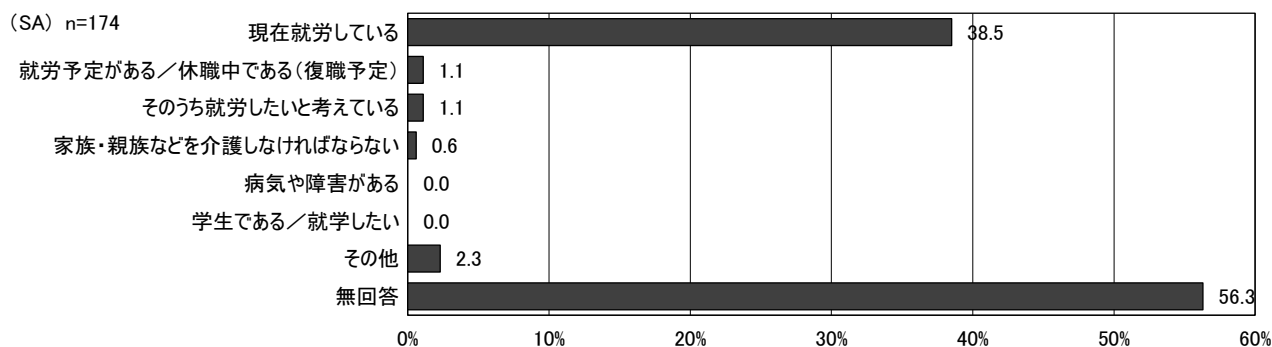


【学年】



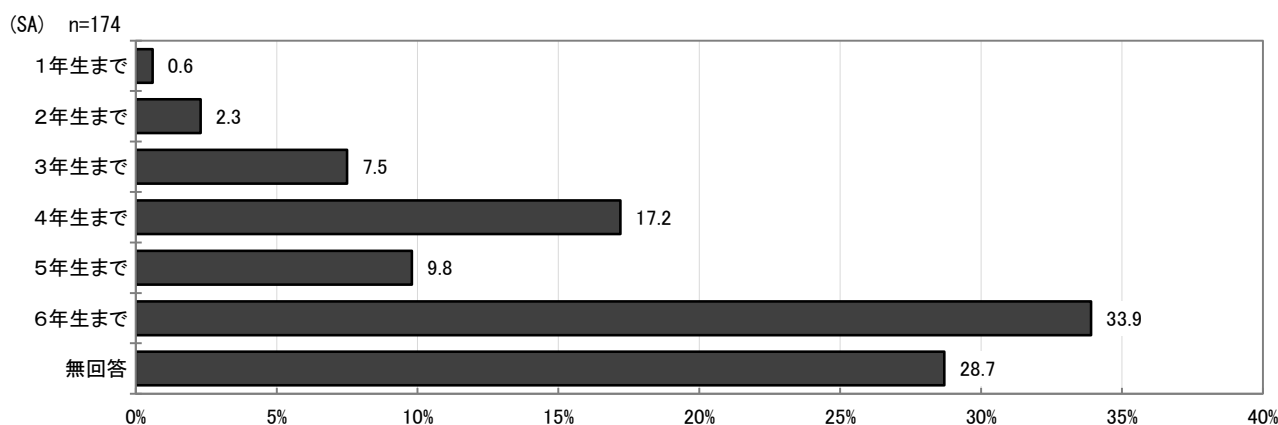
問18-4 今後、放課後児童クラブを利用したいと考えている理由をお答えください。(SA)

「現在就労している」が38.5%で突出しています。

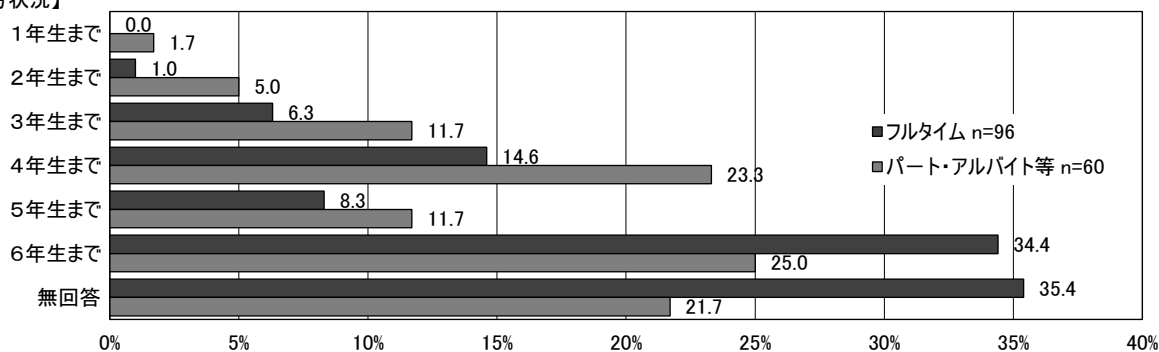


問18-5 何年生まで利用したいですか (SA)

「6年生まで」が33.9%で突出しています。「4年生まで」が17.2%、「5年生まで」が9.8%が続いています。母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「6年生」が比較的高く、パート・アルバイト等では「4年生」が比較的高くなっています。



【母親の就労状況】

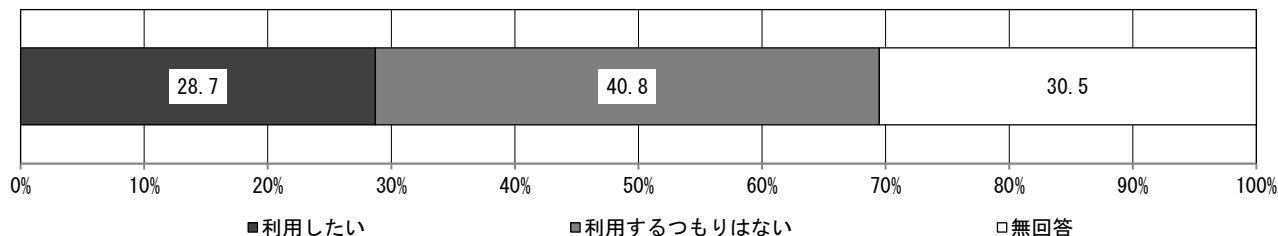


問18-6A 「土曜日」の利用希望をお答えください。(SA)

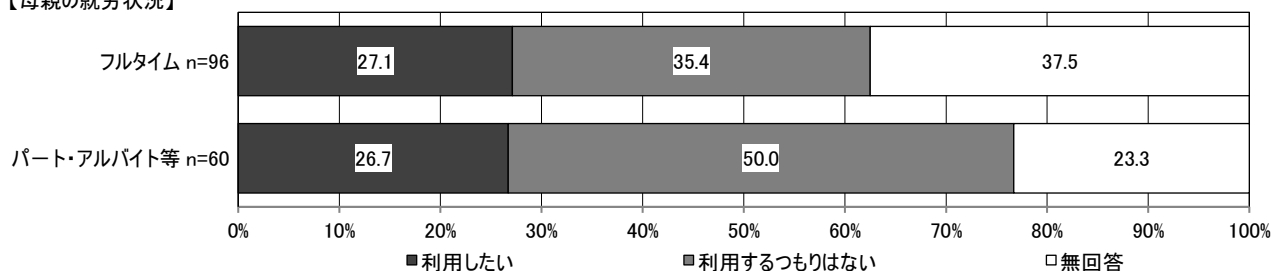
「利用するつもりはない」が40.8%、「利用したい」が28.7%となっています。

母親の就労状況別に見ると、フルタイムで「利用するつもりはない」が比較的低くなっています。

(SA) n=174

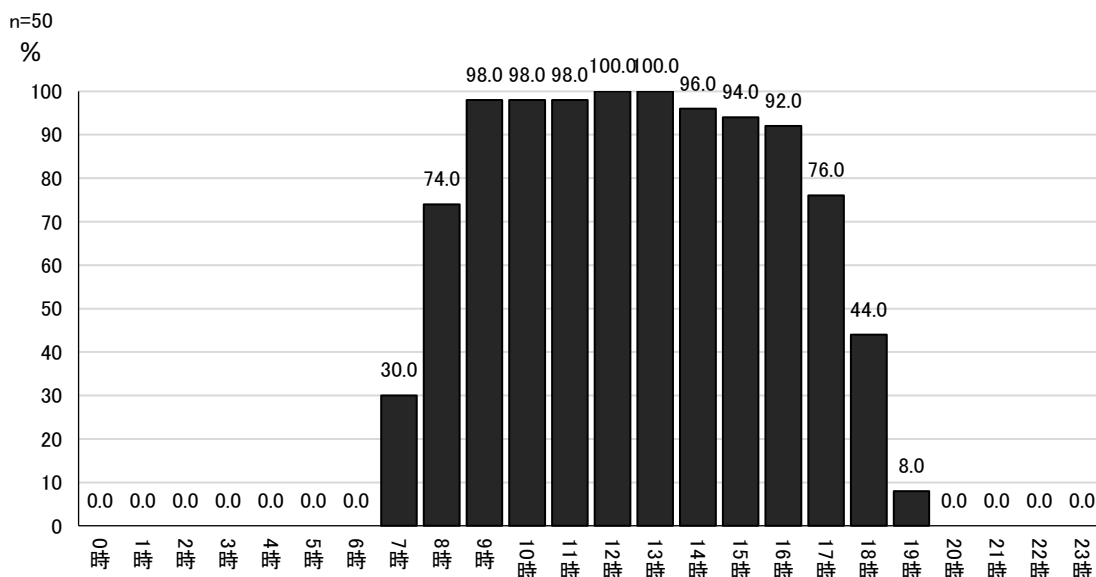


【母親の就労状況】



問18-6A 「利用したい」場合、(何)時ですか。(数量)

回答のあった50件のうち、9時～16時に90%以上が利用を希望しています。また、8時から17時の希望が70%を超えています。

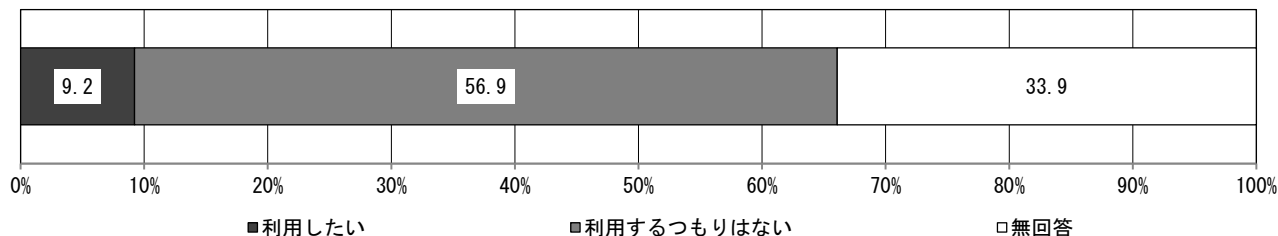


問18-6B 「日曜日・祝日」の利用希望をお答えください。(SA)

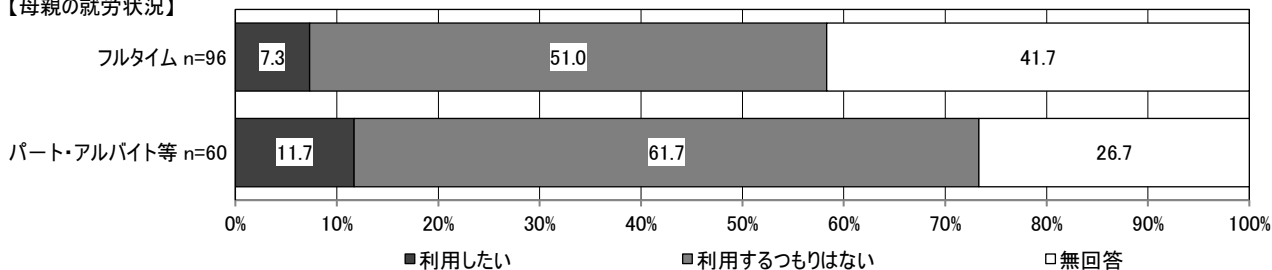
「利用するつもりはない」が56.9%を占めています。

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で「利用するつもりはない」が比較的高くなっています。

(SA) n=174

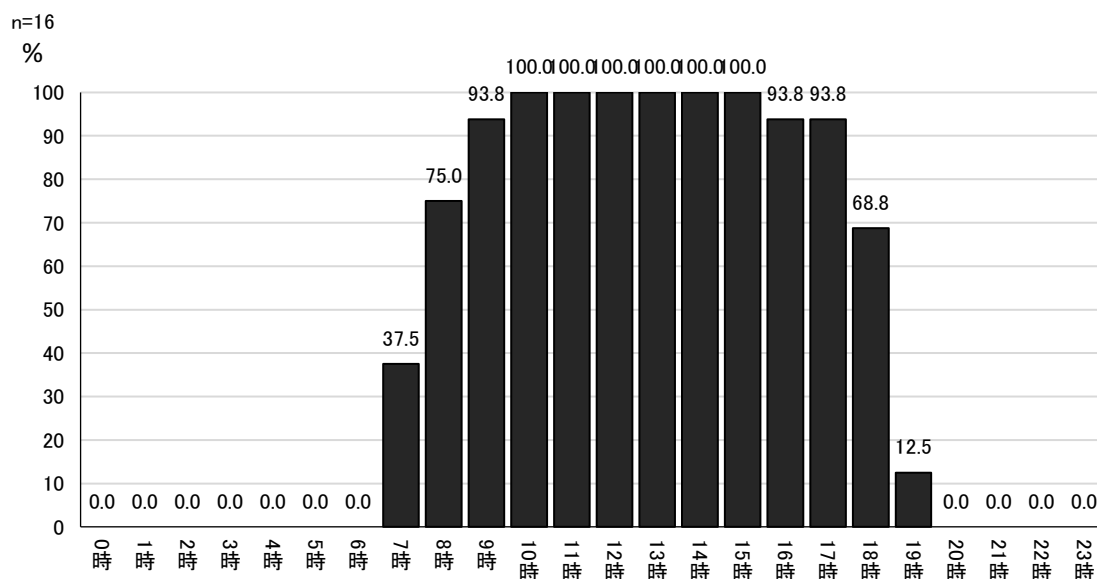


【母親の就労状況】



問18-6B 1① 「利用したい」場合、(何)時ですか。(数量)

回答のあった16件のうち、9時から17時の利用希望が15件となっています。

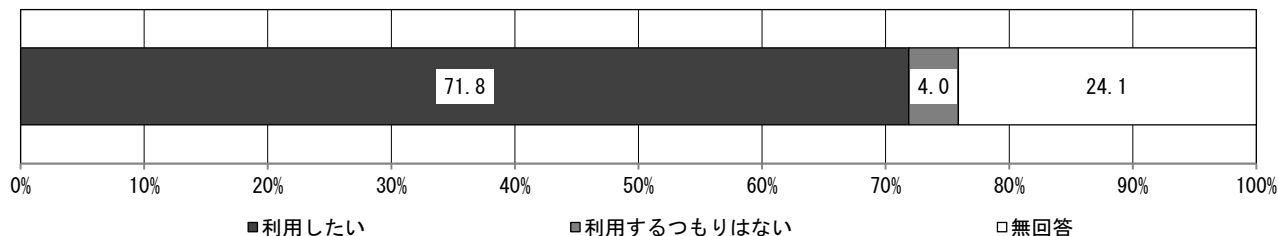


問18-6C 「長期休暇中(夏休みなど)」の利用希望をお答えください。(SA)

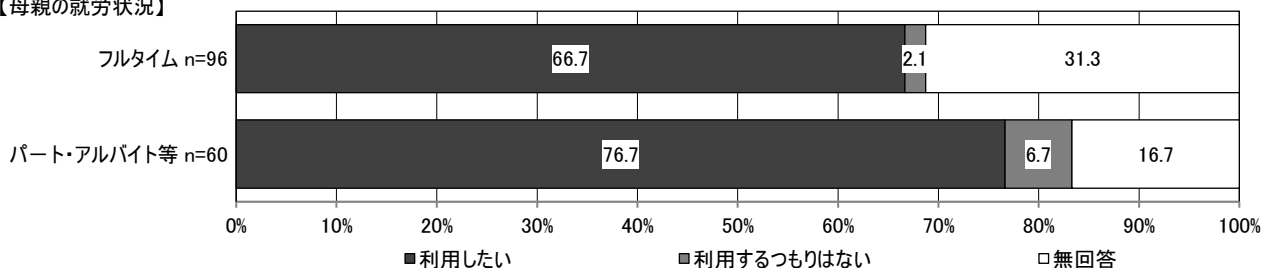
「利用したい」が71.8%を占めています。

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で「利用したい」が比較的高くなっています。

(SA) n=174

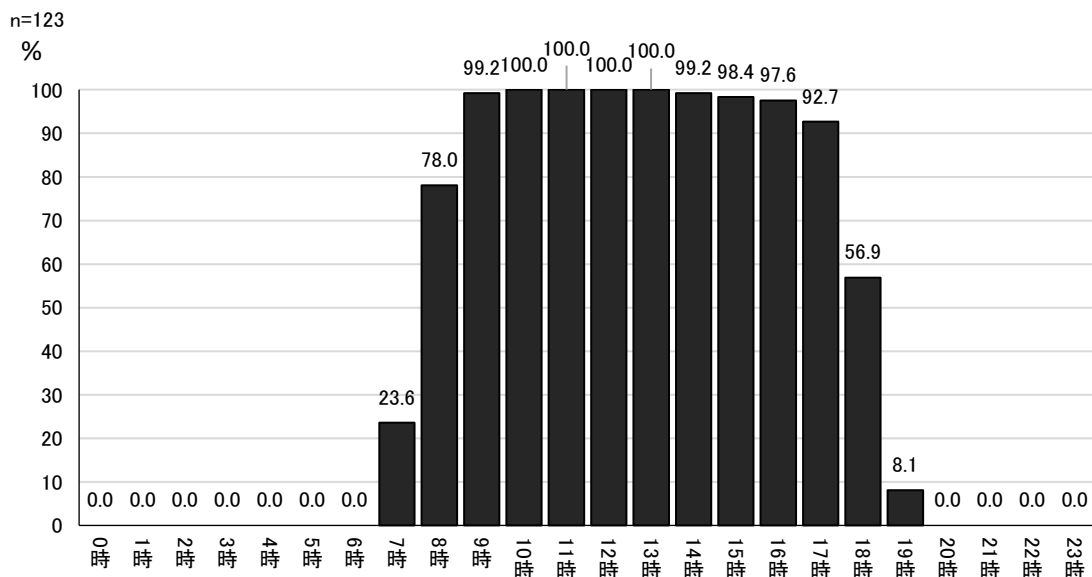


【母親の就労状況】



問18-6C 「利用したい」場合、(何)時ですか。(数量)

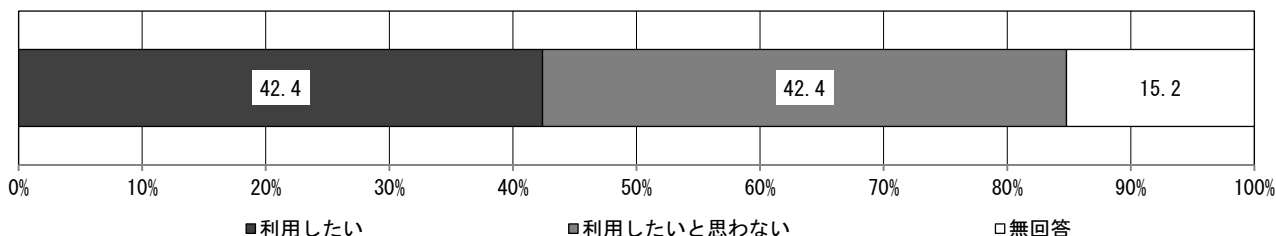
回答のあったうち、9時～17時の利用希望が90%を超えています。また、8時から18時の利用希望も過半数となっています。



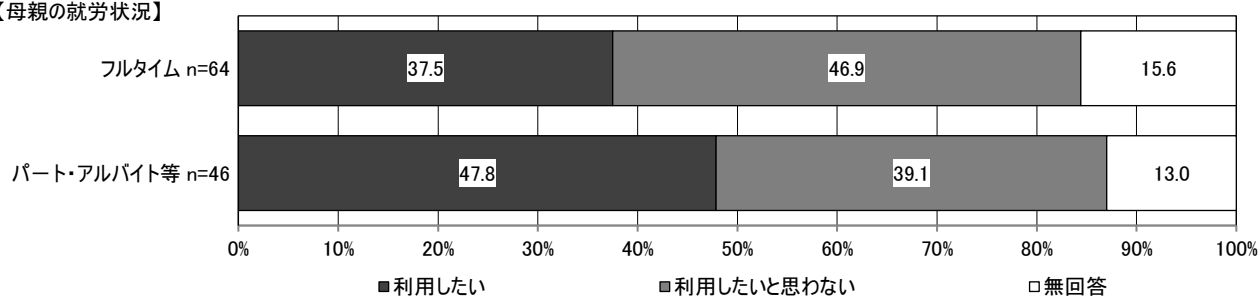
問18-7 現在通われている小学校区以外の地域で利用できる施設があった場合、利用したいと思いますか。(SA)

「利用したい」が42.4%、「利用したいと思わない」が42.4%で拮抗しています。
 母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で「利用したい」が比較的高くなっています。

(SA) n=125



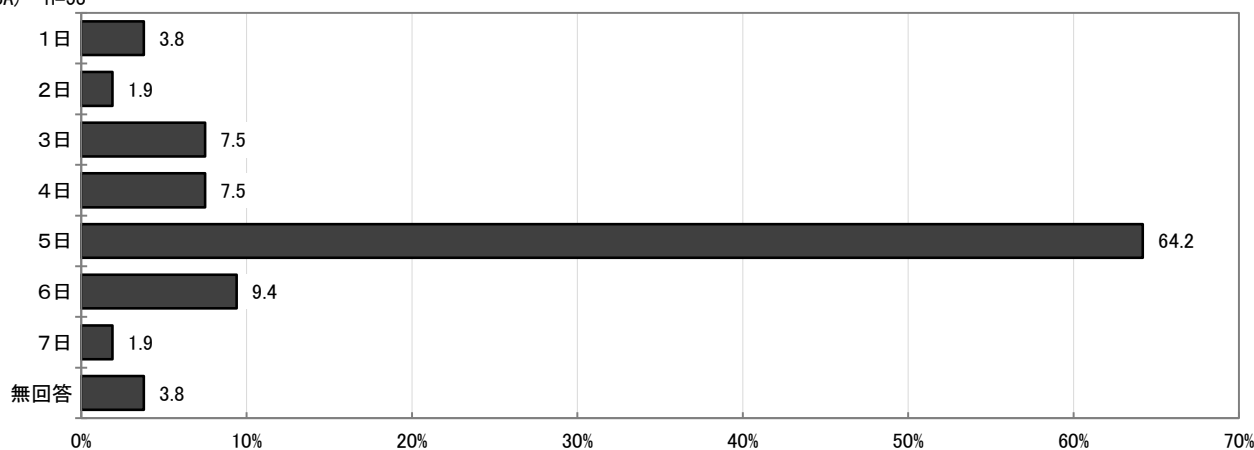
【母親の就労状況】



問18-7 1① 1週当たり(何)日ですか。(SA)

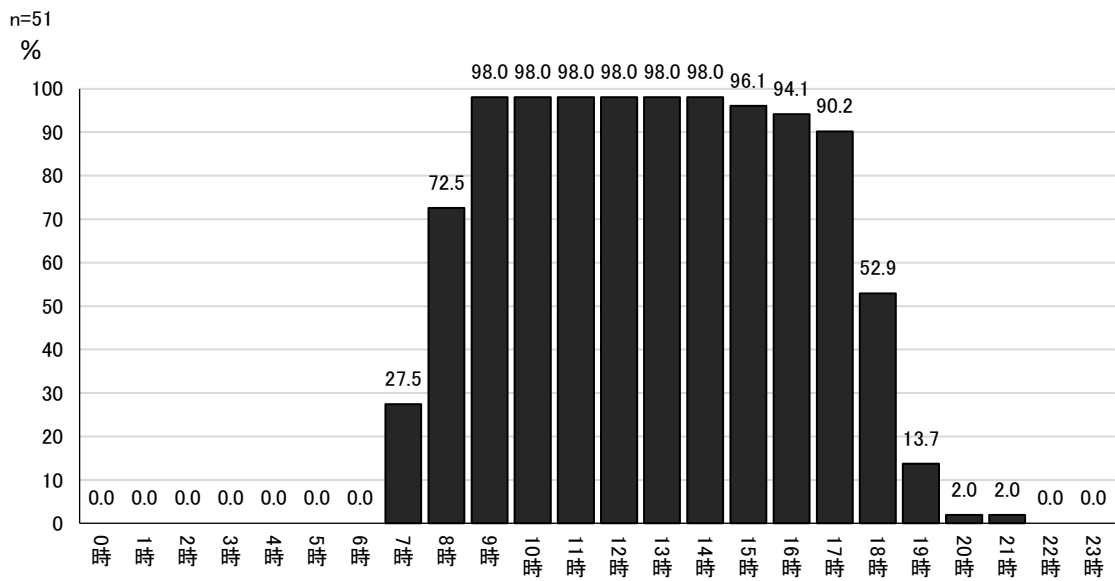
「5日」が64.2%で突出しています。「6日」が9.4%、「3日」が7.5%が続いています。

(SA) n=53



問18-7 1② 「利用したい」場合, (何)時ですか。(数量)

回答のあったうち, 9時から17時の利用希望が90%を超えています。。

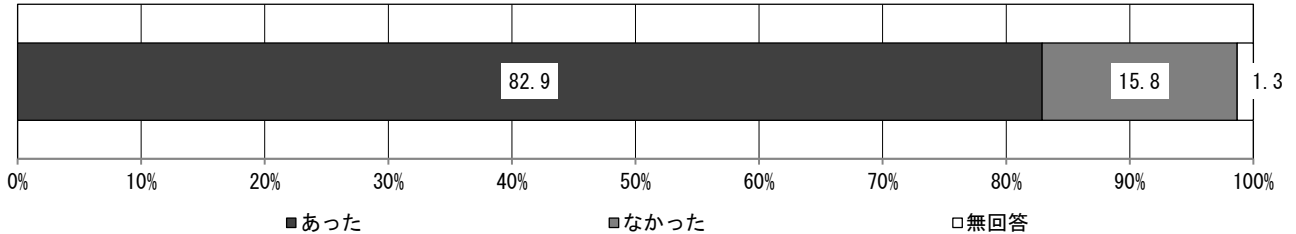


この調査票を持ち帰ったお子さんが病気の際の対応について

問19 この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありましたか。(SA)

「あった」が 82.9%を占めています。

(SA) n=690



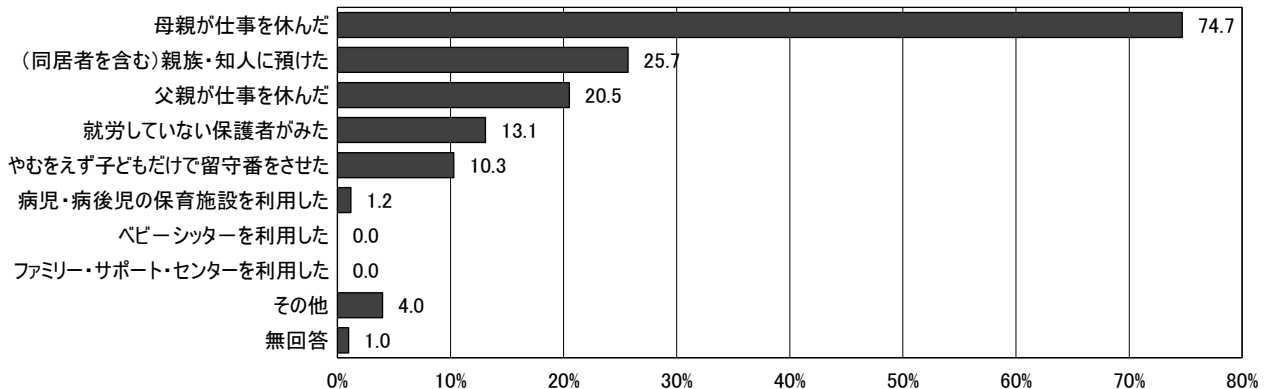
問19-1 この1年間に、この調査票を持ち帰ったお子さんが病気やケガで小学校を休んだ時に、どのように対応しましたか。(MA)

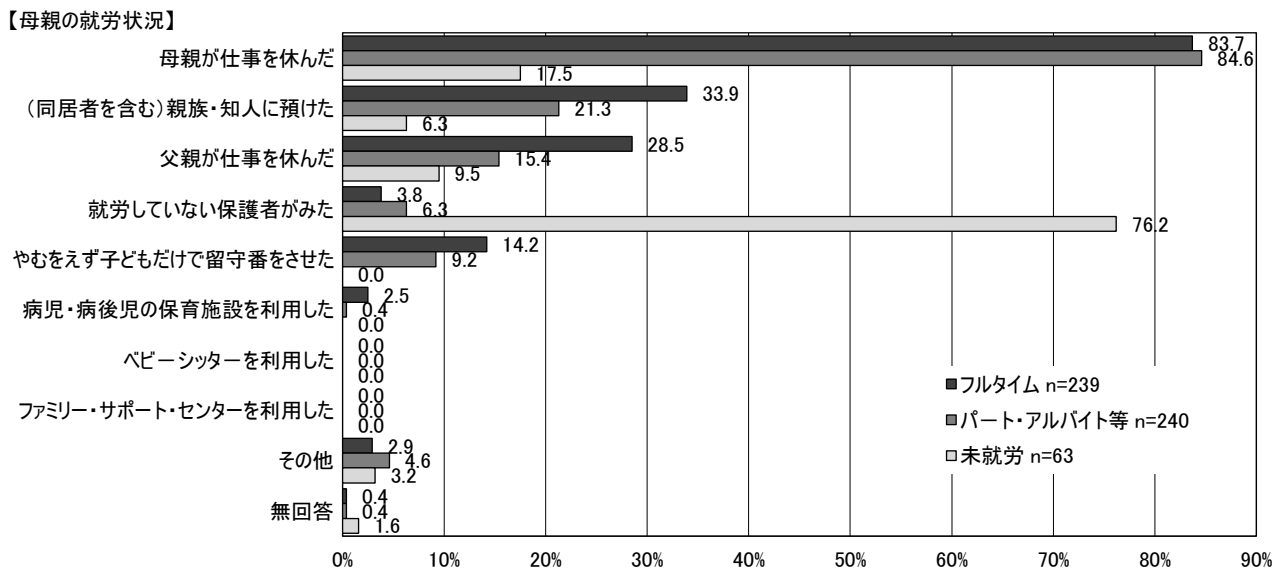
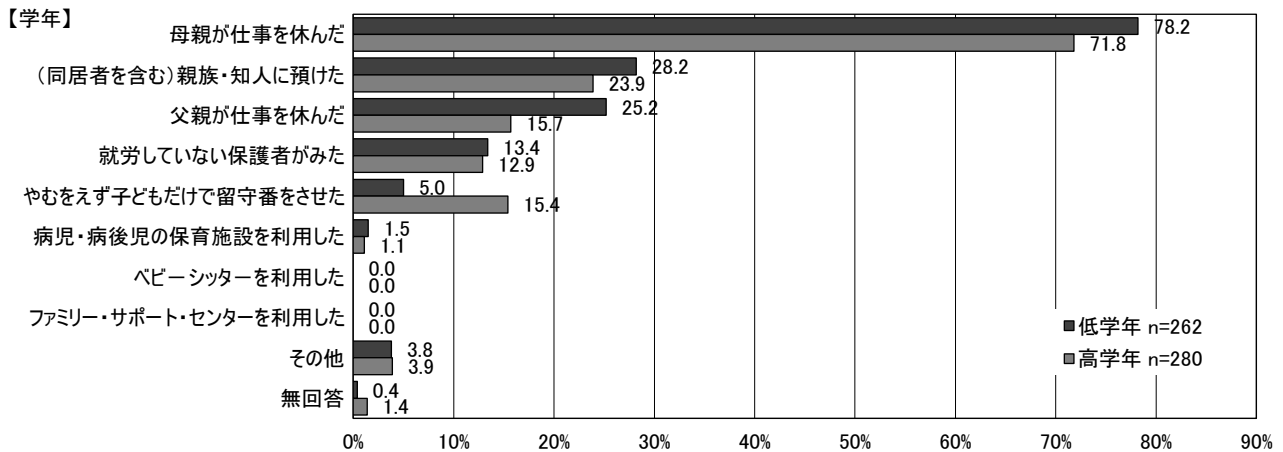
「母親が仕事を休んだ」が 74.7%で突出しています。「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が 25.7%、「父親が仕事を休んだ」が 20.5%で続いています。

学年別にみると、低学年では「父親が仕事を休んだ」が比較的高く、高学年では「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」が比較的高くなっています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「(同居者を含む)親族・知人に預けた」「父親が仕事を休んだ」が比較的高くなっています。

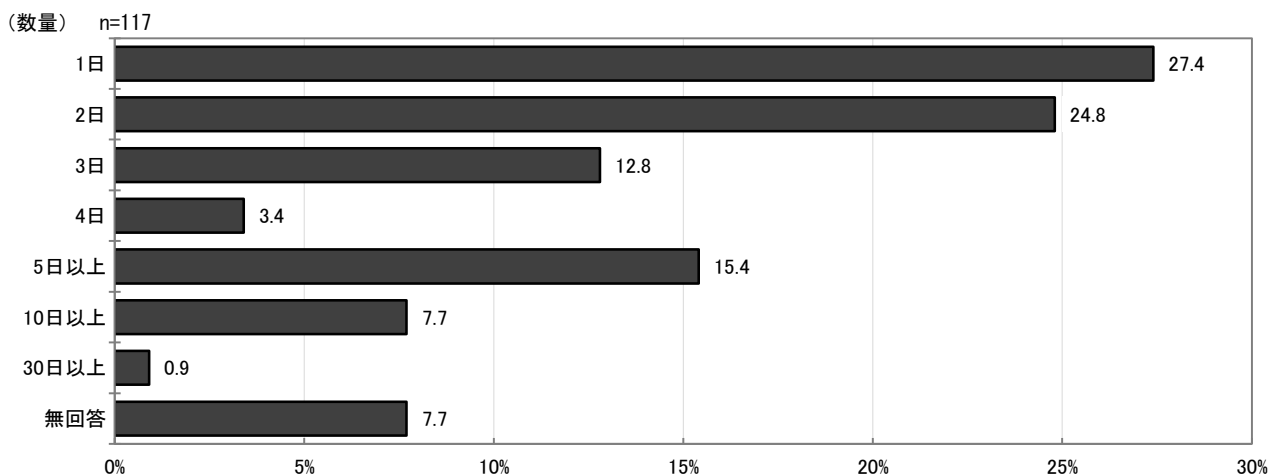
(MA) n=572





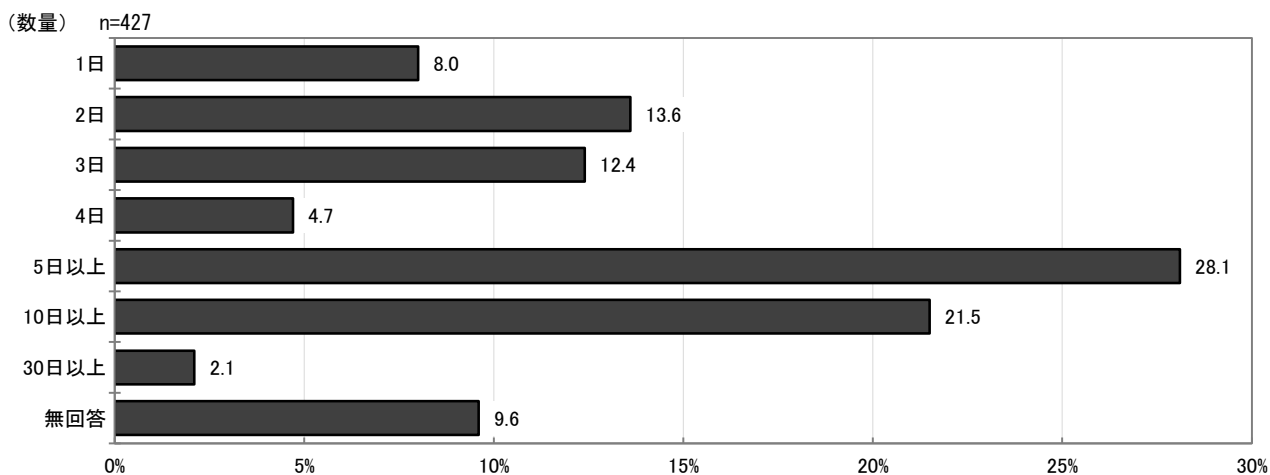
問19-1 1 「父親が仕事を休んだ」場合、1年間に(何)日でしたか。(数量)

「1日」が27.4%で最も高くなっています。次いで「2日」が24.8%、「5日以上」が15.4%が続いています。



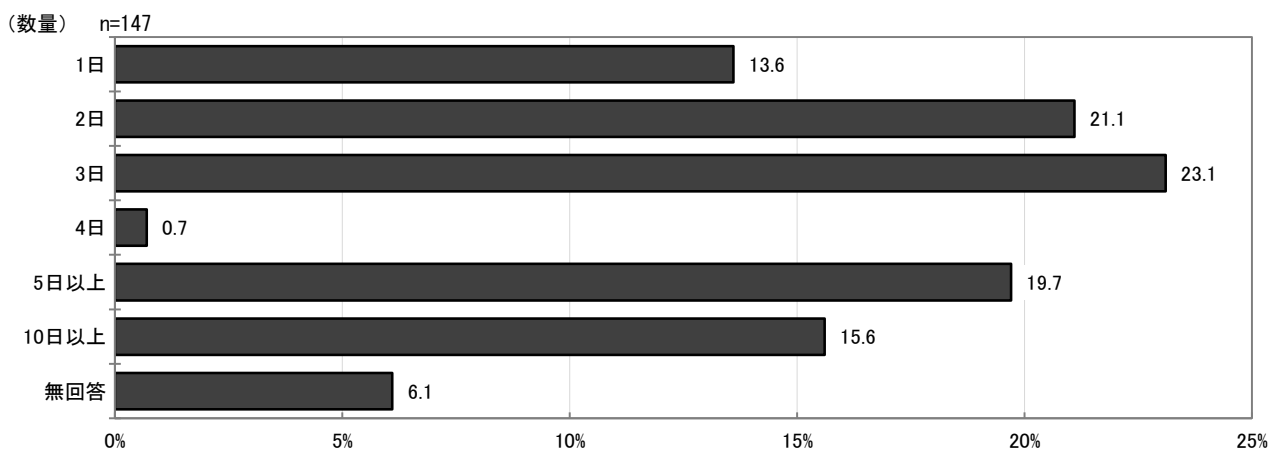
問19-1 2 「母親が仕事を休んだ」場合、1年間に(何)日でしたか。(数量)

「5日以上」が28.1%で最も高くなっています。次いで「10日以上」が21.5%、「2日」が13.6%が続いています。



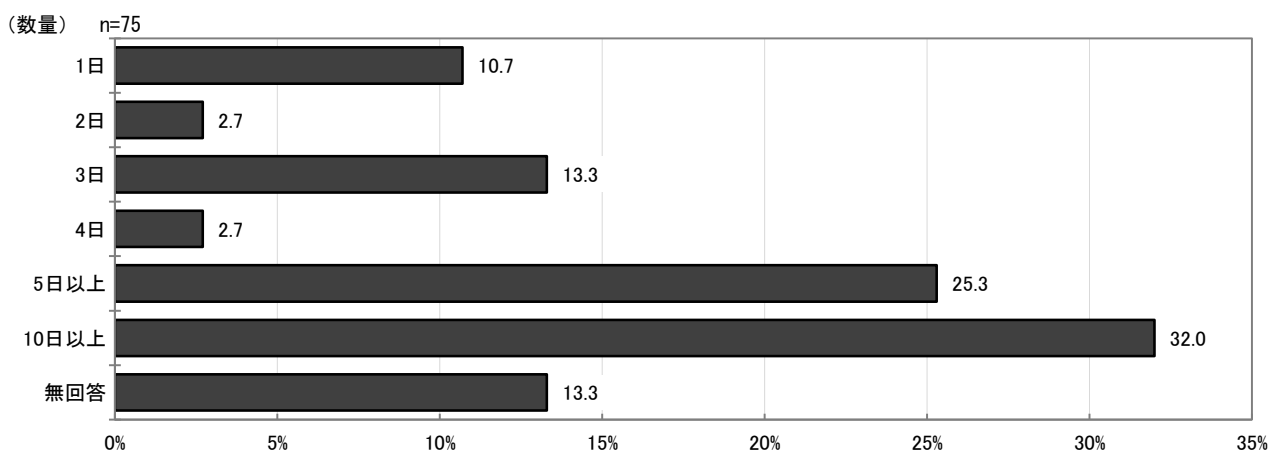
問19-1 3 「(同居者を含む)親族・知人に預けた」場合、1年間に(何)日でしたか。(数量)

「3日」が23.1%で最も高くなっています。次いで「2日」が21.1%、「5日以上」が19.7%が続いています。



問19-1 4 「就労していない保護者がみた」場合、1年間に(何)日でしたか。(数量)

「10日以上」が32.0%で最も高くなっています。次いで「5日以上」が25.3%、「3日」が13.3%が続いています。

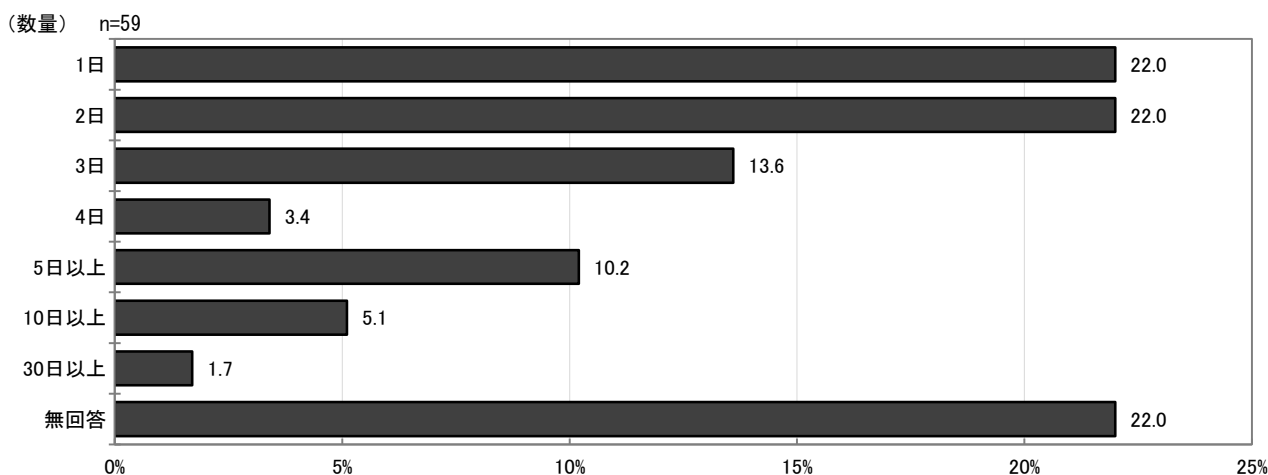


問19-1 5 「病児・病後児の保育施設を利用した」場合、1年間に(何)日でしたか。(数量)

対象者の7人のうち、「2日」「4日」に3人が回答しています。

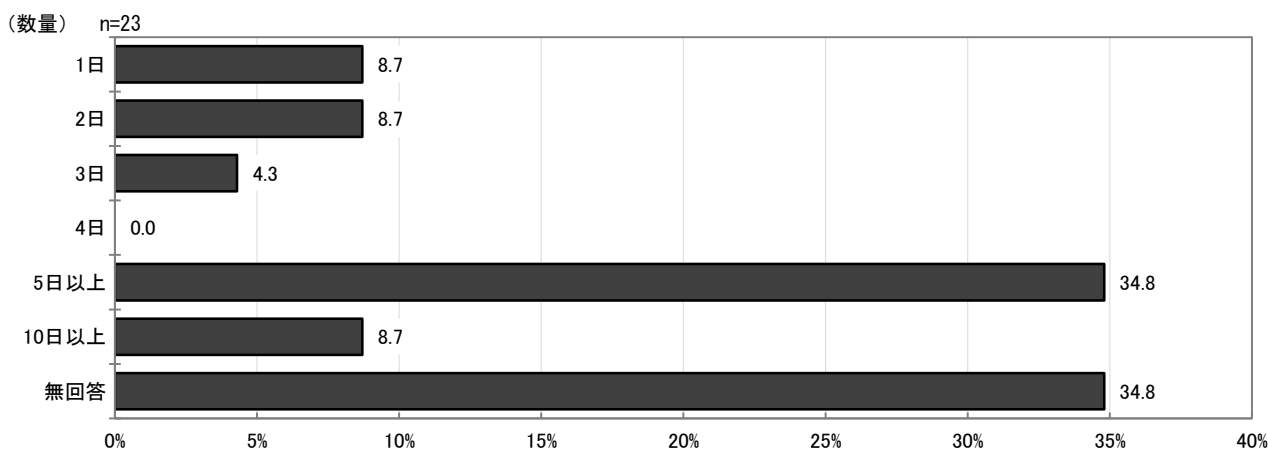
問19-1 8 「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」場合、1年間に(何)日でしたか。(数量)

「1日」が22.0%で最も高くなっています。次いで「2日」が22.0%、「3日」が13.6%が続いています。



問19-1 9 「その他」場合、1年間に(何)日でしたか。(数量)

「5日以上」が34.8%で突出しています。「1日」が8.7%、「2日」が8.7%が続いています。

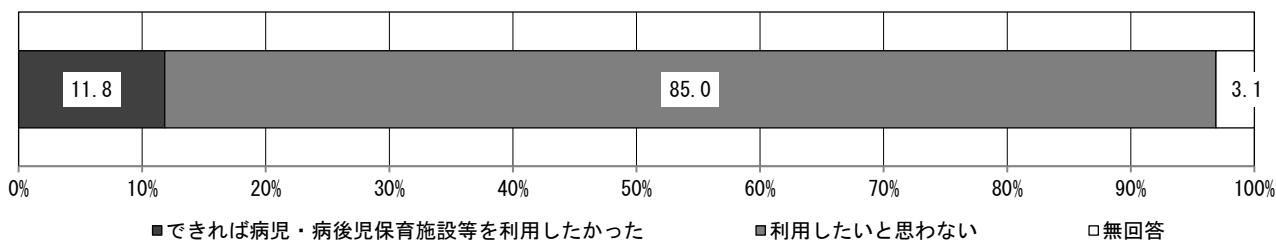


問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」と思いましたか。(SA)

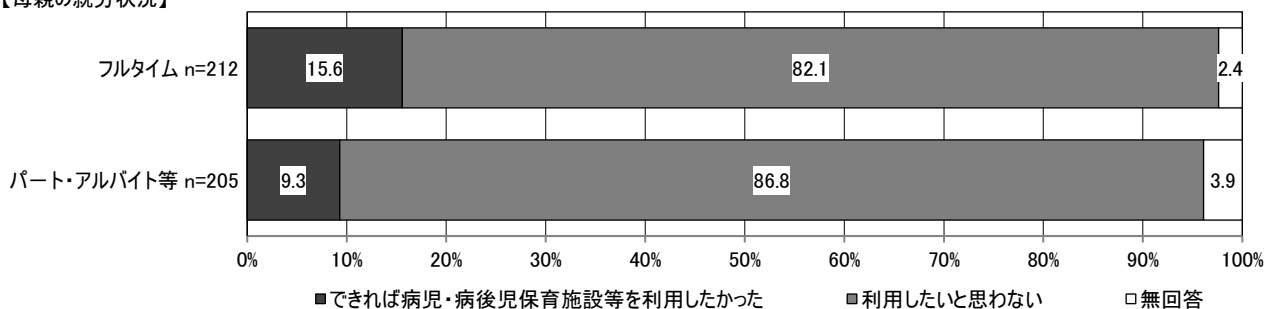
「利用したいと思わない」が85.0%を占めています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」が比較的高くなっています。

(SA) n=448

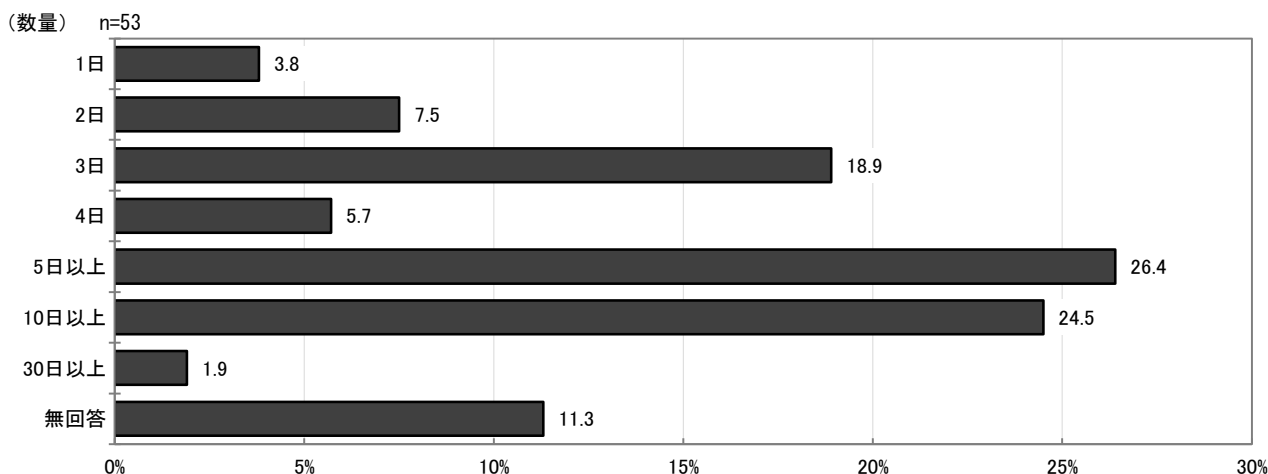


【母親の就労状況】



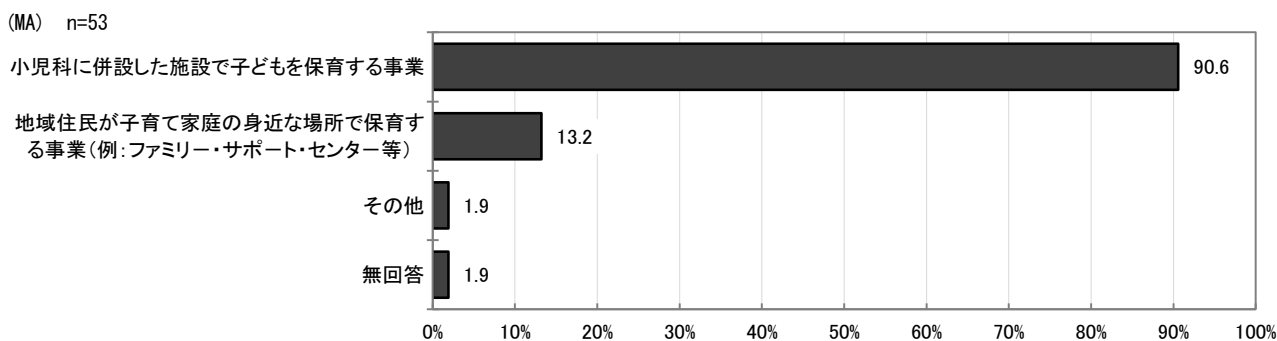
問19-2 1 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」場合、1年間に(何)日ですか。
(数量)

「5日以上」が26.4%で最も高くなっています。次いで「10日以上」が24.5%、「3日」が18.9%が続いています。



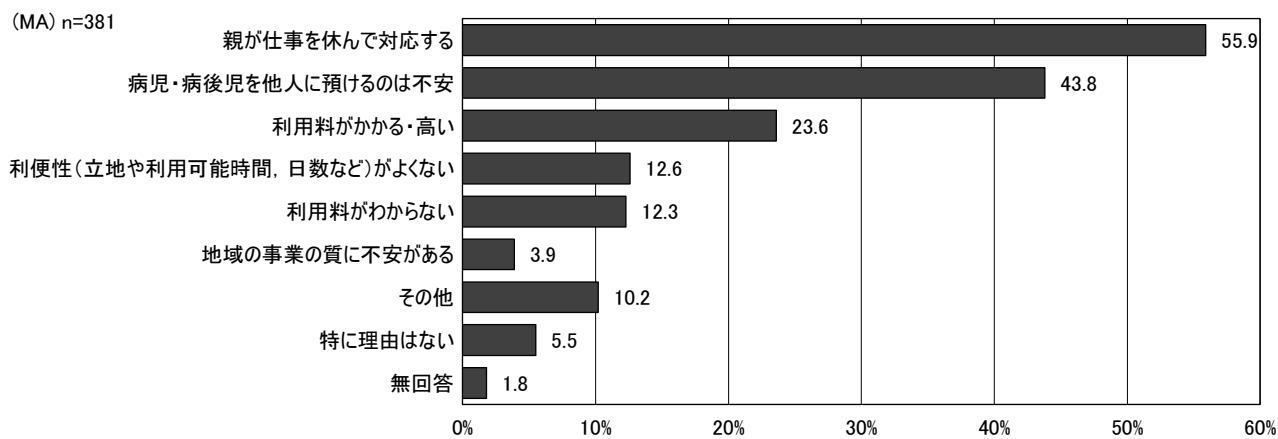
問19-3 病児・病後児のための保育施設等を利用する場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(MA)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が90.6%で突出しています。「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が13.2%、「その他」が1.9%が続いています。



問19-4 利用したくないと思う理由をお答えください。(MA)

「親が仕事を休んで対応する」が 55.9%で最も高くなっています。次いで「病児・病後児を他人に預けるのは不安」が 43.8%、「利用料がかかる・高い」が 23.6%で続いています。

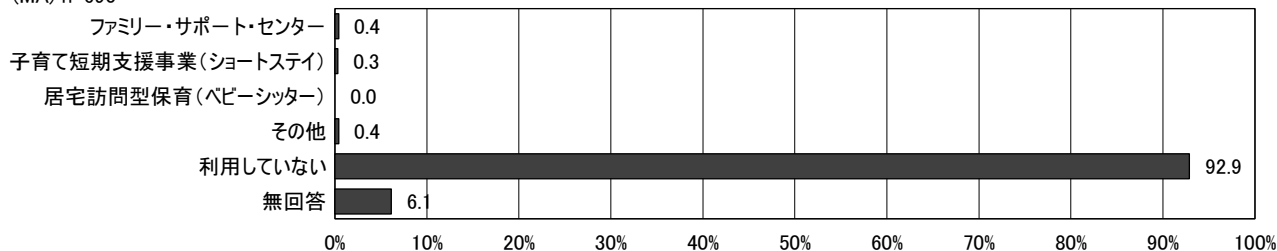


この調査票を持ち帰ったお子さんの不規則の保育サービスの利用について

問20 この調査票を持ち帰ったお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用したサービスはありますか。(MA)

「利用していない」が 92.9%で突出しています。「ファミリー・サポート・センター」が 0.4%、「その他」が 0.4%で続いています。

(MA) n=690



問20 1 「ファミリー・サポート・センター」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

対象者3人のうち、2人が「1日」と回答しています。

問20 2 「子育て短期支援事業(ショートステイ)」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

対象者2人のうち、1人が「12日」と回答しています。

問20 4 「その他」の場合、1年間に(何)日ですか。(数量)

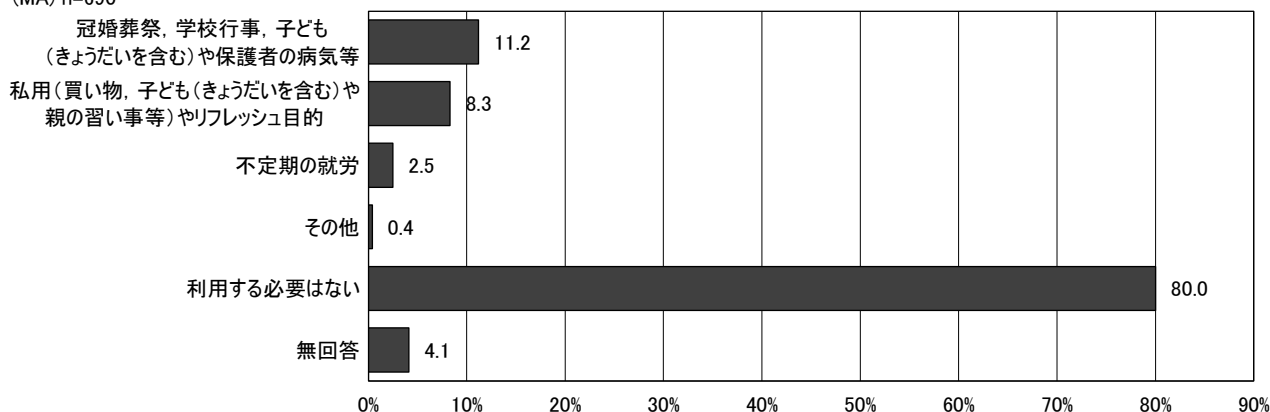
対象者3人のうち、それぞれ「3日」「4日」「20日」と回答しています。

問21 この調査票を持ち帰ったお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労、保護者の病気等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。(利用には、一定の利用料の負担があります。)(MA)

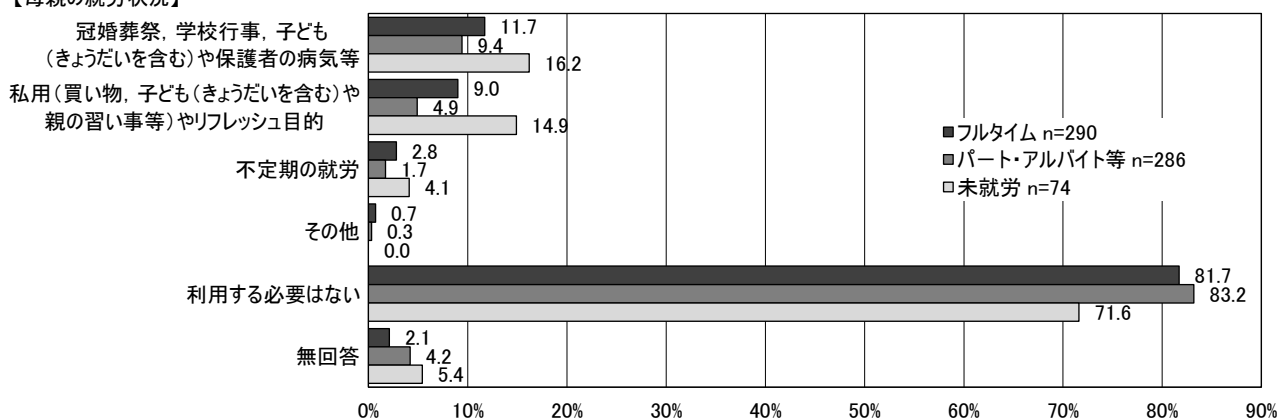
「利用する必要はない」が 80.0%で突出しています。「冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や保護者の病気等」が 11.2%、「私用(買い物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)やリフレッシュ目的」が 8.3%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム、パート・アルバイト等では「利用する必要はない」が比較的高くなっています。

(MA) n=690



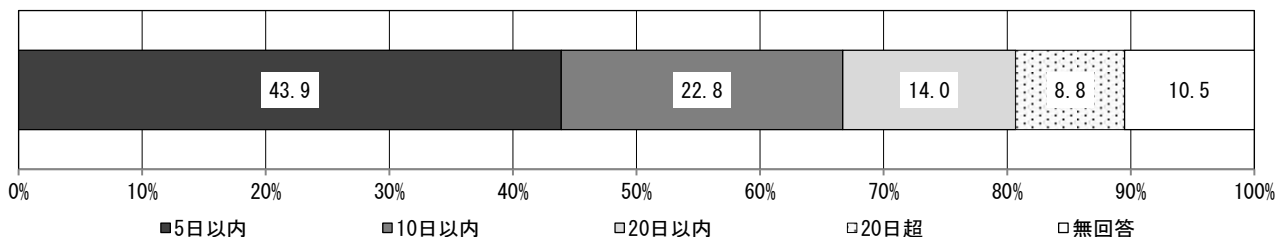
【母親の就労状況】



問21 1 「私用(買い物, 子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)やリフレッシュ目的」の場合, 1年間に(何)日ですか。(数量)

「5日以内」が43.9%で最も高く, 次いで「10日以内」が22.8%, 「20日以内」が14.0%が続いています。

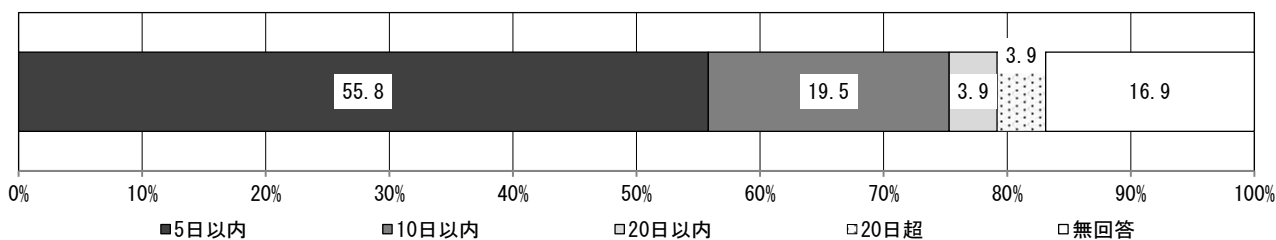
(数量) n=57



問21 2 「冠婚葬祭, 学校行事, 子ども(きょうだいを含む)や保護者の病気等」の場合, 1年間に(何)日ですか。(数量)

「5日以内」が55.8%を占めています。

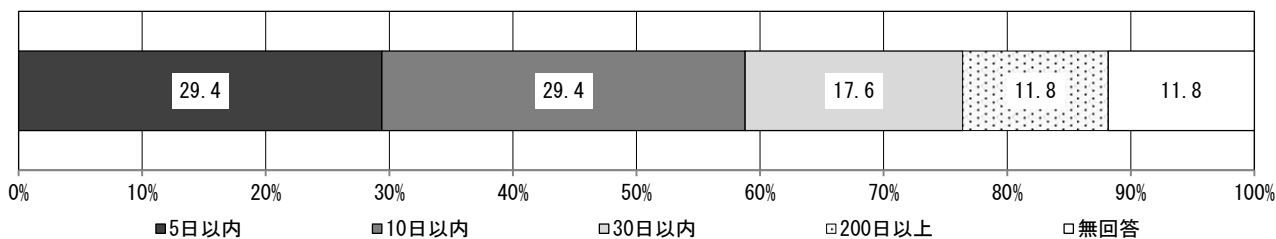
(数量) n=77



問21 3 「不定期の就労」の場合, 1年間に(何)日ですか。(数量)

「5日以内」が29.4%で最も高く, 次いで「10日以内」が29.4%, 「30日以内」が17.6%が続いています。

(数量) n=17



問21 4 「その他」の場合, 1年間に(何)日ですか。(数量)

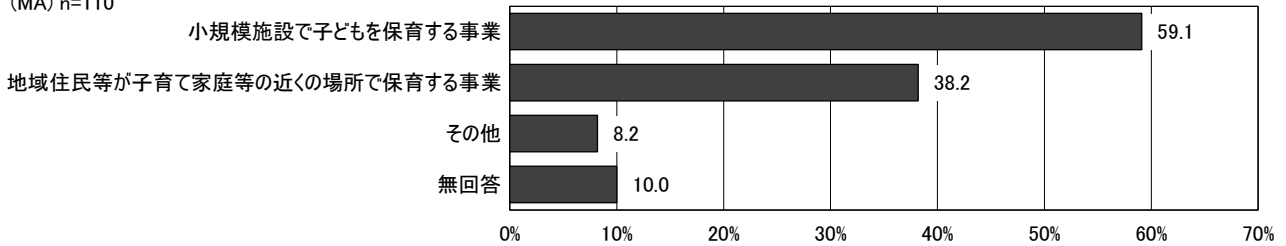
対象者は3人で回答はありませんでした。

問21-1 問21の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(MA)

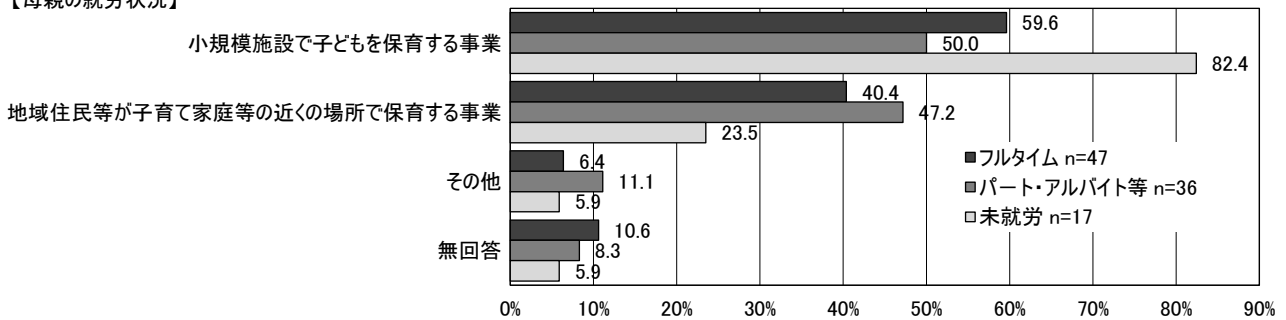
「小規模施設で子どもを保育する事業」が 59.1%で最も高くなっています。次いで「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 38.2%、「その他」が 8.2%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイム、パート・アルバイト等では「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が比較的高くなっています。

(MA) n=110



【母親の就労状況】

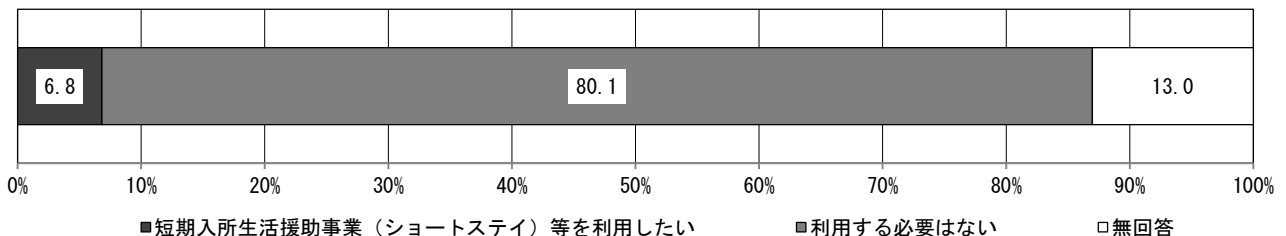


問22 この調査票を持ち帰ったお子さんについて、親の用事(冠婚葬祭、親・家族の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望の有無について(SA)

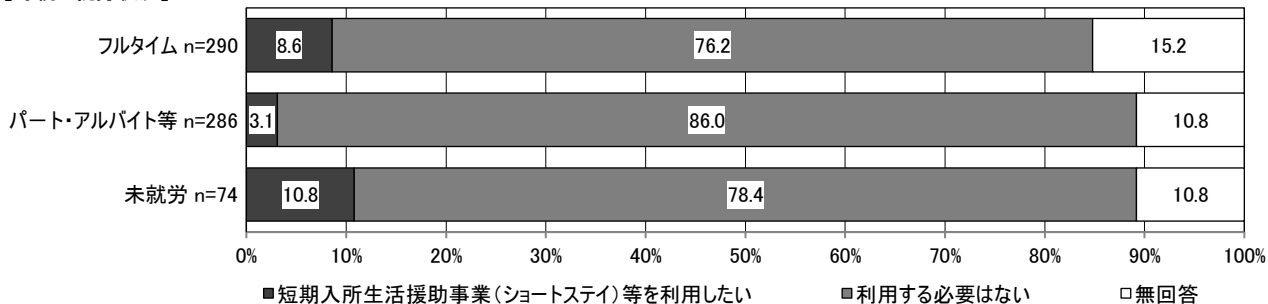
「利用する必要はない」が 80.1%を占めています。

母親の就労状況別にみると、未就労で「短期入所生活援助事業(ショートステイ)等を利用したい」が比較的高くなっています。

(SA) n=690

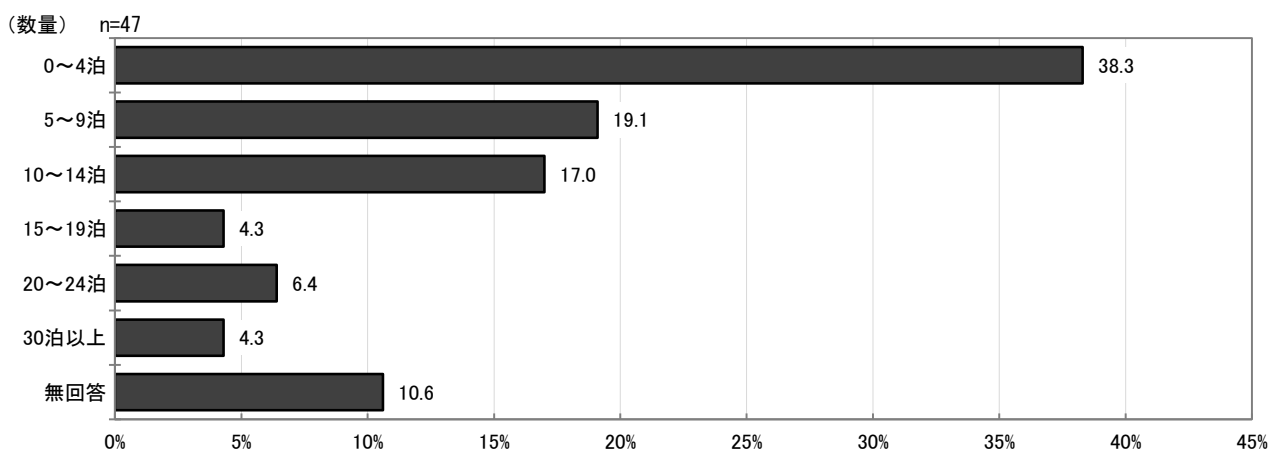


【母親の就労状況】



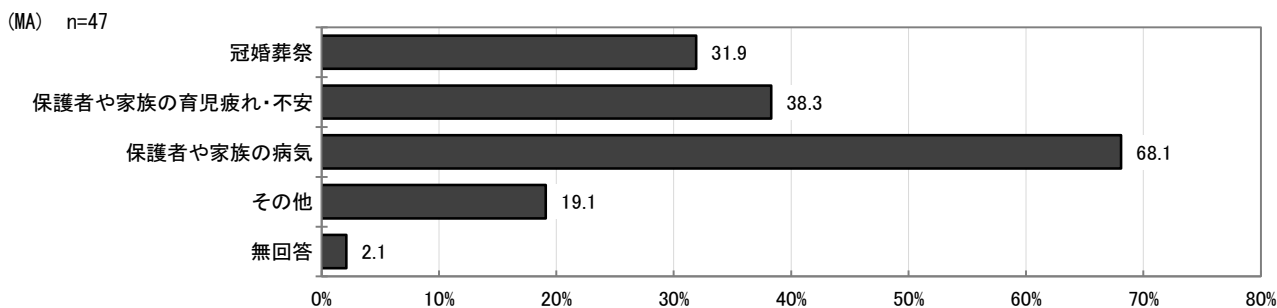
問22 1① 合計(何)泊ですか。(数量)

「0～4泊」が38.3%で突出しています。「5～9泊」が19.1%、「10～14泊」が17.0%が続いています。



問22 1② この調査票を持ち帰ったお子さんについて、親の用事(冠婚葬祭, 親・家族の育児疲れや育児不安, 病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。(MA)

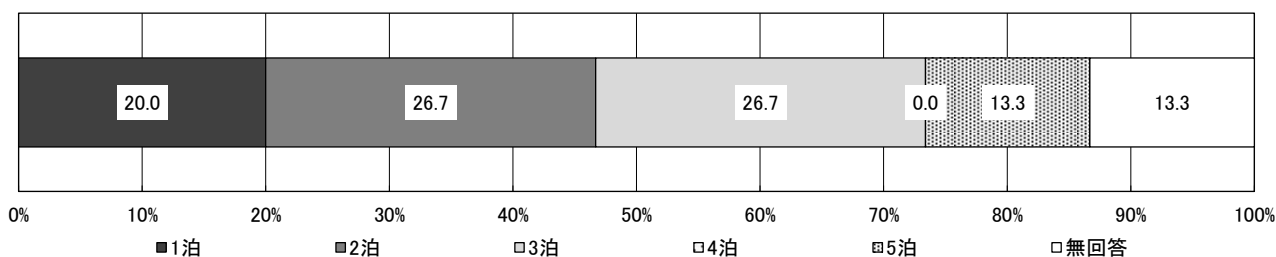
「保護者や家族の病気」が68.1%で突出しています。「保護者や家族の育児疲れ・不安」が38.3%、「冠婚葬祭」が31.9%が続いています。



問22 1② 1 「冠婚葬祭」の場合、1年間に(何)泊ですか。(数量)

「2泊」が26.7%で最も高くなっています。次いで「3泊」が26.7%、「1泊」が20.0%が続いています。

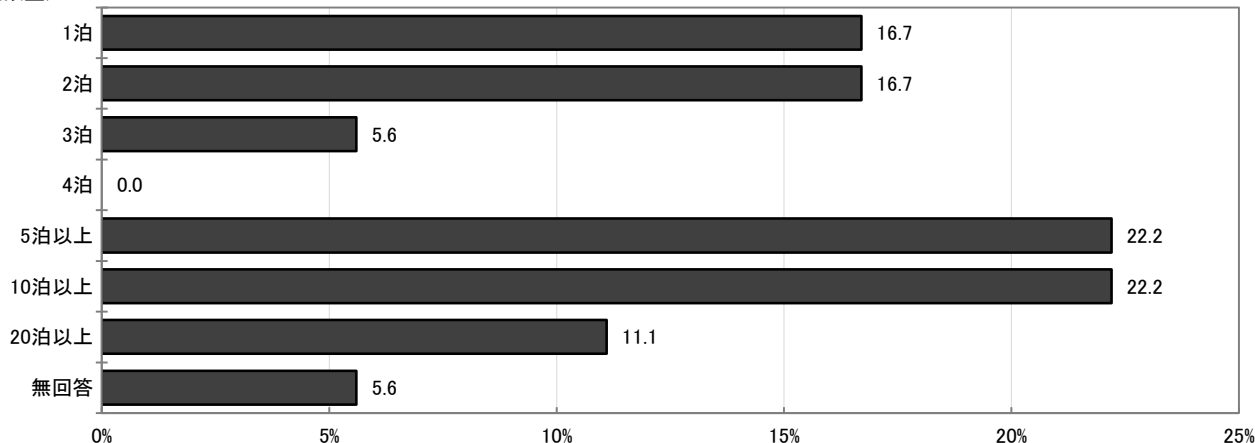
(数量) n=15



問22 1② 2 「保護者や家族の育児疲れ・不安」の場合、1年間に(何)泊ですか。(数量)

「5泊以上」が22.2%で最も高くなっています。次いで「10泊以上」が22.2%、「1泊」が16.7%が続いています。

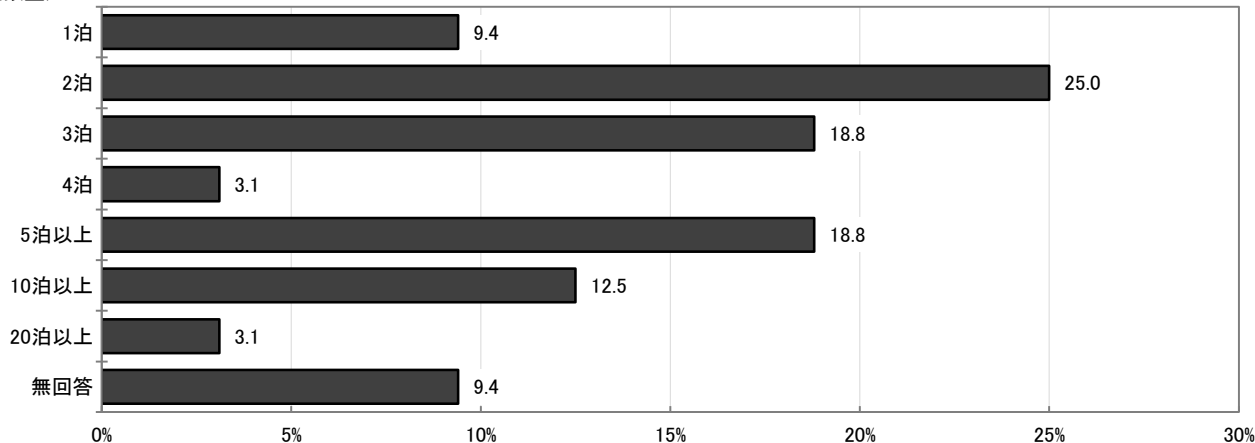
(数量) n=18



問22 1② 3 「保護者や家族の病気」の場合、1年間に(何)泊ですか。(数量)

「2泊」が25.0%で最も高くなっています。次いで「3泊」が18.8%、「5泊以上」が18.8%が続いています。

(数量) n=32



問22 1② 4 「その他」の場合, 1年間に(何)泊ですか。(数量)

対象者9人のうち, 回答は以下の通りです。

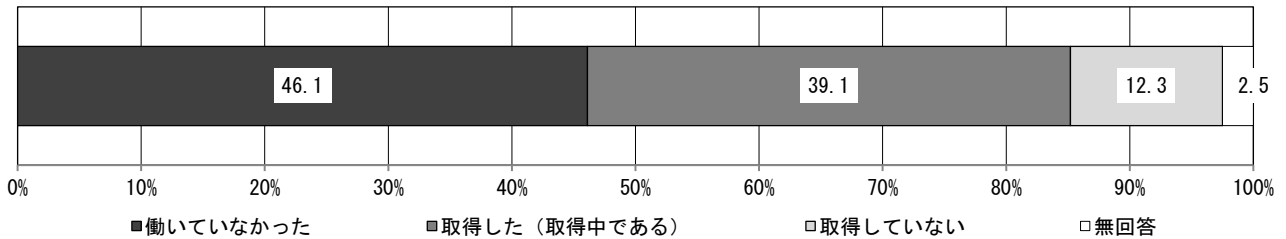
カテゴリ(n=9)	件数
3泊	2
4泊	1
5泊以上	2
10泊以上	1
無回答	3

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

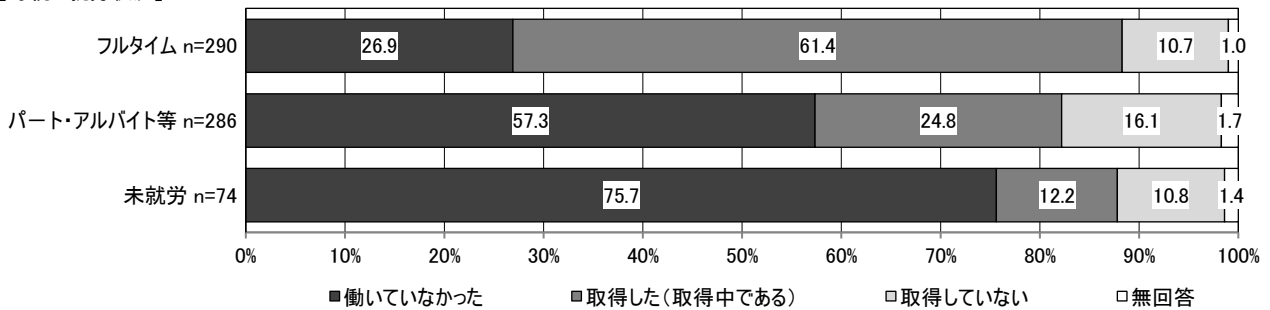
問23A この調査票を持ち帰ったお子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。(SA)

「働いていなかった」が46.1%で最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が39.1%となっています。
母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「取得した(取得中である)」が61.4%となっています。

(SA) n=690



【母親の就労状況】

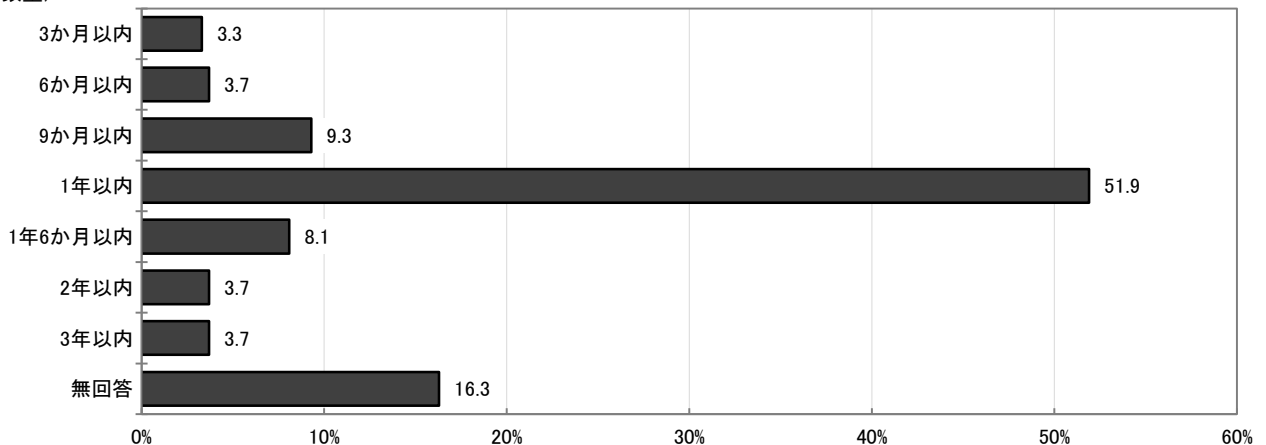


問23A 2 母親が育児休業を「取得した(取得中である)」場合、期間(何)日ですか。(数量)

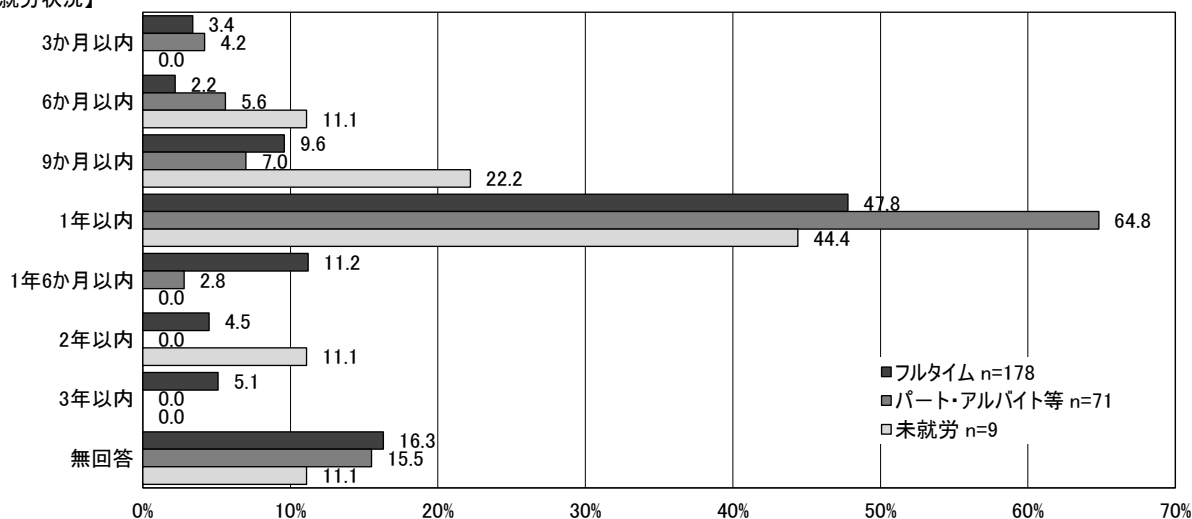
「1年以内」が51.9%で突出しています。「9か月以内」が9.3%、「1年6か月以内」が8.1%が続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは1年以上の回答が比較的高くなっています。

(数量) n=270



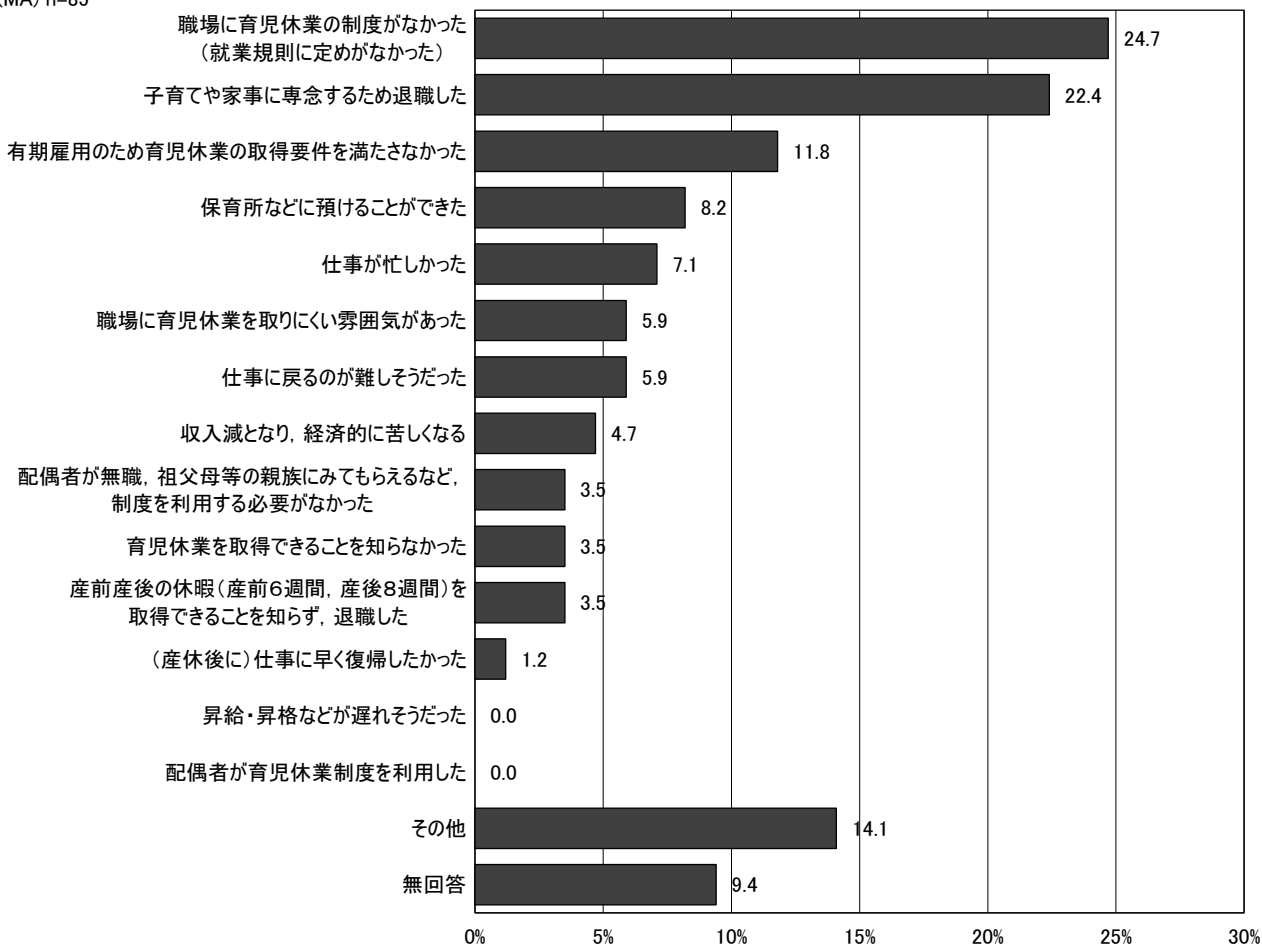
【母親の就労状況】



問23A 3 母親が育児休業を「取得していない」場合、その理由は何ですか。(MA)

「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 24.7%で最も高くなっています。次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が 22.4%、「その他」が 14.1%で続いています。

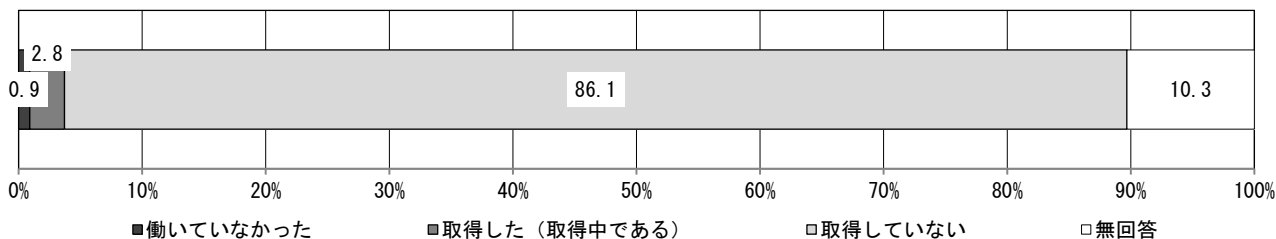
(MA) n=85



問23B この調査票を持ち帰ったお子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。取得していない方はその理由をお答えください。(SA)

「取得していない」が 86.1%を占めています。

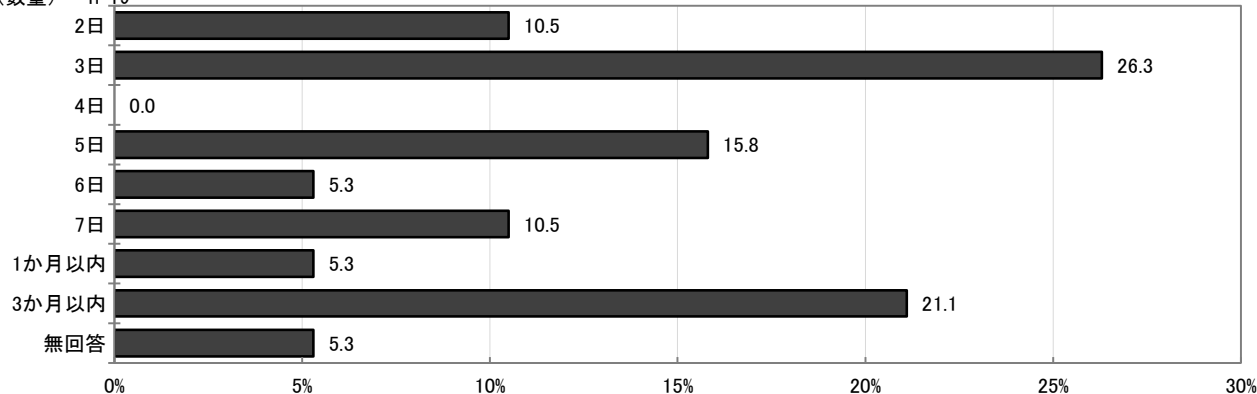
(SA) n=690



問23B 2 「取得した(取得中である)」場合、期間(何)日ですか。(数量)

「3日」が26.3%で最も高くなっています。次いで「3か月以内」が21.1%、「5日」が15.8%が続いています。

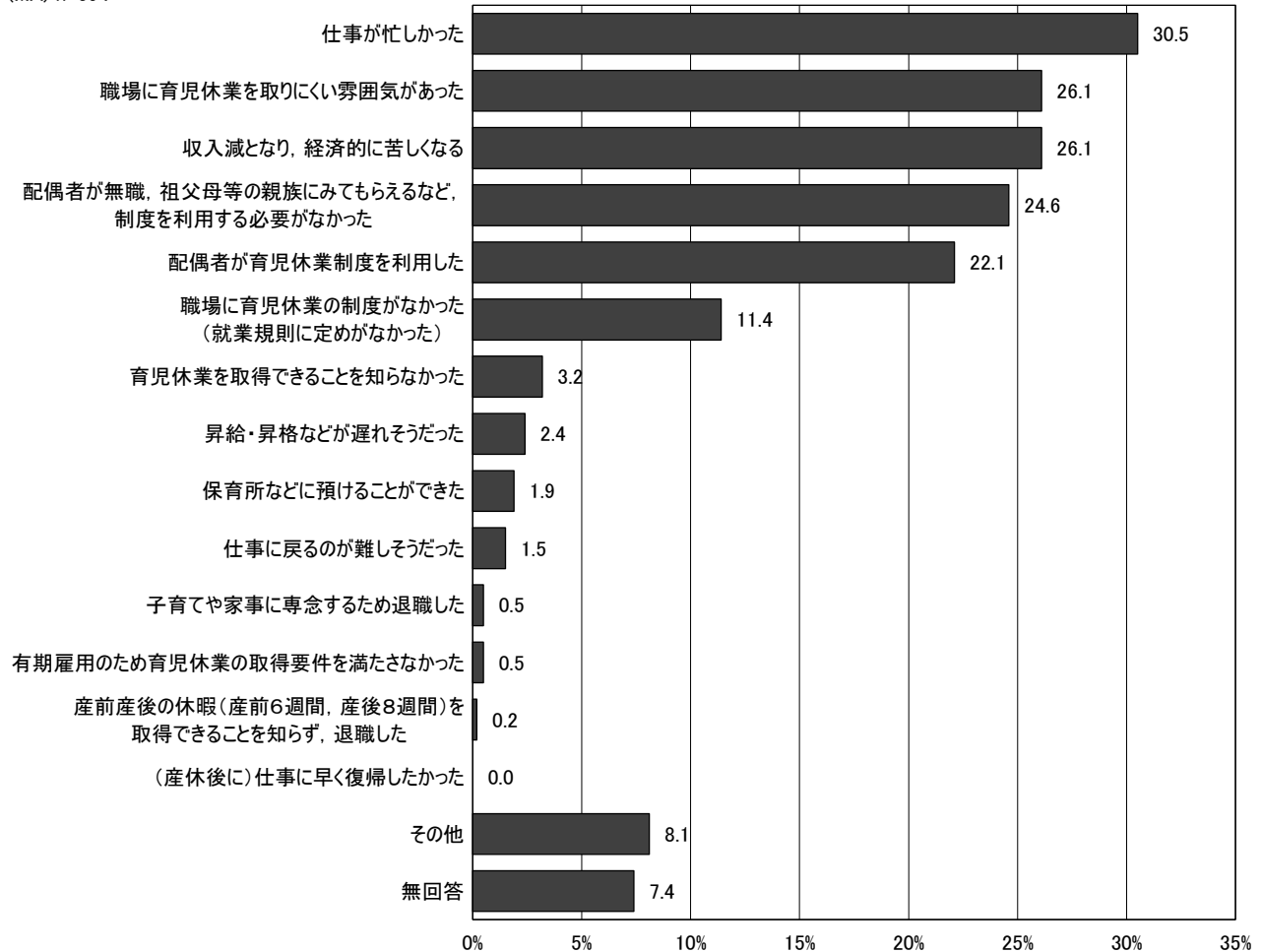
(数量) n=19



問23B 3 「取得していない」場合、その理由は何ですか。(MA)

「仕事が忙しかった」が 30.5%で最も高くなっています。次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 26.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 26.1%で続いています。

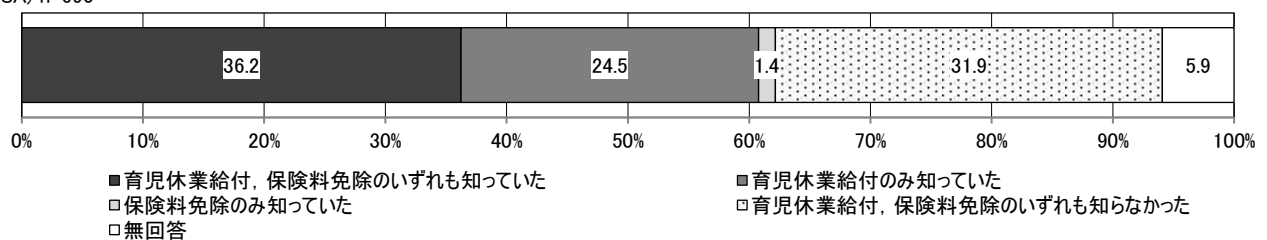
(MA) n=594



問23-1 「育児休業給付」と「保険料免除」について、下記の仕組みを知っていましたか。(SA)

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 36.2%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 31.9%、「育児休業給付のみ知っていた」が 24.5%で続いています。

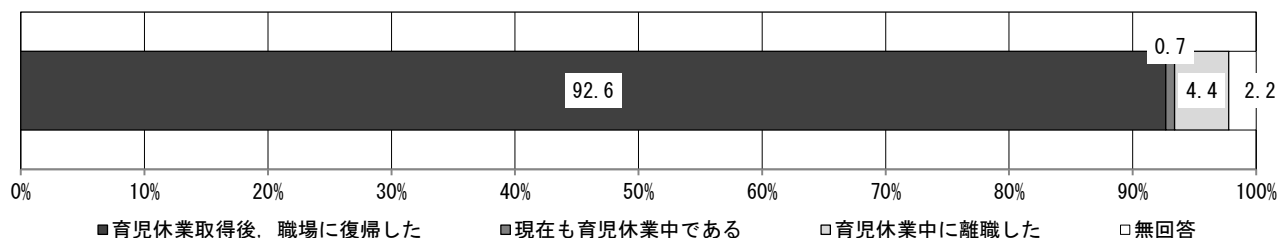
(SA) n=690



問23-2A 母親は育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(SA)

「育児休業取得後、職場に復帰した」が92.6%を占めています。

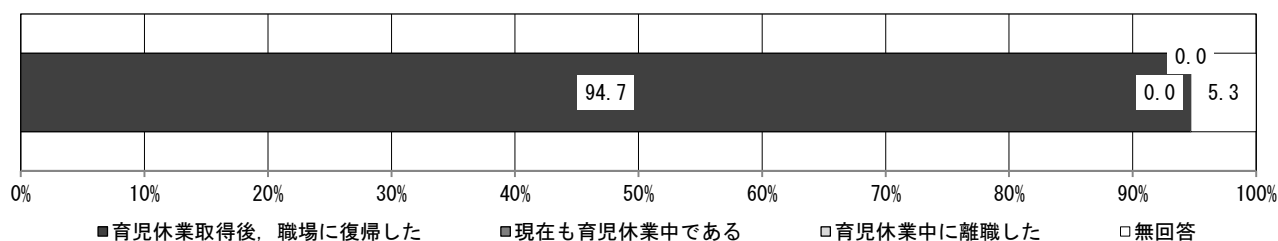
(SA) n=270



問23-2B 父親は育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(SA)

「育児休業取得後、職場に復帰した」が94.7%を占めています。

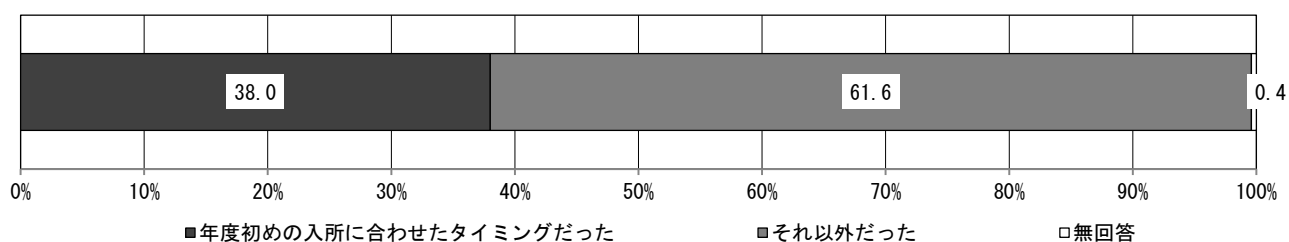
(SA) n=19



問23-3A 母親が育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。(SA)

「それ以外だった」が61.6%を占めています。

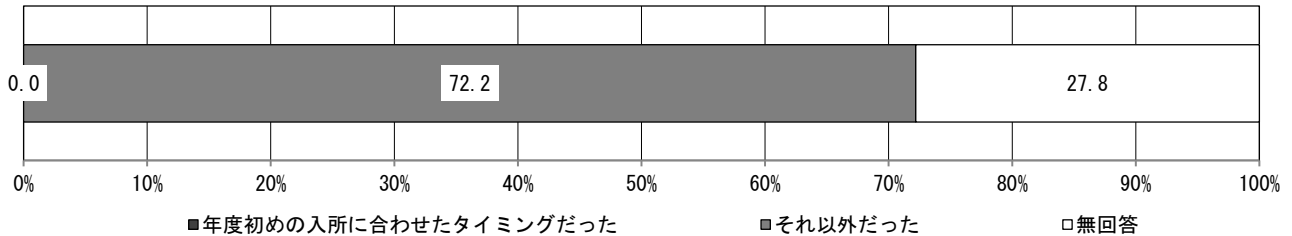
(SA) n=250



問23-3B 父親が育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。(SA)

「それ以外だった」が72.2%を占めています。

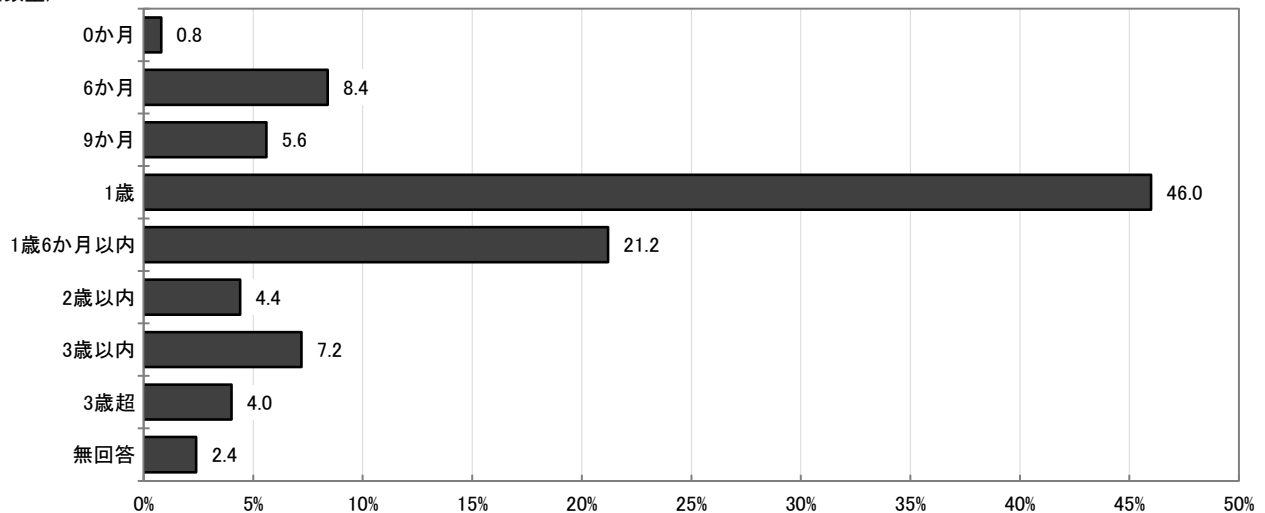
(SA) n=18



問23-4A① 母親は育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳のときに職場復帰しましたか。(数量)

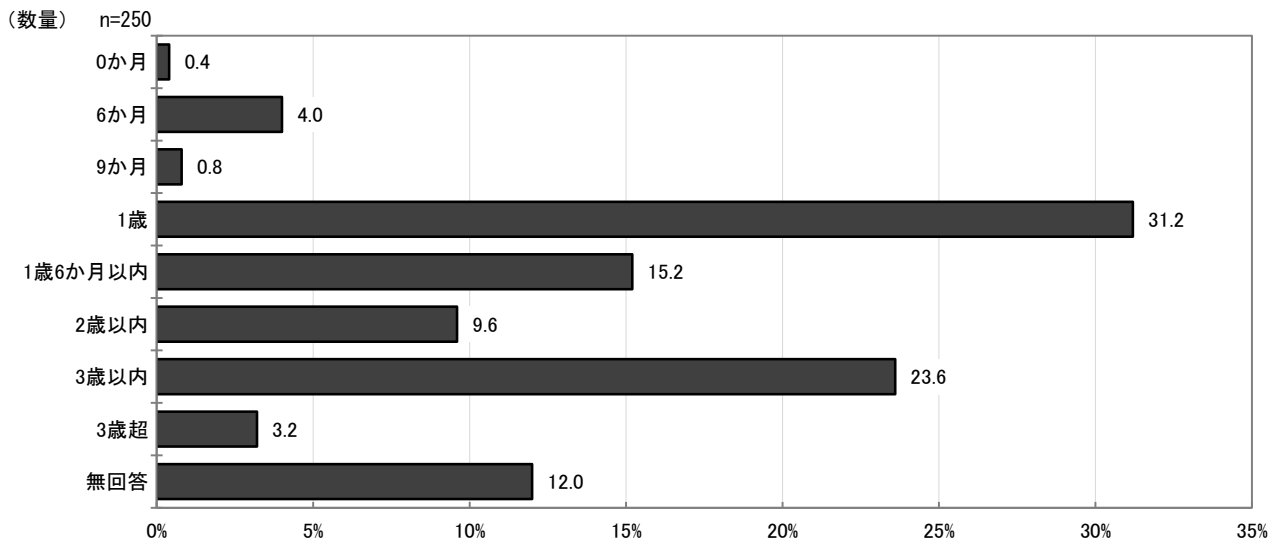
「1歳」が46.0%で突出しています。「1歳6か月以内」が21.2%が続いています。

(数量) n=250



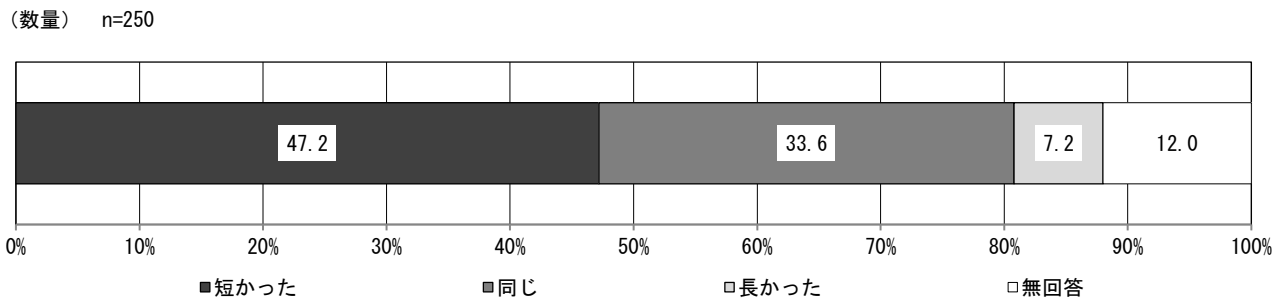
問23-4A② 母親は勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月の時(何歳を入力)まで取得したかったですか。(数量)

「1歳」が31.2%で最も高くなっています。次いで「3歳以内」が23.6%、「1歳6か月以内」が15.2%で続いています。



母親の職場復帰ずれ(実際-希望)(数量)

「希望より短かった」が47.2%で最も高くなっています。



問23-4B① 父親は育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳のときに職場復帰しましたか。
(数量)

問23-4B③ 父親は勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳の時まで取得したかったですか。
(数量)

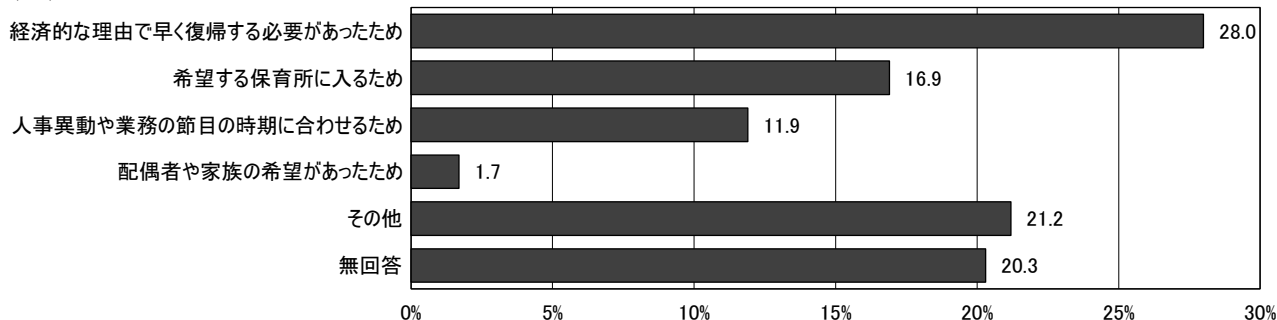
対象者 18 人のうち、回答は以下の通りです。

カテゴリ(n=18)	(実際)件数	(希望)件数
0 か月	9	7
6 か月	3	4
1 歳	1	1
無回答	5	6

問23-5A(1) 母親が「希望」より早く復帰した理由をお答えください。(MA)

「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 28.0%で最も高くなっています。次いで「その他」が 21.2%、「希望する保育所に入るため」が 16.9%が続いています。

(MA) n=118



問23-5B(1) 父親が「希望」より早く復帰した理由をお答えください。(MA)

対象者は3人で、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 1 件、「その他」が2件となっています。

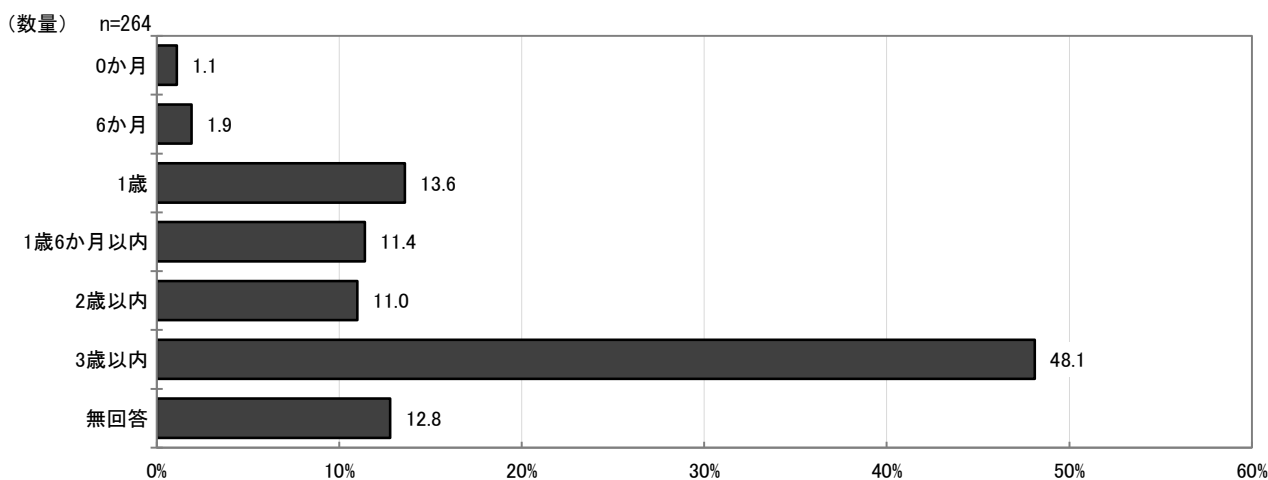
問23-5A(2) 母親が「希望」より遅く復帰した理由をお答えください。(MA)

対象者は10人で、回答は以下の通りです。

カテゴリ(n=10)	件数
希望する保育所に入れなかったため	4
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2
配偶者や家族の希望があったため	0
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0
子どもをみてくれる人がいなかったため	0
その他	1
無回答	3

問23-6 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳のときまで取りたかったですか。(数量)

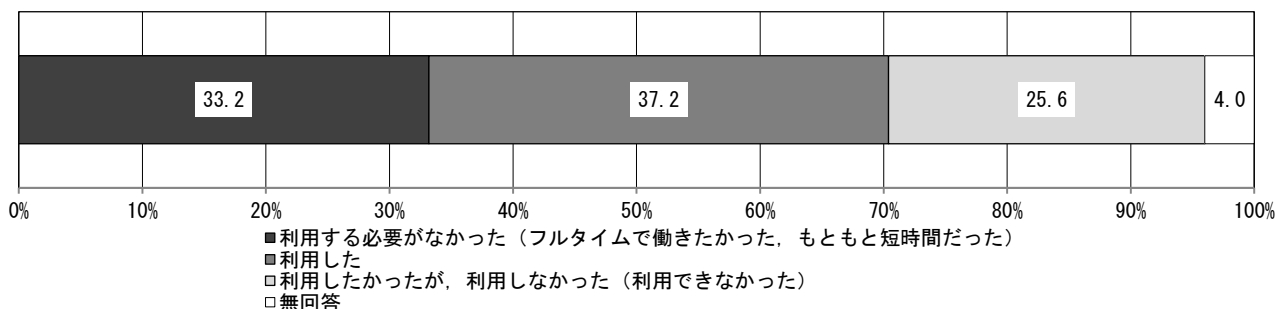
「3歳以内」が48.1%で突出しています。「1歳」が13.6%が続いています。



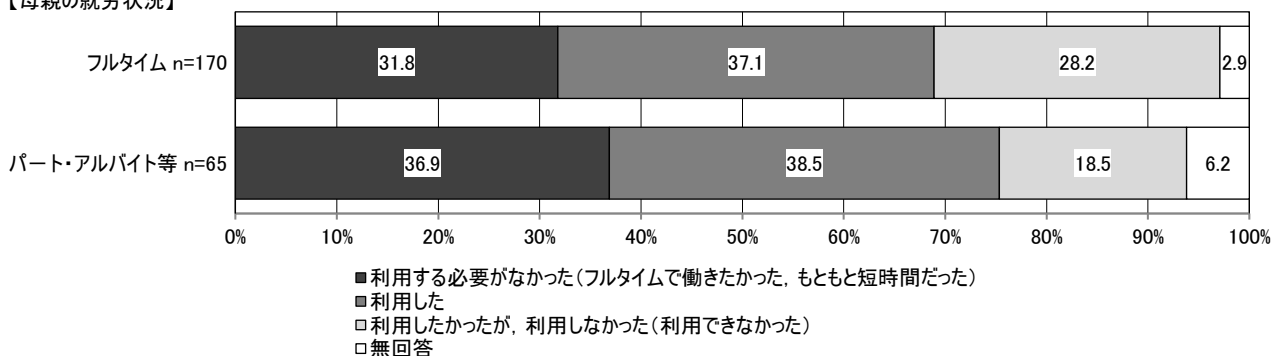
問23-7A 母親は育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(SA)

母親では、「利用した」が37.2%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が33.2%となっています。
 母親の就労状況別にみると、フルタイムで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が比較的高くなっています。

母親の回答 (SA) n=250



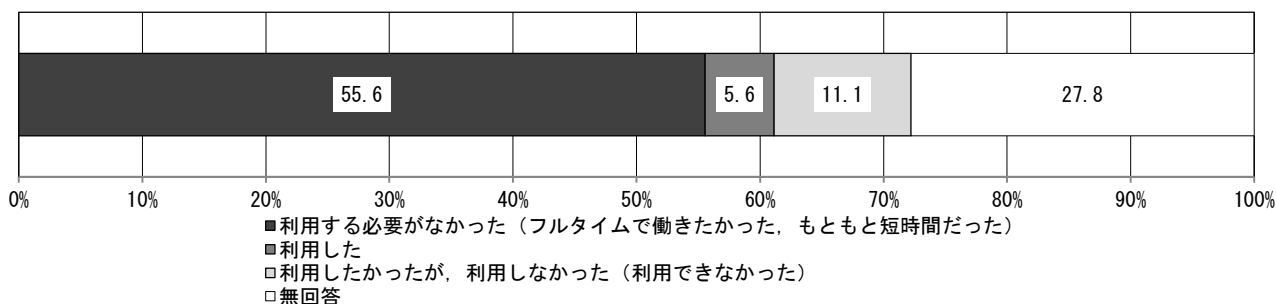
【母親の就労状況】



問23-7B 父親は育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(SA)

父親では、「利用する必要がなかった」が55.6%を占めています。

父親の回答 (SA) n=18

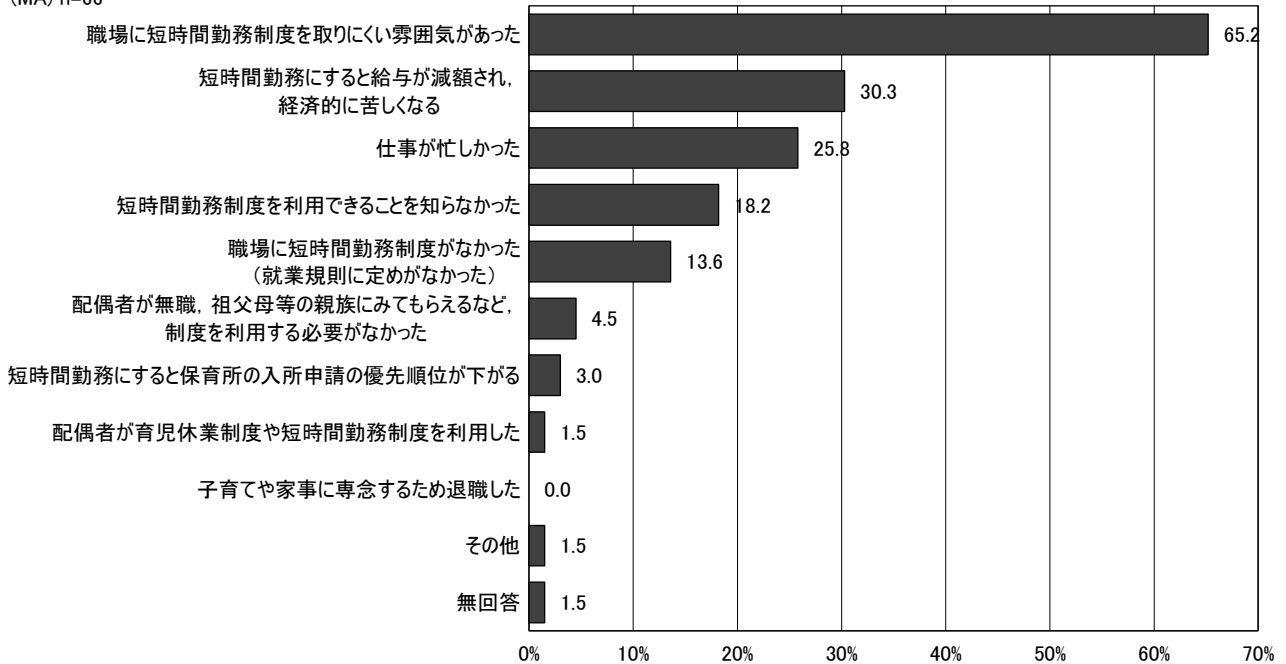


問23-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由をお答えください。(MA)

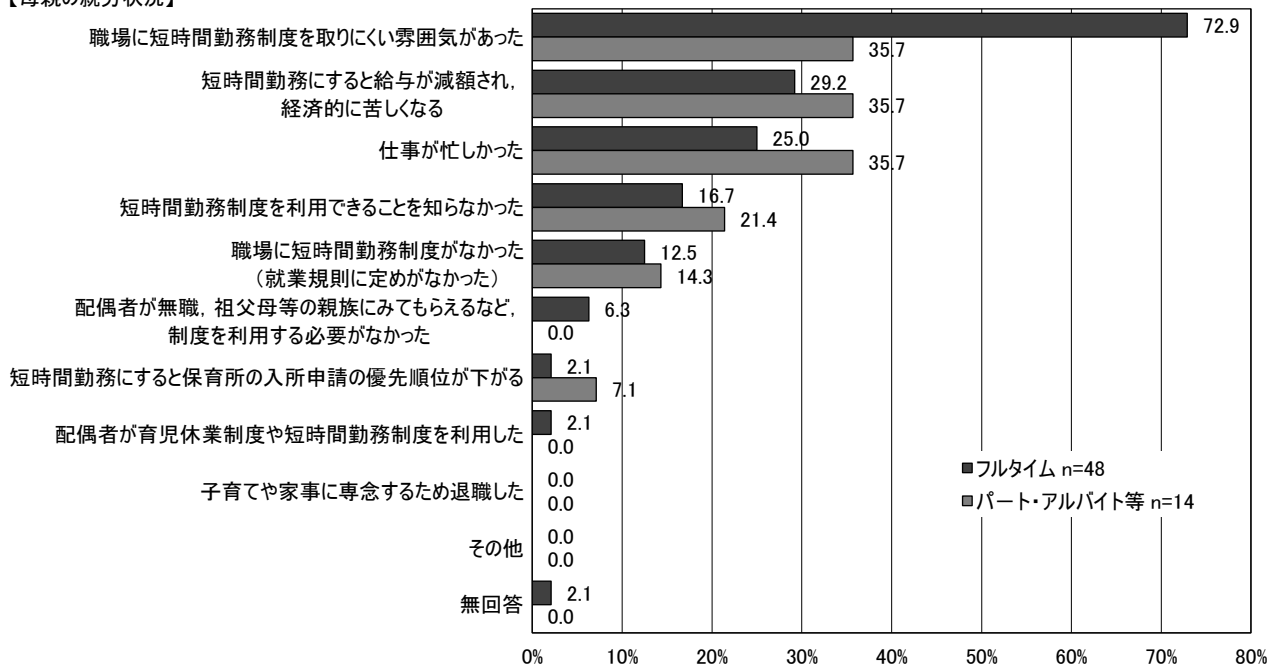
「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が65.2%で突出しています。「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が30.3%、「仕事が忙しかった」が25.8%で続いています。

母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が特に高くなっています。

(MA) n=66



【母親の就労状況】

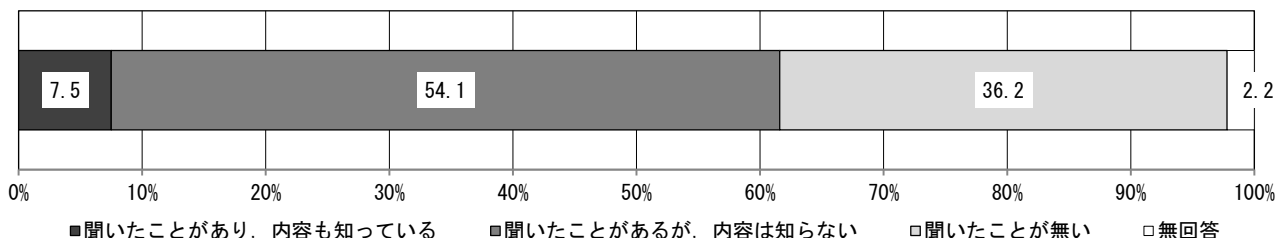


子育て全般について

問24 あなたは、笠岡市子ども条例のことを知っていますか。(SA)

「聞いたことがあるが、内容は知らない」が54.1%を占めています。

(SA) n=690

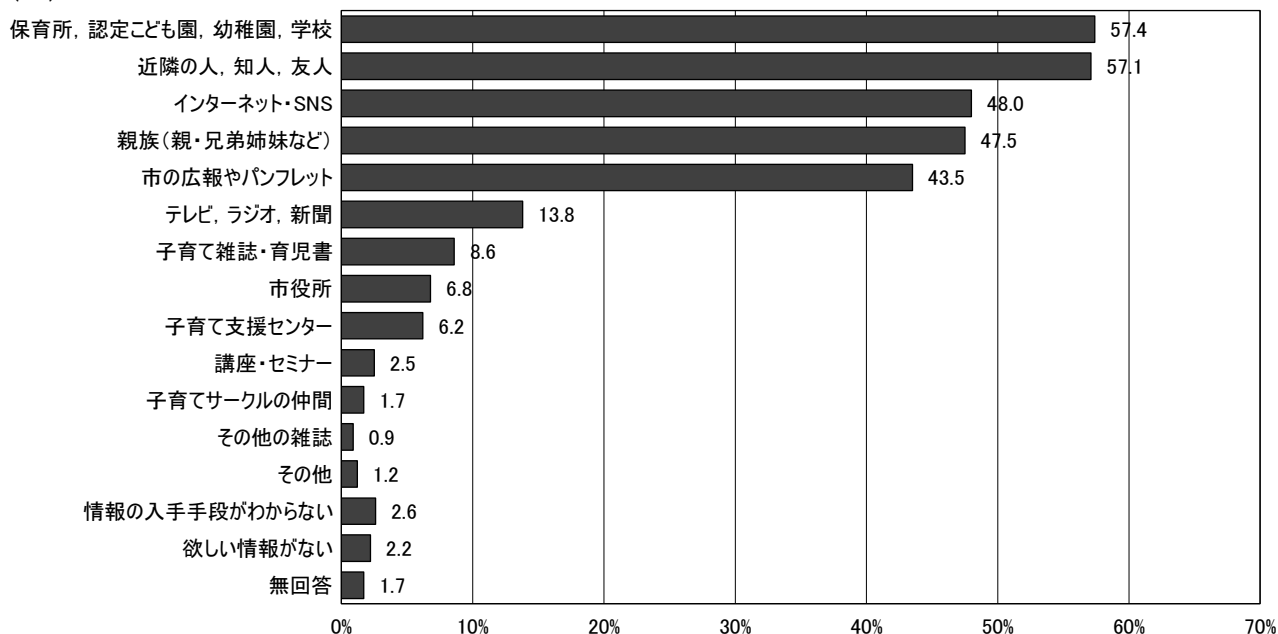


問25 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(MA)

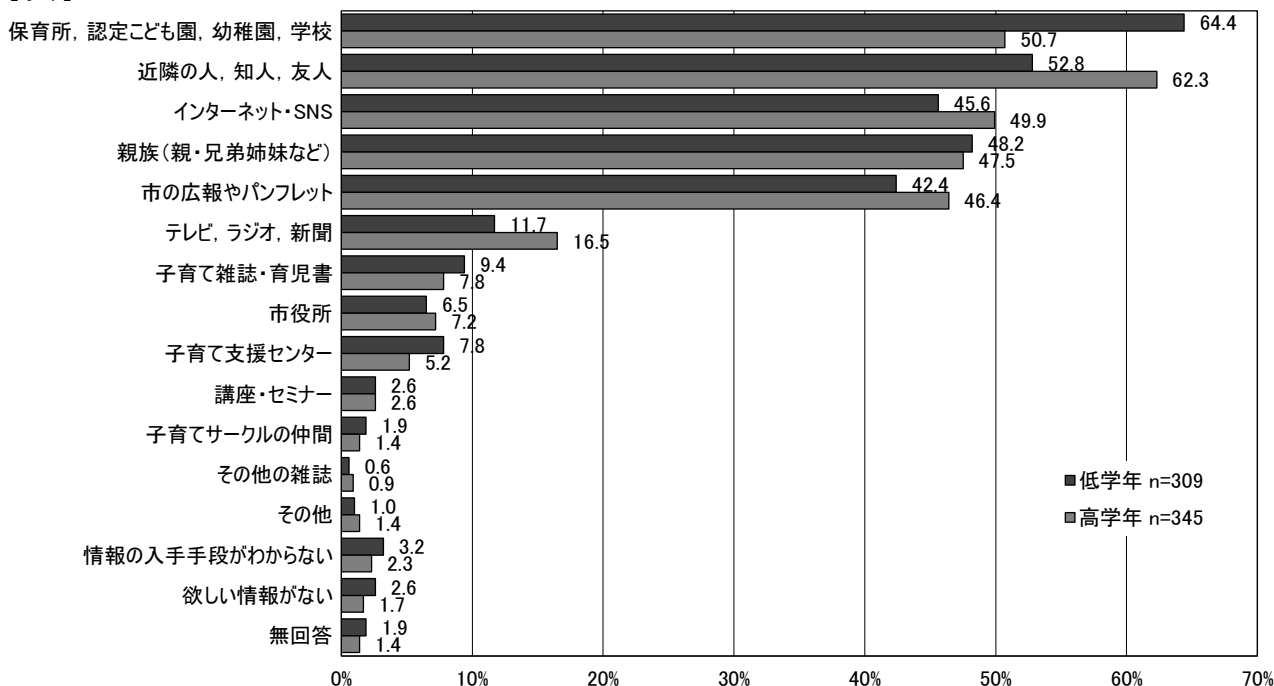
「保育所、認定こども園、幼稚園、学校」が57.4%で最も高くなっています。次いで「近隣の人、知人、友人」が57.1%、「インターネット・SNS」が48.0%が続いています。

学年別にみると、低学年では「保育所、認定こども園、幼稚園、学校」が比較的高く、高学年では「近隣の人、知人、友人」が比較的高くなっています。

(MA) n=690



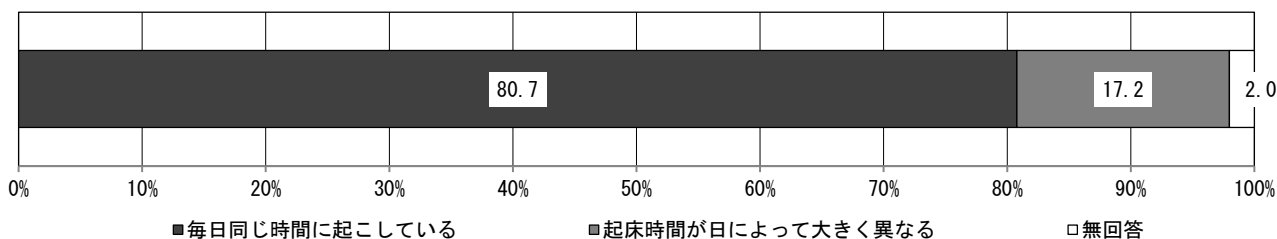
【学年】



問26① 子どもの起床の様子を教えてください。(SA)

「毎日同じ時間に起こしている」が 80.7%を占めています。

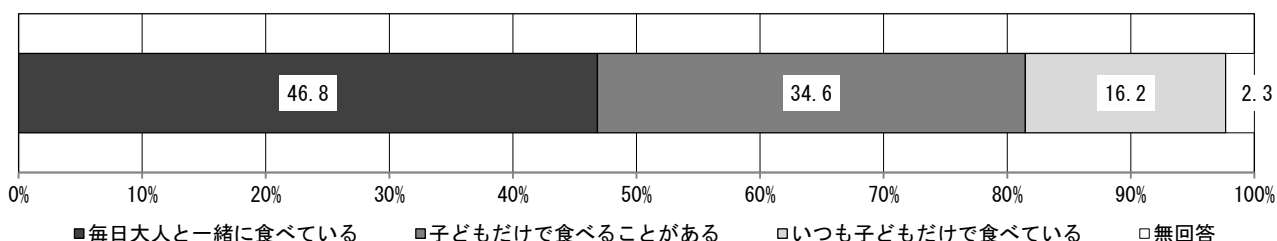
(SA) n=690



問26② 子どもの朝食(共食)の様子を教えてください。(SA)

「毎日大人と一緒に食べている」が 46.8%で最も高く、次いで「子どもだけで食べることがある」が 34.6%となっています。

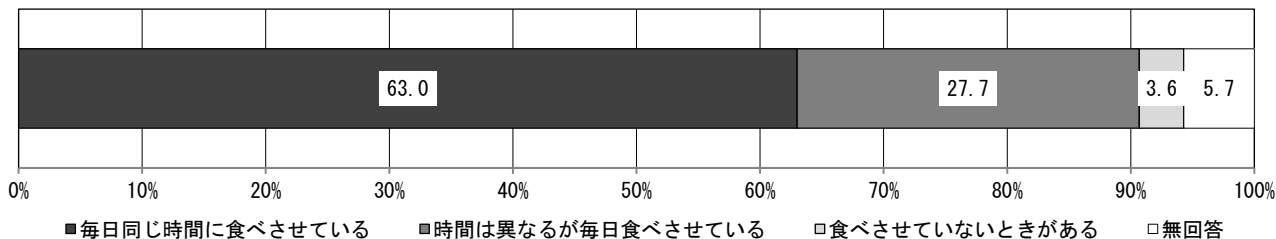
(SA) n=690



問26③ 子どもの朝食(時間)の様子を教えてください。(SA)

「毎日同じ時間に食べさせている」が63.0%を占めています。

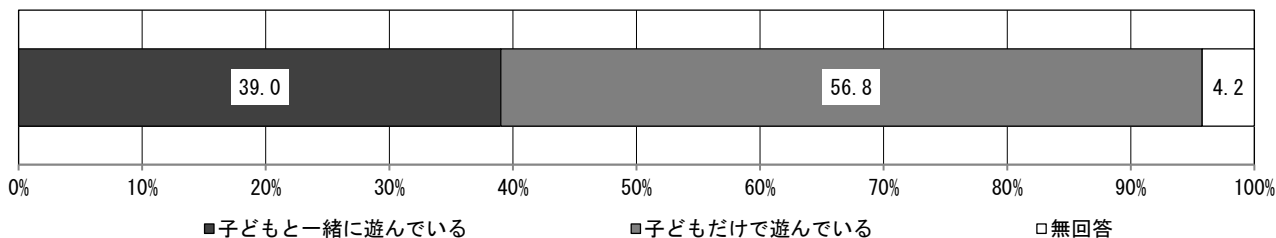
(SA) n=690



問26④ 子どもの遊びの様子を教えてください。(SA)

「子どもだけで遊んでいる」が56.8%を占めています。

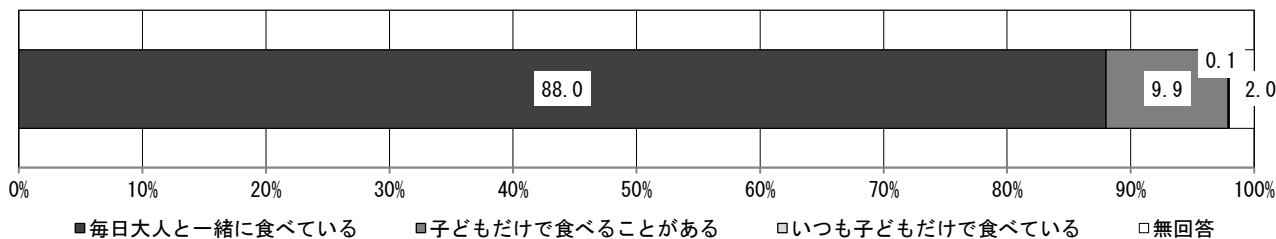
(SA) n=690



問26⑤ 子どもの夕食(共食)の様子を教えてください。(SA)

「毎日大人と一緒に食べている」が88.0%を占めています。

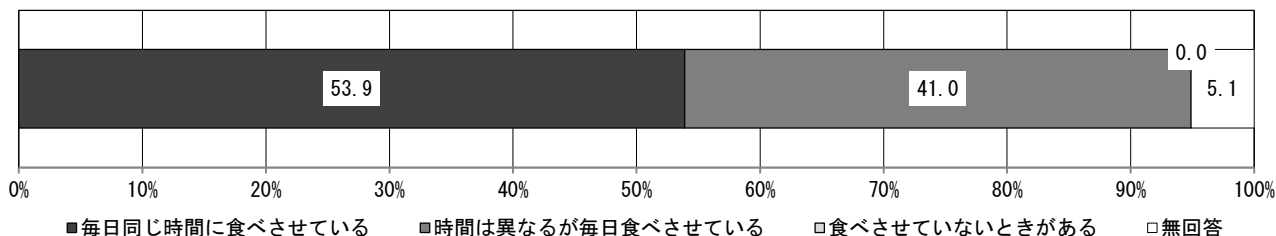
(SA) n=690



問26⑥ 子どもの夕食(時間)の様子を教えてください。(SA)

「毎日同じ時間に食べさせている」が 53.9%を占めています。

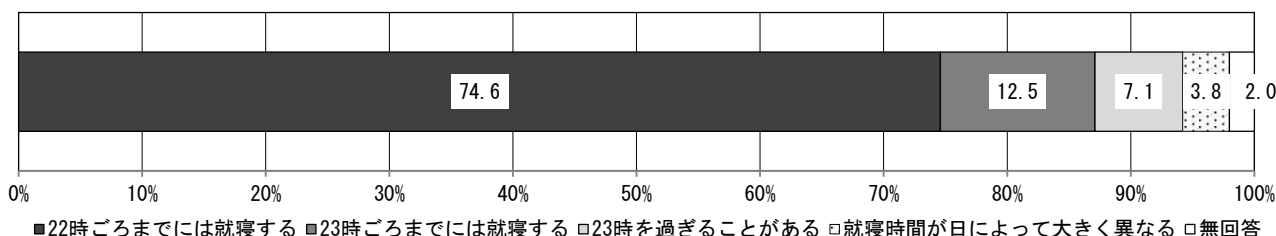
(SA) n=690



問26⑦ 子どもの就寝の様子を教えてください。(SA)

「22時ごろまでには就寝する」が 74.6%を占めています。

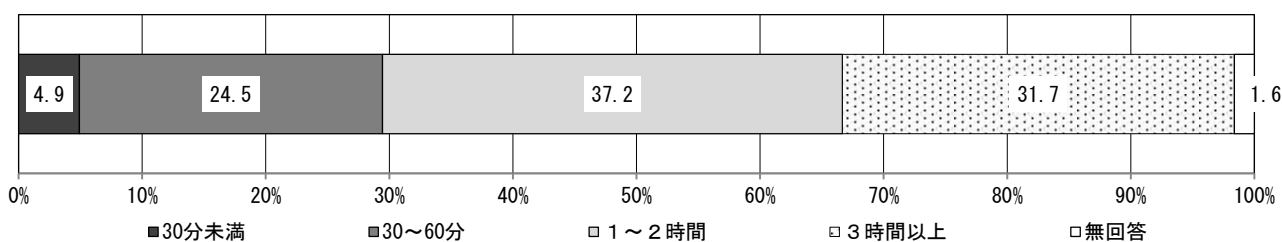
(SA) n=690



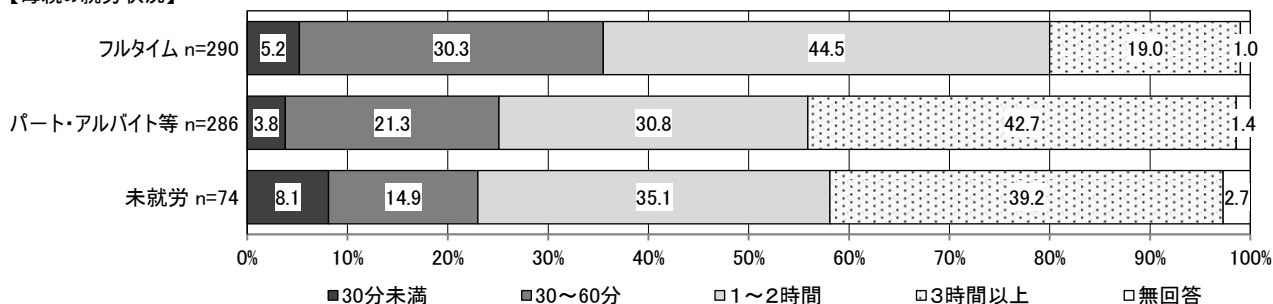
問27 平日に子どもと対話したり触れ合ったりできる時間は1日平均どの程度ありますか。(SA)

「1～2時間」が37.2%で最も高く、次いで「3時間以上」が31.7%、「30～60分」が24.5%が続いています。母親の就労状況別にみると、フルタイムで比較的時間が短い傾向がみられます。

(SA) n=690



【母親の就労状況】

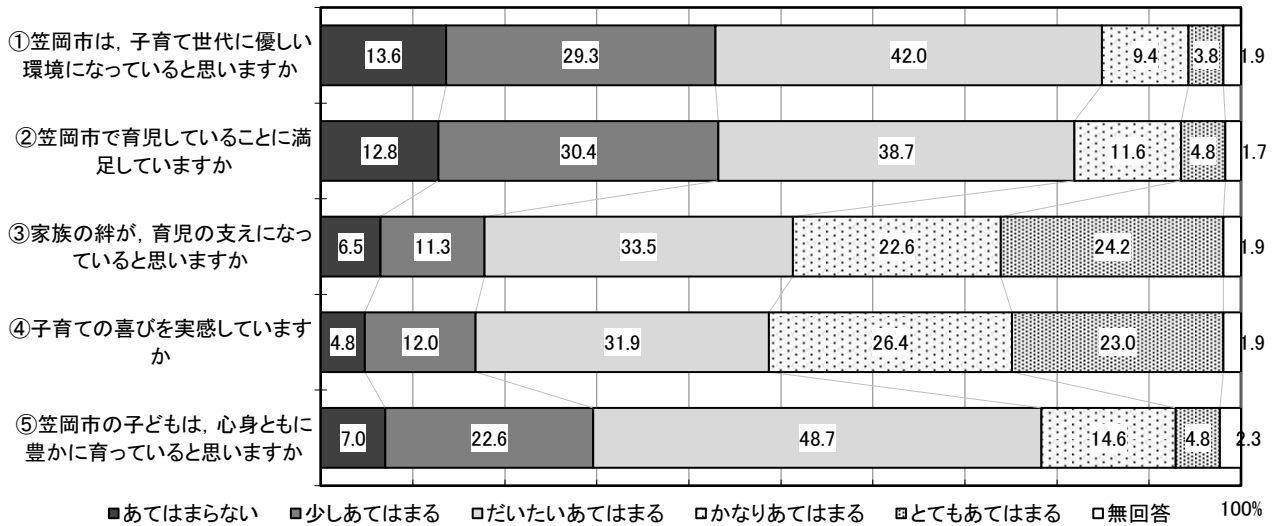


問28 あなたが笠岡市で子育てしていることに関連して、以下の項目についてお答えください。(各SA)

「①子育て世代に優しい環境だと思えますか」「②育児していることに満足していますか」では「あてはまらない」が10%を超えています。

「③家族の絆が 育児の支えになっていると思えますか」「④子育ての喜びを実感していますか」では「かなりあてはまる」「とてもあてはまる」が合わせて46%を超えています。

n=690

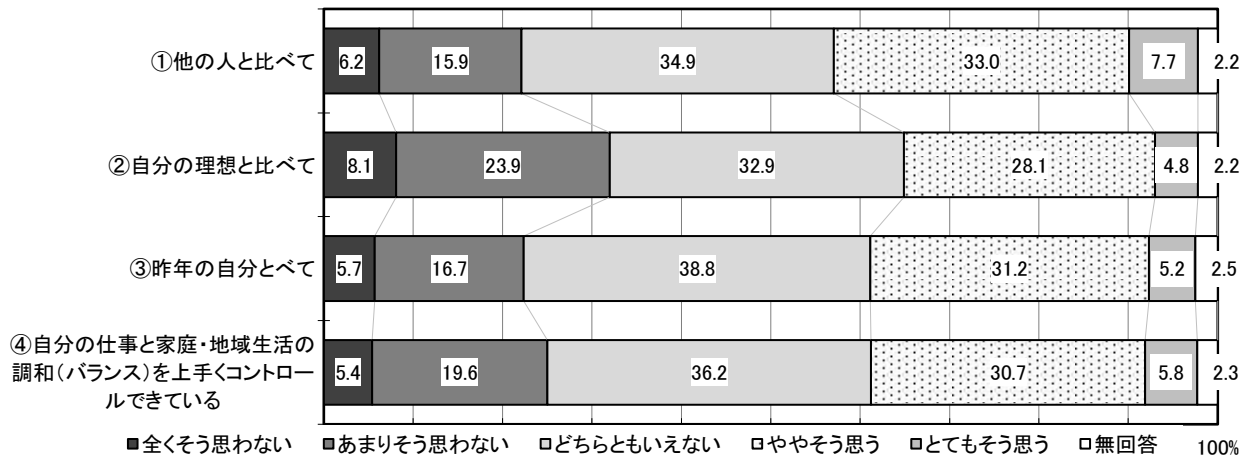


問29 あなたご自身の仕事と家庭生活および地域生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の程度について、仕事と家庭生活・地域生活の調和(バランス)は上手くとれているほうだと思えますか。(SA)

いずれとの比較においても、「どちらともいえない」が30%を超えています。

「②自分の理想と比べて」では「そう思わない」の合計が32.0%となっています。

n=690

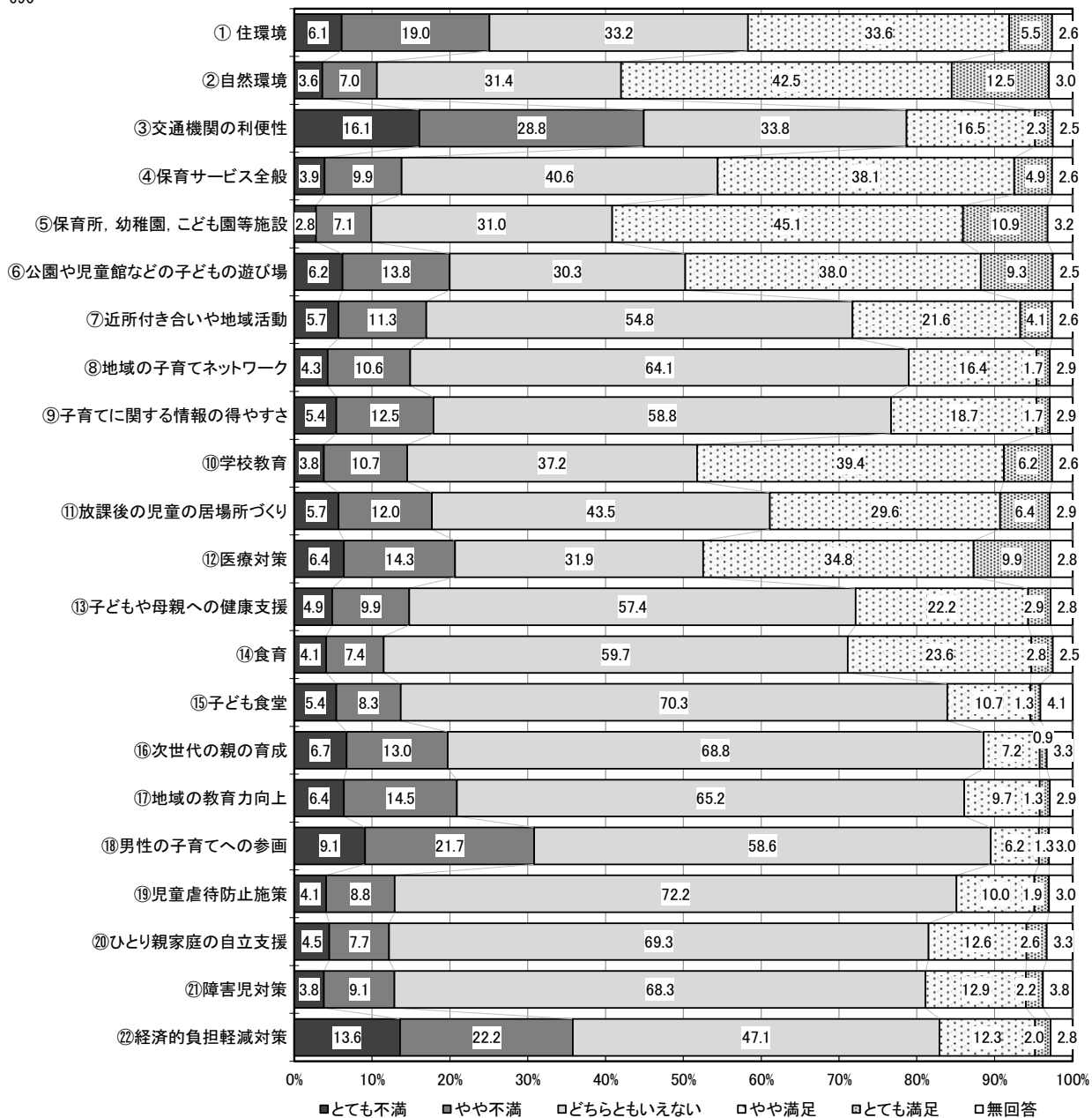


問30① 笠岡市の子育て環境や子育て支援施策についての満足度をお答えください。(SA)

「③交通機関の利便性」で特に不満が高くなっています。また、「⑫経済的負担軽減策」「⑱男性の子育てへの参画」「①住環境」においても不満が高い傾向となっています。

一方、「②自然環境」や、「④⑤⑥の子ども・子育てサービス関連」、「⑩学校教育」「⑪放課後の居場所づくり」「⑫医療対策」などは、満足度が比較的高い項目となっています。

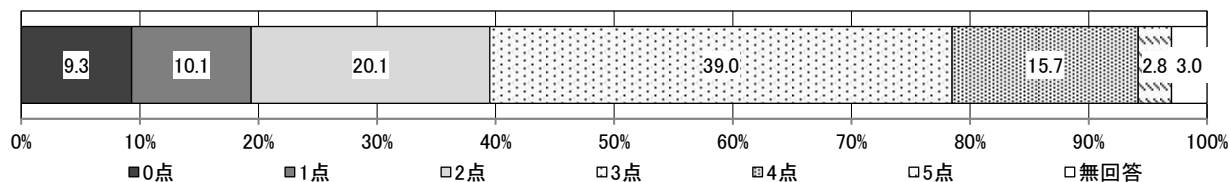
n=690



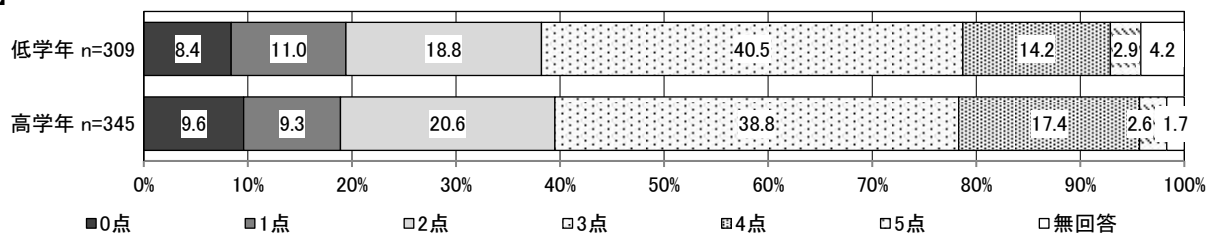
問31 あなたは、市外に住む人に対して、笠岡市の子育て環境を薦めたいと思いますか。点数をお答えください。(数量)

「3点」が39.0%で最も高くなっています。「2点」が20.1%、「4点」が15.7%が続いています。
 学年別にみると、高学年で「4点」が比較的高くなっています。
 経済状況別にみると、中央値の2分の1未満で比較的点数が低くなっています。

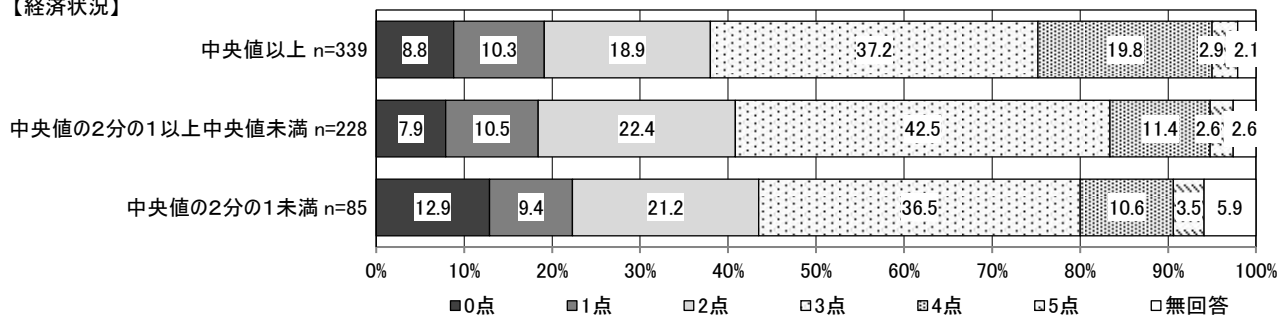
(SA) n=690



【学年】



【経済状況】

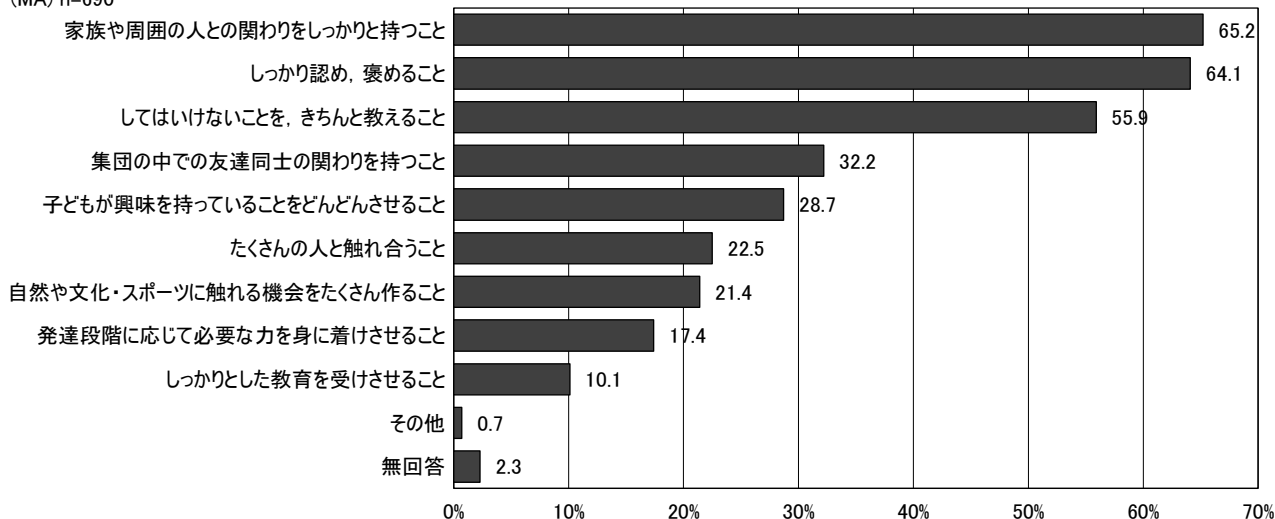


問32 子育てをしていく上で大切だと思うことはなんですか。(MA)

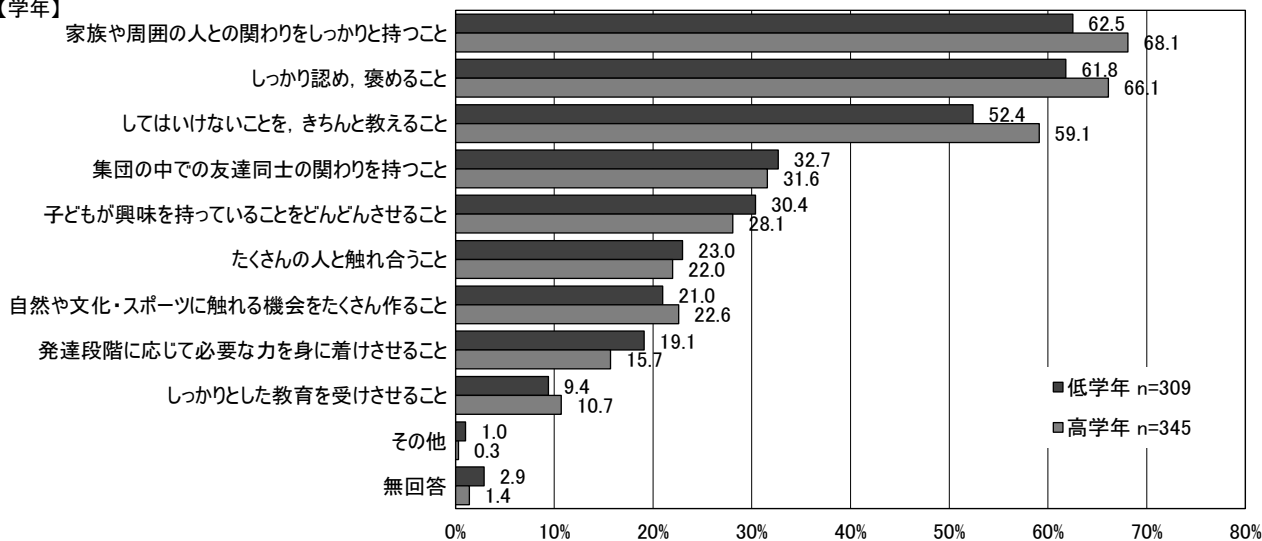
「家族や周囲の人との関わりをしっかりと持つこと」が 65.2%で最も高くなっています。次いで「しっかり認め、褒めること」が 64.1%、「してはいけないことを、きちんと教えること」が 55.9%で続いています。

学年別にみると、学年による大きな違いはみられません。

(MA) n=690



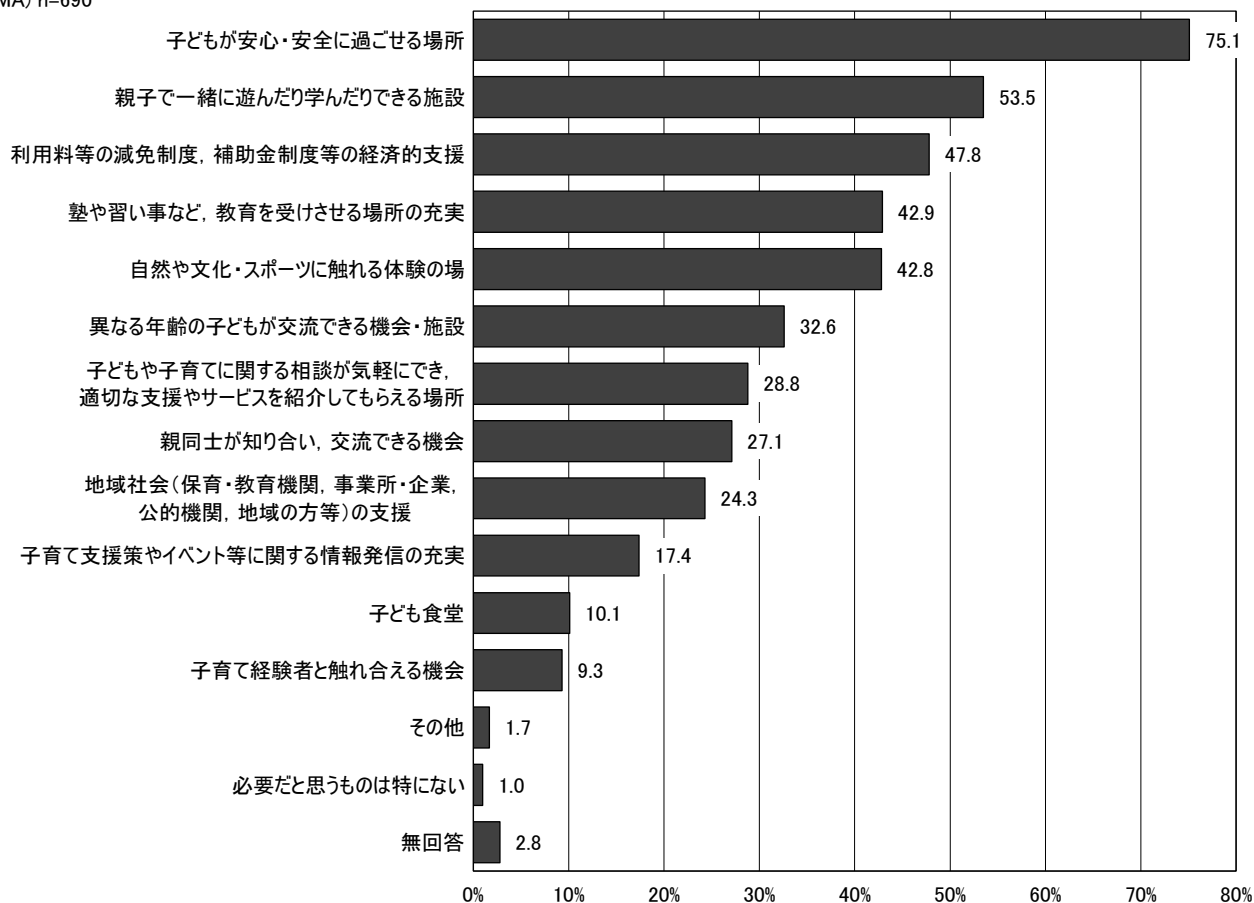
【学年】



問33 子育てしやすい環境を整えるために必要だと思うことはなんですか。(MA)

「子どもが安心・安全に過ごせる場所」が75.1%で最も高くなっています。次いで「親子で一緒に遊んだり学んだりできる施設」が53.5%、「利用料等の減免制度、補助金制度等の経済的支援」が47.8%が続いています。

(MA) n=690

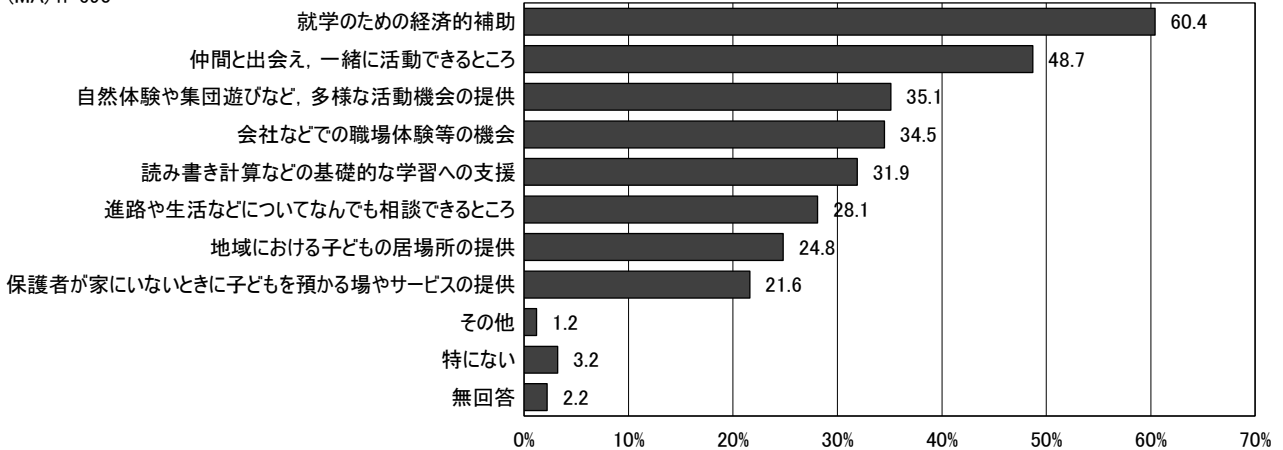


問34 この調査票を持ち帰ったお子さんにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。(MA)

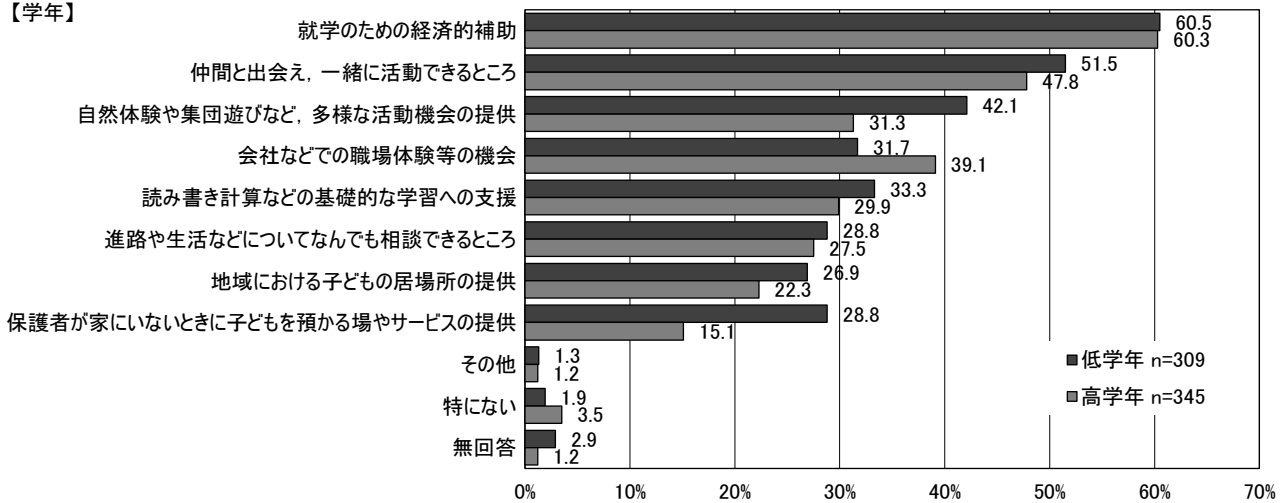
「就学のための経済的補助」が 60.4%で最も高くなっています。次いで「仲間と出会い、一緒に活動できる場所」が 48.7%、「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」が 35.1%で続いています。

学年別にみると、低学年では「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」が比較的高く、高学年では「会社などでの職場体験等の機会」が比較的高くなっています。

(MA) n=690



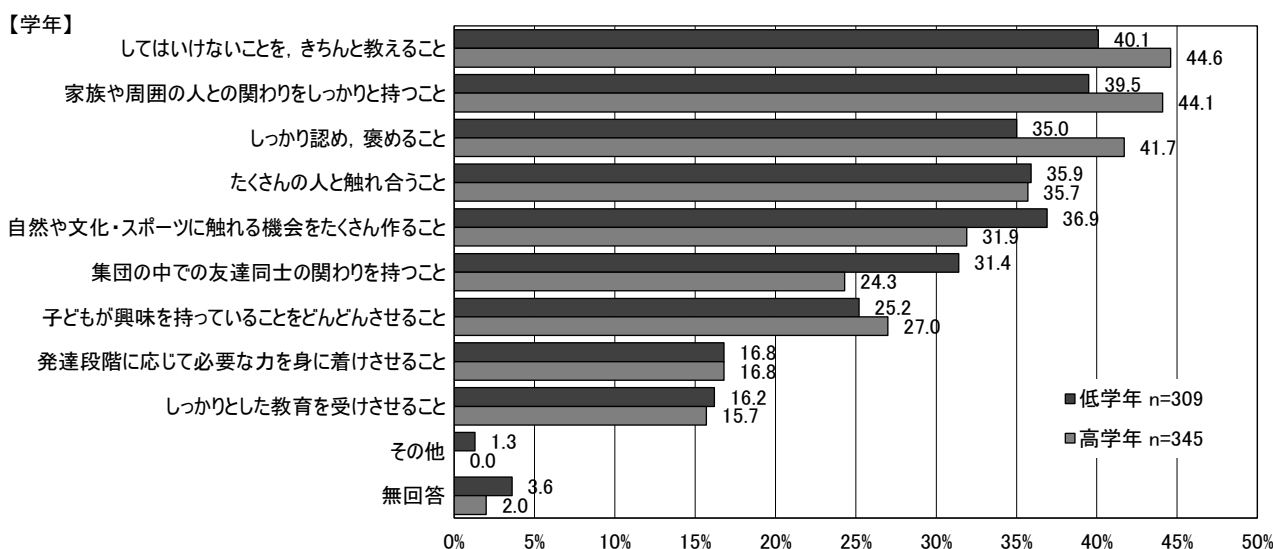
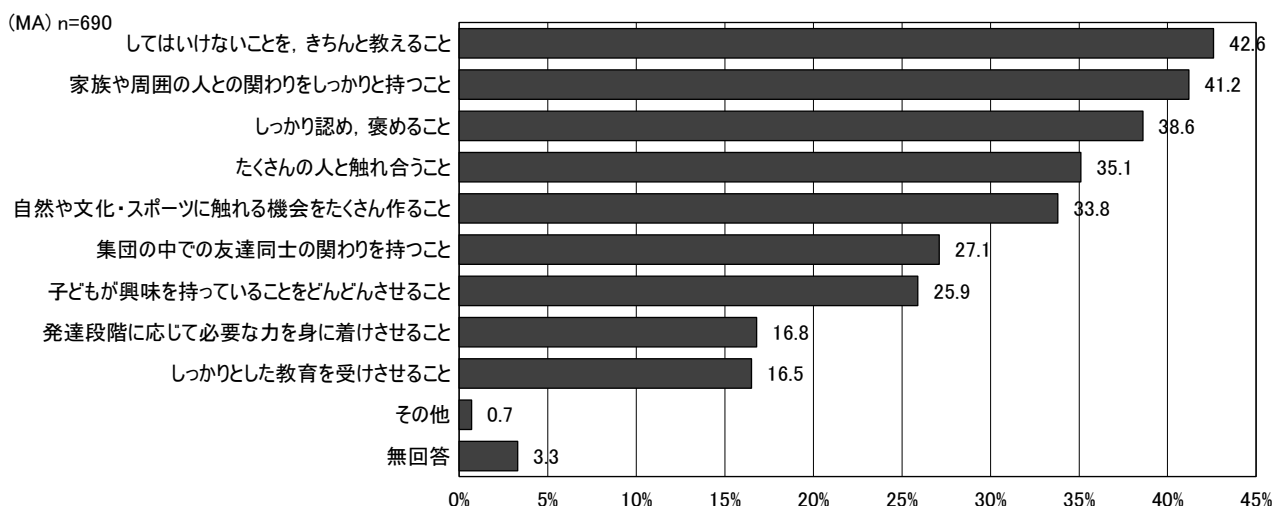
【学年】



問35(1) 地域社会の役割として、あなたが重要と考えているもの(MA)

「してはいけないことを、きちんと教えること」が 42.6%で最も高くなっています。次いで「家族や周囲の人との関わりをしっかりと持つこと」が 41.2%、「しっかり認め、褒めること」が 38.6%で続いています。

学年別にみると、低学年では「自然や文化・スポーツに触れる機会をたくさん作ること」「集団の中での友達同士の関わりを持つこと」が比較的高くなっています。

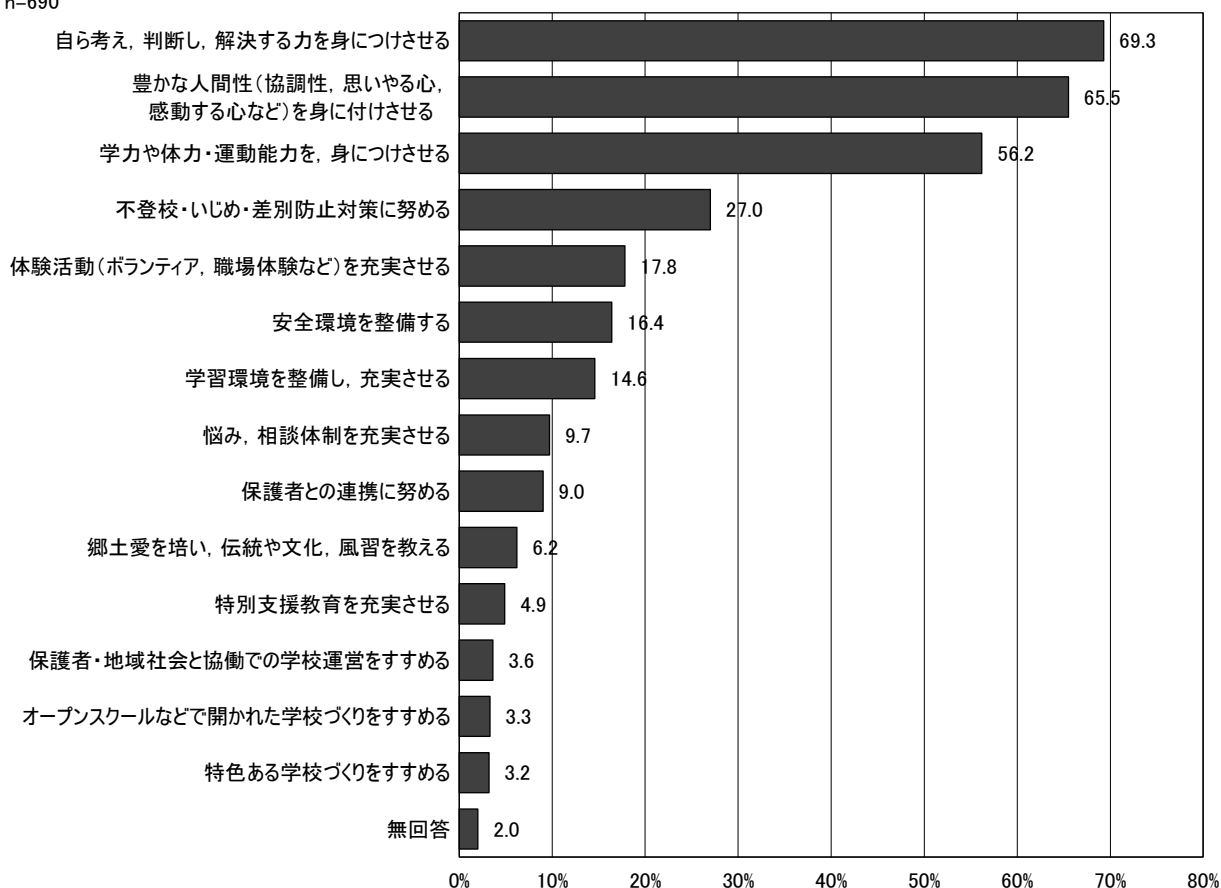


問35(2) 保育・教育機関の役割として、あなたが重要と考えているもの(MA)

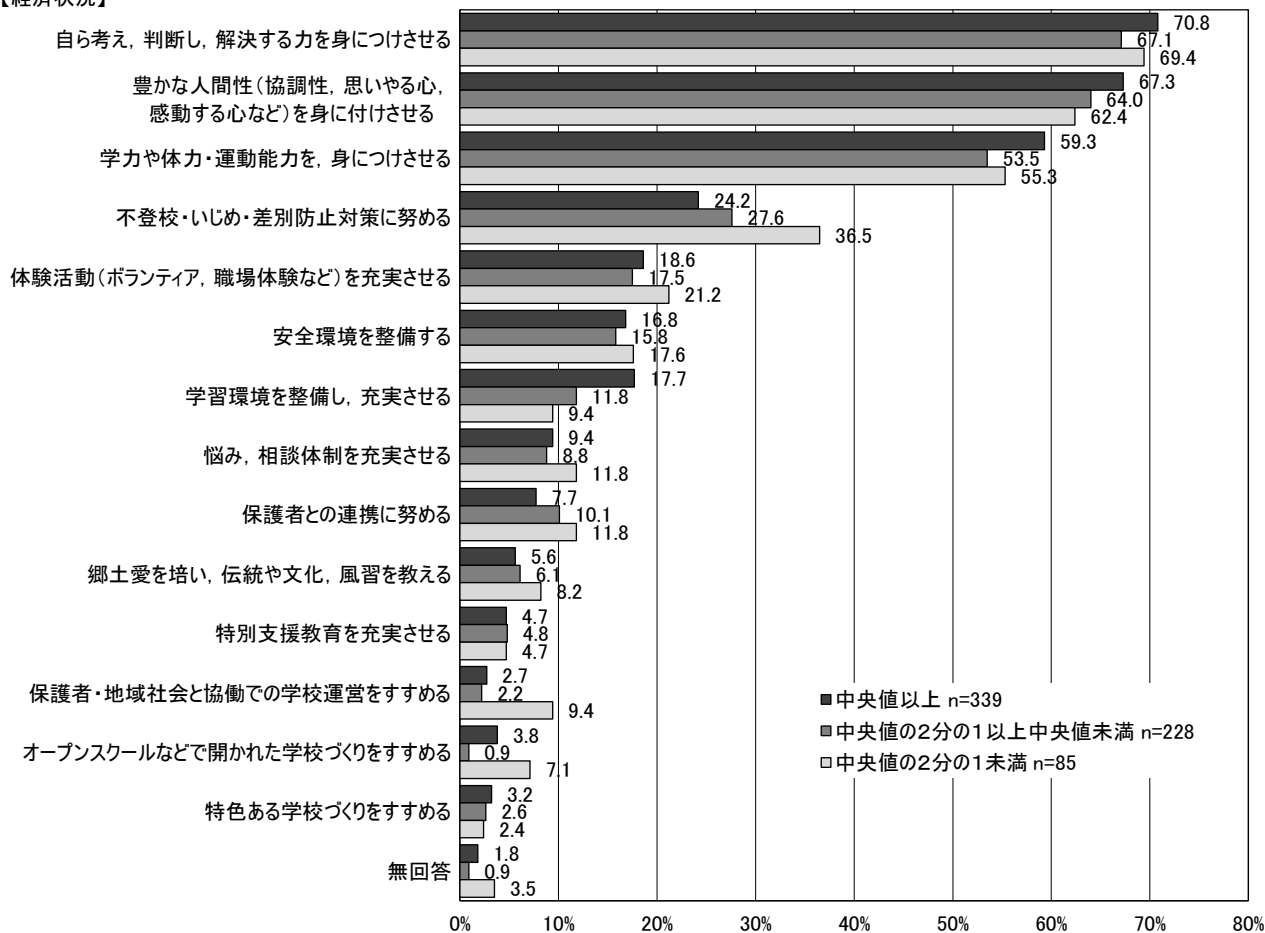
「自ら考え、判断し、解決する力を身につけさせる」が 69.3%で最も高くなっています。次いで「豊かな人間性(協調性, 思いやる心, 感動する心など)を身に付けさせる」が 65.5%, 「学力や体力・運動能力を, 身につけさせる」が 56.2%で続いています。

経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど「不登校・いじめ・差別防止対策に努める」が高くなる傾向がみられます。

(MA) n=690



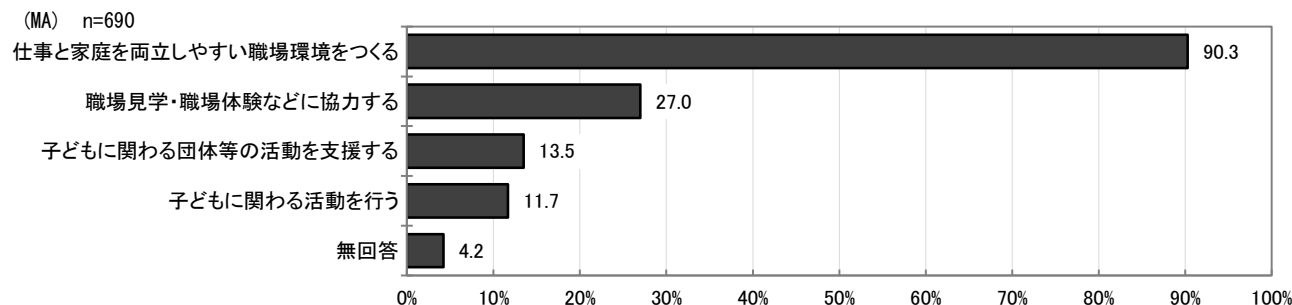
【経済状況】



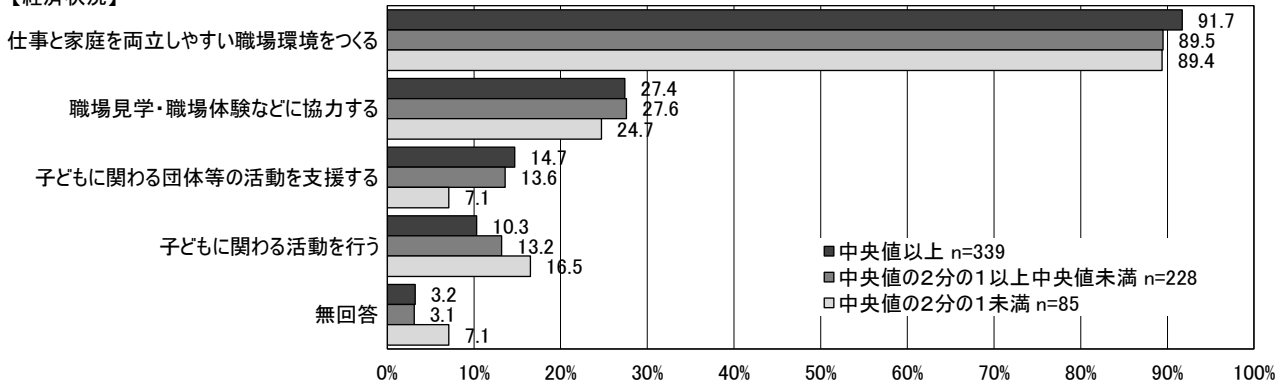
問35(3) 事業所・企業の役割として、あなたが重要と考えているもの(MA)

「仕事と家庭を両立しやすい職場環境をつくる」が 90.3%で突出しています。「職場見学・職場体験などに協力する」が 27.0%、「子どもに関わる団体等の活動を支援する」が 13.5%で続いています。

経済状況別にみると、経済状況が厳しいほど「子どもに関わる団体等の活動を支援する」が低く、「子どもに関わる活動を行う」が高くなる傾向がみられます。



【経済状況】



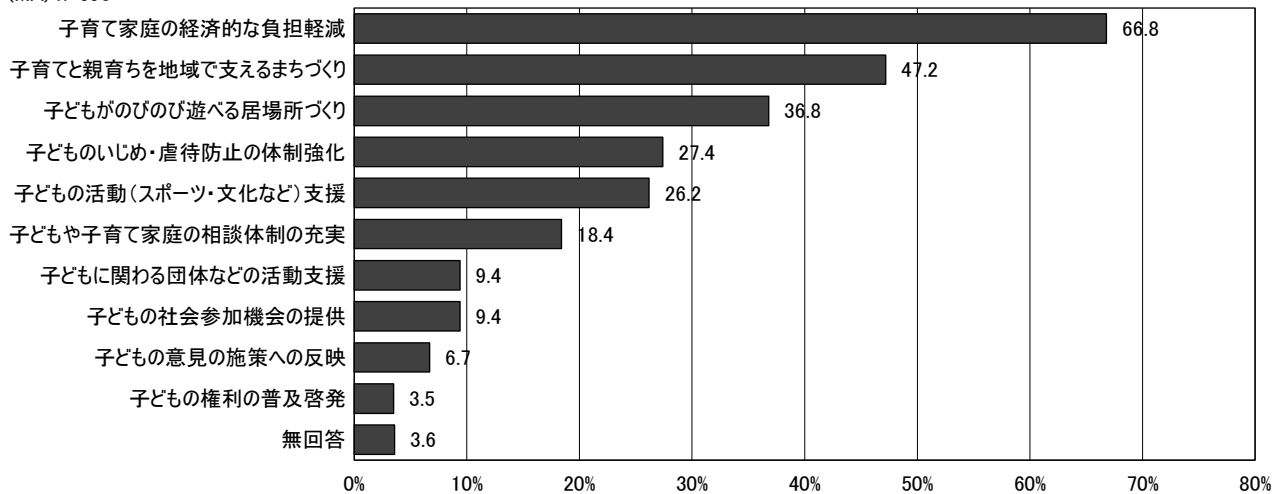
問35(4) 市役所の役割として、あなたが重要と考えているもの(MA)

「子育て家庭の経済的な負担軽減」が 66.8%で最も高くなっています。次いで「子育てと親育ちを地域で支えるまちづくり」が 47.2%、「子どもがのびのび遊べる居場所づくり」が 36.8%で続いています。

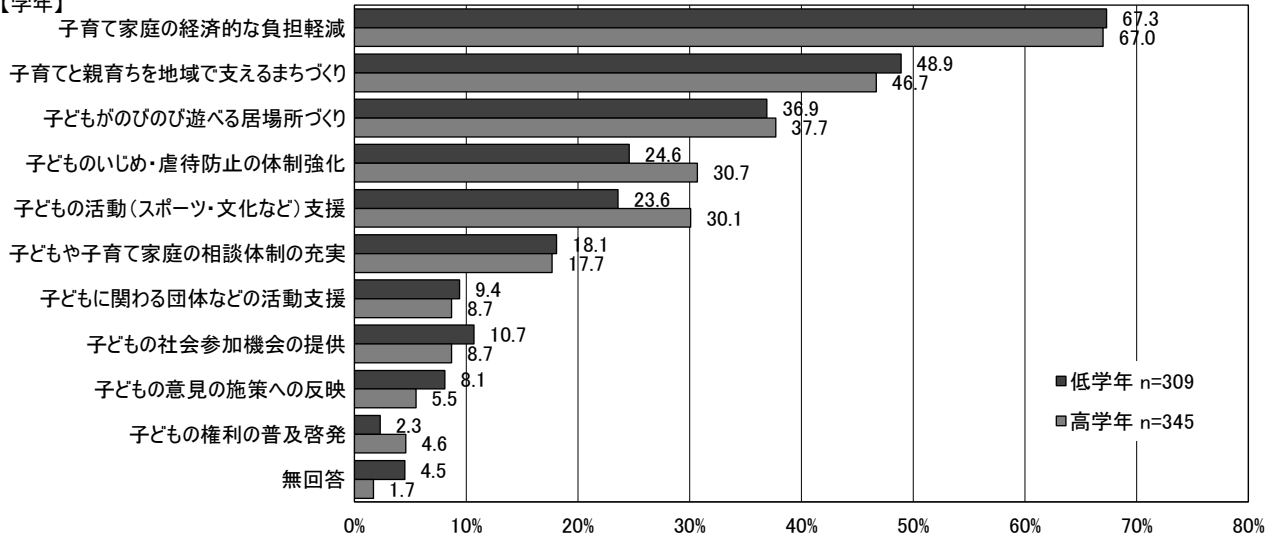
学年別にみると、高学年で「子どものいじめ・虐待防止の体制強化」「子どもの活動(スポーツ・文化など)支援」が比較的高くなっています。

経済状況別にみると、中央値の2分の1未満では「子どものいじめ・虐待防止の体制強化」が比較的高くなっています。

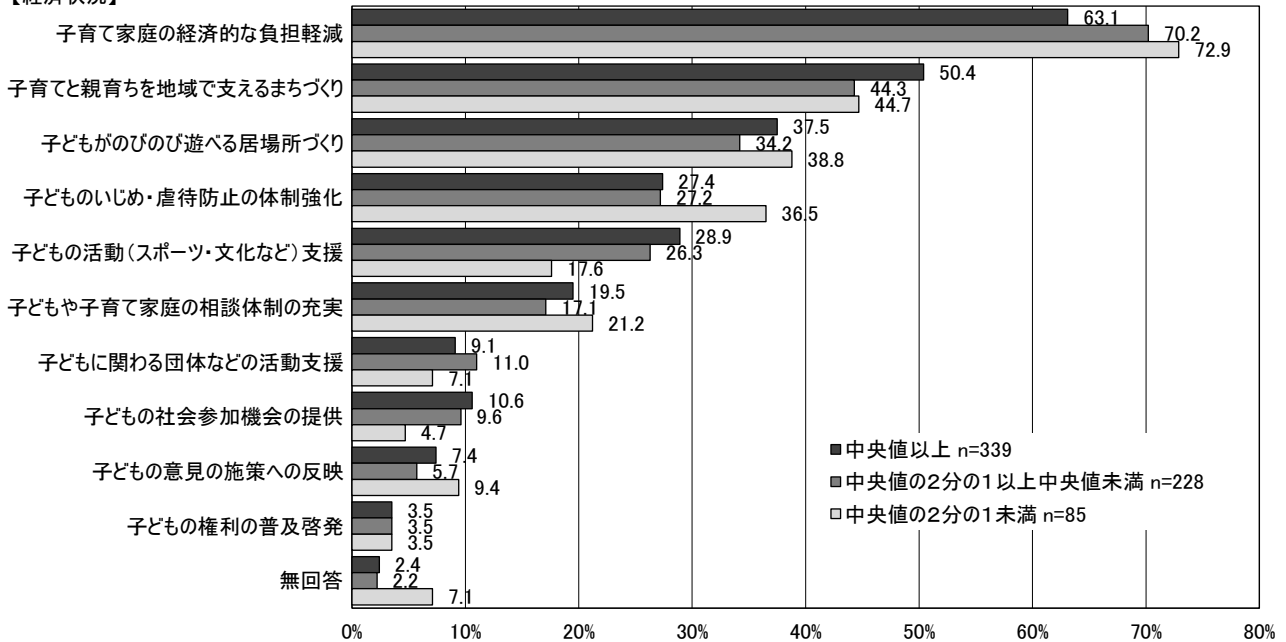
(MA) n=690



【学年】



【経済状況】



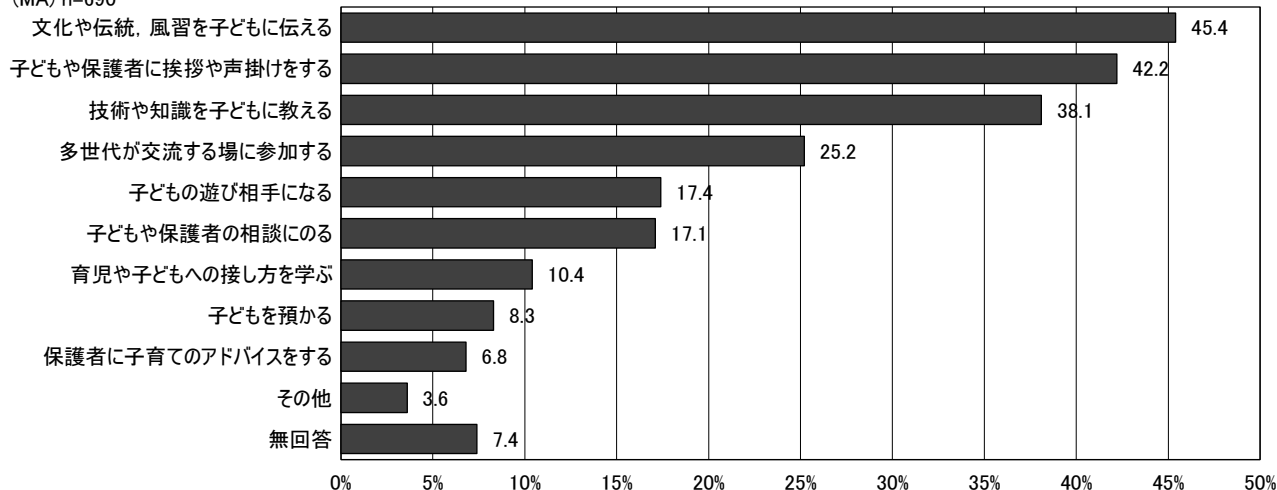
問36 子ども・子育てに関して、地域にどのように助けたいですか。(MA)

「文化や伝統、風習を子どもに伝える」が45.4%で最も高くなっています。次いで「子どもや保護者に挨拶や声掛けをする」が42.2%、「技術や知識を子どもに教える」が38.1%が続いています。

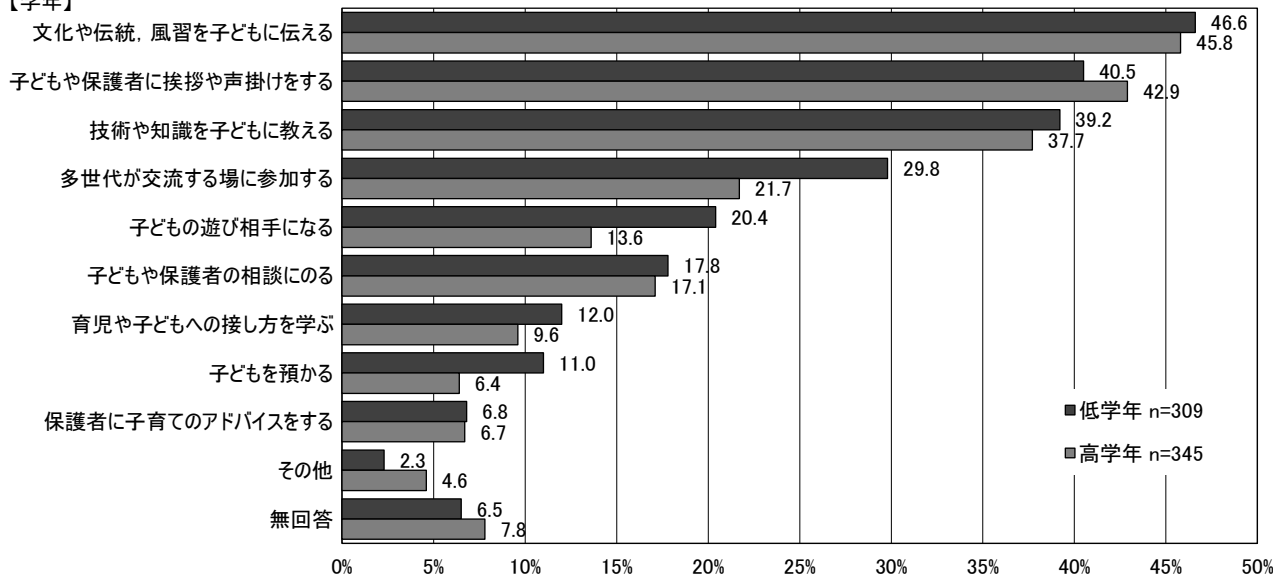
学年別にみると、低学年で「多世代が交流する場に参加する」「子どもの遊び相手になる」が比較的高くなっています。

経済状況別にみると、中央値の2分の1未満では「子どもや保護者に挨拶や声掛けをする」「子どもや保護者の相談にのる」が比較的高くなっています。

(MA) n=690



【学年】



【経済状況】

